解体工事特記仕様書

1．本特記仕様書は、本工事における関連各工事に適用する。

2．本特記仕様書における採用事項

①．項目欄は番号等に(●)印を附したものを適用する。

②．項目欄に(●)印を附し特記事項欄に(●)印を附していない場合は共通仕様書による。

③．特記事項は(●)印を附したものを適用する。但し(●)印の付かない場合は※印の附した事項を採用する。

(●)印と(※)印を附した場合は共に適用する。

3．本特記仕様書に記載なき事項については下記による。

(・)国土交通省大臣官房長官営繕部監修　建築物解体工事共通仕様書　令和４年版

・

・

4．その他事項

・各項目欄の番号(例：1.4 ○○○)は共通仕様書の番号（章番号を除く）に照合する

・各項目欄の番号(例：表○.○.○、及び図○.○.○)は共通仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする

・各項目欄の番号(例：1.＊ ○○○)は共通仕様書の番号（章番号を除く）に該当しない項目とする

章	項　目	特記事項
1章 各章共通事項	1.4 工事実績情報登録	(CORINS)への登録：(・)行う　・行わない
	1.＊ 建築基準法の風圧	基準風速：(・)Ｖｏ＝３２(m/s)
	・積雪に関する規定	地表面粗度区分：　・Ⅰ　・Ⅱ　(・)Ⅲ　・Ⅳ
		積雪区分：(・)区域=(32)／α=0.0009／β=0.00／γ=0.21／R=0
		平成12年建告第1445号　別表
		２．工事関係図書
	2.3 工事の記録等	工事報告書式等：　・指定の書式 (・)任意の書式　・
		工事写真の撮影対象：(・)営繕工事写真撮影要領　最新年板による工種、分類毎に適時撮影
		３．工事現場管理
	3.3 電気保安技術者	技術者の配置：　・配置する（・常駐　・非常駐）(・)配置しない
	3.5 施工条件	施工順序等の制約：　・無し (・)有り【(・)現場説明書による (・)図示　・　　】
		工事車両の駐車場所：(・)工事現場内　・図示　・現場説明書による　・
		資材、機材置場　　：(・)工事現場内　・図示　・現場説明書による　・
		発生土仮置場　　：　・工事現場内　・図示　・現場説明書による　・
		その他の施工条件　：　・図示　・現場説明書による (・)使いながら工事
	3.10 発生材の処理	発注者への引渡発生材：　※金属類及びPCB含有物　・図示　・
		引渡発生材の保管場所：　・図示 (・)協議による　・
		特別管理産業廃棄物の有無：　・無し (・)有り【分類：　・図示 (・)アスベストレベル２，３】
		発生材の現場内再利用、及び再資源化：　・下表による　・図示　・

発生材の種別	処理方法
	・現場内再利用　・再資源化
	・現場内再利用　・再資源化
	・現場内再利用　・再資源化
	・現場内再利用　・再資源化

		４．石綿含有建材の調査
	4.1 事前調査	調査範囲　：　・図示 (・)現場説明書による　・
		既存の設計図書の貸与等　：(・)有【(・)貸し出す　・貸し出さない　】　・無
		石綿含有建材の調査報告書　：(・)有【(・)貸し出す　・貸し出さない　】　・無
		石綿含有建材の分析方法：　・図示　・下表による　・

建材採取部位	分析方法等
	・定性分析【・1481-1　・1481-2】　・定性、定量分析【・1481-1,3　・1481-2,3】
	・定性分析【・1481-1　・1481-2】　・定性、定量分析【・1481-1,3　・1481-2,3】
	・定性分析【・1481-1　・1481-2】　・定性、定量分析【・1481-1,3　・1481-2,3】
	・定性分析【・1481-1　・1481-2】　・定性、定量分析【・1481-1,3　・1481-2,3】

■凡例　定性分析1481-1：JIS A 1481-1（分散染色法）

定性分析1481-2：JIS A 1481-2（Ｘ線回折法）

定量分析1481-3：JIS A 1481-3（Ｘ線回折法）

		５．施工調査
	5.2 施工数量調査	調査範囲　：　・図示　・現場説明書による (・)協議による
		調査方法　：　・図示　・現場説明書による (※)協議による
		６．施　工
	6.2 技能士	技能士の適用：　・図示　・現場説明書による　・下表による

職　種	作業の種別	等級等	備　考
		・一級　・単一等級	
		・一級　・単一等級	
		・一級　・単一等級	
		・一級　・単一等級	

章	項　目	特記事項
2章 仮設工事		２．騒音、粉じん、足場等
	2.1 騒音・粉じん等の対策	騒音・粉じん等の対策：　※防音パネル (・)防音シート　・養生シート　・
		防音パネル取付け足場の設置範囲：　・図示　・協議による　・
		３．仮設物
	3.1 監督職員事務所等	監督職員事務所の設置：　・必要 (・)不要
		◎監督員事務所の規模、設備、備品等
		・（　）号（会議室（　　）ｍ² を含む）
		・（　）号に会議室（　　）ｍ² を加えた規模
		・専用電話　・兼用FAX　・冷暖房機　・机　・椅子　・書棚　・検査用具
		・その他；
		受注者事務所の設置：(・)必要　・不要
		◎受注者事務所の規模、設備、備品等
		・（　）号（会議室（　　）ｍ² を含む）
		・（　）号に会議室（　　）ｍ² を加えた規模
		(・)専用電話 (・)兼用FAX (・)冷暖房機 (・)机 (・)椅子 (・)書棚 (・)検査用具 (・)その他WiFi
	3.＊ 工事用水	構内既存の施設：(・)利用できない　・利用できる【・有償　・無償】
	3.＊ 工事電力	構内既存の施設：(・)利用できない　・利用できる【・有償　・無償】
		４．山留め
	4.3 山留めの撤去	鋼矢板の抜き後の処理：　※砂充填　・セメントミルク充填　・
3章 解体施工		１．事前措置
	2.1 事前措置	事前回収洗浄消毒設備等：　・図示　・浄化槽　・排水槽　・
		事前回収廃油設備等：　・図示　・オイルタンク　・オイルサービスタンク　・
		９．基礎及び杭
	9.2 杭	杭抜き工事：　・行わない　・行う【・全数　・部分抜き(図示)】
		杭抜き後の杭孔の処理：　・図示　・
		１０．工作物（建築物以外のもの）
	10.1 さく、照明設備等の付属物	さくの解体：　・行わない　・行う (・)図示　・
		照明設備等の解体：　・行わない　・行う (・)図示　・
		１１．構内舗装、樹木等
	11.1 構内舗装、樹木等	構内舗装の解体：　・行わない　・行う (・)図示　・
		樹木の処置：　・撤去　・移植 (・)図示　・
		１２．地下埋設物及び埋設配管
	12.1 地下埋設物及び埋設配管	地下埋設物の解体：　・行わない (・)行う (・)図示　・
		地下埋設物の種類等：　・図示　・
		地下埋設配管の解体：　・行わない (・)行う (・)図示　・
		地下埋設配管の種類等：(・)図示　・
		１３．解体後の整地
	13.1 埋戻し、盛土及び地均し	解体後の埋戻し：　※行う　・行わない　・図示　・
		材料：(・)搬入真砂土（砂礫等の混入のないもの)　・掘削土（良質なもの）
		・
		解体後の盛土　：　・行う (・)行わない　・図示　・
		種別：　・A種　・B種　・C種　・D種
4章 建設廃棄物の処理		４．再資源化等及び最終処分
	4.1 再資源化等	中間処理施設、再資源化施設、最終処分場を任意で選定した場合は、施設の種別規模、処理能力、許可証等を記した書類を監督職員に提出し承諾を得る。
		中間処理施設の指定：(・)任意　・下表による　・図示

廃棄物の種別	名称・所在地・連絡先等

	再資源化廃棄物の指定：(・)水銀使用製品 (・)硬質ポリ塩化ビニル管 (・)ガラス　・図示
	木材廃棄物の処理：　(・)縮減する【(・)原材料　・燃料】　・縮減しない
	建設廃棄物の再資源化現場利用：　・行う（廃棄物の種別：　　）
	(・)行わない　・図示
4.2 産業廃棄物広域認定制度	産業廃棄物処理の広域認定制度：　・利用する　・利用しない　　）
4.3 最終処分	最終処分場の指定：　(・)任意　・下表による　・図示

廃棄物の種別	名称・所在地・連絡先等

5章 特別管理産業廃棄物の処理		１．共通事項
	1.2 施工計画調査	特別管理産業廃棄物の分析調査：　・下表による　・図示

廃棄物の種別	分析方法・分析調査機関等

	処理に注意を要する建設廃棄物の処理：　※共通仕様書による　・図示
	４．特別管理産業廃棄物の処理等
4.1 特別管理産業廃棄物の処理等	特別管理産業廃棄物の処理等：　※共通仕様書による　・図示
	微量ＰＣＢの分析調査：　・簡易定量法　・図示
	ＰＣＢ含有シーリングの分析調査：　・簡易定量法　・図示
	オイルタンク、機器等の処理：　・焼却処分　・再生処理　・図示
	廃酸、廃アルカリの処理：　・中和焼却処理　・再生処理　・図示
	ダイオキシン類のサンプリング調査：　・行う　・行わない
	ダイオキシン類焼却施設の解体方法：　・図示　・
	ダイオキシン類焼却施設の処分方法：　・図示　・
6章 石綿含有建材の除去及び処理	１．共通事項
1.1 石綿粉じん濃度測定	石綿粉じん濃度測定：(・)行う　・行わない
	石綿粉じん濃度測定箇所：図示
	石綿粉じん測定方法：(・)空気中の繊維状粒子測定方法(JIS K 3850-1)　・
	３．石綿含有吹付け材の除去
3.2 工　法	除去工法：　※共通仕様書による　・図示　・
	石綿含有吹付け材の飛散防止措置：　※湿潤化　・固形化
3.3 除去した石綿***の保管、運搬、処分等	石綿含有吹付け材等の処分：(・)埋立処分　・無害化処理
	４．石綿含有保温材等の除去
4.1 石綿含有保温材等の除去	石綿含有保温材等の除去：(・)破壊除去　・原形手ばらし除去　・図示
	５．石綿含有成形板等の除去
5.1 石綿含有成形板等の除去	石綿含有せっこうボード以外の石綿含有成形板の処分：(・)埋立処分　・中間処理
	養生シートによる作業場の養生：　・行う (・)協議による　・行わない
	６．石綿含有仕上塗材の除去
6.1 石綿含有仕上塗材の除去	除去方法：　・集じん装置併用工法【　・手工具ケレン　・高圧水洗　・ディスクグラインダーケレン　】
	・剥離剤併用工法【　・手工具ケレン　・高圧水洗　・超音波ケレン　】
	・超音波ケレン工法（HAPAﾌｨﾙﾀｰ付掃除機併用）
7章 特殊な建設副産物の処理	１．共通事項
1.1 施工計画調査	特殊な建設副産物の分析調査：　・図示　・
	３．特殊な建設副産物の処理等
3.1 特殊な建設副産物の処理等	特殊な建設副産物の種別：　・冷凍機、空調機等の冷媒　・建設用断熱材フロン　・ハロン消火設備
	・放射性同位元素使用イオン化式感知器
	・六フッ化硫黄ガス使用ガス絶縁開閉器、変圧器等　・ＰＲＯＳ含有泡消火剤
	・特定化学物質生涯予防規則による特定化学物質

指定機関・業者リスト

項　目	指定機関、業者名・連絡先	備　考

備考											
月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 K 001
月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体特記仕様書	縮尺 －
月日		月日									

南棟1 既存仕上表

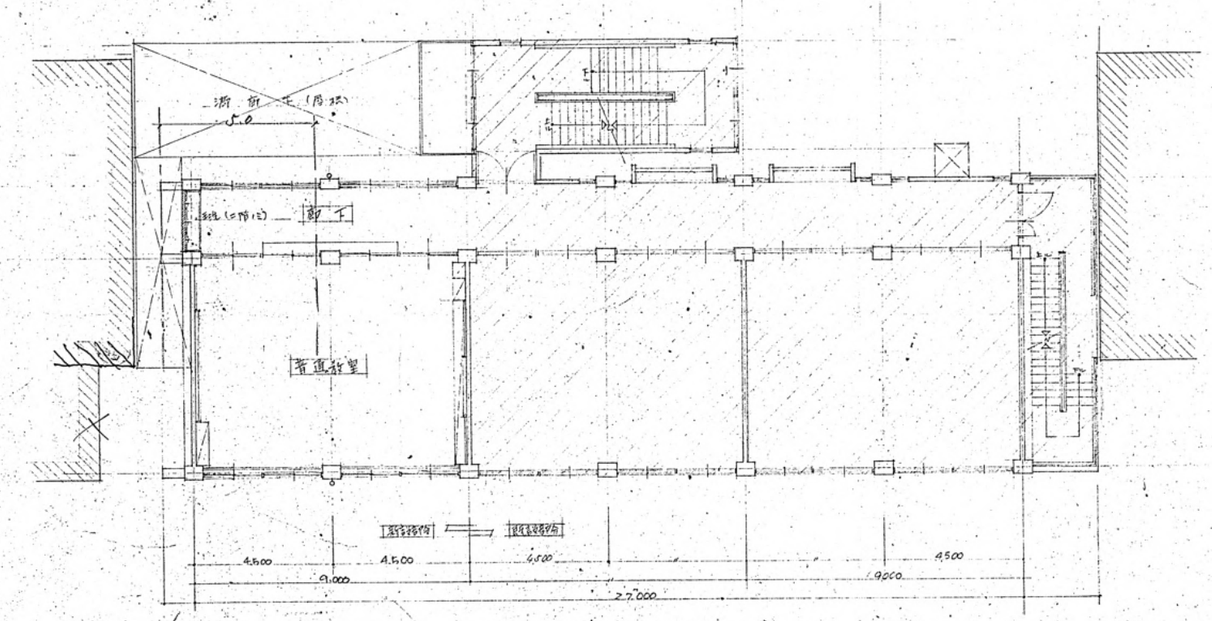
外部仕上表

外壁	モルタル刷毛引リシン吹付 の上複層塗材E吹付
地廻り	モルタル金ゴテ押え　H=300　の上カオン系フィラー塗り
屋上庇先バルコ	花崗モルタル刷毛引骨水石入石セメント吹付　花崗先モルタル刷毛引リシン吹付（庇裏・庇鼻先共に）仕上面の上複層塗材E吹付
屋上	下地均シモルタル の上改質アスファルト防水層
犬走水側溝	モルタル金ゴテ押え　側引溝U字型コンクリートトラフ（250×250×50×600）
雨戸先生管	GP 125φ H=1800 SOP塗り
竪樋	硬質塩ビ竪樋(カラー) 100φ　　掴み金物 @ 1200 （共-2.3カロエ）
ルーフドレーン	改修用ルーフドレン
外部階段	

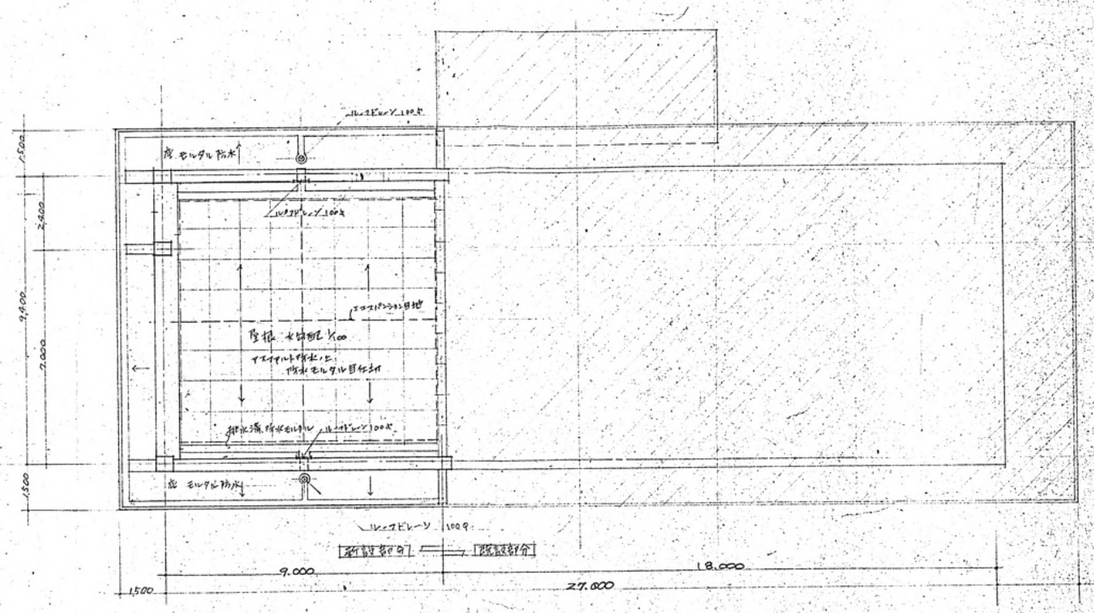
内部仕上表

室名	床	巾木	腰	壁	天井	備考
職員室	フローリング ワックス拭き	桧 H=100 OP	モルタル金ゴテ押エ TP	有孔ベニア 色ガラOP	吸音ボード 色ガラ吹 OP 白 フロアスター塗	掲示板、平面黒板、件劇用黒板 カーテンBOX レール 出入
教室	ナラフローリング ロック ナチュラルワックス	桧 H=100 OP	モルタル金ゴテ押エ TP	有孔ベニア 色ガラOP	フロアスターボード 色ガラ吹 既目地 TP	掲示板、平面黒板、側面黒板 教師用書棚 出入ガラ引
廊下	カラークリート	カラークリート H=100	モルタル金ゴテ押エ TP	白 フロアスター塗	白 フロアスター塗	手洗、下足箱、手洗イ（人造石研出シ）
階段室	カラークリート					
物置	モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え H=100				

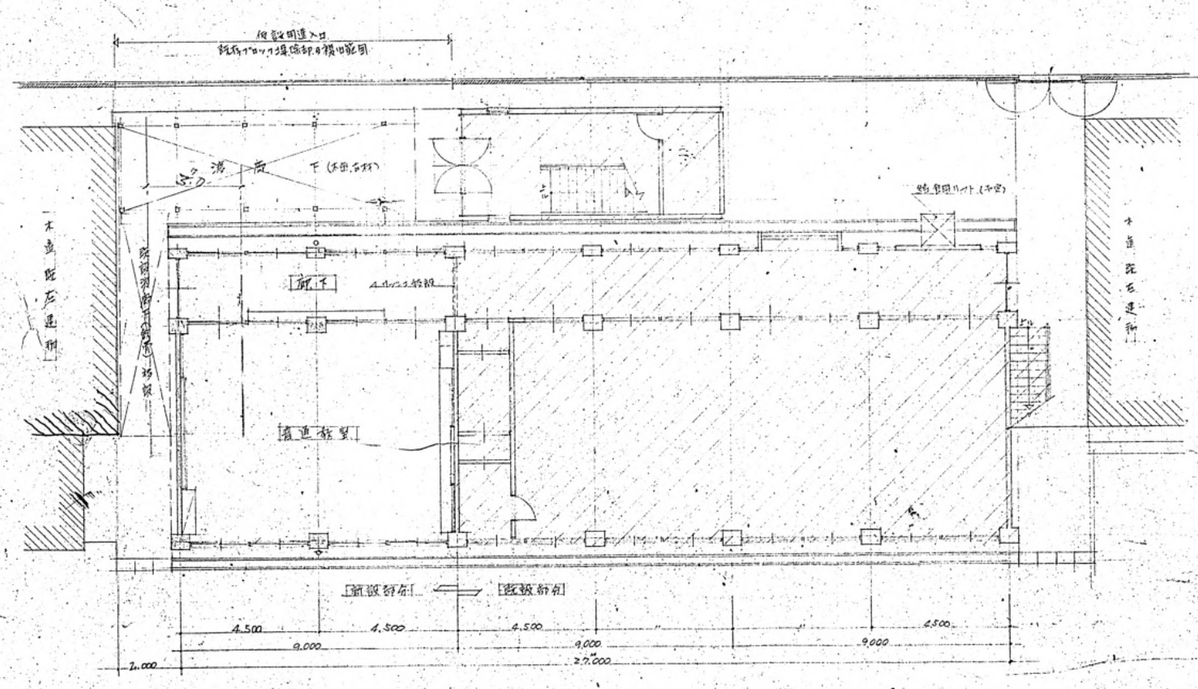
備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	002
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	既存仕上表1	縮尺	-	
	月日		月日												



2・3 階平面図



屋階平面図



1 階平面図

外部仕上表

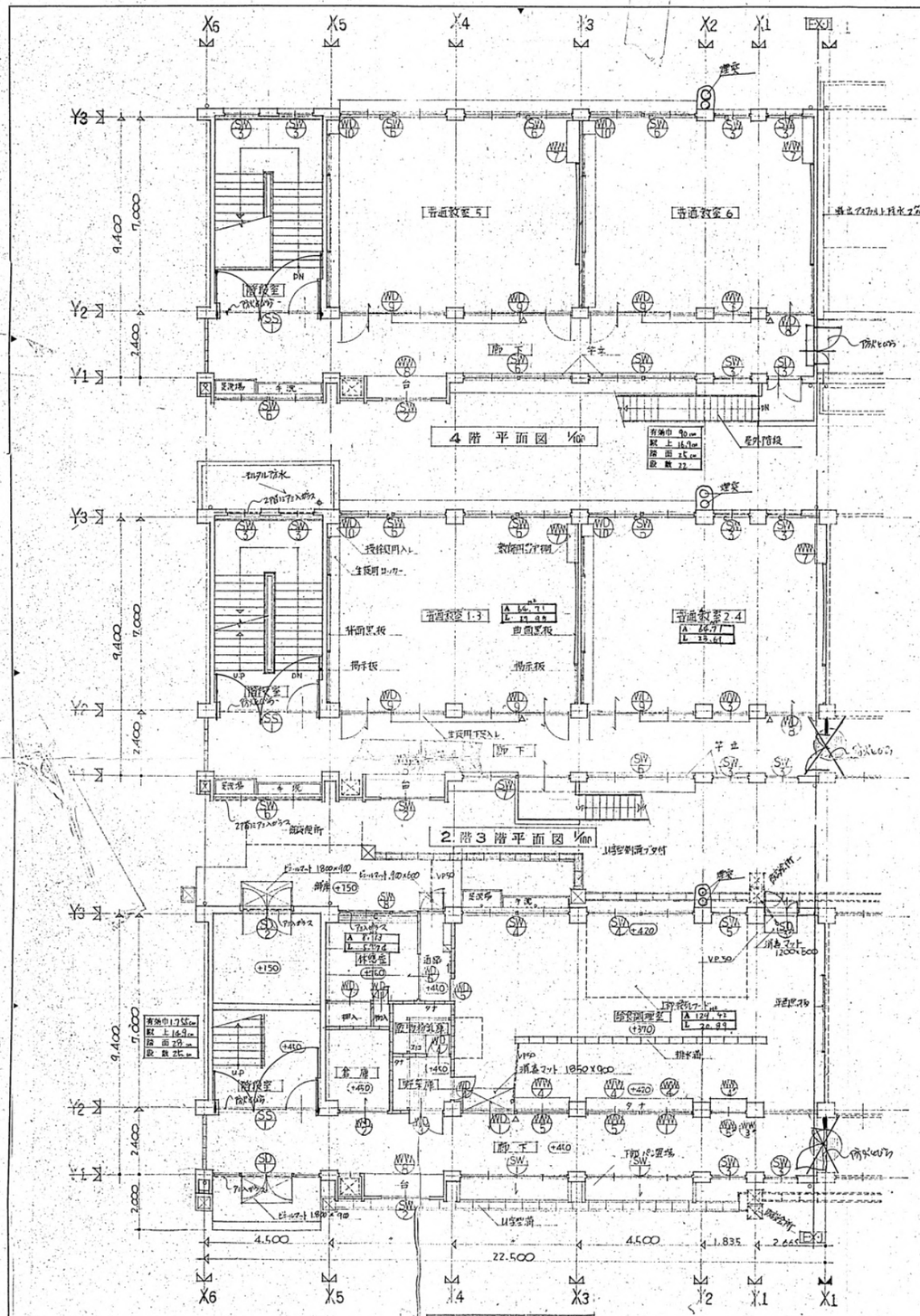
外壁	モルタル刷毛引 リシン吹付 の上複層塗材E吹付
塀廻り	モルタル金鏝押さ H=1,500 の上カチオン系フィラー塗り
軒裏	モルタル刷毛引 リシン吹付 の上複層塗材E吹付
屋根	コンクリートスラブ上 均しモルタル20厚 の上改質アスファルト防水層 ，上保護モルタル20厚，コンクリートの中に5ヶ所，モルタル ライン上より30ヶ所 目地切り，エキスパンション 15ヶ所
庇底	モルタル打ち放し下地処理，モルタル刷毛引 リシン吹付 の上複層塗材E吹付
犬走り側溝	モルタル金鏝押さ，U型溝 コンクリートブロック（350×250×150×600）
塀笠	硬質塩ビ竪樋（カラー） 100φ ，樹脂金物 1200@（既存利用，溶融亜鉛めっき仕上）
幅木	GP 125φ H=1800 SOP塗り
ルーフドレン	改修用ルーフドレン

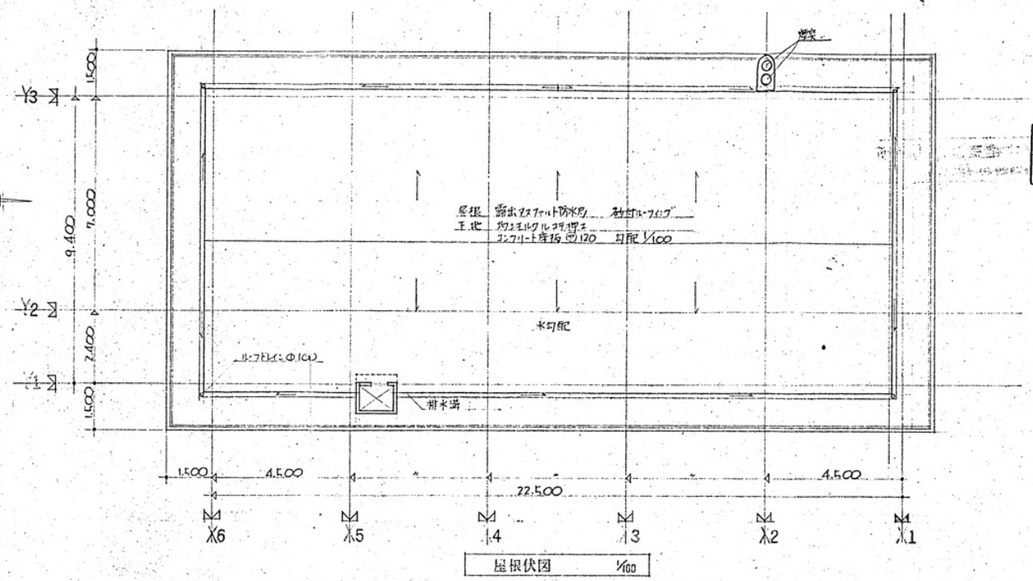
内部仕上表

室名	床	巾木	腰	壁	天井	備考
1階教室	ﾀﾌﾄﾛｰﾘﾝｸﾞ@18ｹ ﾏｯﾄﾀｲﾙ張	木 H=100 OP	モルタル金鏝押さ	木毛ｾﾒﾝﾄ板 @6ヶ EP モルタル塗 VP 石こうﾎﾞｰﾄﾞ @6ヶ EP モルタル塗 VP	既存 プラスター プラスターボード @9ヶ VP 既存 プラスター プラスターボード @9ヶ VP	既存建物，補修箇所 ロッカー設置(既存撤去再設置) ボンド80メトルント戸棚(新設箇所) 下地筋，手洗は階段下参照
2.3階教室	ﾀﾌﾄﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ@18ｹ ﾏｯﾄﾀｲﾙ張	木 H=100 OP	モルタル金鏝押さ			
廊下	カラーグルード	モルタル金鏝押さ VP	モルタル金鏝押さ	白 プラスター	白 プラスター	

南棟2 既存仕上表

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	003
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	既存仕上表2	縮尺	-	
	月日		月日												





経由之証
大東市

外部仕上

外壁	モルタル刷毛引リシン吹付 の上複層塗材E吹付	天端押えの仕上	塩ビシート t1.5 ヨコ目地溶着
中木	モルタル H=300 の上カチオン系フィラー塗り	屋外外段	敷葺階段 0号
庇	底板、底梁、モルタル刷毛引リシン吹付 の上複層塗材E吹付	マット	ビニルマット 12t
屋上	下地均しモルタルの上改質アスファルト防水層	手洗、足洗場	人研
天走り側面	モルタル 現場 U字型コンクリートトラフ (250×250×50×600)	排水溝ブタ	コンクリート製U型ブタ
衛生養生管	GP 125φ H=1800 SOP塗り		
竪樋	硬質塩ビ竪樋(カラー) 100φ 但=金物 @1,700 (但-2.3m加工)		
ルーフドレイン	改修用ルーフドレン		
急勾配	階段室(屋内)、普通教室一部 モルタル V.P の上複層塗材E吹付		
柱・軒空	モルタル刷毛引リシン吹付 の上複層塗材E吹付		

内部仕上

	室名	床	巾木	壁	天井	備考
1階	給食調理室	モルタル 目地切	モルタル H=100	モルタル V.P	石膏ボード張t9 V.P 底目地張	タオ、鏡台兼掃除ブタ、有線放、フード
	休憩室	タタミ 縁甲張 モルタル	タタミ寄せ モルタル、木製 V.P H=100	モルタル E.P ベニヤt4 E.P	プラスターボードt9 E.P	下足入れ、手洗、掃入、カーテンレール、有性のテン
	乾物物置庫	モルタル	モルタル H=100	CBT化粧硬質繊維板t8 OP	化粧硬質繊維板t8 OP	スノコ、棚
	駐車庫	金上	金上	金上	金上	金上
	倉庫	金上	金上	モルタル	モルタル	
2〜3階	普通教室1〜6	ブナフローリングブロック 18t	木製 V.P H=100	モルタル V.P ベニヤt4 OP プラスター 有孔ベニヤt6 OP	プラスターボードt9 E.P 底目地張	カーテンレール、有性のテン 掲示板、黒板、教師用置棚、ロッカー物入
共通	廊下	カラーグリート	カラーグリート H=100	モルタル V.P プラスター	プラスター	下足入れ、手立
	階段室	カラーグリート	カラーグリート H=100	モルタル V.P プラスター	プラスター	手洗、足洗場

北棟 既存仕上表

凡例

O.P	油性塗料塗り	O.S	オイルステイン塗り	S.W	鋼製窓	D.C	ドアーチェック	D.S	ダストシュート
V.P	合成樹脂塗料塗り	W.B	ホワイトブロンズメッキ	S.G	鋼製ガラリ	F.H	フローヒンヂ	▷	室名札
E.P	合成樹脂系エルマジョン塗料塗り	W.D	木製扉	A.L.D	アルミニューム製扉	G.S.I	亜鉛引鉄板	C	カーテンレール
C.L	クリヤーラッカー塗り	W.W	木製窓	A.L.W	アルミニューム製窓	T.B	テラゾーブロック	⑮	電動換気扇
O.S.W	オイルステインワックス塗り	W.G	木製ガラリ	S.S	スチールシャッター	R.D	エヤーダクト		
O.S.V	オイルステインワニス塗り	S.D	鋼製扉	A.T	エヤータイト	P.S	パイプシャフト		

	コンクリート壁
	コンクリートブロック壁
	木造壁
	レンガ積

備考															
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	004
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	既存仕上表3	縮尺	-	
	月日		月日											

（内部）仕上表

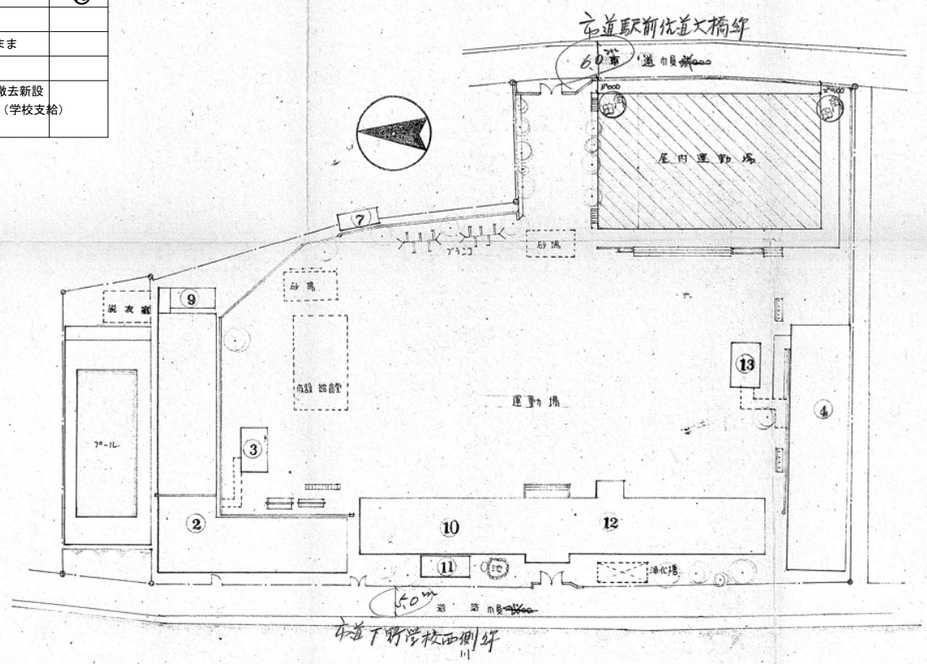
注：仕上表内 仕上材 はアスベスト含有成形板を示す。

室名	部位	改修前 仕上表		
アリーナ	床	土間コンクリート直押え +鋼製床+カバザクラフローリング t -15 UC塗	既設フローリングサンダー掛けの上UC塗替 （コートライン引き共）	㋐
	巾木	ラワン OS H＝100	既設ケレン処理ＥＰ塗替 一部既設撤去後新設	㋑
	腰壁（H＝2050）	木下地+白ラワン小巾板 t-12ＯＶ塗	既設ケレン処理ＣＬ塗替 一部建具撤去跡 CBt-120 化粧積+胴縁45×45+白ラワン小巾板 CL 新設 一部白ラワン小巾板 t-12 破損部撤去新設の上 EP 塗	㋒
	壁	木下地+木毛ｾﾒﾝﾄ板 t -18+リブ杉 30×60 SOP塗	既設ケレン処理の上 EP 塗替 一部木毛ｾﾒﾝﾄ板破損部撤去新設 EP 塗	㋓
	天井	木毛セメント板 ＳＯＰ塗	既設のまま 一部押え縁撤去	㋔
		プロセニアムアーチ ＳＯＰ塗	既設ケレン処理の上ＥＰ塗替	㋕
	建具	スチールサッシ（出入口）・スチールフラッシュ戸（床上ガラリ）・木製（ｽﾃｰｼﾞ下部収納庫）	スチールサッシ：アルミカバー工法・スチールフラッシュ戸既設ケレン処理の上DP 塗替	
	備考	床下点検口（ 2 か所）・コートライン引き・体育器具基礎 床金具・木製肋木・垂直測定具・木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・カーテン	床下点検口（ 2か所）既設ｻﾝﾀﾞｰ掛の上 UC 塗替・コートライン引き塗替・体育器具基礎既設のまま	
		バスケットゴール（固定式）	床金具既設のまま・木製肋木一時取外し仮置きの上復旧・垂直測定具固定ボルト再締め付け	
			木製カーテンボックス一部撤去（レール共）新設・他既設ケレン処理の上EP 塗替・暗幕レール共撤去新設 バスケットゴール既設固定ボルト再締め付け・1カ所のみバスケットゴールリング既設撤去後新設（学校支給） ・卒業制作一時取外し仮置きの上復旧（全て）	

室名	部位			
控室	床	木下地ブナフローリング貼（コンクリート束石）	既設フローリング木下地共撤去後コンクリート t-150新設+鋼製床組+ カバザクラフローリング t-15（下地耐水ベニヤ t -15）UC 塗新設	㋖
	巾木	ラワン ＳＯＰ塗 Ｈ＝100	撤去新設ＥＰ塗 一部既設ケレン処理の上 EP 塗替	㋗
	壁	ラワンベニヤ t-6 ＣＬ塗 一部コンクリートの上 ＡＥＰ塗 放送室：木下地シナベニヤ貼（壁のみ・天井床は控室のまま）	控室-ｽﾃｰｼﾞ間木間仕切壁撤去後 木下地 W100 + ラワンベニヤ t-6 新設CL 塗 RC 壁面 既設ケレン処理の上 CL 塗替 放送室：既設木間仕切り撤去後 木下地 W60+ シナベニヤ t -6EP 塗新設 高さH=2500 にて頭つなぎ（天井はなし）	㋘
	天井	木毛セメント板 ＳＯＰ塗	既設のまま	㋙
	階段	ギャラリー用（2 階）：コンクリート打放 +モルタルコテ押 段鼻：ノンスリップ（ゴム入）	ギャラリー用/床：既設クリーニング・段鼻既設のまま・手摺：ケレン処理の上 DP 塗替 階段下倉庫/既設木間仕切撤去後 木下地 W60+ シナベニヤ t -6（両面） CL 塗・床は控室に準ずる	㋚
		手摺：GP SOP 塗 アリーナ用（ 1階）：床仕上に準ずる	アリーナ用木製階段：既設サンダー掛けの上 UC 塗替（木カマチ共）・手摺ケレン処理の上 DP 塗替	㋛
	備考	スチール製タラップ・木製カーテンボックス・暗幕	スチール製タラップ：ケレン処理の上 DP 塗替・木製カーテンボックス：ケレン処理の上 EP 塗替	
			暗幕撤去新設（カーテンレール共）・木部は全てケレン処理の上 EP 塗替	

室名	部位			
ステージ	床	木下地ブナフローリング貼（コンクリート束石）	既設フローリング木下地共撤去後土間コンクリートt-150新設+鋼製床組+ カバザクラフローリングt-15（下地耐水ベニヤ t -15）UC塗新設	㋜
		上カマチ：シオジ集成材	一時取外し ケレン処理の上UC塗 再取付	㋝
	巾木	ラワン ＳＯＰ塗 Ｈ＝100	撤去新設ＥＰ塗 一部既設ケレン処理の上 EP 塗替	㋞
	壁	木下地 シオジベニヤt-5.5 ＣＬ塗	控室-ｽﾃｰｼﾞ間木間仕切壁撤去後 木下地W100 +シナベニヤt-5.5新設CL塗 一部ステージ部（RC面）背面部一部塩地ベニヤ撤去後シナベニヤT-5.5CL塗 他ｹﾚﾝ処理の上CL塗替	㋟
	天井	木毛セメント板 ＳＯＰ塗	既設のまま 一部押え縁撤去新設	㋠
		プロセニアムアーチ ＳＯＰ塗	既設ケレン処理の上ＵＣ塗	㋡
	備考	引分電動式ドンチョウ・袖幕・スプリング式巻取スクリーン・C-150×65×20	引分電動式ドンチョウ撤去新設・袖幕撤去新設・巻取りスクリーン撤去新設	
		木製カーテンボックス・垂れ幕・可動式木製階段（2か所）	木製カーテンボックスケレン処理ＥＰ塗替	
			鉄骨ぶどう棚既設のまま・可動式木製階段部分補修後ケレン処理の上ＵＣ塗替	

室名	部位		
ギャラリー	床	コンクリート打放しモルタルコテ押え	清掃のみ
	立上り	コンクリート打放しモルタル刷毛引き ・笠木：人研ぎ	既設清掃のみ 笠木：既設クリーニング
	側面・裏面	ＥＰ塗	既設ケレン処理の上 EP 塗
	手摺	スチール ＳＯＰ塗	既設ケレン処理 DP 塗替
	備考	木製カーテンボックスSOP 塗・ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ・暗幕 スチールサッシ	カーテンボックスケレン処理・暗幕撤去新設・ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去新設 既設スチールサッシアルミサッシカバー工法・額縁ケレン処理の上 EP 塗替



配置図 S:1/600

外部仕上表

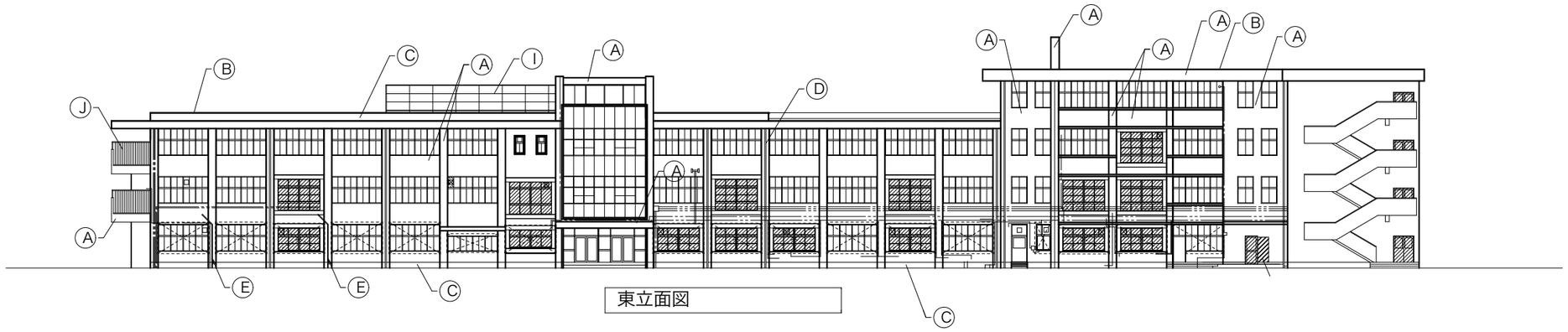
		備考
屋根	長尺カラー鉄板 t0.6	
外壁	モルタル刷毛引リシン吹付け 木毛板 セラスキン吹付	
建具	ﾊﾝﾄﾞﾙ モルタル金鏝押え	
雨樋	硬質塩化ビニール（専管）	
濡縁下	モルタル金鏝押え	下見板 板ﾏﾂｶ
建具、ガラス	スチールサッシ、フロアヒンジ 6ﾌﾐ	
基礎	コンクリート ホーキ目仕上	

屋内運動場 既存仕上表

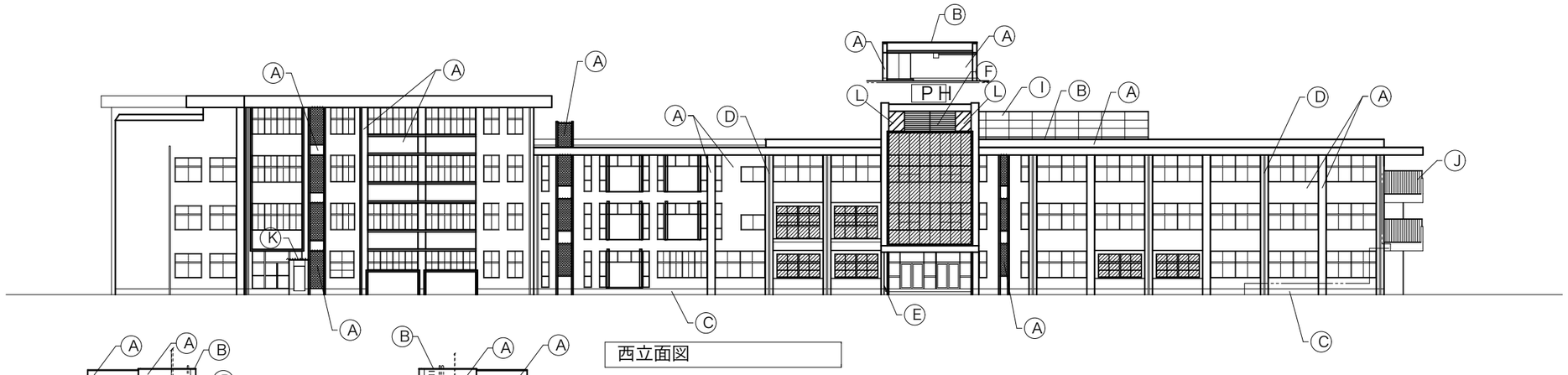
備考										
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	005
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	既存仕上表4	縮尺	－	
	月日		月日											

内部仕上表

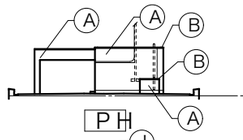
| 棟 | 階数 | 室名 | 内装制限 | 天井高さ | 床 | | | | | | | | | | 巾木 | | | | | | | | | | 腰壁 | | | | | | | | | | 壁 | | | | | | | | | | 梁型 | | | | | | | | | | 天井 | | | | | | | | | | 廻縁 | 室内造作・その他 | | | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---



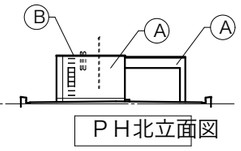
東立面図



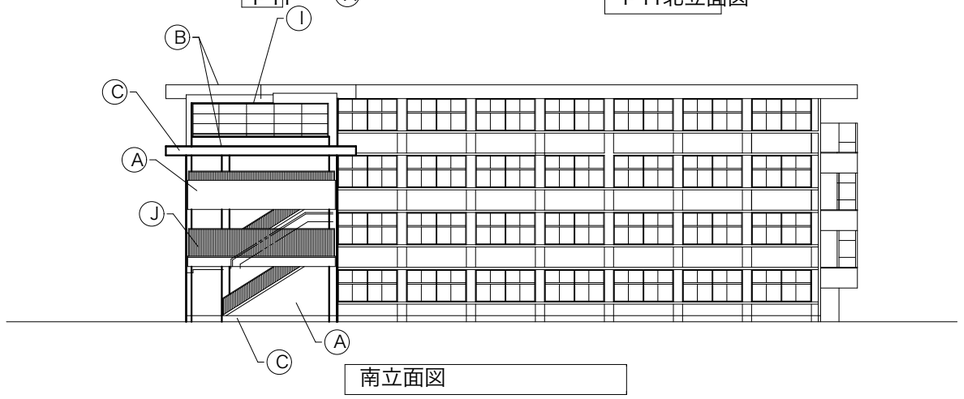
西立面図



ＰＨ



ＰＨ北立面図



南立面図

既存校舎外部仕上

外部仕上げリスト	
符号	仕上げ
A	既存仕上面高圧水洗い洗浄の上複層塗材Ｅ吹付け
B	既存仕上面下地調整の上ウレタン塗膜防水メッシュ補強工法（Ｘ－２）
C	既存仕上面高圧水洗い洗浄の上カチオン系フィラー塗
D	硬質塩ビ竪樋（カラー）　100φ（養生管　ＧＰ　125φ　H=1800ＳＯＰ塗）新設
E	硬質塩ビ竪樋（カラー）　60φ新設
F	目隠し新設の上ＳＯＰ塗
G	既存設備配管清掃の上ＳＯＰ塗
▨	防球ネット新設
I	ネットフェンス新設
J	スチール手摺　ＳＯＰ塗買
K	カラー折板水洗い清掃
L	耐震壁新設の上モルタル塗り複層塗材Ｅ
M	コンクリート壁新設の上モルタル塗り複層塗材Ｅ
———	既存配管ＳＯＰ塗平均４５φ　４５０ｍ

備考															
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	007
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	既存仕上表6	縮尺	－	
	月日		月日												

凡例

※青着色：撤去工事対象

- 鉄筋コンクリート壁撤去
- CB壁撤去
- ALC壁撤去
- RC土間撤去
- モルタル床撤去
- コンクリート舗装撤去
- 花壇撤去
- アスファルト舗装撤去（下地共）
- 鋼材撤去
- 木材撤去
- 砕石撤去
- 仕上げ、サッシ、備品撤去

※特記なき場合、天井、柱、壁はスケルトンの状態にする。
※特記なき場合、モルタル仕上げは残置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は残置（ケレンしない）

注記）1. ⬭ 内数値は設計GLからの高さを示す。
2. 設計GL±0=TP+4.043(m)とする。(TP=標高0m)
3. U18 U24 は、U字側溝を示す。(解体部分詳細に断面記載)

方位：東 北 南 西

市道(三住扇町線)
42条1項1号道路
幅員6.67~6.56m

近隣商業地域

第一種住居地域

新館

渡り廊下

プール
16m×6コース

プール庇

機械室

屋内運動場

倉庫

男子便所

多目的便所

女子便所

本館北棟・本館南棟

市道(住道北小学校西側線)
42条1項1号道路
幅員5.50~5.51m

新館(別棟)
渡り廊下(別棟)
本館 北棟(既存耐震診断6)
本館 南棟1
本館 南棟2
本館 南棟3
(既存耐震診断4)

解体配置図兼外構図

| | | |

撤去樹木リスト		樹木の高さ(h)	本数
	●	h＜2.0m	127本
	●	2.0m≦h＜5.0m	20本
	●	5.0m≦h＜10.0m	9本
	●	10.0m≦h	1本
	▭	0.5m（ボックスウッド）	41本

市道（三住扇町線）
42条1項1号道路
幅員6.67~6.56m

道路境界線

屋内運動場

倉庫

男子便所

多目的便所

女子便所

倉庫2

プール棟 ←→ 新館（別棟）

新館

学習園
3900×5700

砂場
5200×10700

プール
1.6m×6コース

プール庇

機械室

倉庫1

本館

花壇

池

花壇

花壇

花壇

キュービクル

市道（住道北小学校西側線）
42条1項1号道路
幅員5.50~5.51m

道路中心線

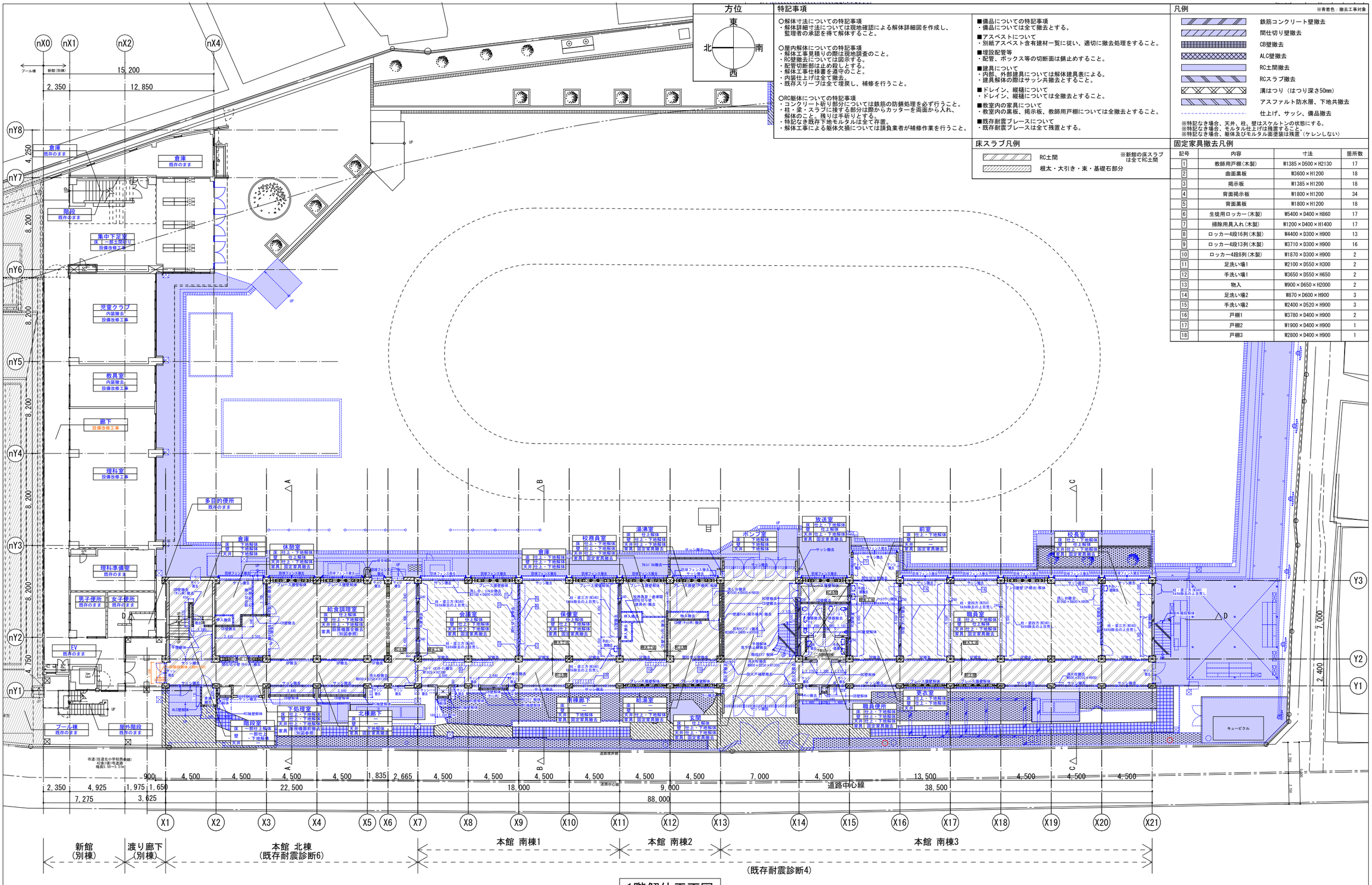
UP

U24

U18

U24R

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	009
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体植栽図	縮尺	1:400	(A1)(A3)
	月日		月日												



特記事項

○解体寸法についての特記事項
・解体詳細寸法については現地確認による解体詳細図を作成し、監理者の承認を得て解体すること。

○屋内解体についての特記事項
・解体工事見積りの際は現地調査のこと。
・RC壁撤去については図示する。
・配管切断部は止め殺しとする。
・解体工事仕様書を遵守のこと。
・内装仕上げは全て撤去。
・既存スリーブは全て埋戻し、補修を行うこと。

○RC躯体についての特記事項
・コンクリート斫り部分については鉄筋の防錆処理を必ず行うこと。
・柱・梁・スラブに接する部分は躯体からカッターを両面から入れ、解体のこと。残りは手斫りとする。
・特記なき既存下地モルタルは全て存置。
・解体工事による躯体欠損については請負業者が補修作業を行うこと。

■備品についての特記事項
・備品については全て撤去とする。

■アスベストについて
・別紙アスベスト含有建材一覧に従い、適切に撤去処理をすること。

■埋設配管等
・配管、ボックス等の切断面は錆止めすること。

■建具について
・内部、外部建具については解体建具表による。
・建具解体の際はサッシ共撤去とすること。

■ドレイン、縦樋について
・ドレイン、縦樋については全撤去とすること。

■教室内の家具について
・教室内の黒板、掲示板、教師用戸棚については全撤去とすること。

■既存耐震ブレースについて
・既存耐震ブレースは全て残置とする。

凡例

※青着色：撤去工事対象

- 鉄筋コンクリート壁撤去
- 間仕切り壁撤去
- CB壁撤去
- ALC壁撤去
- RC土間撤去
- RCスラブ撤去
- 溝はつり（はつり深さ50mm）
- アスファルト防水層、下地共撤去
- 仕上げ、サッシ、備品撤去

※特記なき場合、天井、柱、壁はスケルトンの状態にする。
※特記なき場合、モルタル仕上げは残置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は残置（ケレンしない）

床スラブ凡例

- RC土間
- 根太・大引き・束・基礎石部分

※新館の床スラブは全てRC土間

固定家具撤去凡例

記号	内容	寸法	箇所数
1	教師用戸棚(木製)	W1385×D500×H2130	17
2	曲面黒板	W3600×H1200	18
3	掲示板	W1385×H1200	18
4	背面掲示板	W1800×H1200	34
5	背面黒板	W1800×H1200	18
6	生徒用ロッカー(木製)	W5400×D400×H860	17
7	掃除用具入れ(木製)	W1200×D400×H1400	17
8	ロッカー4段16列(木製)	W4400×D300×H900	13
9	ロッカー4段13列(木製)	W3710×D300×H900	16
10	ロッカー4段8列(木製)	W1870×D300×H900	2
11	足洗い場1	W2100×D550×H300	2
12	手洗い場1	W3650×D550×H650	2
13	物入	W900×D650×H2000	2
14	足洗い場2	W870×D600×H900	3
15	手洗い場2	W2400×D520×H900	3
16	戸棚1	W3780×D400×H900	2
17	戸棚2	W1900×D400×H900	1
18	戸棚3	W2800×D400×H900	1

1階解体平面図

※設備配管工事に伴うスラブ解体、ハツリ範囲は設備図参照
解体、ハツリ後は新設RCスラブによる復旧を行うこと

備考															
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	K	010
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体平面図1	縮尺	(A1) 1:300(A3)	
	月日		月日											

方位

東 / 北 / 南 / 西

特記事項

○解体寸法についての特記事項
・解体詳細寸法については現地確認による解体詳細図を作成し、監理者の承認を得て解体すること。

○屋内解体についての特記事項
・解体工事見積りの際は現地調査のこと。
・RC壁撤去については図示する。
・配管切断部は止め殺しとする。
・解体工事仕様書を遵守のこと。
・内装仕上げは全て撤去。
・既存スリーブは全て埋戻し、補修を行うこと。

○RC躯体についての特記事項
・コンクリート斫り部分については鉄筋の防錆処理を必ず行うこと。
・柱・梁・スラブに接する部分は際からカッターを両面から入れ、解体のこと。残りは手斫りとする。
・特記なき既存下地モルタルは全て存置。
・解体工事による躯体欠損については請負業者が補修作業を行うこと。

■備品についての特記事項
・備品については全て撤去とする。

■アスベストについて
・別紙アスベスト含有建材一覧に従い、適切に撤去処理をすること。

■埋設配管等
・配管、ボックス等の切断面は錆止めすること。

■建具について
・内部、外部建具については解体建具表による。
・建具解体の際はサッシ共撤去とすること。

■ドレイン、縦樋について
・ドレイン、縦樋については全撤去とすること。

■教室内の家具について
・教室内の黒板、掲示板、教師用戸棚については全撤去とすること。

■既存耐震ブレースについて
・既存耐震ブレースは全て残置とする。

凡例

※青着色：撤去工事対象

- 鉄筋コンクリート壁撤去
- 間仕切り壁撤去
- CB壁撤去
- ALC壁撤去
- RC土間撤去
- RCスラブ撤去
- 溝はつり（はつり深さ50mm）
- アスファルト防水層、下地共撤去
- 仕上げ、サッシ、備品撤去

※特記なき場合、天井、柱、壁はスケルトンの状態にする。
※特記なき場合、モルタル仕上げは残置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は残置（ケレンしない）

屋上仕上げ撤去凡例

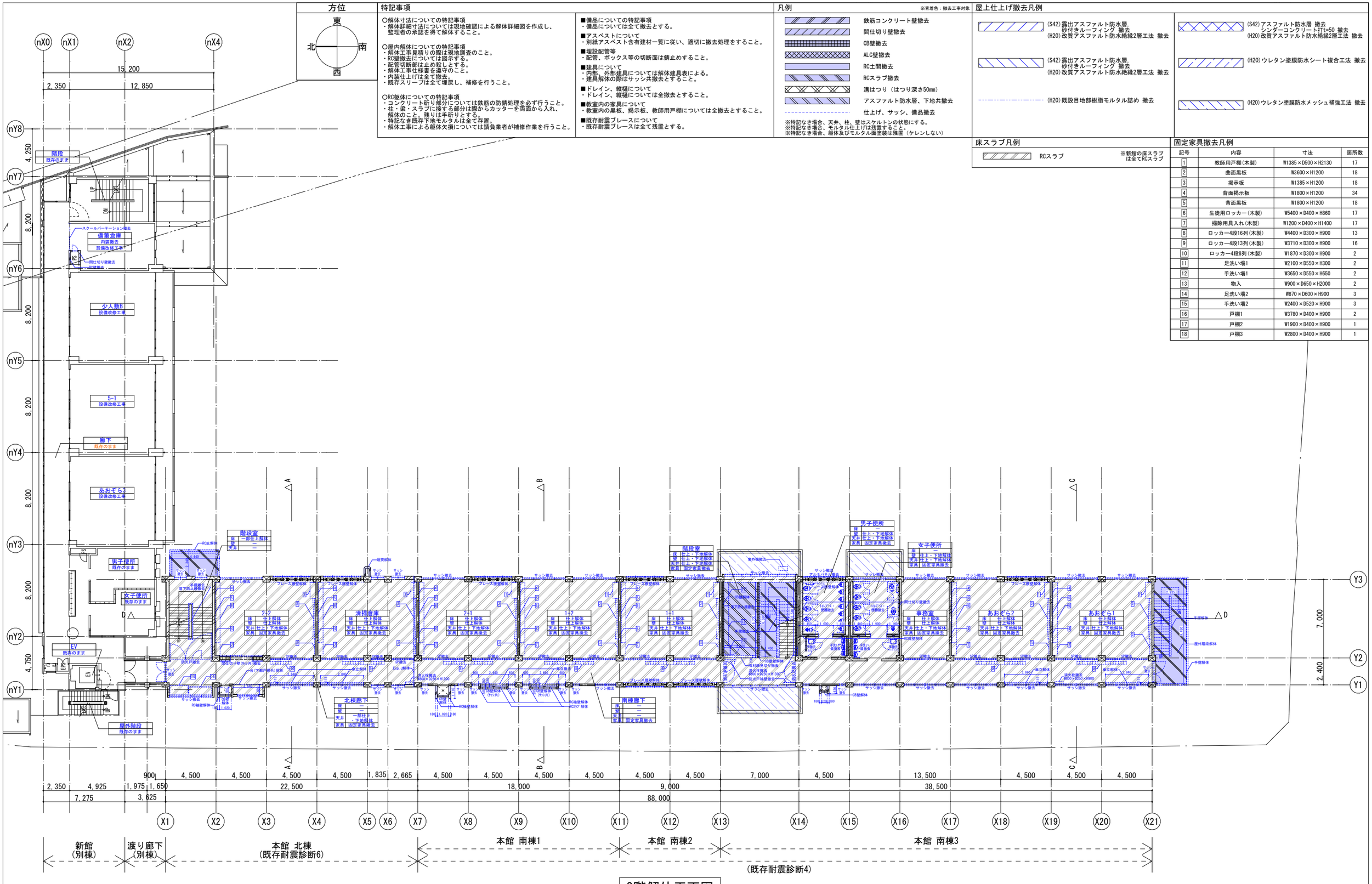
- (S42)露出アスファルト防水層、砂付きルーフィング 撤去 (H20)改質アスファルト防水絶縁2層工法 撤去
- (S42)露出アスファルト防水層、砂付きルーフィング 撤去 (H20)改質アスファルト防水絶縁2層工法 撤去
- (H20)既設目地部樹脂モルタル詰め 撤去
- (S42)アスファルト防水層 撤去 シンダーコンクリート打t=50 撤去 (H20)改質アスファルト防水絶縁2層工法 撤去
- (H20)ウレタン塗膜防水シート複合工法 撤去
- (H20)ウレタン塗膜防水メッシュ補強工法 撤去

床スラブ凡例

- RCスラブ　※新館の床スラブは全てRCスラブ

固定家具撤去凡例

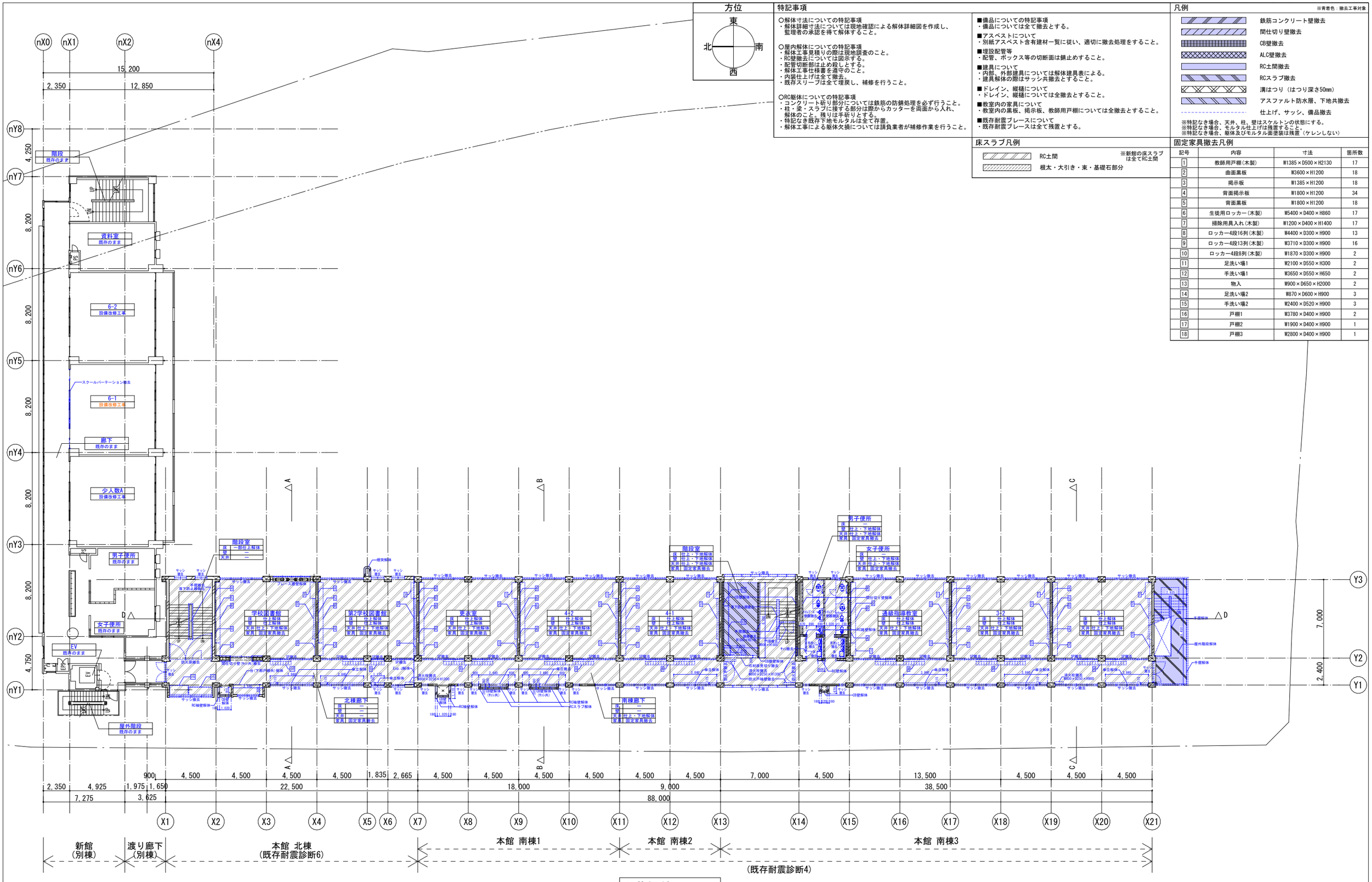
記号	内容	寸法	箇所数
1	教師用戸棚(木製)	W1385×D500×H2130	17
2	曲面黒板	W3600×H1200	18
3	掲示板	W1385×H1200	18
4	背面掲示板	W1800×H1200	34
5	背面黒板	W1800×H1200	18
6	生徒用ロッカー(木製)	W5400×D400×H860	17
7	掃除用具入れ(木製)	W1200×D400×H1400	17
8	ロッカー4段16列(木製)	W4400×D300×H900	13
9	ロッカー4段13列(木製)	W3710×D300×H900	16
10	ロッカー4段8列(木製)	W1870×D300×H900	2
11	足洗い場1	W2100×D550×H300	2
12	手洗い場1	W3650×D550×H650	2
13	物入	W900×D650×H2000	2
14	足洗い場2	W870×D600×H900	3
15	手洗い場2	W2400×D520×H900	3
16	戸棚1	W3780×D400×H900	2
17	戸棚2	W1900×D400×H900	1
18	戸棚3	W2800×D400×H900	1



2階解体平面図

※設備配管工事に伴うスラブ解体、ハツリ範囲は設備図参照
解体、ハツリ後は新設RCスラブによる復旧を行うこと

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	011
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体平面図2	縮尺	(A1) 1:300(A3)	
	月日		月日												



方位

東 / 北 / 南 / 西

特記事項

○解体寸法についての特記事項
・解体詳細寸法については現地確認による解体詳細図を作成し、監理者の承認を得て解体すること。

○屋内解体についての特記事項
・解体工事見積りの際は現地調査のこと。
・RC壁撤去については図示する。
・配管切断部は止め殺しとする。
・解体工事仕様書を遵守のこと。
・内装仕上げは全て撤去。
・既存スリーブは全て埋戻し、補修を行うこと。

○RC躯体についての特記事項
・コンクリート斫り部分については鉄筋の防錆処理を必ず行うこと。
・柱・梁・スラブに接する部分は躯からカッターを両面から入れ、解体のこと。残りは手斫りとする。
・特記なき既存下地モルタルは全て存置。
・解体工事による躯体欠損については請負業者が補修作業を行うこと。

■備品についての特記事項
・備品については全て撤去とする。

■アスベストについて
・別紙アスベスト含有建材一覧に従い、適切に撤去処理をすること。

■埋設配管等
・配管、ボックス等の切断面は錆止めすること。

■建具について
・内部、外部建具については解体建具表による。
・建具解体の際はサッシ共撤去とすること。

■ドレイン、縦樋について
・ドレイン、縦樋については全撤去とすること。

■教室内の家具について
・教室内の黒板、掲示板、教師用戸棚については全撤去とすること。

■既存耐震ブレースについて
・既存耐震ブレースは全て残置とする。

凡例

※青着色：撤去工事対象

- 鉄筋コンクリート壁撤去
- 間仕切り壁撤去
- CB壁撤去
- ALC壁撤去
- RC土間撤去
- RCスラブ撤去
- 溝はつり（はつり深さ50mm）
- アスファルト防水層、下地共撤去
- 仕上げ、サッシ、備品撤去

※特記なき場合、天井、柱、壁はスケルトンの状態にする。
※特記なき場合、モルタル仕上げは残置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は残置（ケレンしない）

床スラブ凡例

- RC土間
- 根太・大引き・束・基礎石部分

※新館の床スラブは全てRC土間

固定家具撤去凡例

記号	内容	寸法	箇所数
1	教師用戸棚(木製)	W1385×D500×H2130	17
2	曲面黒板	W3600×H1200	18
3	掲示板	W1385×H1200	18
4	背面掲示板	W1800×H1200	34
5	背面黒板	W1800×H1200	18
6	生徒用ロッカー(木製)	W5400×D400×H860	17
7	掃除用具入れ(木製)	W1200×D400×H1400	17
8	ロッカー4段16列(木製)	W4400×D300×H900	13
9	ロッカー4段13列(木製)	W3710×D300×H900	16
10	ロッカー4段8列(木製)	W1870×D300×H900	2
11	足洗い場1	W2100×D550×H300	2
12	手洗い場1	W3650×D550×H650	2
13	物入	W900×D650×H2000	2
14	足洗い場2	W870×D600×H900	3
15	手洗い場2	W2400×D520×H900	3
16	戸棚1	W3780×D400×H900	2
17	戸棚2	W1900×D400×H900	1
18	戸棚3	W2800×D400×H900	1

3階解体平面図

※設備配管工事に伴うスラブ解体、ハツリ範囲は設備図参照
解体、ハツリ後は新設RCスラブによる復旧を行うこと

| | | |

方位

東 / 北 / 南 / 西

特記事項

○解体寸法についての特記事項
・解体詳細寸法については現地確認による解体詳細図を作成し、監理者の承認を得て解体すること。

○屋内解体についての特記事項
・解体工事見積りの際は現地調査のこと。
・RC壁撤去については図示する。
・配管切断部は止め殺しとする。
・解体工事仕様書を遵守のこと。
・内装仕上げは全て撤去。
・既存スリーブは全て埋戻し、補修を行うこと。

○RC躯体についての特記事項
・コンクリート斫り部分については鉄筋の防錆処理を必ず行うこと。
・柱・梁・スラブに接する部分は際からカッターを両面から入れ、解体のこと。残りは手斫りとする。
・特記なき既存下地モルタルは全て存置。
・解体工事による躯体欠損については請負業者が補修作業を行うこと。

■備品についての特記事項
・備品については全て撤去とする。

■アスベストについて
・別紙アスベスト含有建材一覧に従い、適切に撤去処理をすること。

■埋設配管等
・配管、ボックス等の切断面は錆止めすること。

■建具について
・内部、外部建具については解体建具表による。
・建具解体の際はサッシ共撤去とすること。

■ドレイン、縦樋について
・ドレイン、縦樋については全撤去とすること。

■教室内の家具について
・教室内の黒板、掲示板、教師用戸棚については全撤去とすること。

■既存耐震ブレースについて
・既存耐震ブレースは全て残置とする。

凡例

※青着色：撤去工事対象

- 鉄筋コンクリート壁撤去
- 間仕切り壁撤去
- CB壁撤去
- ALC壁撤去
- RC土間撤去
- RCスラブ撤去
- 溝はつり（はつり深さ50mm）
- アスファルト防水層、下地共撤去
- 仕上げ、サッシ、備品撤去

※特記なき場合、天井、柱、壁はスケルトンの状態にする。
※特記なき場合、モルタル仕上げは残置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は残置（ケレンしない）

屋上仕上げ撤去凡例

- (S42)露出アスファルト防水層、砂付きルーフィング 撤去 (H20)改質アスファルト防水絶縁2層工法 撤去
- (S42)アスファルト防水層 撤去 シンダーコンクリート打t=50 撤去 (H20)改質アスファルト防水絶縁2層工法 撤去
- (S42)露出アスファルト防水層、砂付きルーフィング 撤去 (H20)改質アスファルト防水絶縁2層工法 撤去
- (H20)ウレタン塗膜防水シート複合工法 撤去
- (H20)既設目地部樹脂モルタル詰め 撤去
- (H20)ウレタン塗膜防水メッシュ補強工法 撤去

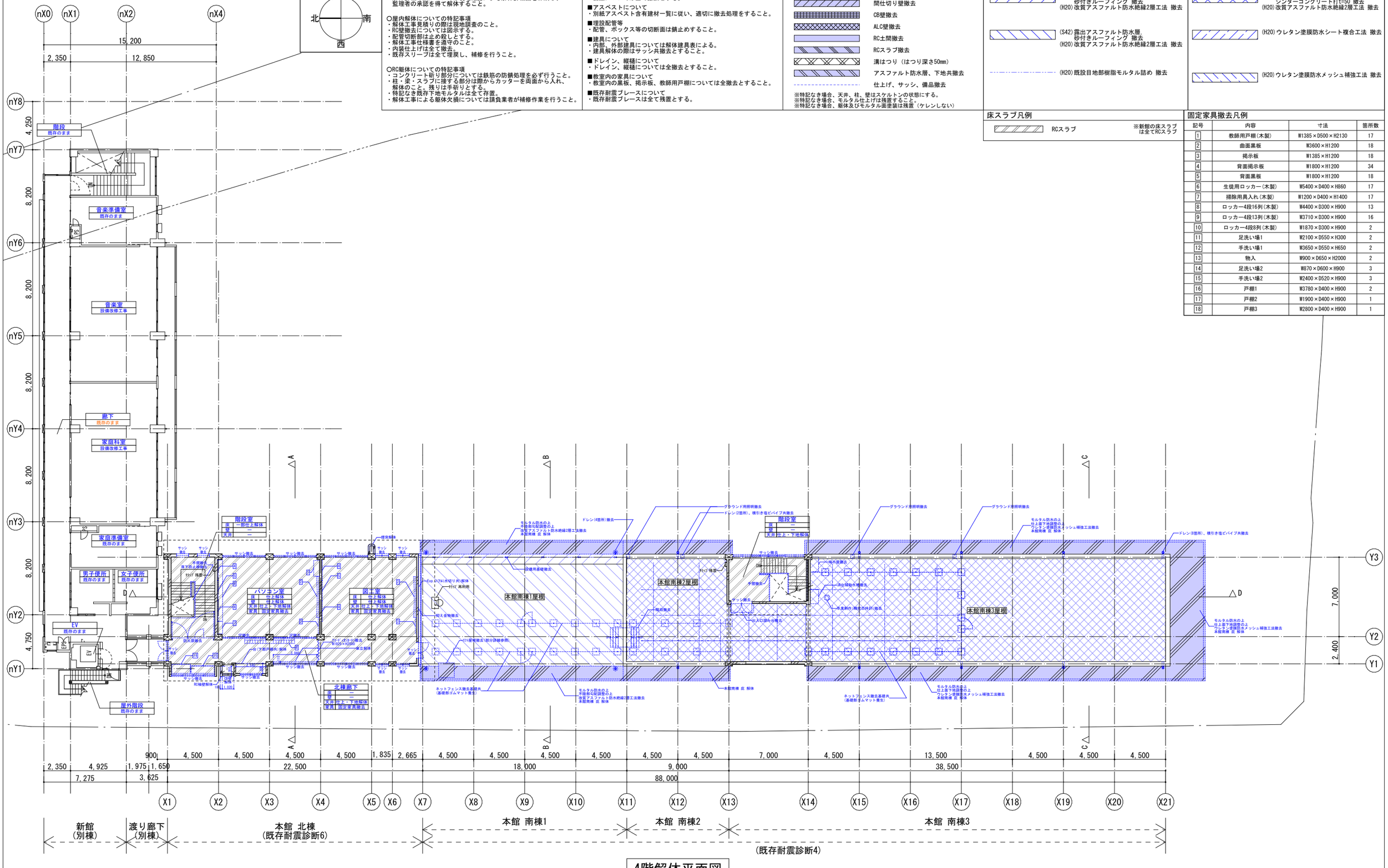
床スラブ凡例

- RCスラブ

※新館の床スラブは全てRCスラブ

固定家具撤去凡例

記号	内容	寸法	箇所数
1	教師用戸棚(木製)	W1385×D500×H2130	17
2	曲面黒板	W3600×H1200	18
3	掲示板	W1385×H1200	18
4	背面掲示板	W1800×H1200	34
5	背面黒板	W1800×H1200	18
6	生徒用ロッカー(木製)	W5400×D400×H860	17
7	掃除用具入れ(木製)	W1200×D400×H1400	17
8	ロッカー4段16列(木製)	W4400×D300×H900	13
9	ロッカー4段13列(木製)	W3710×D300×H900	16
10	ロッカー4段8列(木製)	W1870×D300×H900	2
11	足洗い場1	W2100×D550×H300	2
12	手洗い場1	W3650×D550×H650	2
13	物入	W900×D650×H2000	2
14	足洗い場2	W870×D600×H900	3
15	手洗い場2	W2400×D520×H900	3
16	戸棚1	W3780×D400×H900	2
17	戸棚2	W1900×D400×H900	1
18	戸棚3	W2800×D400×H900	1



4階解体平面図

※設備配管工事に伴うスラブ解体、ハツリ範囲は設備図参照
解体、ハツリ後は新設RCスラブによる復旧を行うこと

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K 013
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体平面図4	縮尺	(A1) 1:300 (A3)
	月日		月日										

方位

東 / 北 / 南 / 西

特記事項

○解体寸法についての特記事項
・解体詳細寸法については現地確認による解体詳細図を作成し、監理者の承認を得て解体すること。

○屋内解体についての特記事項
・解体工事見積りの際は現地調査のこと。
・RC壁撤去については図示する。
・配管切断部は止め栓しとする。
・解体工事仕様書を遵守のこと。
・内装仕上げは全て撤去。
・既存スリーブは全て埋戻し、補修を行うこと。

○RC躯体についての特記事項
・コンクリート斫り部分については鉄筋の防錆処理を必ず行うこと。
・柱・梁・スラブに接する部分は際からカッターを両面から入れ、解体のこと。残りは手斫りとする。
・特記なき既存下地モルタルは全て存置。
・解体工事による躯体欠損については請負業者が補修作業を行うこと。

■備品についての特記事項
・備品については全て撤去とする。

■アスベストについて
・別紙アスベスト含有建材一覧に従い、適切に撤去処理をすること。

■埋設配管等
・配管、ボックス等の切断面は錆止めすること。

■建具について
・内部、外部建具については解体建具表による。
・建具解体の際はサッシ共撤去とすること。

■ドレイン、縦樋について
・ドレイン、縦樋については全撤去とすること。

■教室内の家具について
・教室内の黒板、掲示板、教師用戸棚については全撤去とすること。

■既存耐震ブレースについて
・既存耐震ブレースは全て残置とする。

凡例

※青着色：撤去工事対象

- 鉄筋コンクリート壁撤去
- 間仕切り壁撤去
- CB壁撤去
- ALC壁撤去
- RC土間撤去
- RCスラブ撤去
- 溝はつり（はつり深さ50mm）
- アスファルト防水層、下地共撤去
- 仕上げ、サッシ、備品撤去

※特記なき場合、天井、柱、壁はスケルトンの状態にする。
※特記なき場合、モルタル仕上げは残置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は残置（ケレンしない）

屋上仕上げ撤去凡例

- (S42)露出アスファルト防水層、砂付きルーフィング 撤去 (H20)改質アスファルト防水絶縁2層工法 撤去
- (S42)露出アスファルト防水層、砂付きルーフィング 撤去 (H20)改質アスファルト防水絶縁2層工法 撤去
- (H20)既設目地部樹脂モルタル詰め 撤去
- (S42)アスファルト防水層 撤去 シンダーコンクリート打t=50 撤去 (H20)改質アスファルト防水絶縁2層工法 撤去
- (H20)ウレタン塗膜防水シート複合工法 撤去
- (H20)ウレタン塗膜防水メッシュ補強工法 撤去

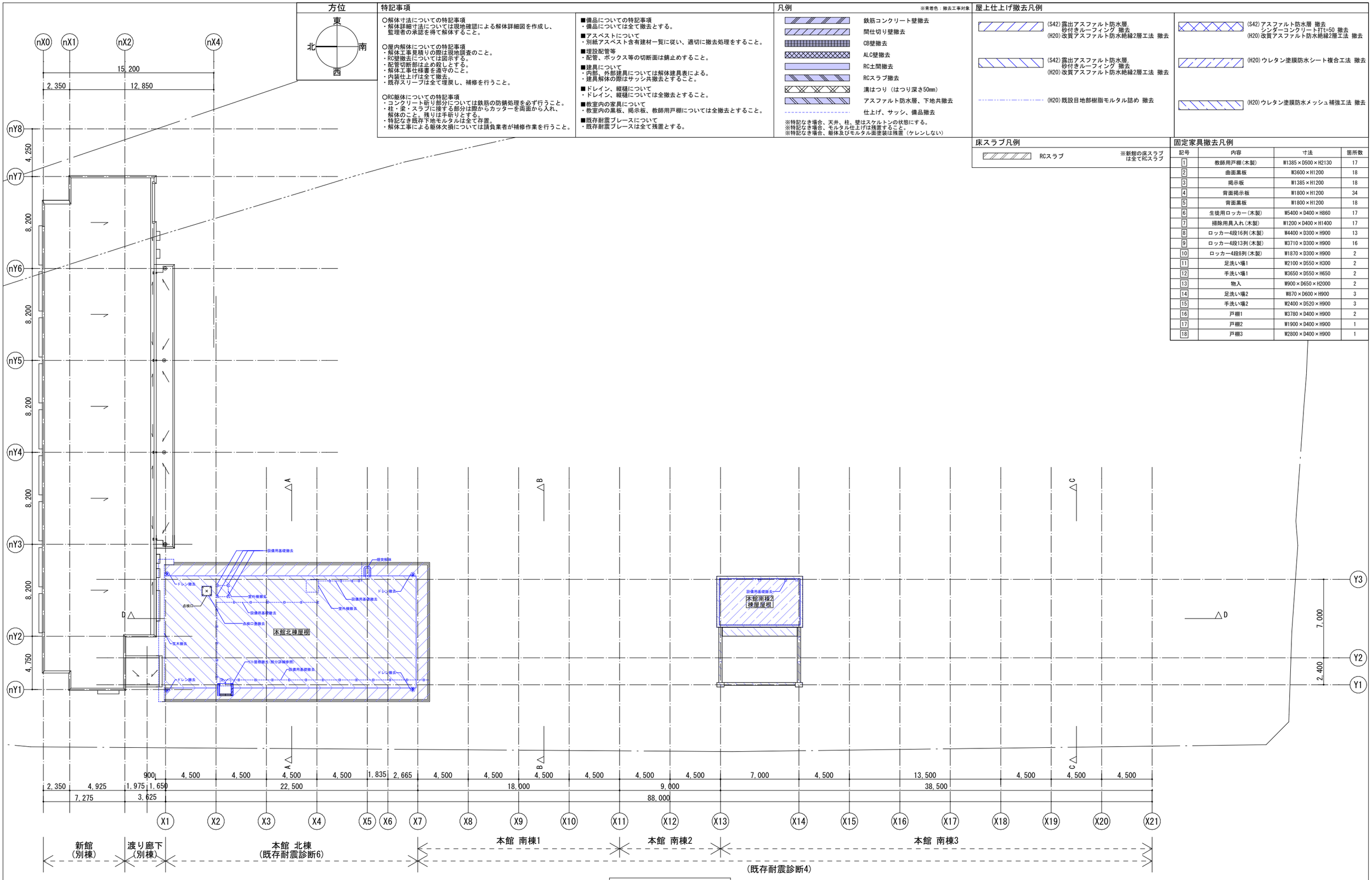
床スラブ凡例

- RCスラブ

※新館の床スラブは全てRCスラブ

固定家具撤去凡例

記号	内容	寸法	箇所数
1	教師用戸棚(木製)	W1385×D500×H2130	17
2	曲面黒板	W3600×H1200	18
3	掲示板	W1385×H1200	18
4	背面掲示板	W1800×H1200	34
5	背面黒板	W1800×H1200	18
6	生徒用ロッカー(木製)	W5400×D400×H860	17
7	掃除用具入れ(木製)	W1200×D400×H1400	17
8	ロッカー4段16列(木製)	W4400×D300×H900	13
9	ロッカー4段13列(木製)	W3710×D300×H900	16
10	ロッカー4段8列(木製)	W1870×D300×H900	2
11	足洗い場1	W2100×D550×H300	2
12	手洗い場1	W3650×D550×H650	2
13	物入	W900×D650×H2000	2
14	足洗い場2	W870×D600×H900	3
15	手洗い場2	W2400×D520×H900	3
16	戸棚1	W3780×D400×H900	2
17	戸棚2	W1900×D400×H900	1
18	戸棚3	W2800×D400×H900	1



屋上階解体平面図

※設備配管工事に伴うスラブ解体、ハツリ範囲は設備図参照
解体、ハツリ後は新設RCスラブによる復旧を行うこと

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	K	014
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体平面図5	縮尺	(A1) 1:300(A3)	
	月日		月日												

特記事項

○解体寸法についての特記事項
・解体詳細寸法については現地確認による解体詳細図を作成し、監理者の承認を得て解体すること。

○屋内解体についての特記事項
・解体工事見積りの際は現地調査のこと。
・RC壁撤去については図示する。
・配管切断部は止め殺しとする。
・解体工事仕様書を遵守のこと。
・内装仕上げは全て撤去。
・既存スリーブは全て埋戻し、補修を行うこと。

○RC躯体についての特記事項
・コンクリート斫り部分については鉄筋の防錆処理を必ず行うこと。
・柱・梁・スラブに接する部分は際からカッターを両面から入れ、解体のこと。残りは手斫りとする。
・特記なき既存下地モルタルは全て存置。
・解体工事による躯体欠損については請負業者が補修作業を行うこと。

■備品についての特記事項
・備品については全て撤去とする。

■アスベストについて
・別紙アスベスト含有建材一覧に従い、適切に撤去処理をすること。

■埋設配管等
・配管、ボックス等の切断面は錆止めすること。

■建具について
・内部、外部建具については解体建具表による。
・建具解体の際はサッシ共撤去とすること。

■ドレイン、縦樋について
・ドレイン、縦樋については全撤去とすること。

■教室内の家具について
・教室内の黒板、掲示板、教師用戸棚については全撤去とすること。

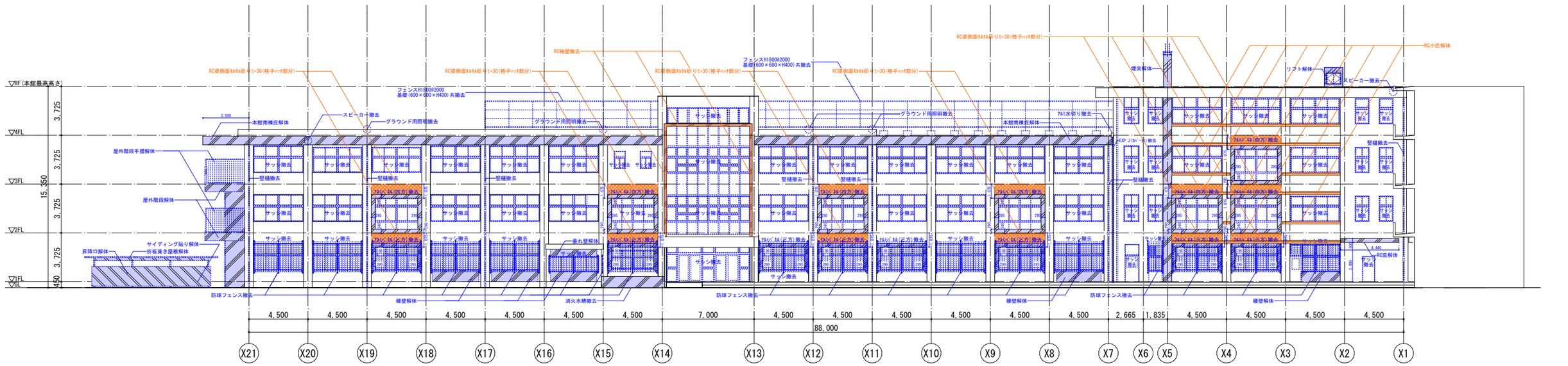
■既存耐震ブレースについて
・既存耐震ブレースは全て残置とする。

凡例

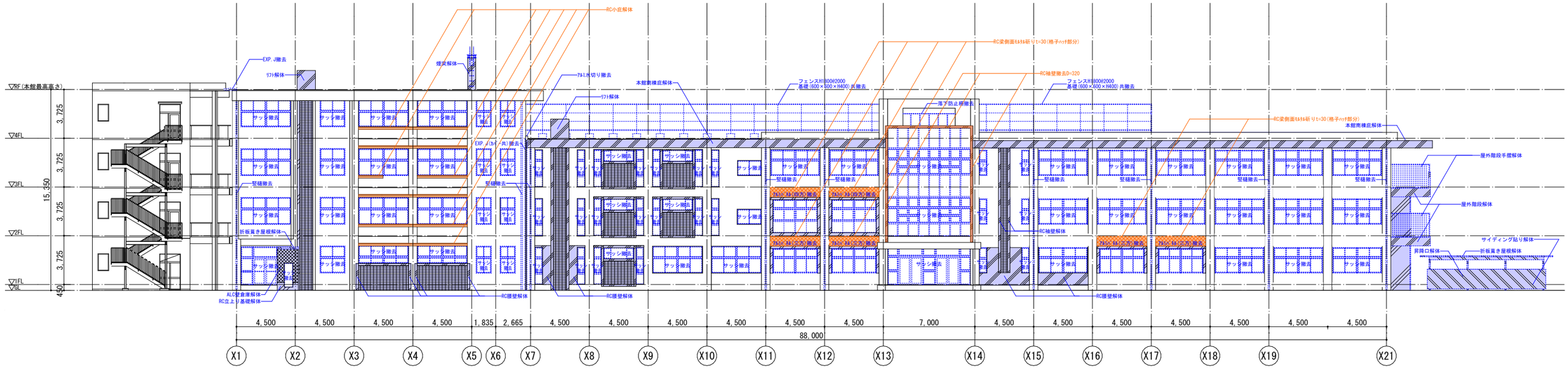
※青着色：撤去工事対象

- 鉄筋コンクリート壁撤去
- 間仕切り壁撤去
- CB壁撤去
- ALC壁撤去
- RC土間撤去
- スラブ撤去
- 鋼材撤去
- アルミパネル撤去
- 仕上げ、サッシ、備品撤去

※特記なき場合、天井、柱、壁はスケルトンの状態にする。
※特記なき場合、モルタル仕上げは残置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は残置（ケレンしない）



東側立面図



西側立面図

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K　015
	月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体立面図1（東側・西側）	縮尺	(A1) 1:300 (A3)
	月日		月日										

特記事項

○解体寸法についての特記事項
・解体詳細寸法については現地確認による解体詳細図を作成し、監理者の承認を得て解体すること。

○屋内解体についての特記事項
・解体工事見積りの際は現地調査のこと。
・RC壁撤去については図示する。
・配管切断部は止め殺しとする。
・解体工事仕様書を遵守のこと。
・内装仕上げは全て撤去。
・既存スリーブは全て埋戻し、補修を行うこと。

○RC躯体についての特記事項
・コンクリート斫り部分については鉄筋の防錆処理を必ず行うこと。
・柱・梁・スラブに接する部分は際からカッターを両面から入れ、解体のこと。残りは手斫りとする。
・特記なき既存下地モルタルは全て存置。
・解体工事による躯体欠損については請負業者が補修作業を行うこと。

■備品についての特記事項
・備品については全て撤去とする。

■アスベストについて
・別紙アスベスト含有建材一覧に従い、適切に撤去処理をすること。

■埋設配管等
・配管、ボックス等の切断面は錆止めすること。

■建具について
・内部、外部建具については解体建具表による。
・建具解体の際はサッシ共撤去とすること。

■ドレイン、縦樋について
・ドレイン、縦樋については全撤去とすること。

■教室内の家具について
・教室内の黒板、掲示板、教師用戸棚については全撤去とすること。

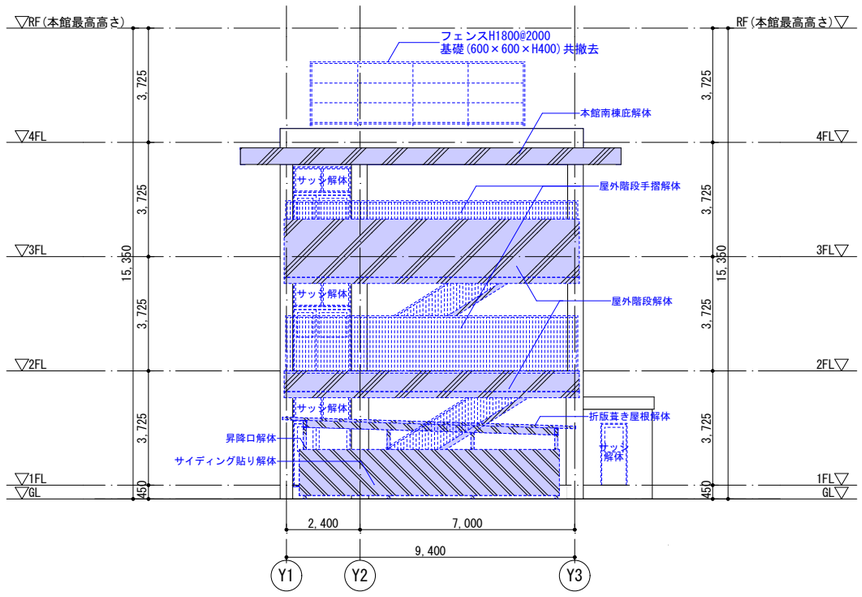
■既存耐震ブレースについて
・既存耐震ブレースは全て残置とする。

凡例

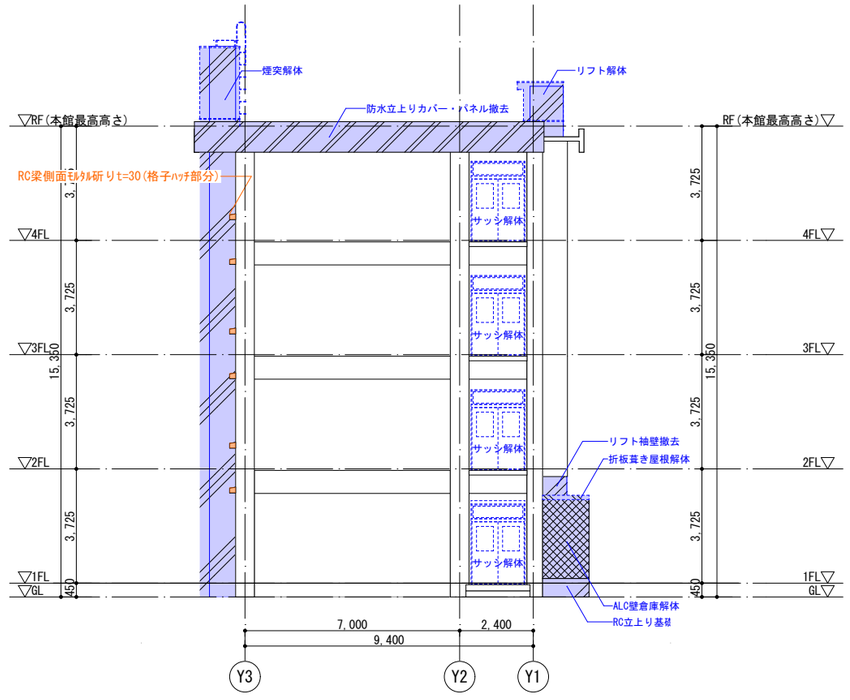
※青着色：撤去工事対象

- 鉄筋コンクリート壁撤去
- 間仕切り壁撤去
- CB壁撤去
- ALC壁撤去
- RC土間撤去
- スラブ撤去
- 鋼材撤去
- アルミパネル撤去
- 仕上げ、サッシ、備品撤去

※特記なき場合、天井、柱、壁はスケルトンの状態にする。
※特記なき場合、モルタル仕上げは残置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は残置（ケレンしない）



南側立面図



北側立面図

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	016
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体立面図2（北側・南側）	縮尺	(A1) 1:200 (A3)	
	月日		月日												

特記事項

○解体寸法についての特記事項
・解体詳細寸法については現地確認による解体詳細図を作成し、監理者の承認を得て解体すること。

○屋内解体についての特記事項
・解体工事見積りの際は現地調査のこと。
・RC壁撤去については図示する。
・配管切断部は止め殺しとする。
・解体工事仕様書を遵守のこと。
・内装仕上げは全て撤去。
・既存スリーブは全て埋戻し、補修を行うこと。

○RC躯体についての特記事項
・コンクリート斫り部分については鉄筋の防錆処理を必ず行うこと。
・柱・梁・スラブに接する部分は際からカッターを両面から入れ、解体のこと。残りは手斫りとする。
・特記なき既存下地モルタルは全て存置。
・解体工事による躯体欠損については請負業者が補修作業を行うこと。

■備品についての特記事項
・備品については全て撤去とする。

■アスベストについて
・別紙アスベスト含有建材一覧に従い、適切に撤去処理をすること。

■埋設配管等
・配管、ボックス等の切断面は錆止めすること。

■建具について
・内部、外部建具については解体建具表による。
・建具解体の際はサッシ共撤去とすること。

■ドレイン、縦樋について
・ドレイン、縦樋については全撤去とすること。

■教室内の家具について
・教室内の黒板、掲示板、教師用戸棚については全撤去とすること。

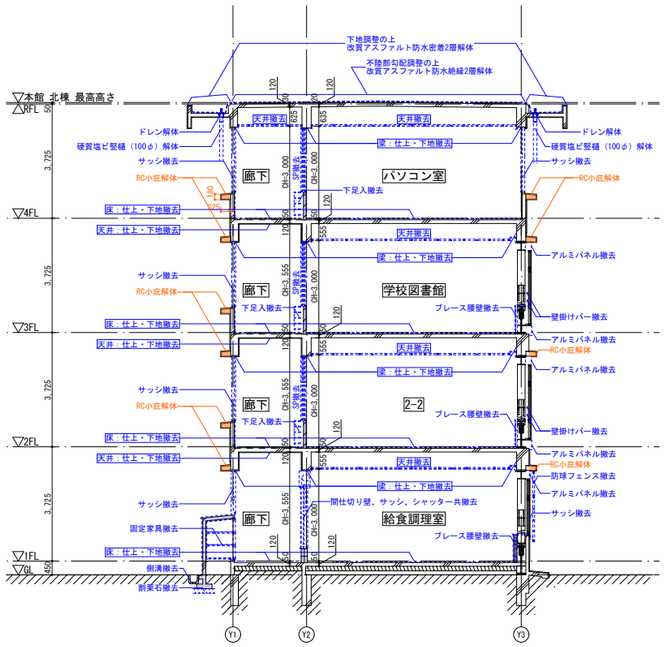
■既存耐震ブレースについて
・既存耐震ブレースは全て残置とする。

凡例

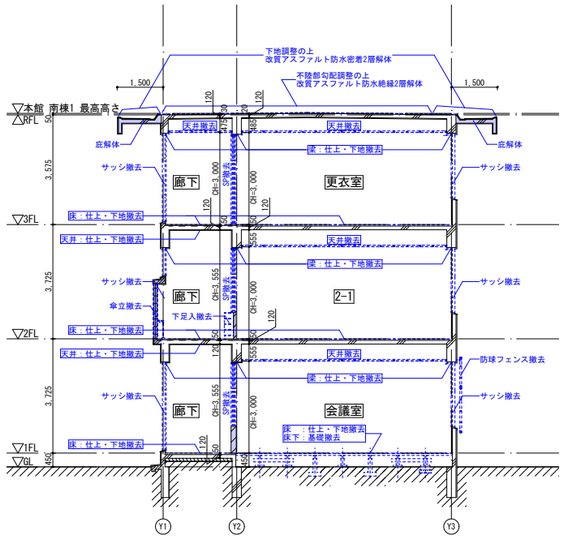
※青着色：撤去工事対象

- 鉄筋コンクリート壁撤去
- 間仕切り壁撤去
- CB壁撤去
- ALC壁撤去
- RC土間撤去
- スラブ撤去
- 鋼材撤去
- アルミパネル撤去
- 仕上げ、サッシ、備品撤去

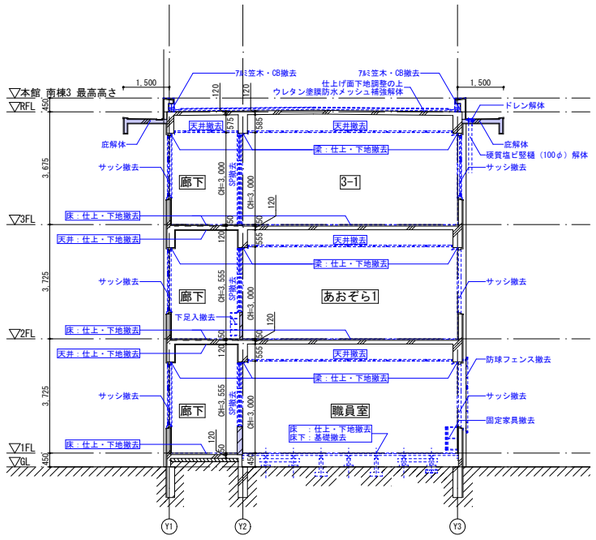
※特記なき場合、天井、柱、壁はスケルトンの状態にする。
※特記なき場合、モルタル仕上げは残置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は残置（ケレンしない）



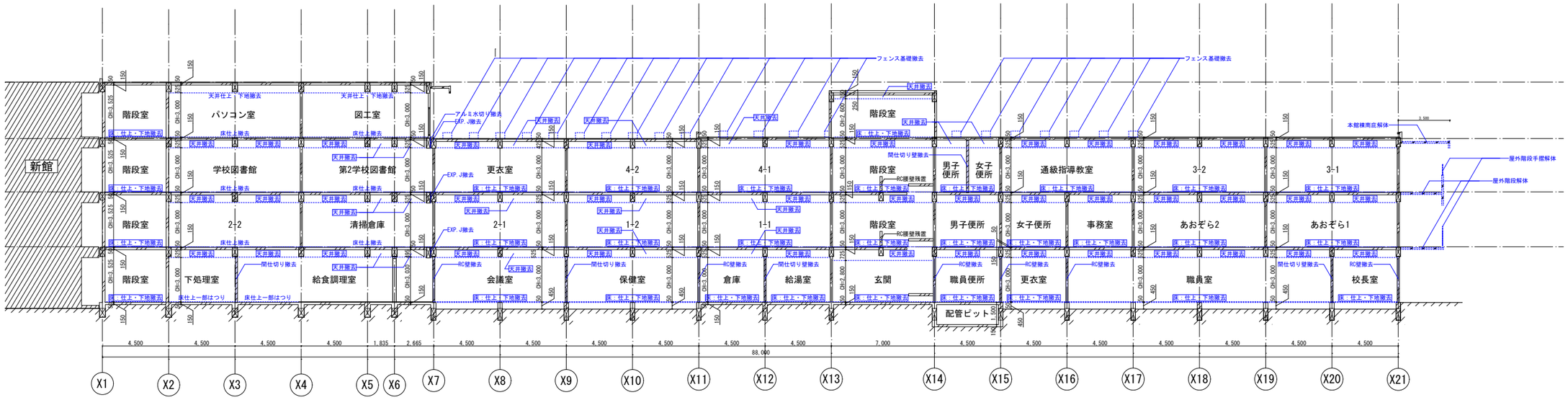
A-A 断面図　S = 1 : 200



B-B 断面図　S = 1 : 200



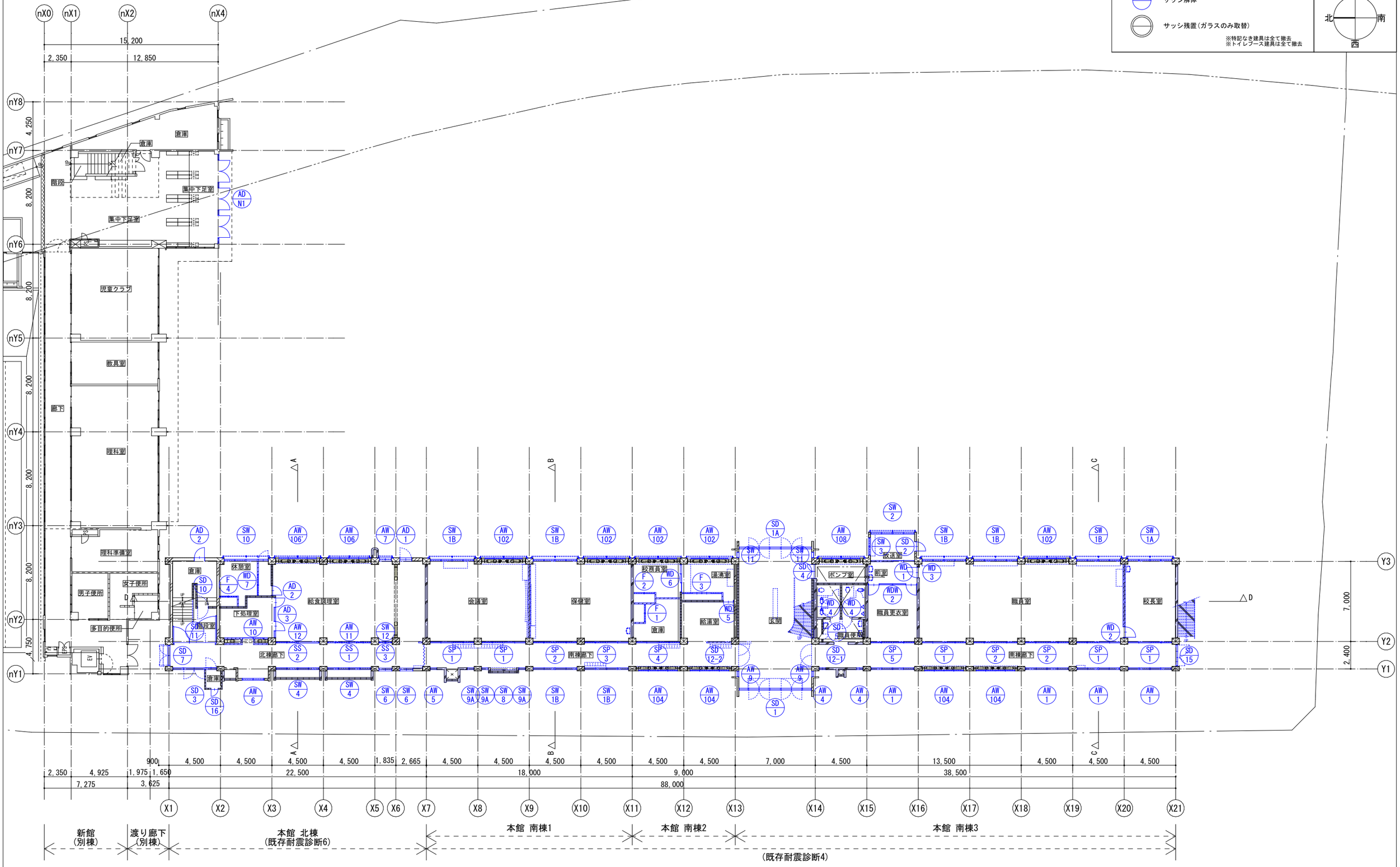
C-C 断面図　S = 1 : 200



D-D 断面図　S = 1 : 300

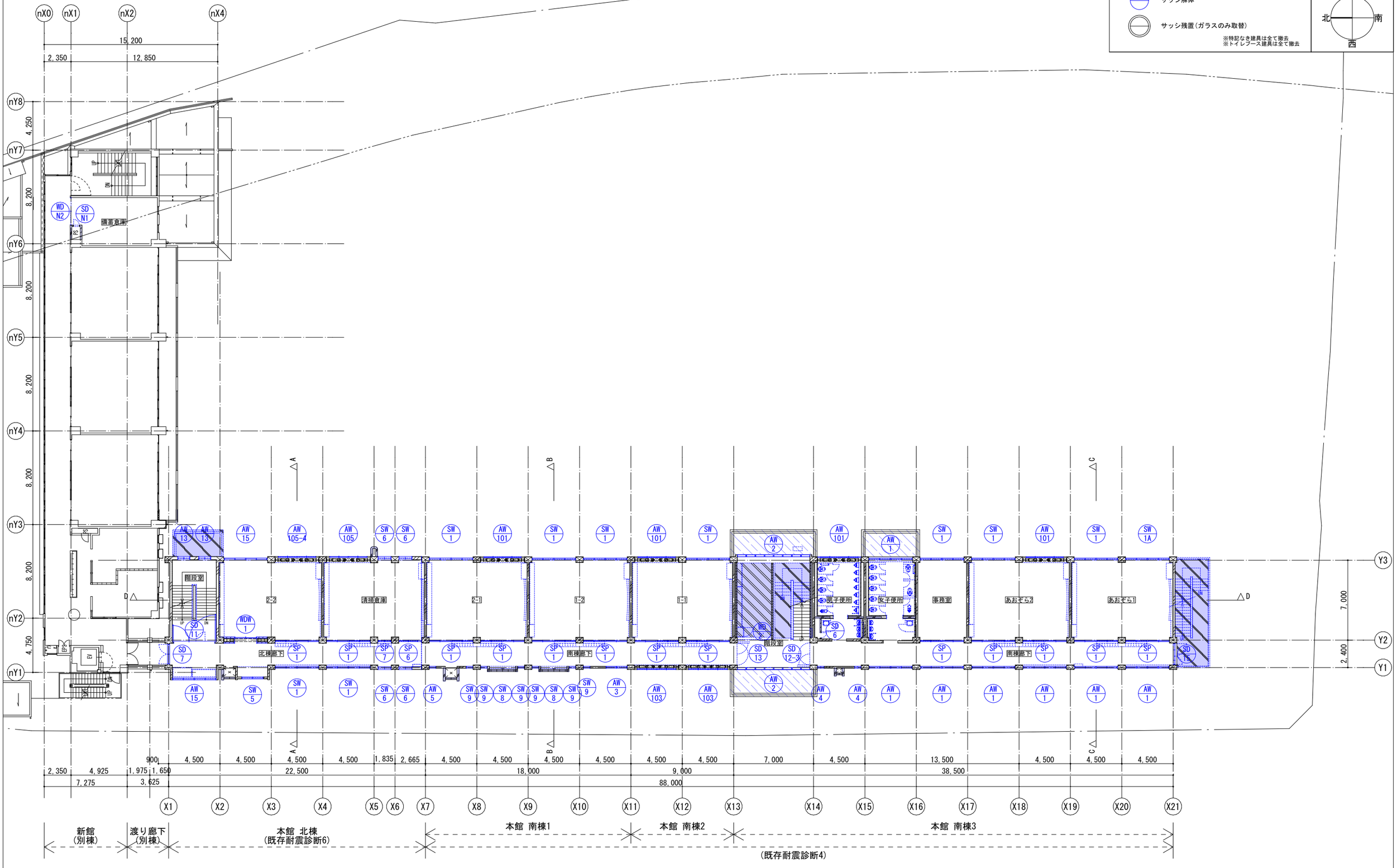
備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K　017
	月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体断面図1 (A-A, B-B, C-C, D-D)	縮尺	(A1) 1:200 1:300(A3)
	月日		月日										

解体建具キープラン凡例	方位
サッシ解体	東 / 北 / 南 / 西
サッシ残置（ガラスのみ取替）	
※特記なき建具は全て撤去 ※トイレブース建具は全て撤去	



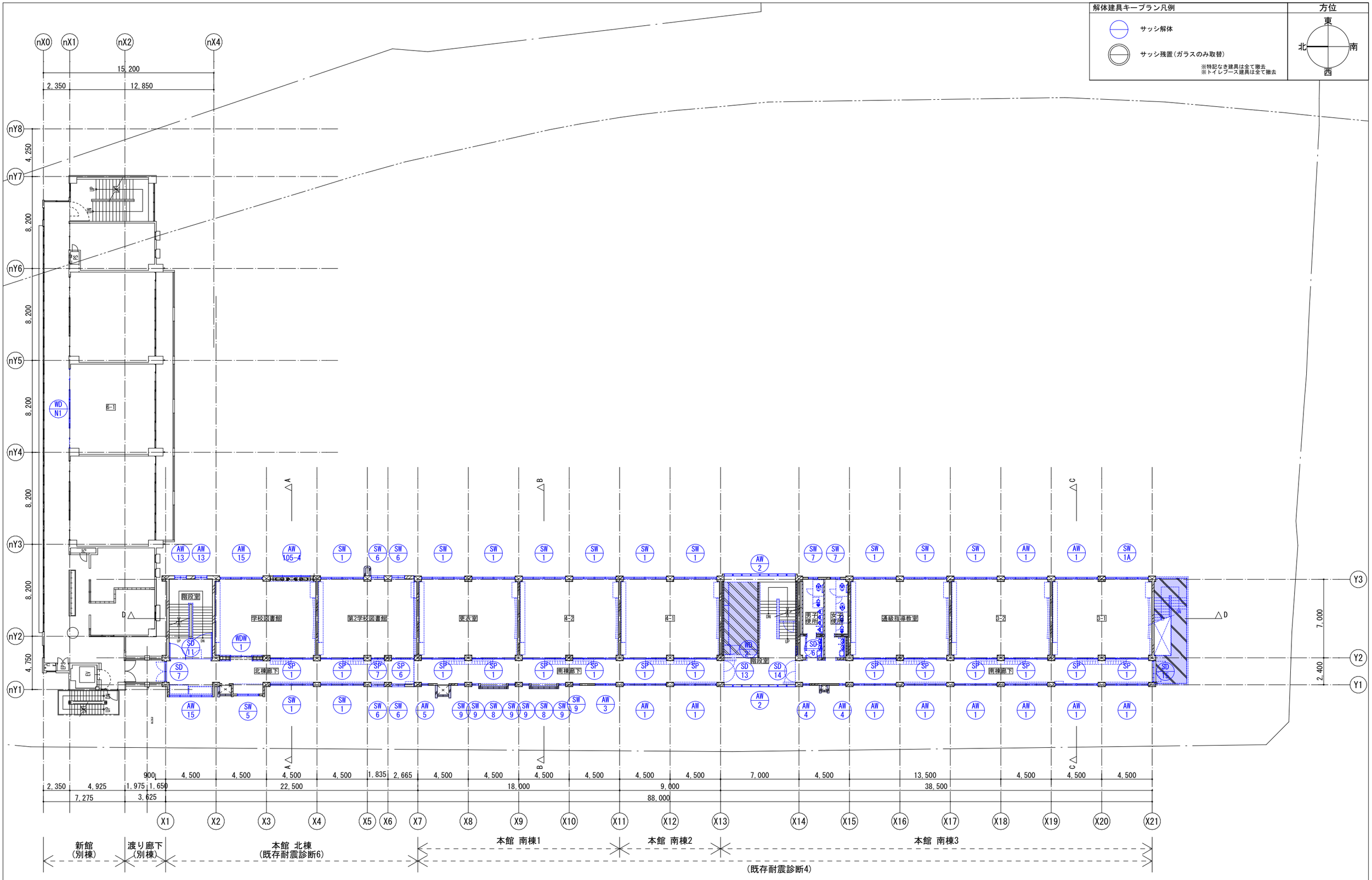
備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	018
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体建具キープラン1	縮尺	(A1) 1:300 (A3)	
	月日		月日												

解体建具キープラン凡例	方位
サッシ解体	東 / 北 / 南 / 西
サッシ残置（ガラスのみ取替）	
※特記なき建具は全て撤去 ※トイレブース建具は全て撤去	



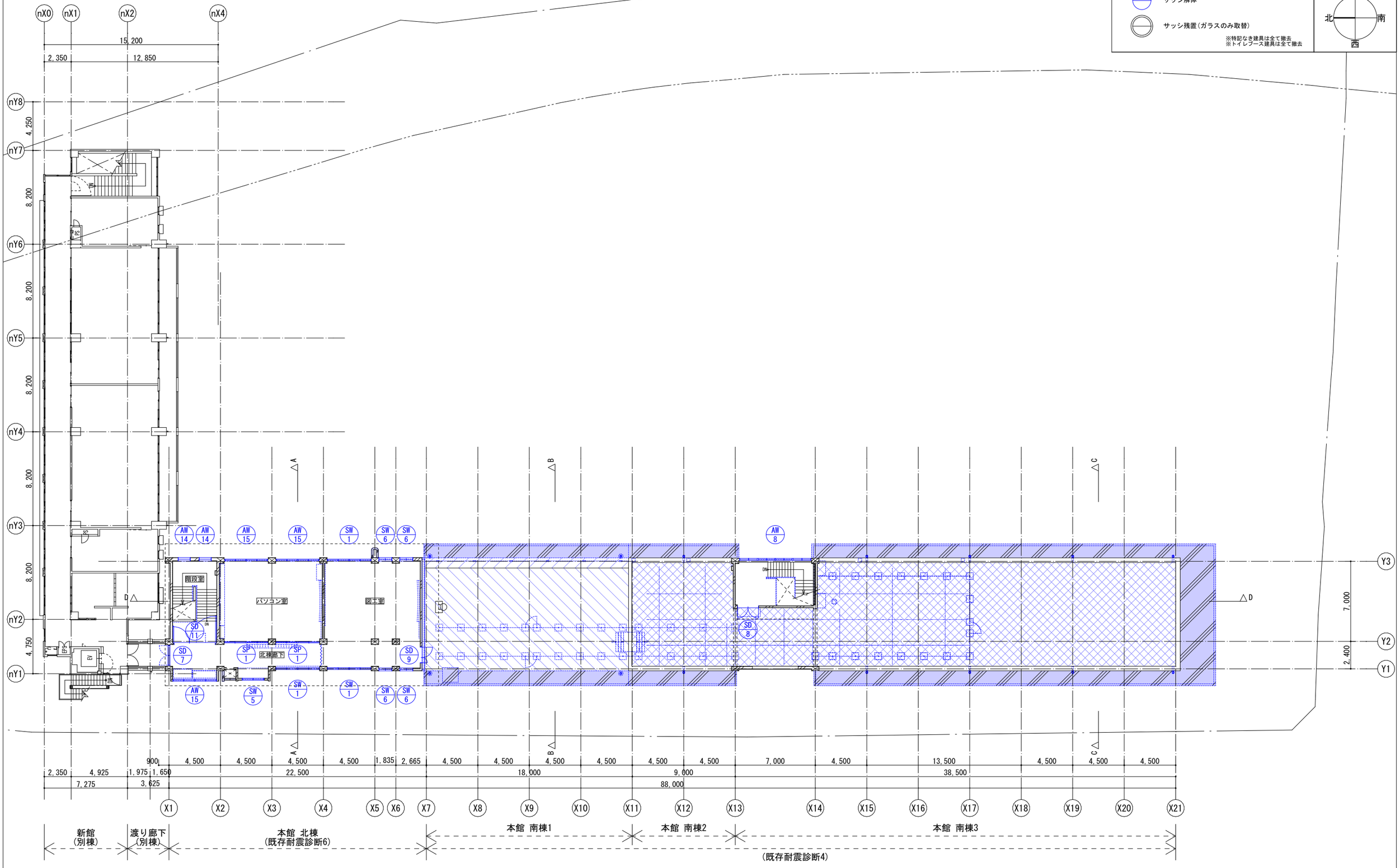
備考															
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K 019
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体建具キープラン2	縮尺	(A1) 1:300(A3)
	月日		月日										

解体建具キープラン凡例	方位
サッシ解体 サッシ残置（ガラスのみ取替） ※特記なき建具は全て撤去 ※トイレブース建具は全て撤去	東 北 南 西

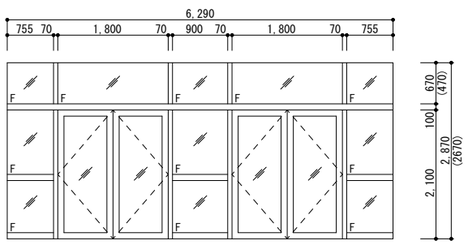
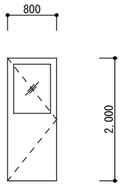
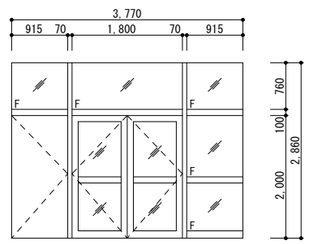
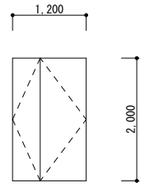
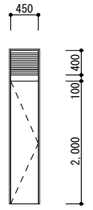


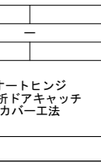
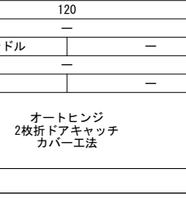
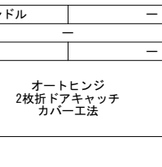
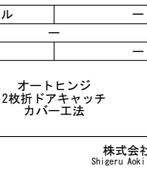
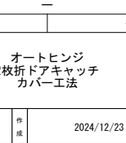
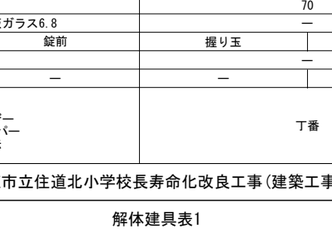
備考																		
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	020
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体建具キープラン3	縮尺	(A1) 1:300(A3)	
	月日		月日															

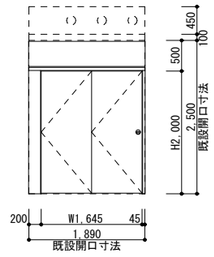
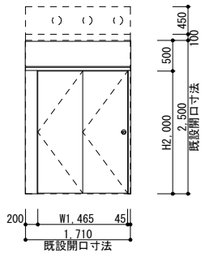
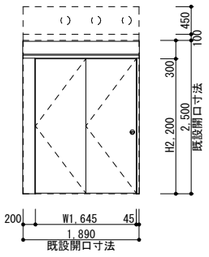
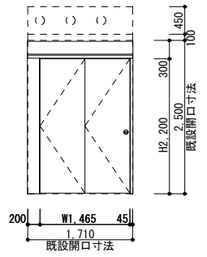
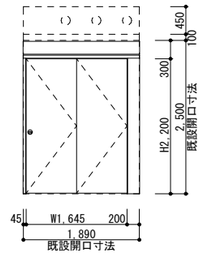
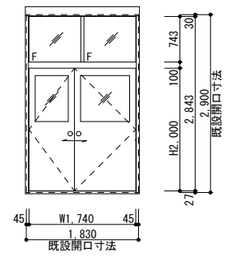
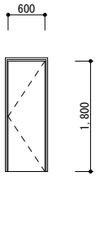
解体建具キープラン凡例	方位
サッシ解体 サッシ残置（ガラスのみ取替） ※特記なき建具は全て撤去 ※トイレブース建具は全て撤去	東 北 南 西



備考																	
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	021
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体建具キープラン4	縮尺	(A1) 1:300(A3)	
	月日		月日														

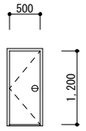
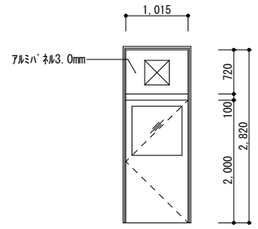
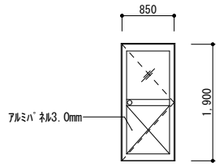
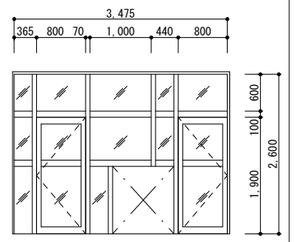
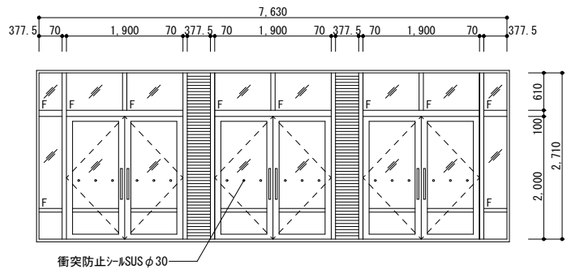
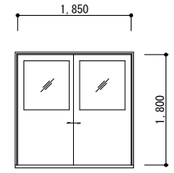
記号 取付場所 ／ 箇所数	SD 1	SD 1A 玄関	1	1	SD 2	放送室	1	SD 3	北棟廊下1F	1	SD 4	玄関(ポンプ室)	1	SD 5	職員便所	1
形状・寸法	 ( )内寸法は SD 1A を示す。													
形式	両開き扉+両袖欄間Fix窓				片開き扉			片開き扉付両開き扉+両袖欄間Fix窓			親子開き扉			片開き戸+欄間ガラリ		
材料・仕上げ	スチール・SOP				スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・OP			スチール・OP		
見込	100				70			70			—			—		
ガラス	網入透明ガラス6.8				網入透明ガラス6.8			両開き扉/網入透明ガラス6.8	FIX/網入型板ガラス6.8		—			—		
取手 鍵	押棒	シリンダー本施錠			握り玉	シリンダー錠		押棒	シリンダー本施錠		握り玉	シリンダー錠		ケースハンドル	—	
防火	—				—			—			—			—		
網戸 電気錠	—	—			—	—		—	—		—	—		—	—	
金物 備考	フロアヒンジ フランス落し				丁番 ドアチェック			フロアヒンジ フランス落し			—			丁番 付属金物一式		

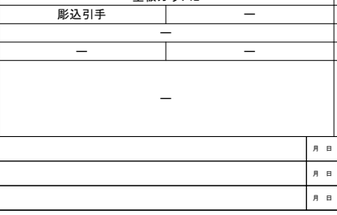
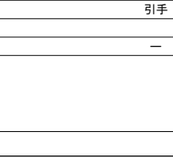
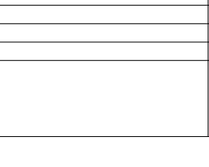
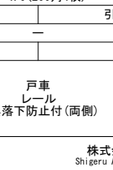
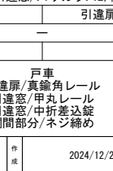
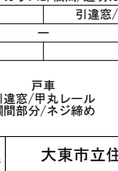
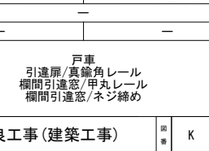
記号 取付場所 ／ 箇所数	SD 6	児童用トイレ2F,3F	2	SD 7	北棟渡り廊下1F,2F,3F,4F	4	SD 8	本館南棟棟屋屋上出入口	1	SD 9	本館北棟屋上出入口	1	SD 10	倉庫(北棟階段下)	1	SD 11	北棟階段室1F,2F,3F,4F	4
形状・寸法																	
形式	片開き戸+欄間ガラリ			両開き扉+Fix窓			両開き扉			親子開き扉			片開き扉			煙感知器連動両開き戸 常開・潜り戸付(特定防火設備)		
材料・仕上げ	焼付鋼板			スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP		
見込	70			50			100			100			100			120		
ガラス	—			耐熱ガラス8			網入型板ガラス6.8			網入透明ガラス6.8			網入型板ガラス6.8			—		
取手 鍵	ケースハンドル	—		引手	シリンダー本締錠		握り玉	レバーハンドル錠		握り玉	パニックオープン錠(屋内側)		握り玉	シリンダー錠		ケースハンドル	—	
防火	—			—			—			—			—			—		
網戸 電気錠	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—	
金物 備考	丁番 付属金物一式			丁番			丁番 ドアチェック アームストッパー 室内サムターンに誤操作防止非常時開樹脂カバー付			丁番 ドアチェック アームストッパー アンチパニック付レバーハンドル自動施錠錠			丁番 ドアーチェック 内部開き網戸ステンレスネット付			オートヒンジ カバー工法		

記号 取付場所 ／ 箇所数	SD 12-1	南棟廊下1F	1	SD 12-2	南棟廊下1F	1	SD 12-3	南棟廊下2F	1	SD 13	南棟廊下2F,3F	2	SD 14	南棟廊下3F	1	SD 15	南棟廊下1F,2F,3F	3	SD 16	北棟西側倉庫	1
形状・寸法																				
形式	煙感知器連動2枚折戸 常開(特定防火設備)			煙感知器連動2枚折戸 常開(特定防火設備)			煙感知器連動2枚折戸 常開(特定防火設備)			煙感知器連動2枚折戸 常開(特定防火設備)			煙感知器連動2枚折戸 常開(特定防火設備)			親子開き戸+FIX(防火設備)			片開き扉	
材料・仕上げ	スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP	
見込	100			120			100			100			100			100			70	
ガラス	—			—			—			—			—			扉部,FIX部/網入型板ガラス6.8			—	
取手 鍵	ケースハンドル	—		ケースハンドル	—		ケースハンドル	—		ケースハンドル	—		ケースハンドル	—		握り玉	錠前		握り玉	シリンダー錠
防火	—			—			—			—			—			—			—	
網戸 電気錠	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—
金物 備考	オートヒンジ 2枚折ドアキャッチ カバー工法			オートヒンジ 2枚折ドアキャッチ カバー工法			オートヒンジ 2枚折ドアキャッチ カバー工法			オートヒンジ 2枚折ドアキャッチ カバー工法			オートヒンジ 2枚折ドアキャッチ カバー工法			丁番 ドアクローザー アームストッパー カバー工法			丁番	

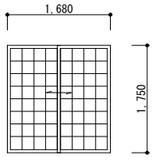
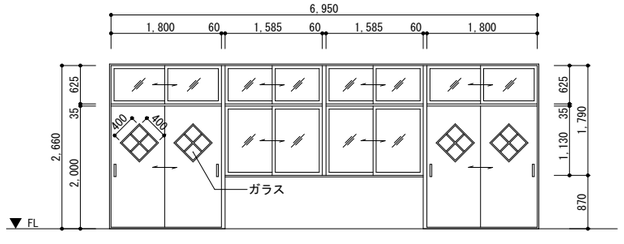
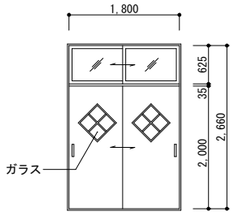
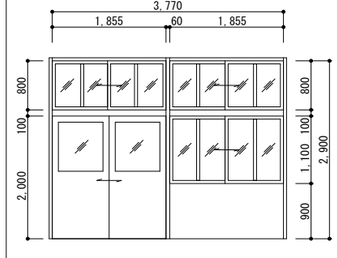
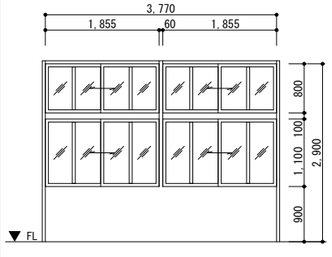
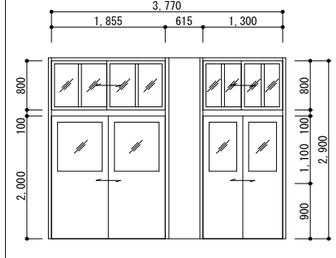
備考	月日		月日								
	月日		月日								
	月日		月日								

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 K 022
1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体建具表1	縮尺 (A1) 1:100 (A3)

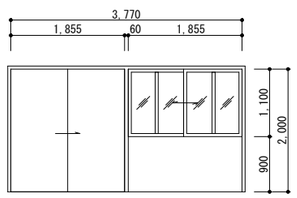
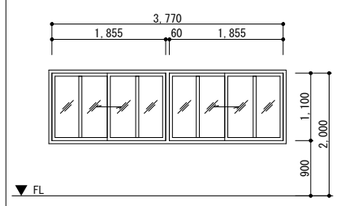
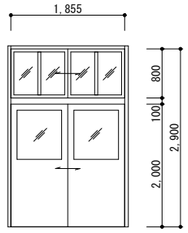
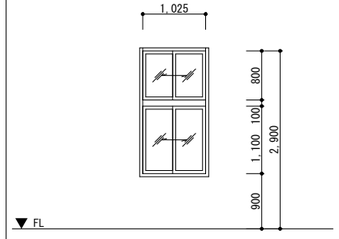
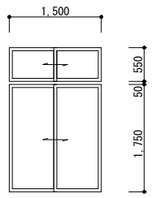
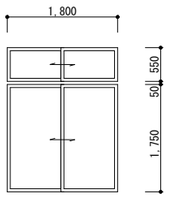
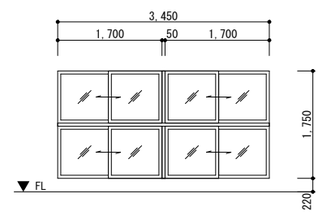
記号 取付場所 ／ 箇所数	SD N1	新館 :資料室2F	1	AD 1	給食調理室	1	AD 2	倉庫(北棟階段下)/下処理室	2	AD 3	下処理室	1	AD N1	新館 :集中下足室	1	WDW 1	普通教室2-2,学校図書館	2
形状・寸法																	
形式	片開き片面フラッシュ扉			片開き扉+上部換気扇			片開き扉			両袖片開き扉+Fix窓			上部Fix窓付両開き窓			木製引違扉		
材料・仕上げ	スチール・SOP			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			シナベニヤ・EP-G		
見込	60			70			70			70			70			扉見込み36		
ガラス	―			網入型板ガラス6.8			網入透明ガラス6.8			透明ガラス6.8			TP-4.0			透明ガラス3		
取手 ／ 鍵	ケースハンドル	シリンダー本締錠		握り玉	シリンダー錠		握り玉	シリンダー錠		押し棒	―		押し棒	シリンダー本締錠		彫込み引手	差込栓錠	
防火	―			―			―			―			―			―		
網戸 ／ 電気錠	―	―		―	―		―	―		―	―		―	―		―	―	
金物 備考	丁番			丁番 ドアチェック			丁番 ドアーチェック 内部開き網戸ステンレスネット付			丁番 ドアチェック 付属金物一式			オートヒンジ フランス落とし 衝突防止シール			戸車 レール 額縁 ： 30×45 下枠 ： 45×145 三方枠 ： 30×435		

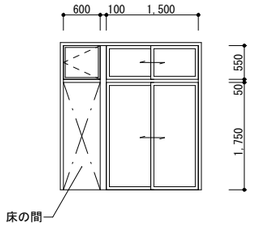
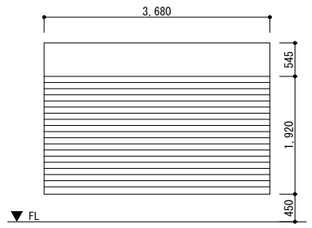
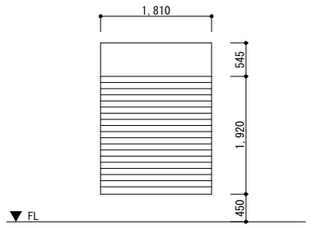
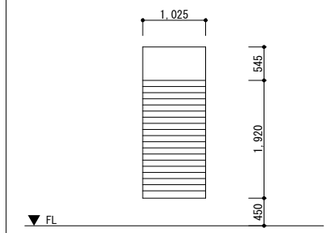
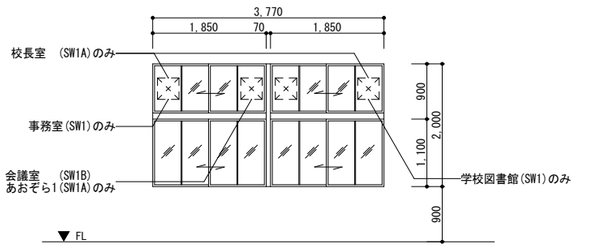
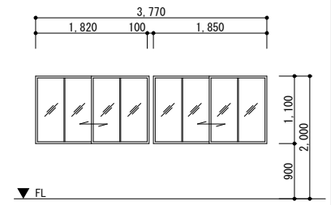
記号 取付場所 ／ 箇所数	WDW 2	職員更衣室	1	WD 1	放送室	1	WD 2	WD 2'	校長室	1	2	WD 3	職員更衣室前室	1	WD 4	職員便所(男子・女子)	2	WD 5	湯沸室	1	WD 6	校務員室	1
形状・寸法																		
形式	両脇片開き扉+中央Fix窓			引違腰高フラッシュ戸			片開きフラッシュ扉			片開きフラッシュ扉			片開きフラッシュ扉			片開きフラッシュ扉			3枚引き戸 ガラス障子		
材料・仕上げ	木品ベニヤ			木品ベニヤ			木品ベニヤ			木品ベニヤ			耐水ベニヤ			木品ベニヤ			木製		
見込	36			36			36			36			36			36			36		
ガラス	型板ガラス4			スリガラス2			―			型板ガラス4			型板ガラス4			スリガラス2			スリガラス2		
取手 ／ 鍵	握り玉	―		彫込引手	差込栓錠		WD2/握り玉	WD2'/取手	シリンダー錠	握り玉	―		握り玉	―		握り玉	シリンダー錠		彫込引手	―		
防火	―			―			―			―			―			―			―			
網戸 ／ 電気錠	―	―		―	―		―		―	―			―	―		―	―		―	―		
金物 備考	丁番			戸車 真鍮角レール			丁番 WD2/ドアチェック WD2/片面台板貼			丁番 ドアチェック			丁番 ドアチェック			丁番 ドアチェック			―		

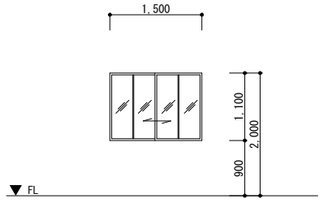
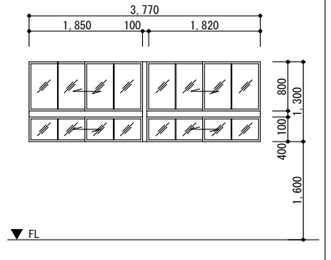
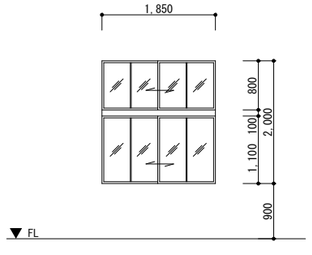
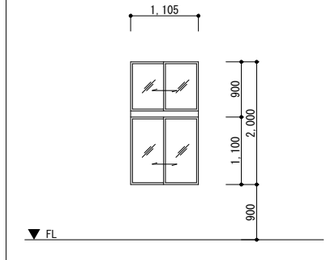
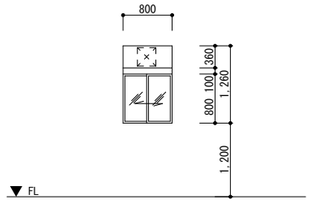
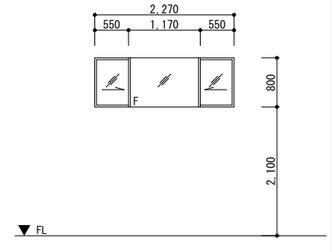
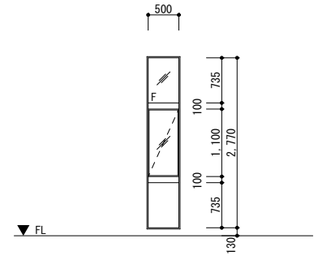
( )内寸法は WD 2' を示す。

記号 取付場所 ／ 箇所数	WD 7	休憩室	1	WD N1	新館 :普通教室6-1(3F)	1	WD N2	新館 :資料室2F	1	SP 1	会議室/職員室/校長室/あおぞら12/事務室/清掃倉庫 普通教室1-11-2,2-12-2,3-13-2,4-14-2/通級指導教室 更衣室/学校図書館/第2学校図書館/パソコン室	34	SP 2	保健室/職員室	3	SP 3	保健室	1
形状・寸法										 ※本館北棟においてはスリガラスを型板ガラスと読み替える。			 ※本館北棟においてはスリガラスを型板ガラスと読み替える。			 ※本館北棟においてはスリガラスを型板ガラスと読み替える。	
形式	引違戸 ガラス障子			上部引違窓付引違戸			上部引違窓付引違戸			スクールパーティション			スクールパーティション			スクールパーティション		
材料・仕上げ	木製			木品合板UC			木品合板UC			木品ベニヤ・OP			木品ベニヤ・OP			木品ベニヤ・OP		
見込	36			36			36			70			70			70		
ガラス	型板ガラス2			TP-4.0(200角4枚)			TP-4.0(200角4枚)			引違扉/スリガラス3,引違窓/スリガラス2,欄間/透明ガラス2			引違窓/スリガラス2,欄間/透明ガラス2			引違扉/スリガラス3,欄間/透明ガラス2		
取手 ／ 鍵	彫込引手	―		引手	引違錠		引手	引違錠		彫込引手	引違扉/差込栓錠		彫込引手	引違窓/中折差込錠		彫込引手	引違扉/差込栓錠	
防火	―			―			―			―			―			―		
網戸 ／ 電気錠	―	―		―	―		―	―		―	―		―	―		―	―	
金物 備考	―			戸車 レール 建具落下防止付(両側)			戸車 レール 建具落下防止付(両側)			戸車 引違扉/真鍮角レール 引違窓/甲丸レール 引違窓/中折差込錠 欄間部分/ネジ締め			戸車 引違窓/甲丸レール 欄間部分/ネジ締め			戸車 引違扉/真鍮角レール 欄間引違窓/甲丸レール 欄間引違窓/ネジ締め		

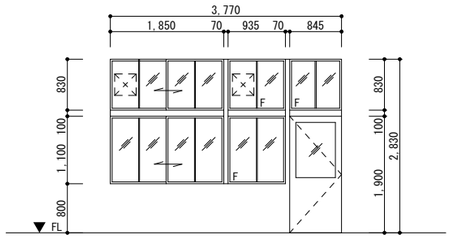
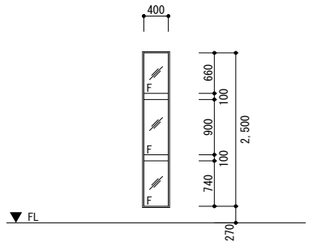
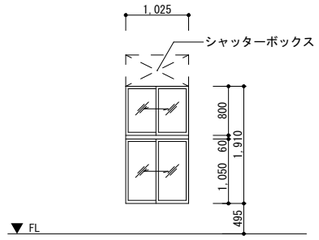
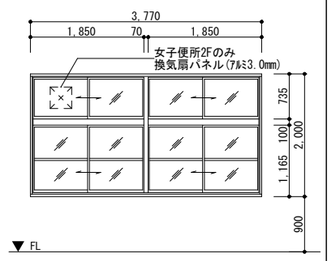
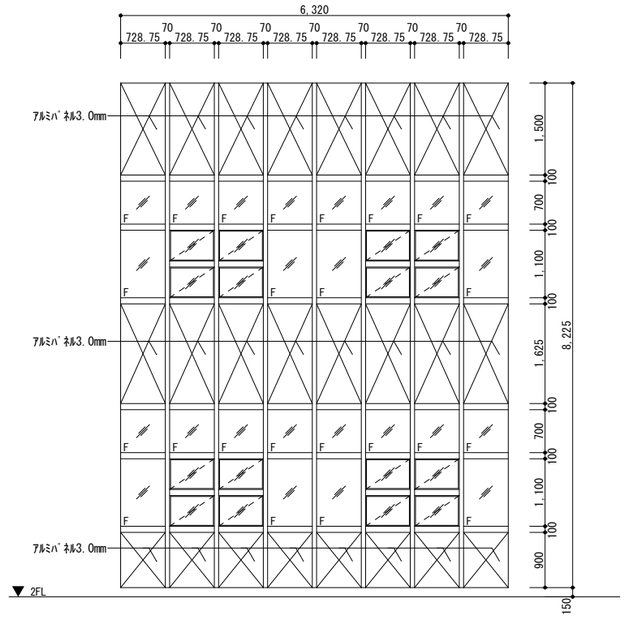
備考	月日		月日									
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 K 023
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体建具表2	縮尺 (A1) 1:100 (A3)

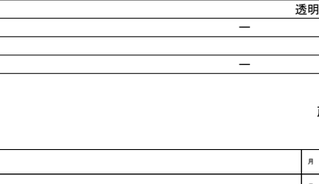
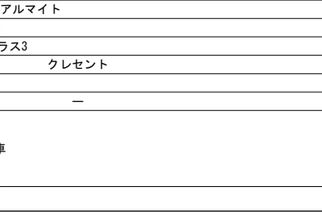
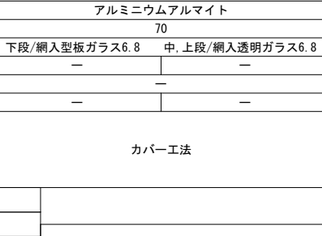
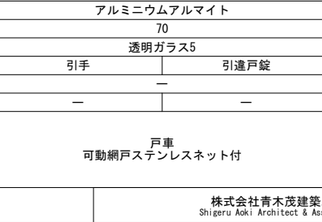
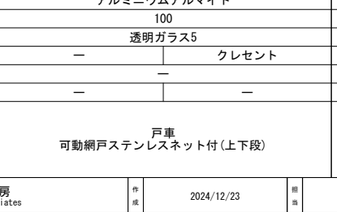
記号 取付場所 ／ 箇所数	SP 4 倉庫1F	1	SP 5 職員更衣室	1	SP 6 清掃倉庫/第2学校図書館	2	SP 7 清掃倉庫/第2学校図書館	2	F 1 倉庫(南棟)	1	F 2 校務員室	1	F 3 校務員室	1
形状・寸法	 ※本館北棟においてはスリガラスを型板ガラスと読み替える。		 ※本館北棟においてはスリガラスを型板ガラスと読み替える。											
形式	スクールパーティション		スクールパーティション		スクールパーティション		スクールパーティション		引違いふすま		引違いふすま		引違いふすま	
材料・仕上げ	木品ベニヤ・OP		木品ベニヤ・OP		木品ベニヤ・OP		木品ベニヤ・OP		木製		木製		木製	
見込	70		70		70		70		36		36		36	
ガラス	引違窓/スリガラス2		引違窓/スリガラス2,欄間/透明ガラス2		引違扉/型板ガラス3		引違窓/型板ガラス2,欄間/透明ガラス2		―		―		スリガラス2	
取手 ／ 鍵	彫込引手	片引扉/差込栓錠	彫込引手	引違窓/中折差込錠	彫込引手	引違扉/差込栓錠	彫込引手	引違窓/中折差込錠	丸型引手	―	丸型引手	―	彫込引手	―
防火	―		―		―		―		―		―		―	
網戸 ／ 電気錠	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
金物 備考	戸車 片引扉/真鍮角レール 引違窓/甲丸レール 引違窓/中折差込錠		戸車 引違窓/甲丸レール 欄間部分/ネジ締め		戸車 引違扉/真鍮角レール 欄間引違窓/甲丸レール 欄間部分/ネジ締め		戸車 引違窓/甲丸レール 欄間部分/ネジ締め		―		―		―	

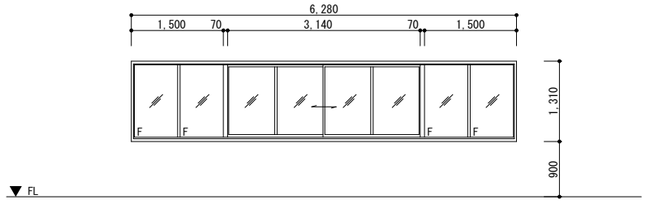
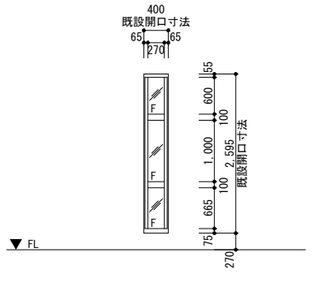
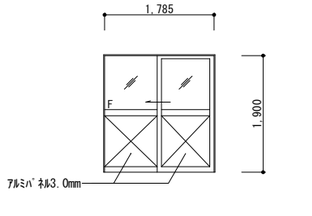
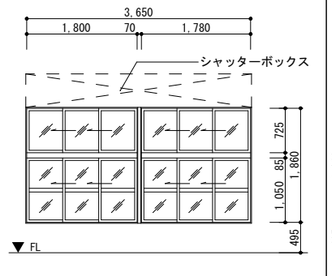
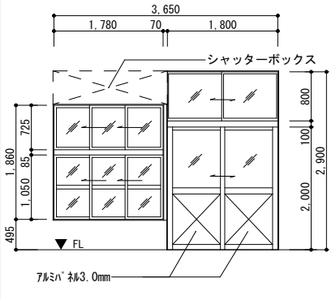
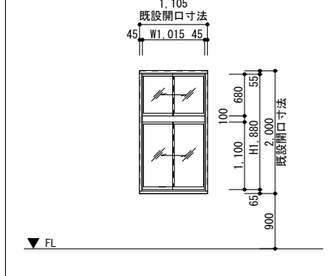
記号 取付場所 ／ 箇所数	F 4 休憩室	1	SS 1 給食調理室廊下側	1	SS 2 給食調理室廊下側	1	SS 3 給食調理室廊下側	1	SW 1 / SW 1A / SW 1B 会議室/保健室/職員室/校長室/あおぞら1,2/事務室/更衣室/第2学校図書館 通級指導教室/図工室/普通教室1-1,1-2,2-1,3-1,3-2,4-1,4-2/廊下1F,2F,3F,4F	24	3	6	SW 2 放送室	1
形状・寸法									 注記はパネル位置を示す。			
形式	引違いふすま+戸棚		ワイドスプリングシャッター		軽量スプリングシャッター		軽量スプリングシャッター		2段2連 引違窓				2連 引違窓	
材料・仕上げ	木製		スチール・焼付塗装		スチール・焼付塗装		スチール・焼付塗装		スチール・SOP				スチール・SOP	
見込	36		70		70		70		86				86	
ガラス	―		―		―		―		SW1/透明ガラス5	SW1A/網入型板ガラス6.8	SW1B/型板ガラス6.8,透明ガラス(欄間部分)5		網入透明ガラス6.8	
取手 ／ 鍵	丸型引手	―	―	シリンダー錠	―	シリンダー錠	―	シリンダー錠	―	クレセント			―	クレセント
防火	―		―		―		―		―				―	
網戸 ／ 電気錠	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―			―	―
金物 備考	―		レール(ステンレス) 面台(ステンレス)		レール(ステンレス) 面台(ステンレス)		レール(ステンレス) 面台(ステンレス)		戸車				戸車	

記号 取付場所 ／ 箇所数	SW 3 放送室	1	SW 4 北棟廊下1F	2	SW 5 北棟廊下2F,3F,4F	3	SW 6 清掃倉庫/第2学校図書館 図工室/北棟廊下1F,2F,3F,4F	14	SW 7 男子便所3F/女子便所3F	2	SW 8 南棟廊下1F,2F,3F	5	SW 9 / SW 9A 廊下1F,2F,3F	12	3
形状・寸法															
形式	引違窓		2段2連 引違窓		2段 引違窓		2段 引違窓		引違窓+パネル		両袖片引窓		滑り出し窓+Fix窓+下段パネル		
材料・仕上げ	スチール・SOP		スチール・SOP		スチール・SOP		スチール・SOP		スチール・SOP		スチール・SOP		スチール・SOP		
見込	86		86		86		86		86		86		86		
ガラス	透明ガラス5		透明ガラス5		透明ガラス5		透明ガラス5		透明ガラス5		透明ガラス5		SW11/透明ガラス5	SW11A/型板ガラス4	
取手 ／ 鍵	―	クレセント	―	クレセント	―	クレセント	―	クレセント	―	クレセント	―	クレセント	―	カムラッチ	
防火	―		―		―		―		―		―		―		
網戸 ／ 電気錠	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
金物 備考	戸車		戸車		戸車		戸車		戸車		戸車		アーム		

備考												
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 K 024
	月 日		月 日									
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体建具表3	縮尺 (A1) 1:100(A3)

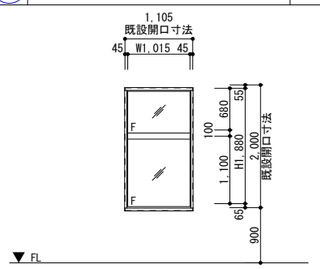
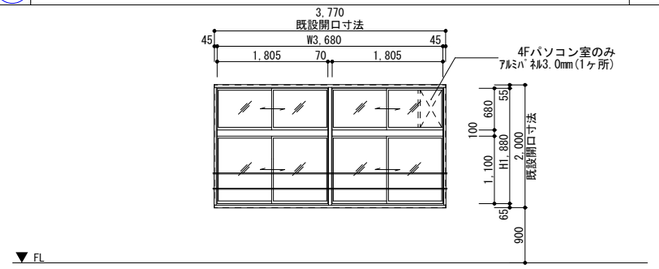
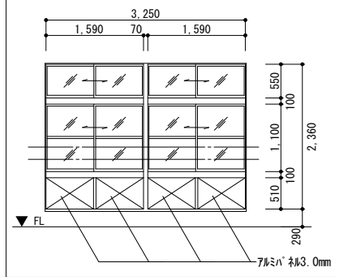
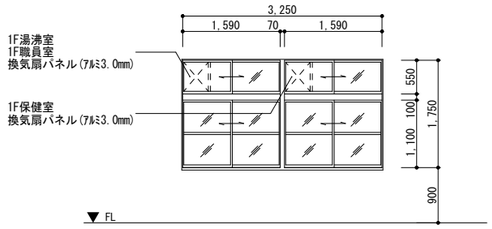
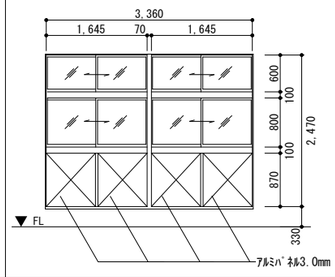
記号 取付場所 ／ 箇所数	SW 10	休憩室	1	SW 11	玄関	2	SW 12	給食調理室	1	AW 1	女子便所2F/普通教室3-1,3-2/南棟廊下1F,2F,3F	22	AW 2	オープンスペース2/廊下2F	2
形状・寸法												
形式	2段 引違窓+袖扉			3段 FIX窓			2段 引違窓			2段2連 引違窓			カーテンウォール		
材料・仕上げ	スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト		
見込	86			86			86			70			―		
ガラス	網入型板ガラス6.8			網入透明ガラス6.8			透明ガラス5			透明ガラス5			透明ガラス5		
取手 ／ 鍵	袖扉 ／ 握り玉	引違窓 ／ クレセント	袖扉 ／ シリンダー錠	―	―		―	クレセント		―	クレセント		―	―	
防火	―			―			―			―			―		
網戸 ／ 電気錠	―	―		―	―		―	―		―	―		―	―	
金物 備考				―			戸車			戸車					

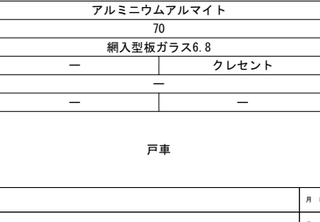
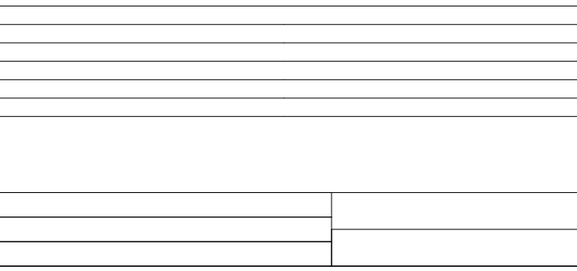
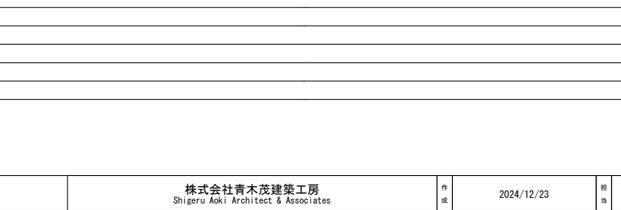
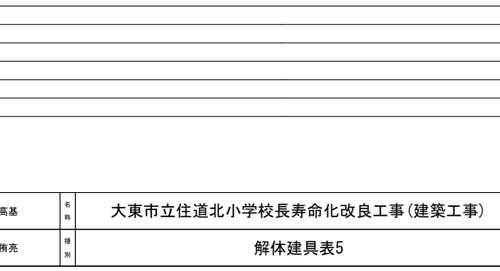
記号 取付場所 ／ 箇所数	AW 3	南棟廊下2F,3F	2	AW 4	南棟廊下1F,2F,3F	6	AW 5	南棟廊下1F,2F,3F	3	AW 6	廊下1F	1	AW 7	給食調理室	1
形状・寸法															
形式	引違窓			滑り出し窓+Fix窓			滑り出し窓+Fix窓+下段パネル			2段 引違窓			下段引違窓+上段換気扇ガラリ		
材料・仕上げ	アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト		
見込	70			70			70			70			70		
ガラス	透明ガラス5			透明ガラス3			透明ガラス5			透明ガラス5			網入型板ガラス6.8		
取手 ／ 鍵	―	クレセント		―	―		―	カムラッチ		―	クレセント		―	クレセント	
防火	―			―			―			―			―		
網戸 ／ 電気錠	―	―		―	―		―	―		―	―		―	―	
金物 備考	戸車						アーム			戸車			戸車		

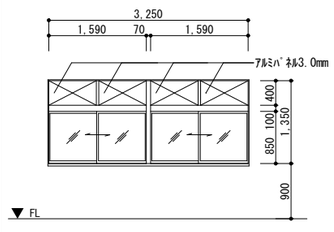
記号 取付場所 ／ 箇所数	AW 8	本館南棟棟屋	1	AW 9	玄関	2	AW 10	下処理室	1	AW 11	給食調理室	1	AW 12	給食調理室	1	AW 13	北棟階段室2F,3F	4
形状・寸法																
形式	引違窓+両袖Fix窓			3段 FIX窓			片引き戸			2段2連 3枚引違窓			2連 3枚引違窓+引違扉			2段 引違窓(防火設備)		
材料・仕上げ	アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト		
見込	70			70			70			100			100			70		
ガラス	透明ガラス3			下段/網入型板ガラス6.8 中,上段/網入透明ガラス6.8			透明ガラス5			透明ガラス5			透明ガラス5			網入透明ガラス6.8		
取手 ／ 鍵	―	クレセント		―	―		引手	引違戸錠		―	クレセント		―	クレセント		―	クレセント	
防火	―			―			―			―			―			―		
網戸 ／ 電気錠	―	―		―	―		―	―		―	―		―	―		―	―	
金物 備考	戸車			カバー工法			戸車 可動網戸ステンレスネット付			戸車 可動網戸ステンレスネット付(上下段)			戸車 可動網戸ステンレスネット付(上下段引違窓部)			戸車 付属金物一式 カバー工法		

備考	月日		月日							
	月日		月日							
	月日		月日							

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	025
1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体建具表4	縮尺	(A1) 1:100(A3)	

記号 取付場所 ／ 箇所数	AW14	北棟階段室4F	2	AW15	学校図書館/普通教室2-2/パソコン室/北棟廊下2F,3F,4F	7	AW101	普通教室1-1,2-1/あおぞら2	3	AW102	会議室/保健室/校務員室/湯沸室/職員室	5	AW103	南棟廊下2F	2
形状・寸法												
形式	2段 FIX窓(防火設備)			2段2連 引違窓(防火設備)			2連2段 引き違い窓+下段パネル			2段2連 引違窓			2連2段 引き違い窓+下段パネル		
材料・仕上げ	アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト		
見込	70			70			70			70			70		
ガラス	網入透明ガラス6.8			網入透明ガラス6.8			透明ガラス5			下段/型板ガラス4	欄間/透明ガラス5		透明ガラス5		
取手 ／ 鍵	ー	クレセント		ー	クレセント		ー	クレセント		ー	クレセント		ー	クレセント	
防火	ー			ー			ー			ー			ー		
網戸 ／ 電気錠	ー	ー		ー	ー		ー	ー		ー	ー		ー	ー	
金物 備考	カバー工法			戸車 付属金物一式 カバー工法 ステンレス手摺2段(教室側2F,3F,4F)			戸車 スレンレス手摺φ38(2Fのみ)			戸車			戸車		

記号 取付場所 ／ 箇所数	AW104	南棟廊下1F	4	AW105 AW105-4	普通教室2-2,清掃倉庫,学校図書館	1	2	AW106 AW106'	給食調理室	1	1	AW107	男子便所2F	1
形状・寸法												
形式	2段2連 引違窓			2段2連 引違窓+パネル				2段2連 引違窓+パネル					2段2連 引違窓+上下段パネル		
材料・仕上げ	アルミニウムアルマイト			アルミニウムアルマイト				アルミニウムアルマイト					アルミニウムアルマイト		
見込	70			70				70					70		
ガラス	下段/型板ガラス4	欄間/透明ガラス5		AW105/透明ガラス5	AW105-4/網入透明ガラス6.8			網入型板ガラス6.8					網入型板ガラス6.8		
取手 ／ 鍵	ー	クレセント		ー	クレセント			ー	クレセント				ー	クレセント	
防火	ー			ー				ー					ー		
網戸 ／ 電気錠	ー	ー		ー	ー			ー	ー				ー	ー	
金物 備考	戸車			戸車 ステンレス手摺φ38				戸車 ステンレス手摺φ38					戸車 ステンレス手摺φ38		

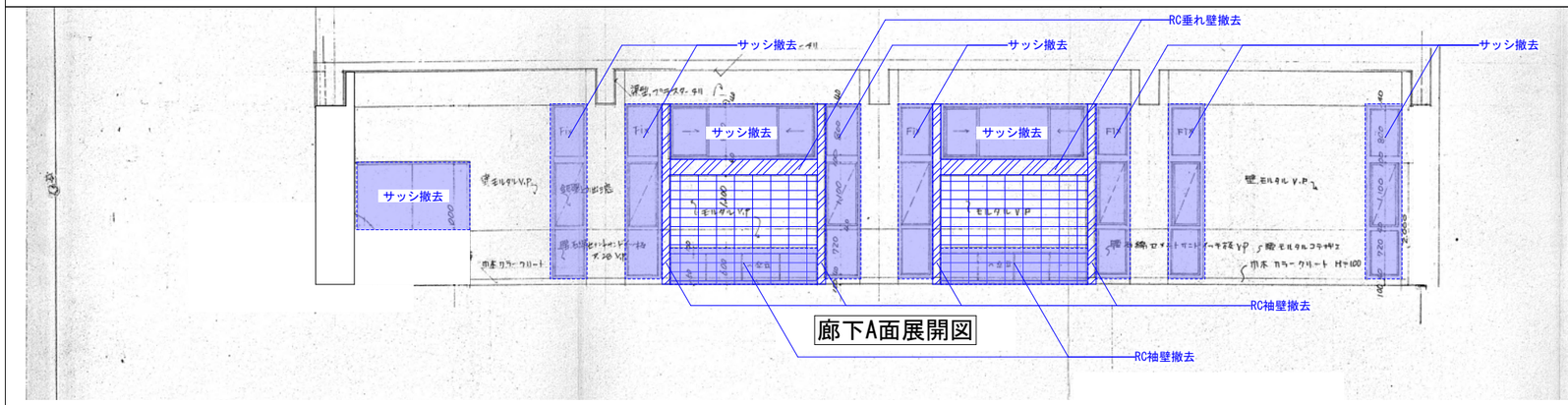
記号 取付場所 ／ 箇所数	AW108	ポンプ室	1
形状・寸法		
形式	2連 引違窓+上部パネル	
材料・仕上げ	アルミニウムアルマイト	
見込	70	
ガラス	網入型板ガラス6.8	
取手 ／ 鍵	ー	クレセント
防火	ー	
網戸 ／ 電気錠	ー	ー
金物 備考	戸車	

備考														
	月 日		月 日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K 026
	月 日		月 日											
	月 日		月 日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体建具表5	縮尺	(A1) 1:100(A3)

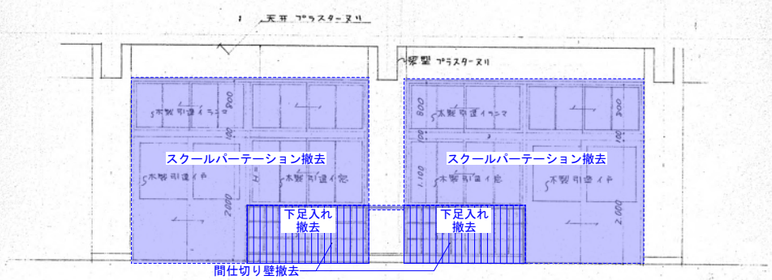
凡例

- RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
- CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
- タイル部分の撤去を示す
- ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
- 仕上げ・下地撤去部分を示す
- 間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
- サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
- その他撤去部分を示す

※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)



廊下A面展開図



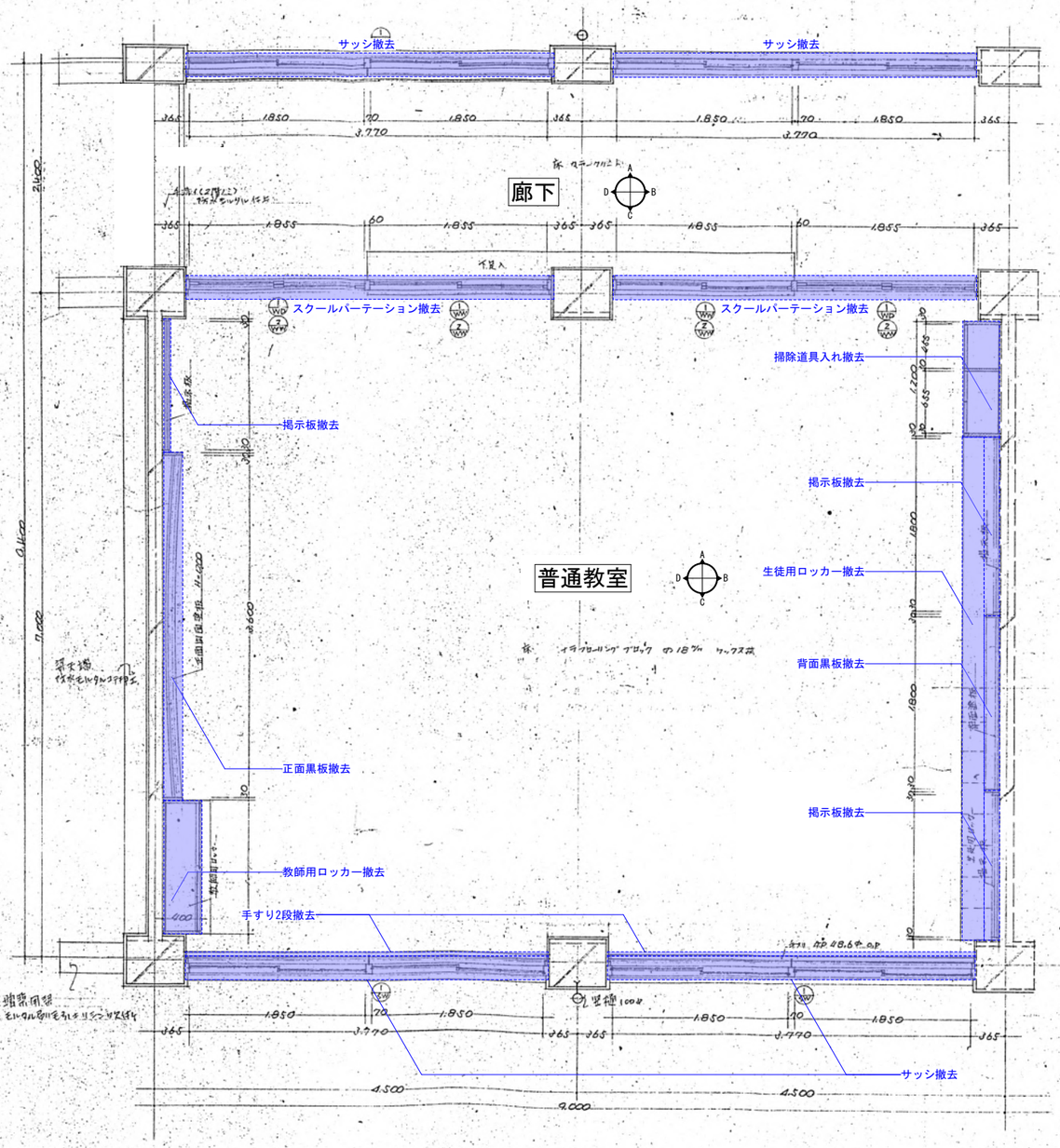
廊下C面展開図

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K　027
	月日		月日											
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体展開図1	縮尺	－

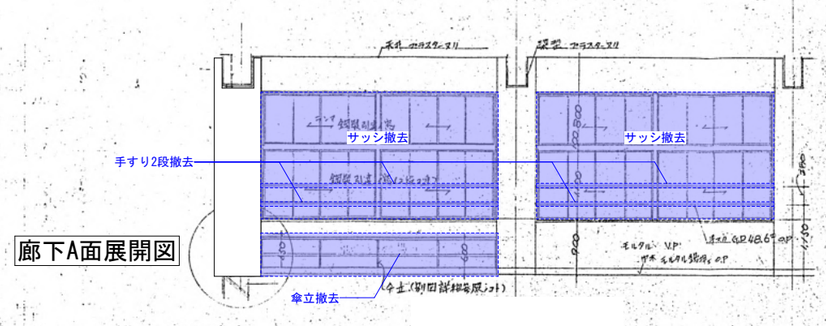
凡例

RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

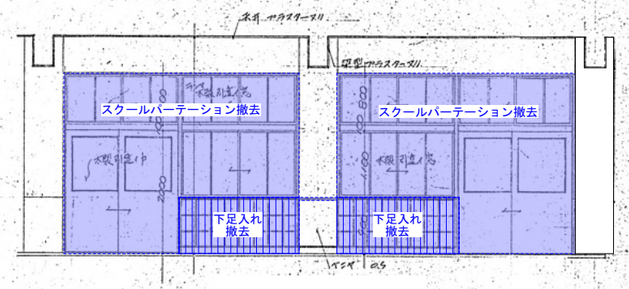
※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)



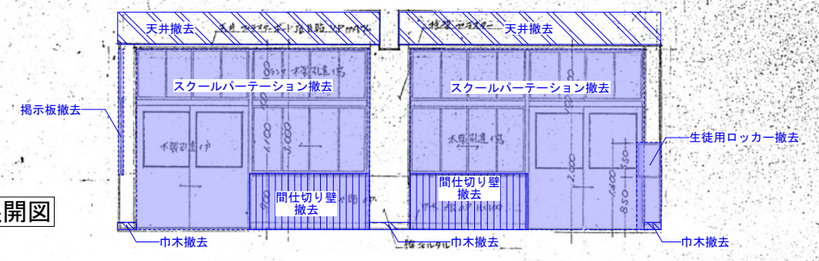
2,3階教室平面図



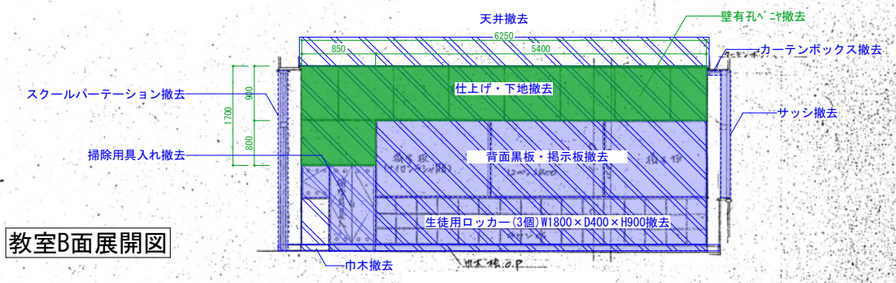
廊下A面展開図



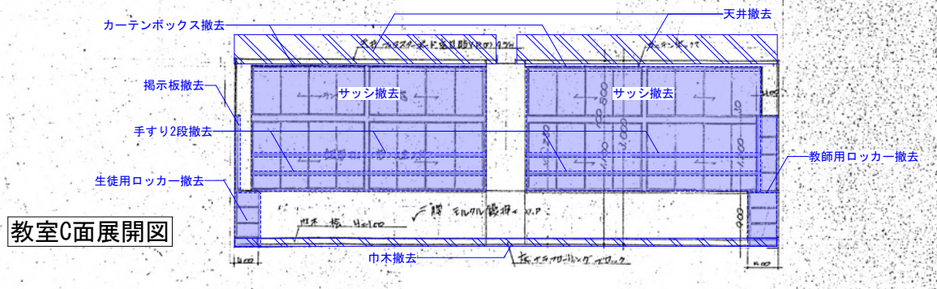
廊下C面展開図



教室A面展開図



教室B面展開図



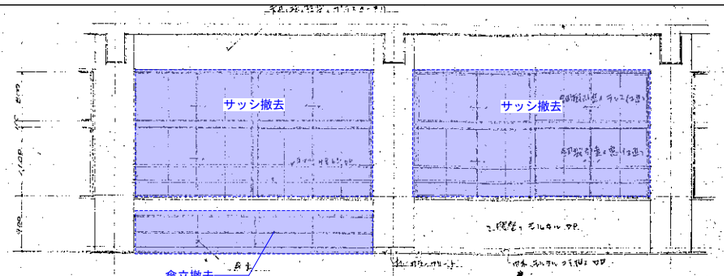
教室C面展開図

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	028
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体展開図2	縮尺	-	
	月日		月日												

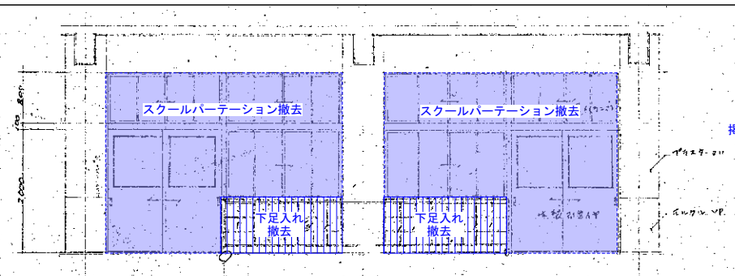
凡例

RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

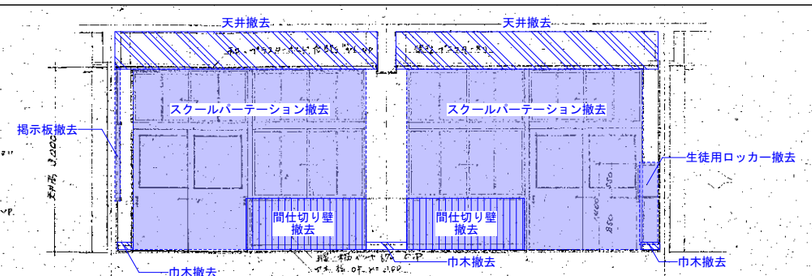
※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)



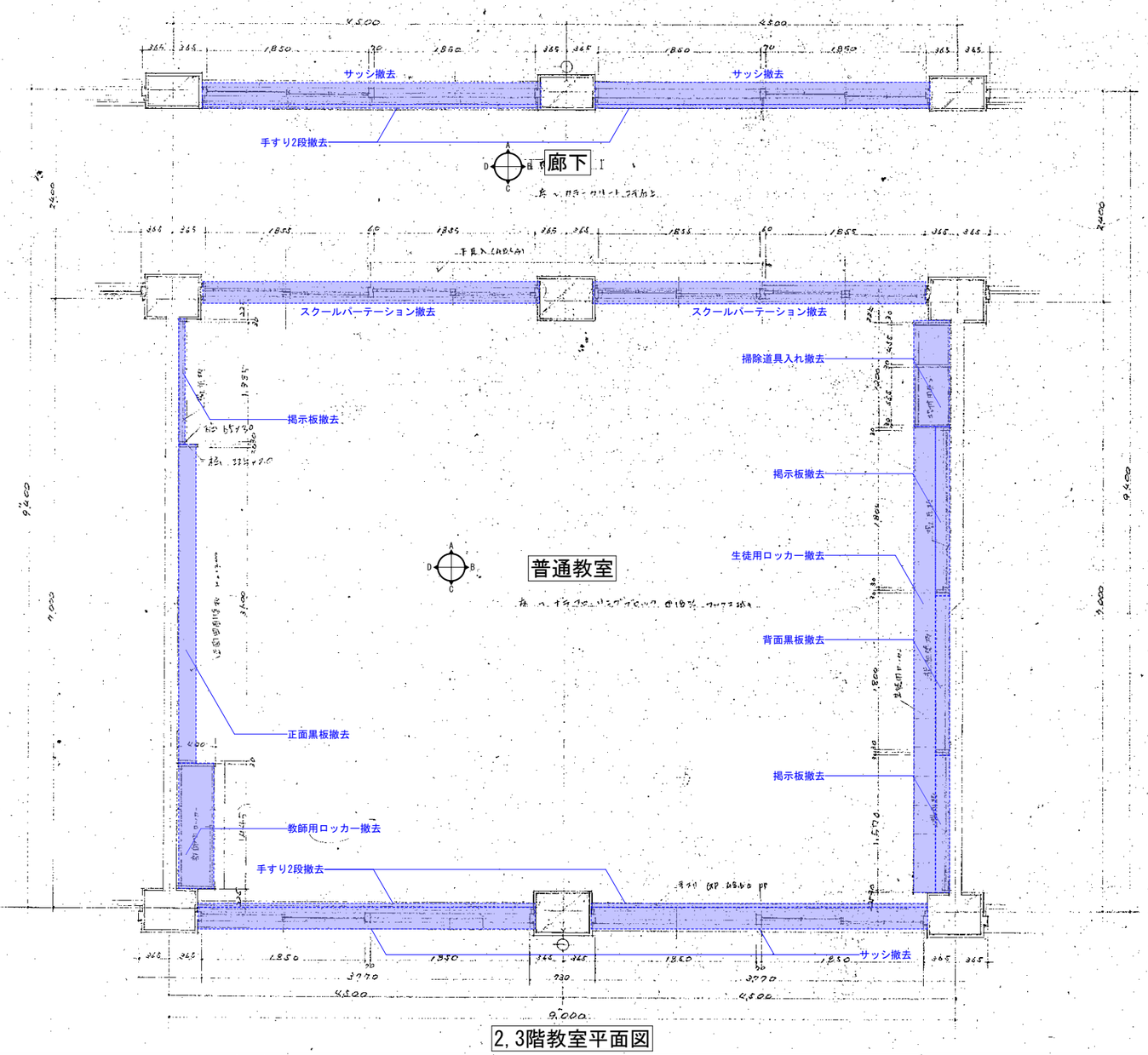
廊下A面展開図



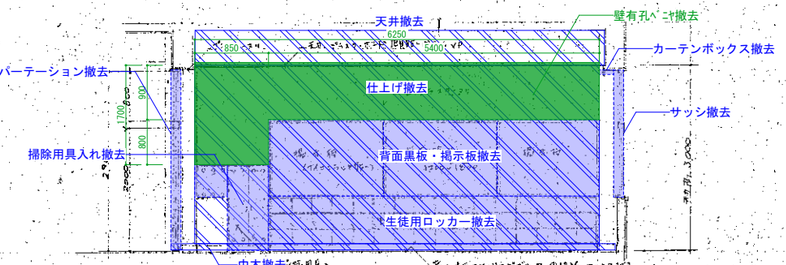
廊下C面展開図



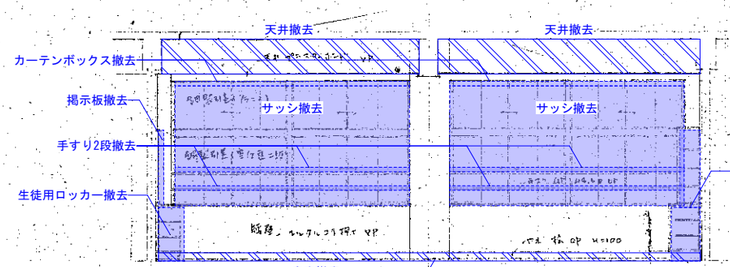
教室A面展開図



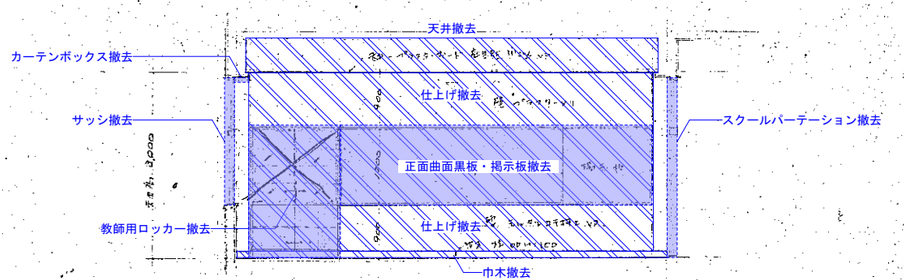
2,3階教室平面図



教室B面展開図



教室C面展開図



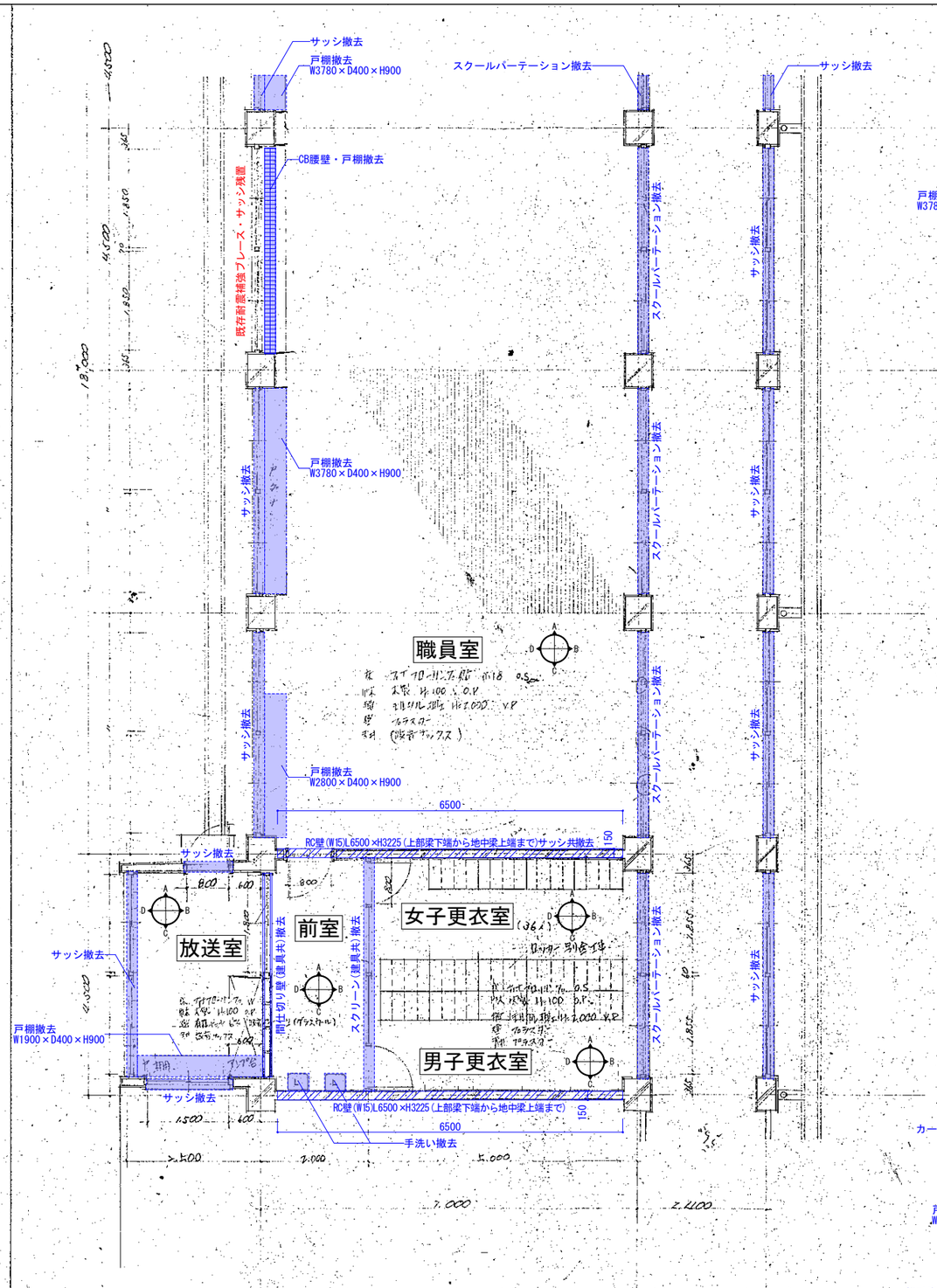
教室D面展開図

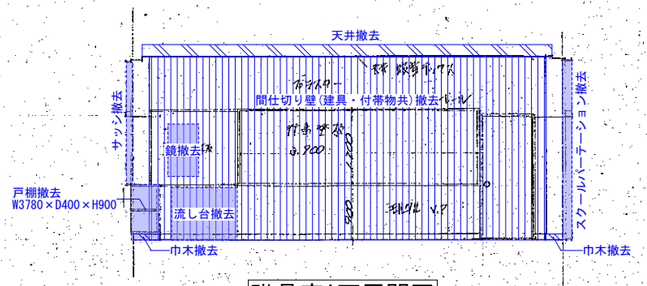
備考													
月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K　029
月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体展開図3	縮尺	–
月日		月日											

凡例

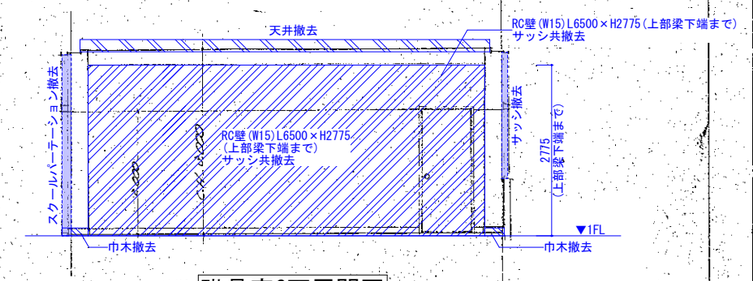
RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)

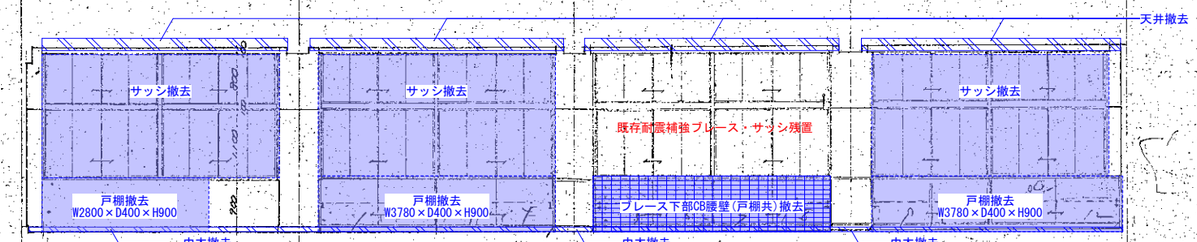




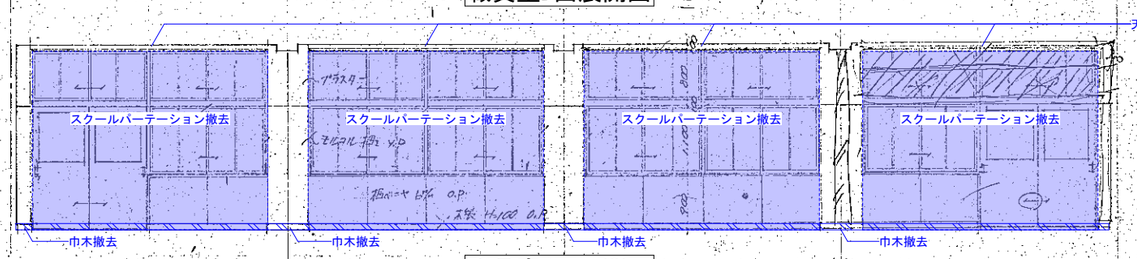
職員室A面展開図



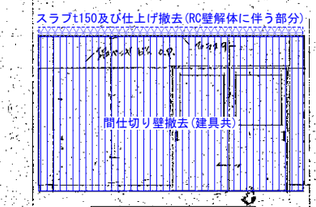
職員室C面展開図



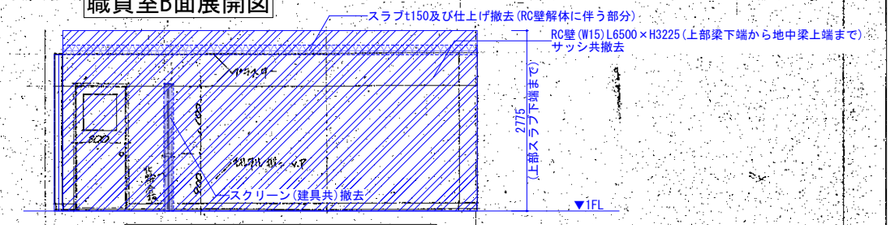
職員室D面展開図



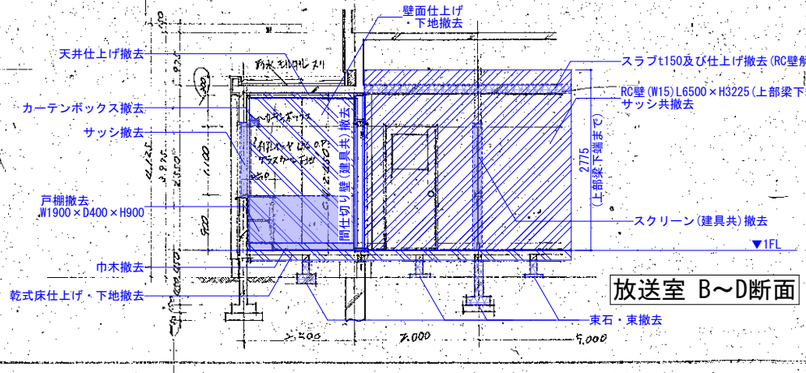
職員室B面展開図



前室D面展開図



前室・女子更衣室A面展開図



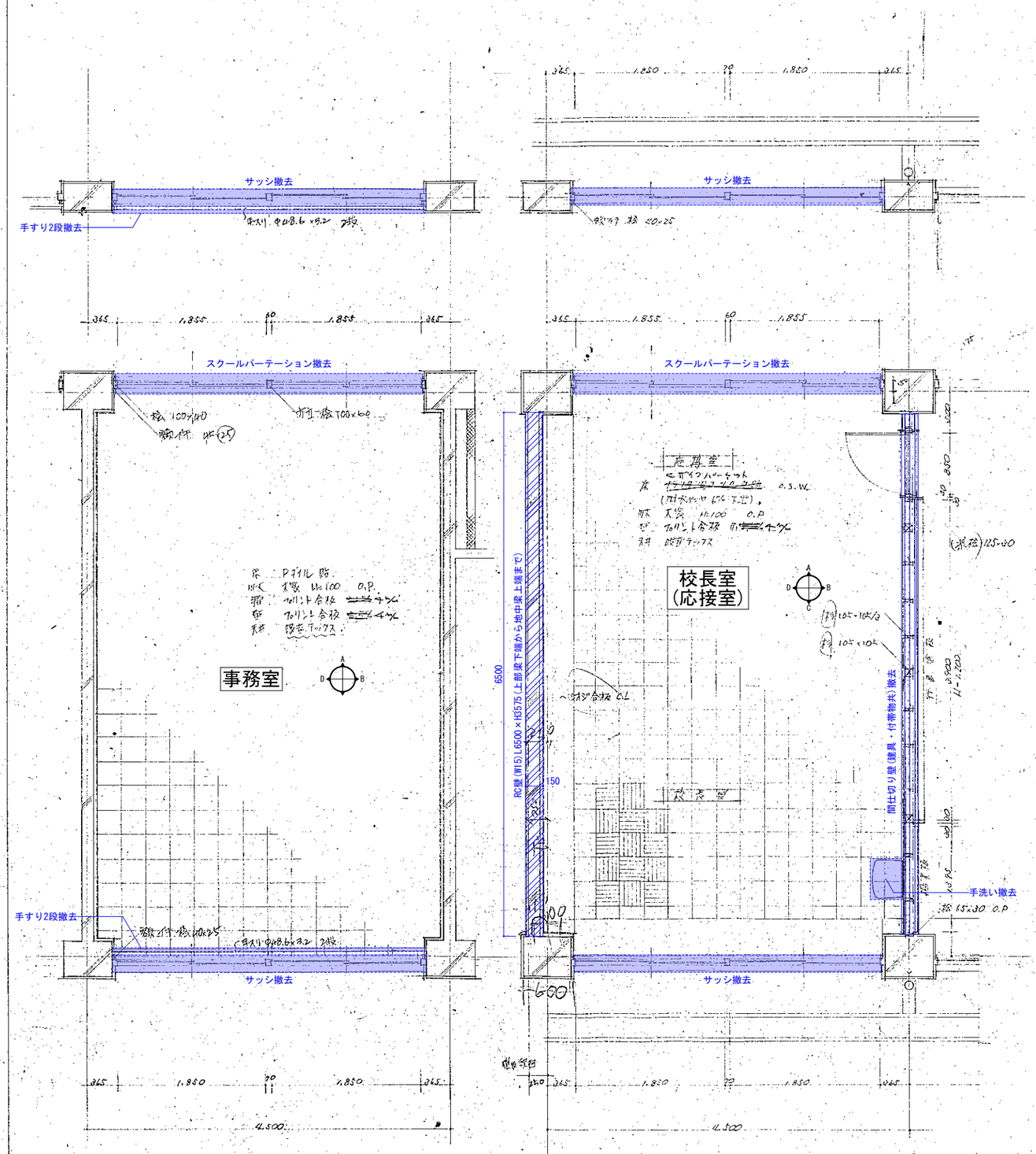
放送室 B～D断面

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	030
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体展開図4	縮尺	-	
	月日		月日											

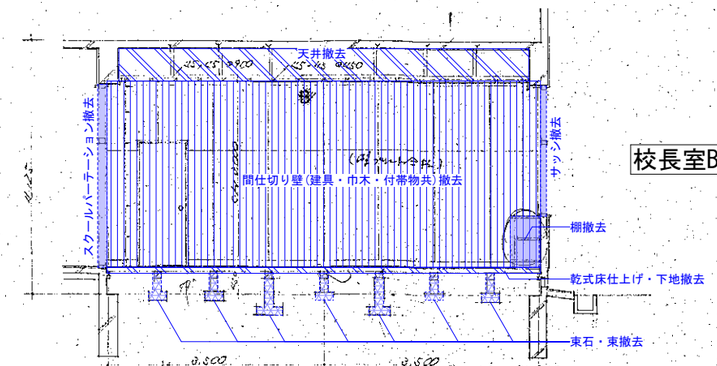
凡例

RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

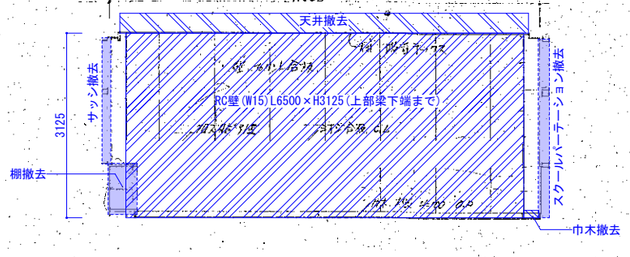
※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)



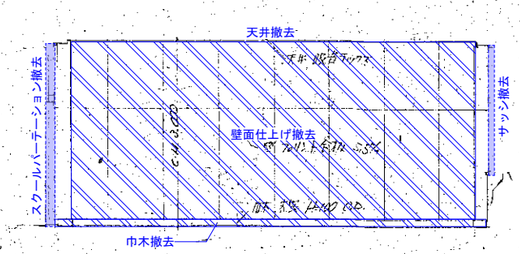
校長室B面展開図



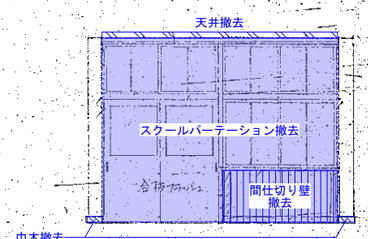
校長室D面展開図



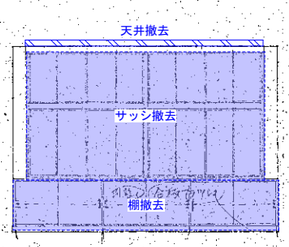
事務室B面展開図



校長室A面展開図



校長室C面展開図

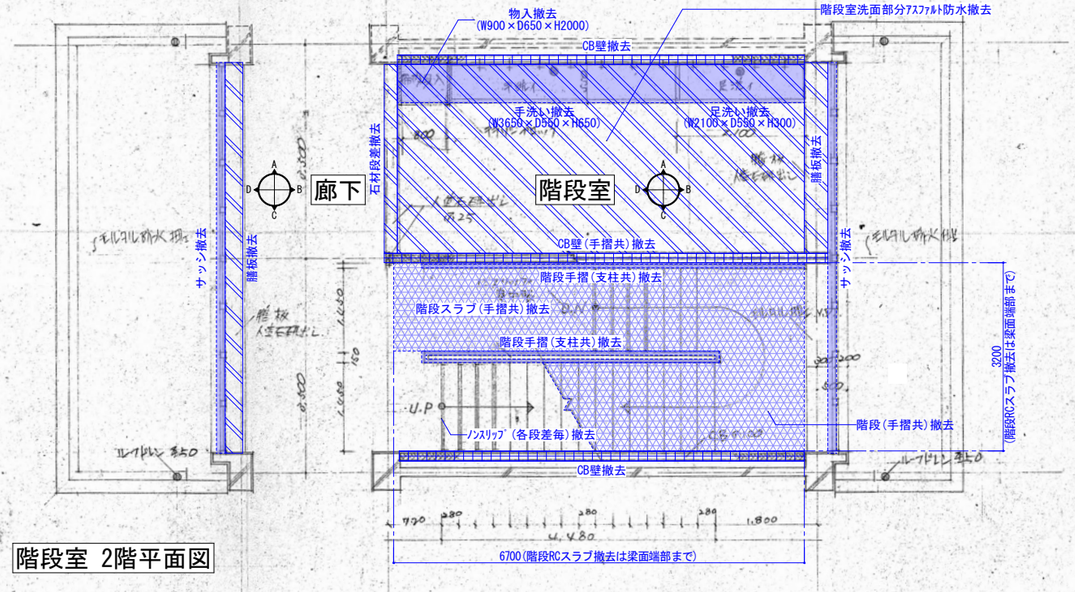


備考													
月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K 031
月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体展開図5	縮尺	-
月日		月日											

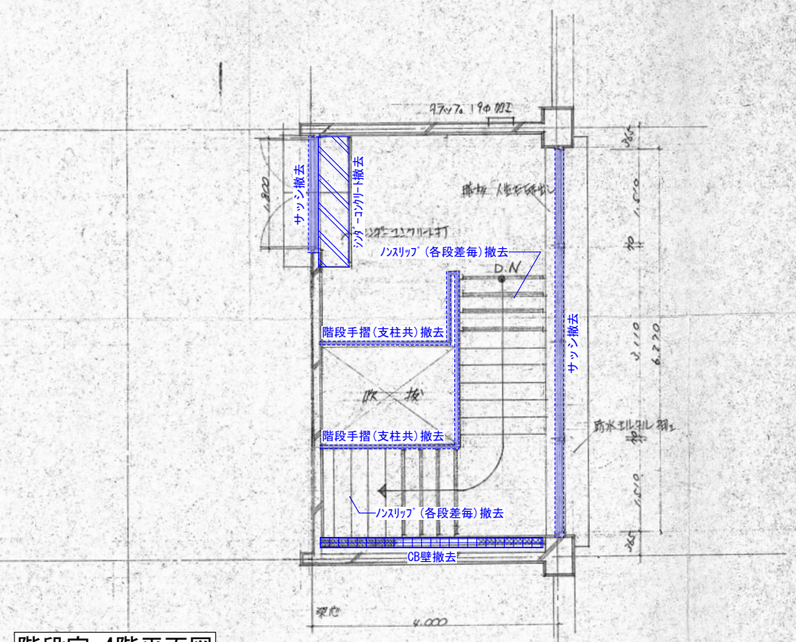
凡例

RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

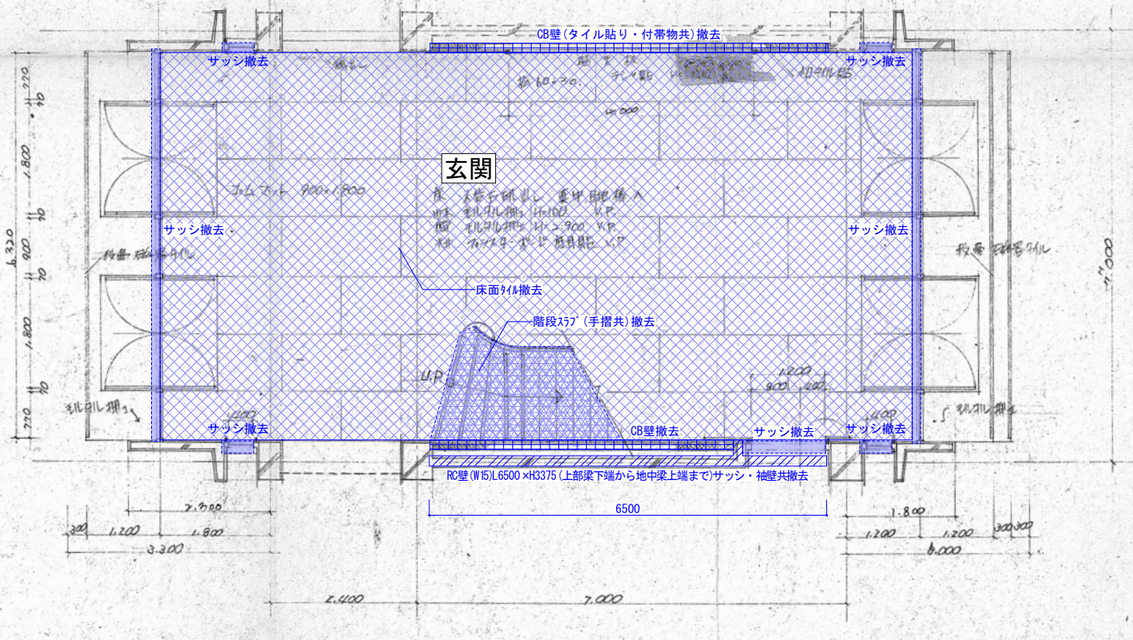
※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)



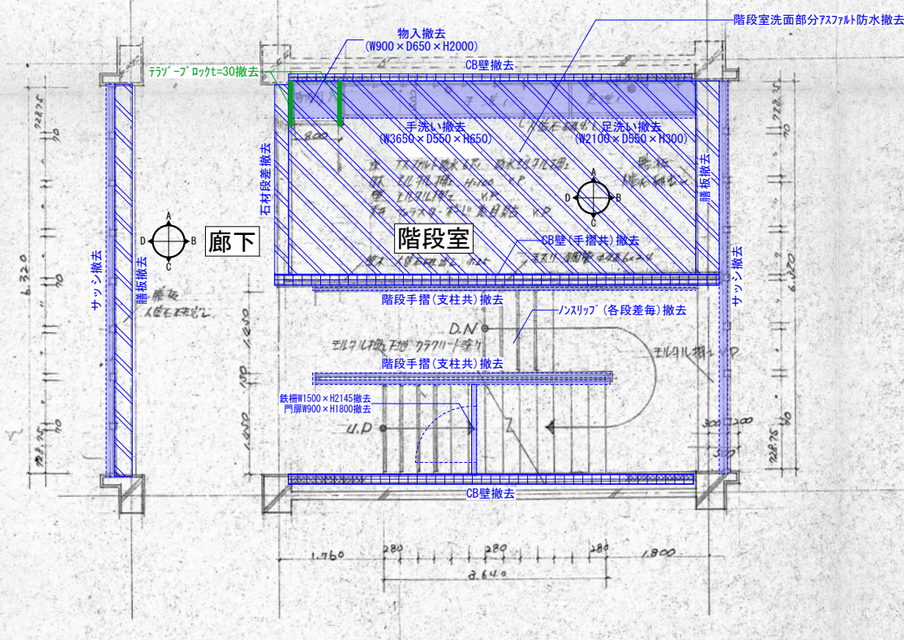
階段室 2階平面図



階段室 4階平面図



玄関 1階平面図



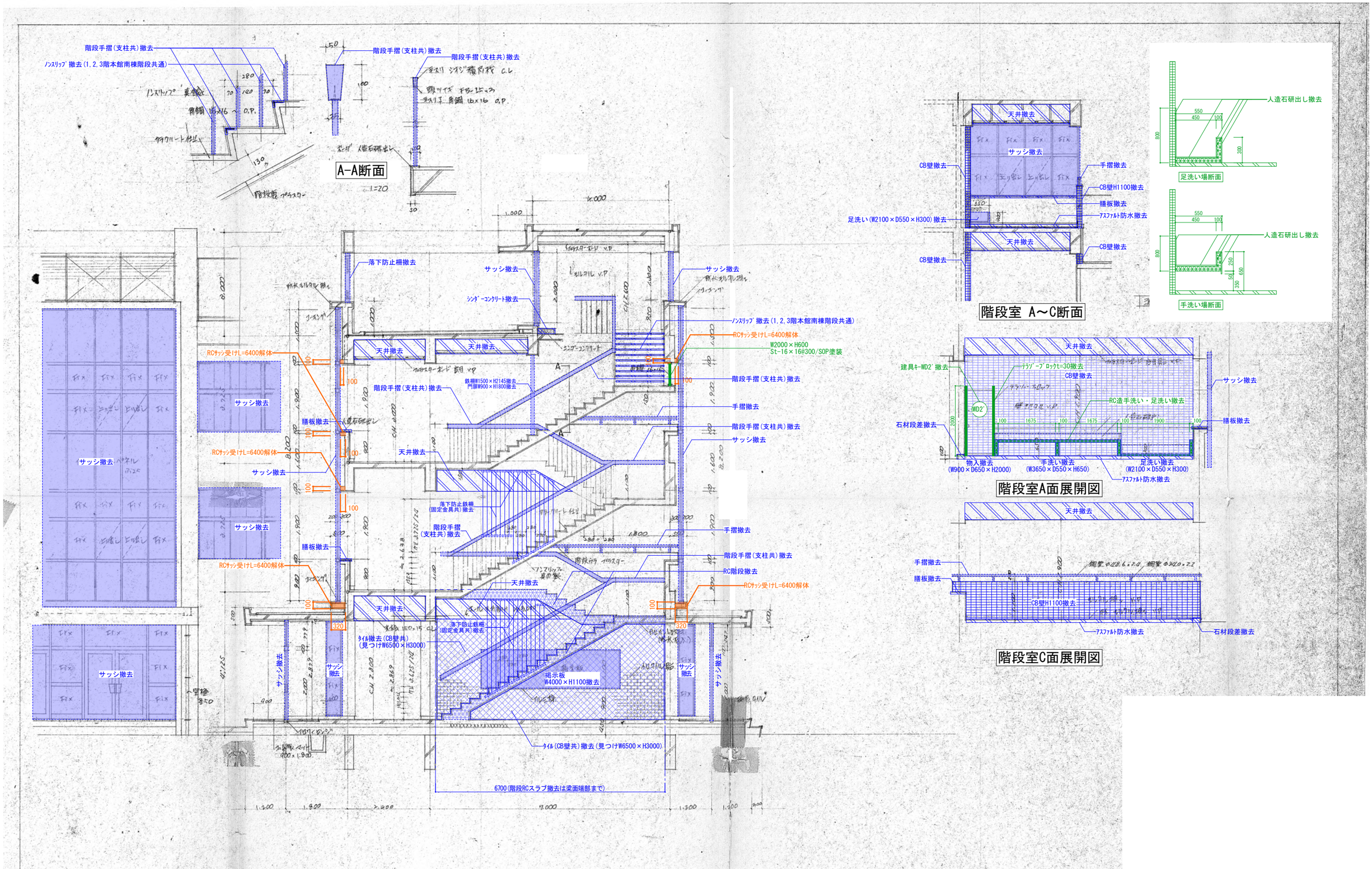
階段室 3階平面図

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	032
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体展開図6	縮尺	-	
	月日		月日											

凡例

RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)

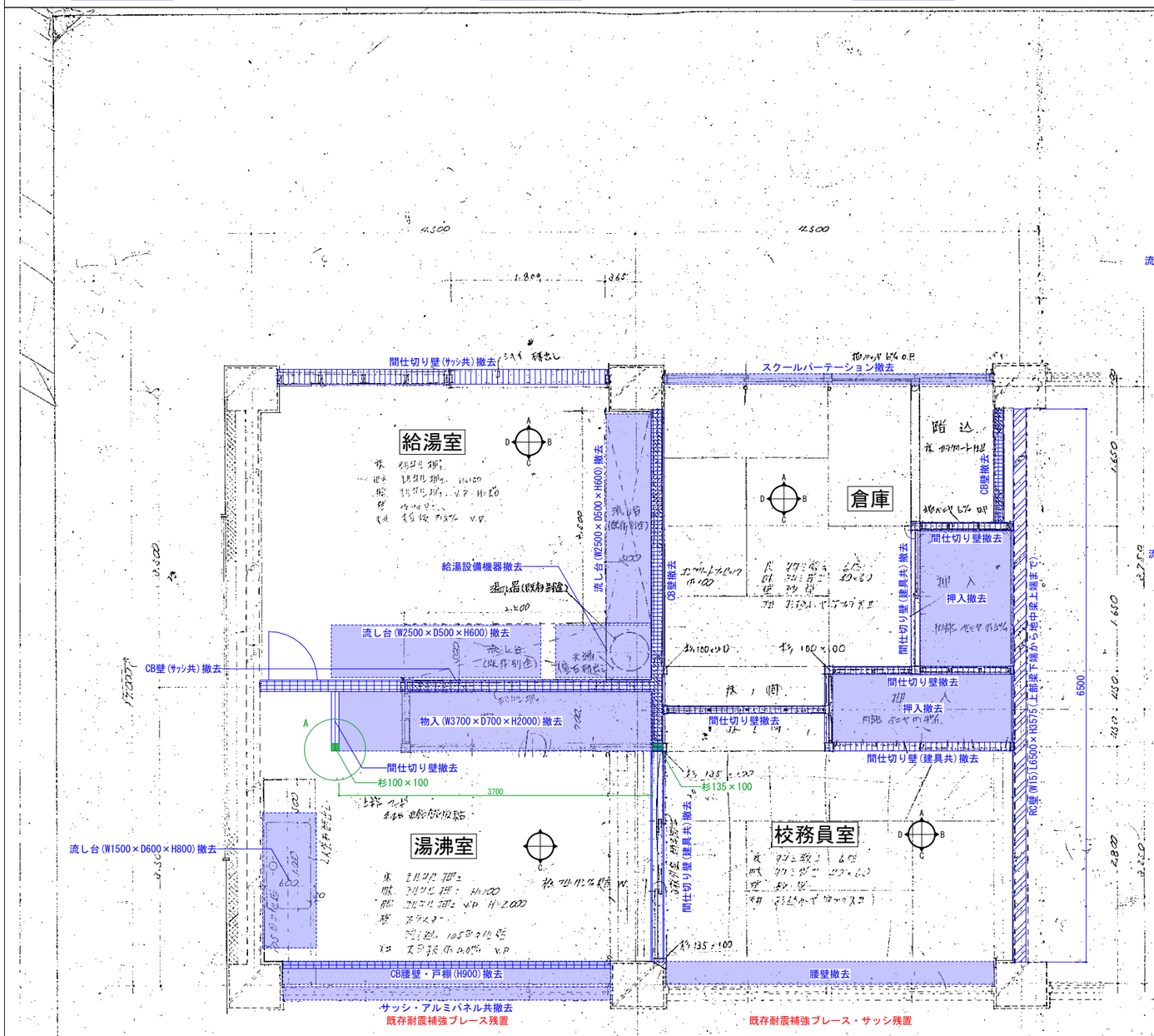


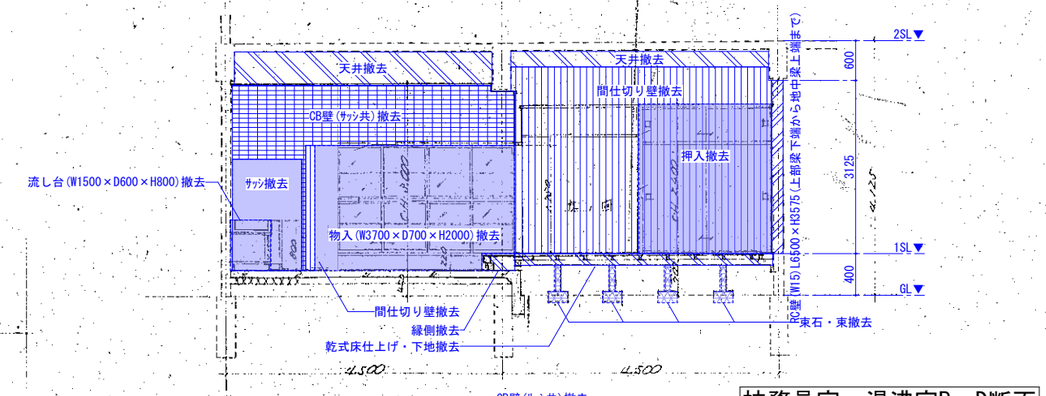
備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	033
	月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体展開図7	縮尺	-	
	月日		月日											

凡例

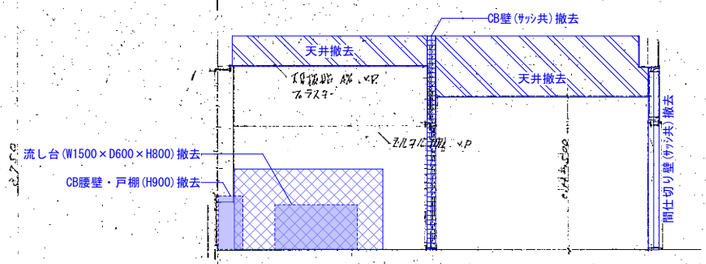
RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)

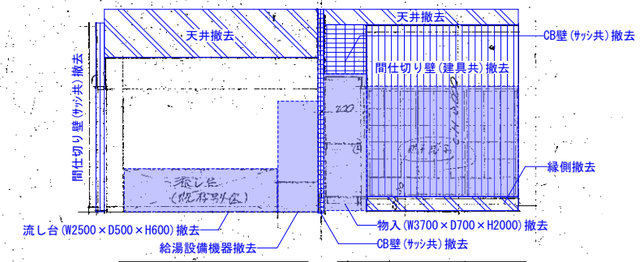




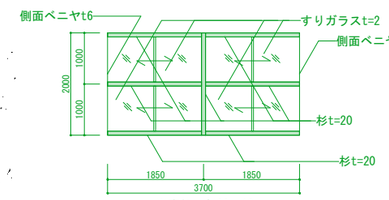
校務員室・湯沸室B～D断面



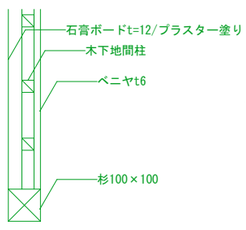
湯沸室D面展開図　給湯室D面展開図



給湯室B面展開図　湯沸室B面展開図



※窓枠：杉20×10
W3700×D700×H2000物入姿図



A部分平面図

備考			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体展開図8

図番 K 034
縮尺 －

凡例

- RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
- CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
- タイル部分の撤去を示す
- ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
- 仕上げ・下地撤去部分を示す
- 間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
- サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
- その他撤去部分を示す

※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)

本館北棟4階階段室

本館北棟2,3階階段室

本館北棟1階階段室

A詳細図

B詳細図

足洗い場詳細図

手洗い場詳細図

断面詳細図 1/60

R	O.P	油性塗料塗り	O.S	オイルステイン塗り	S.W	鋼製窓	D.C	ドアーチェック	D.S	ダストシュート
	V.P	合成樹脂塗料塗り	W.B	ホワイトブロンズメッキ	S.G	鋼製ガラリ	F.H	フロアーヒンジ	▷	室名札
	E.P	合成樹脂系エルマジョン塗料塗り	W.D	木製扉	A.L.D	アルミニューム製扉	G.S.I	亜鉛引鉄板	—	カーテンレール

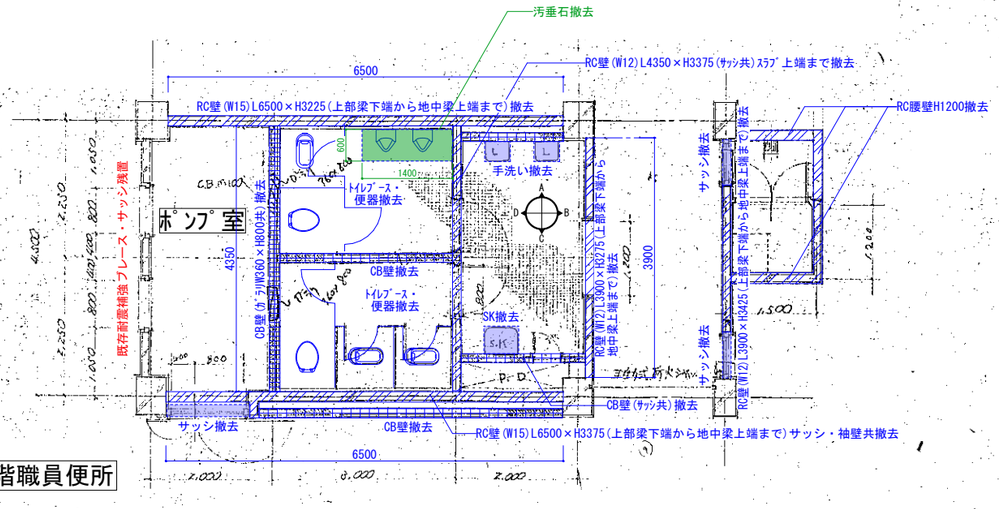
備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	035
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体展開図9	縮尺	-	
	月日		月日											

経由之証 大東市

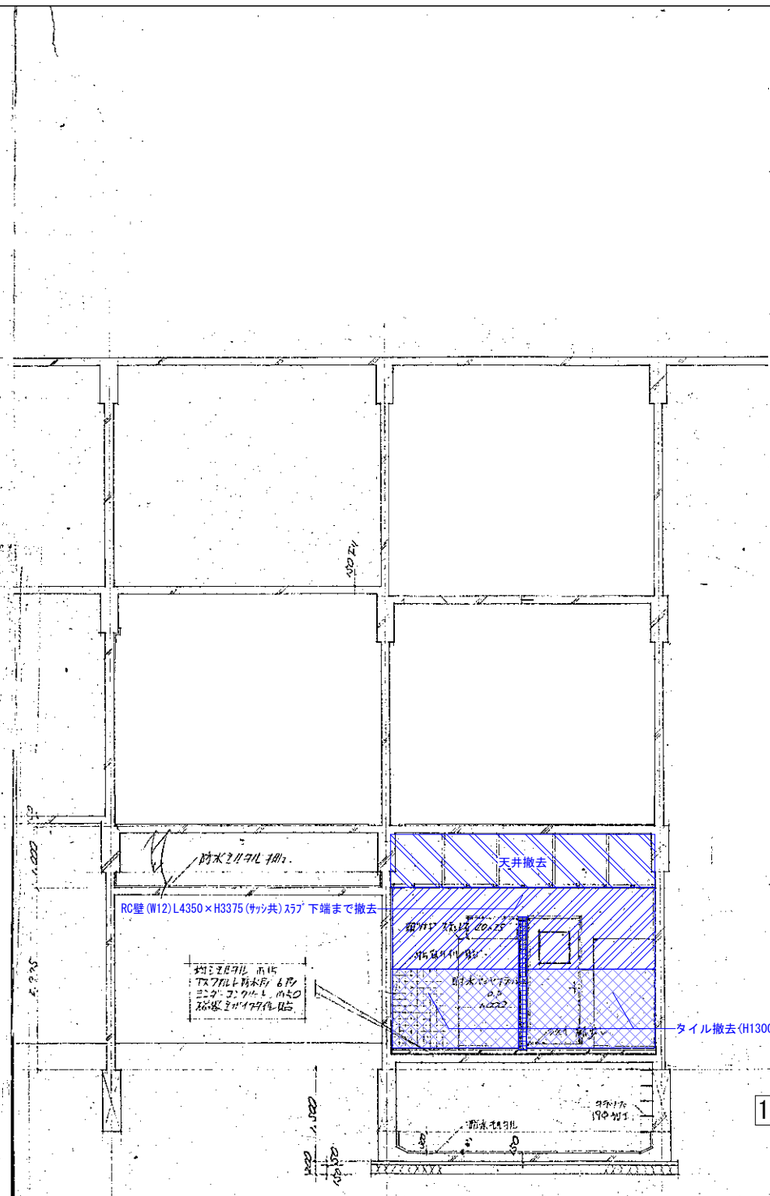
凡例

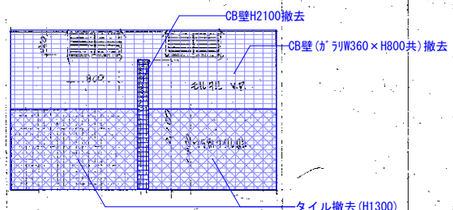
RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)



1階職員便所





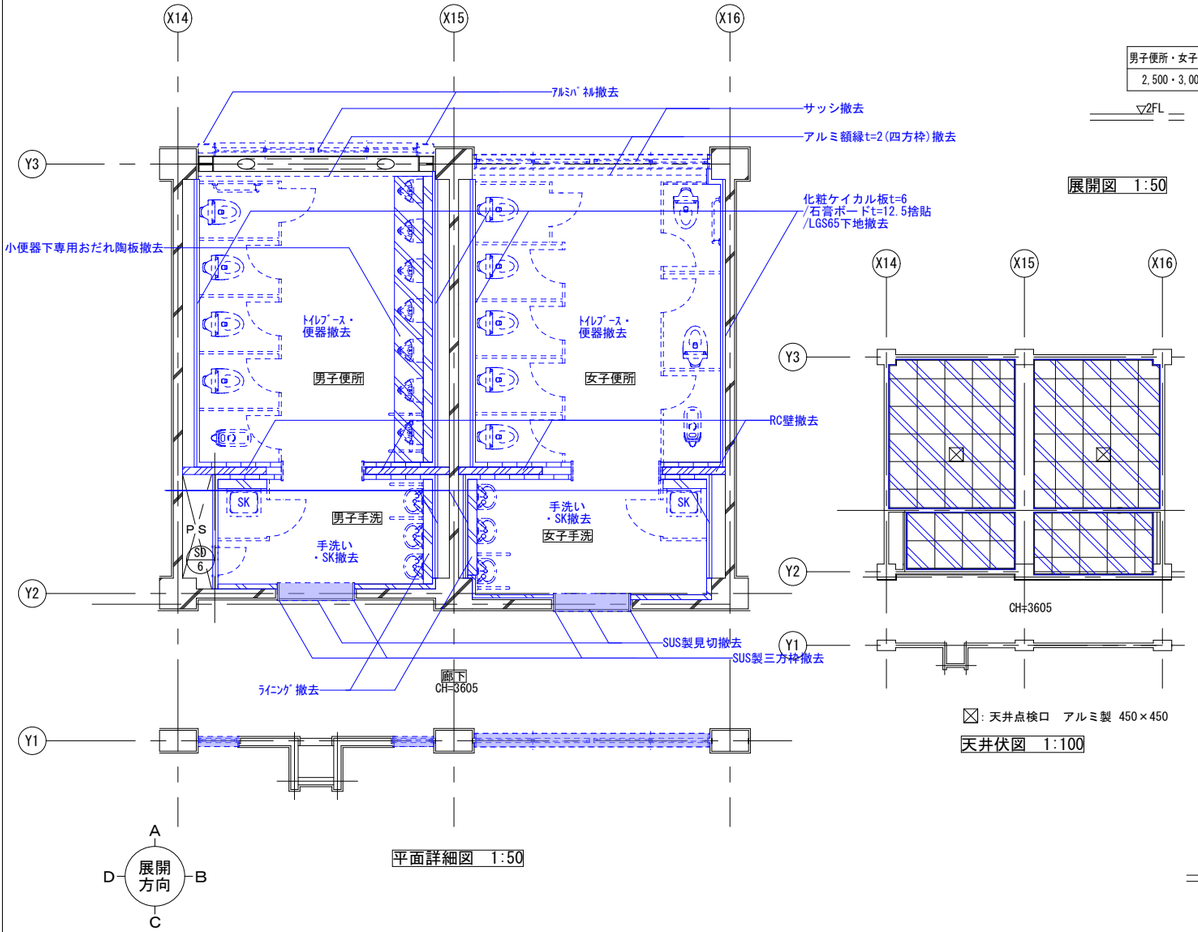
1階職員便所D面展開図

備考														
月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	036
月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体展開図10	縮尺	–	
月日		月日												

凡例

RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)

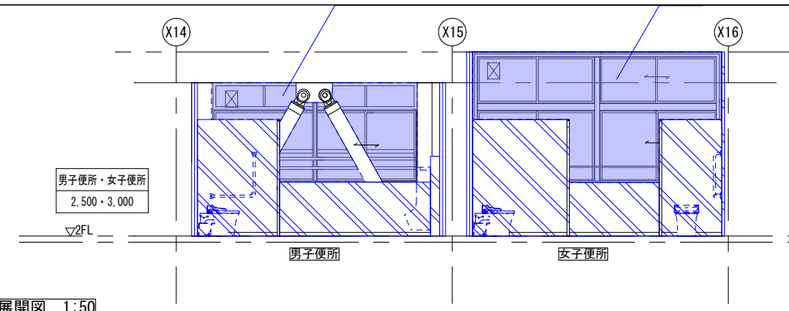


平面詳細図　1:50

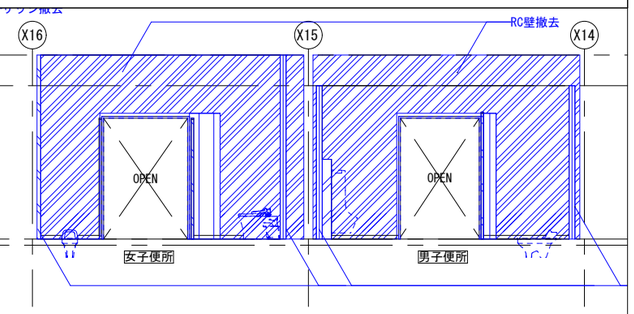
展開図　1:50

▨：天井点検口　アルミ製　450×450

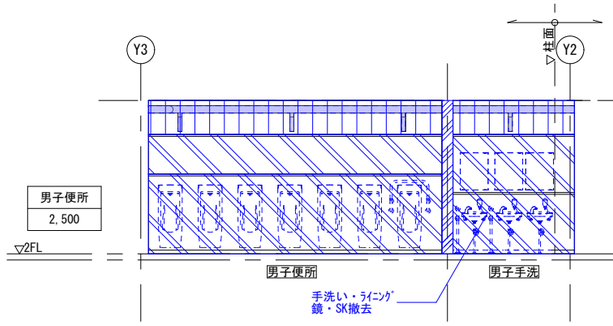
天井伏図　1:100



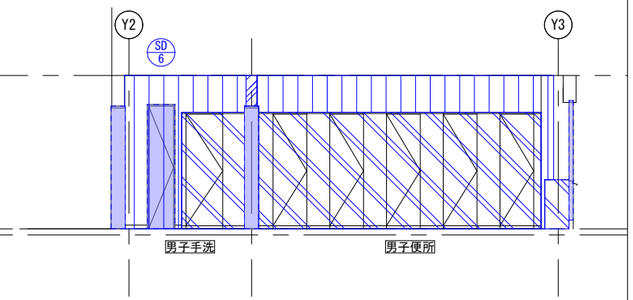
男子便所A面展開図



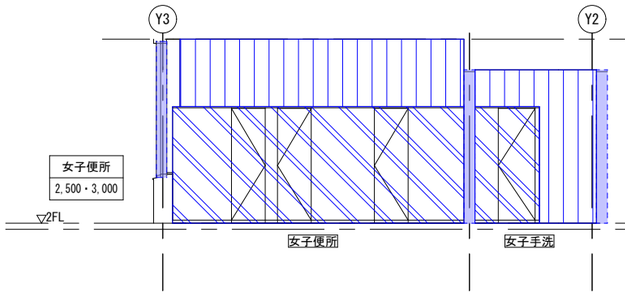
C面展開図



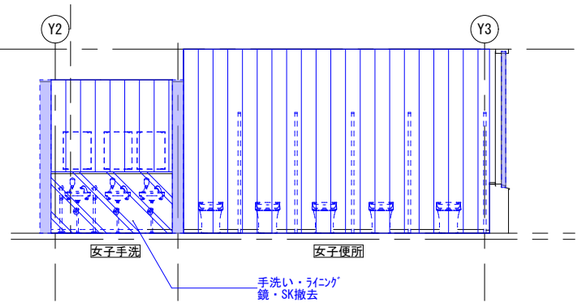
男子便所B面展開図



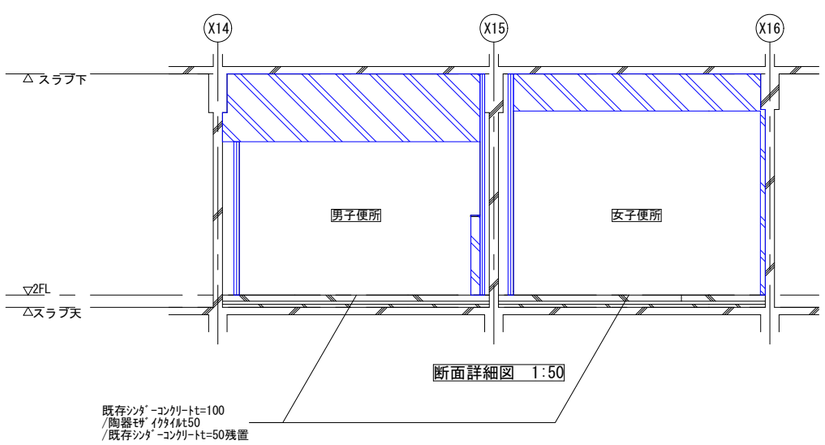
男子便所D面展開図



女子便所B面展開図



女子便所D面展開図



断面詳細図　1:50

仕上表

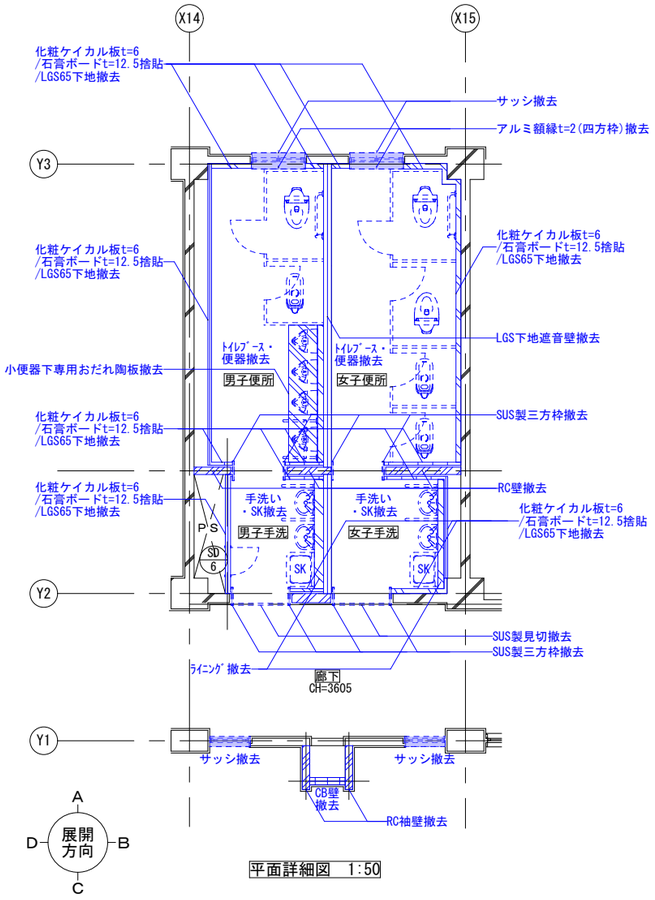
部位	記号	仕上
天井	Ⓐ	化粧石膏ボード　t=9.5張（LGS 下地共）
壁	Ⓑ	化粧ケイカル板　t=6（石膏ボード t=12.5捨張）…LGS65 下地
	Ⓒ	化粧ケイカル板　t=6（石膏ボード t=12.5捨張）…LGS65 下地（スタッド横使い）
巾木	Ⓓ	ビニル巾木　H=60
床	Ⓔ	長尺塩ビシート　t=2貼（シンダーコンクリート　t=100）
	Ⓕ	長尺塩ビシート　t=2貼（下地モルタル調整共）
汚垂石	Ⓖ	小便器下専用おだれ陶板
枠	Ⓗ	SUS 製三方枠
	Ⓘ	SUS 製見切
その他	Ⓙ	樹脂製コーナーガード　L =1,500
	Ⓚ	額縁：アルミ t2加工（一方枠）

備考														
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K　037
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体展開図11	縮尺	－
	月日		月日											

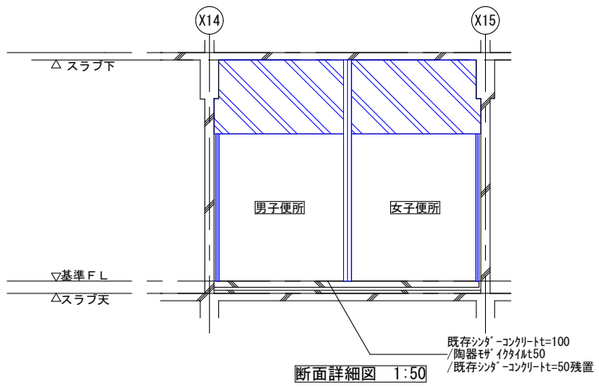
凡例

RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)

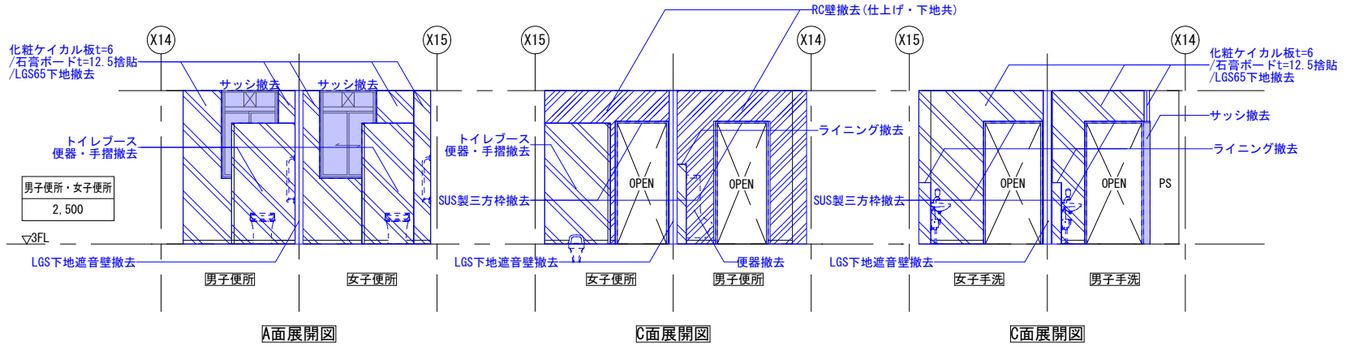


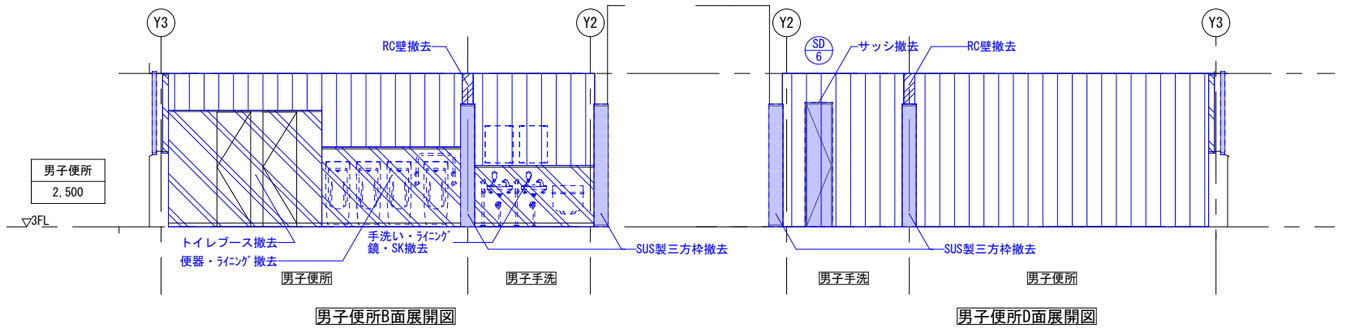
平面詳細図　1:50

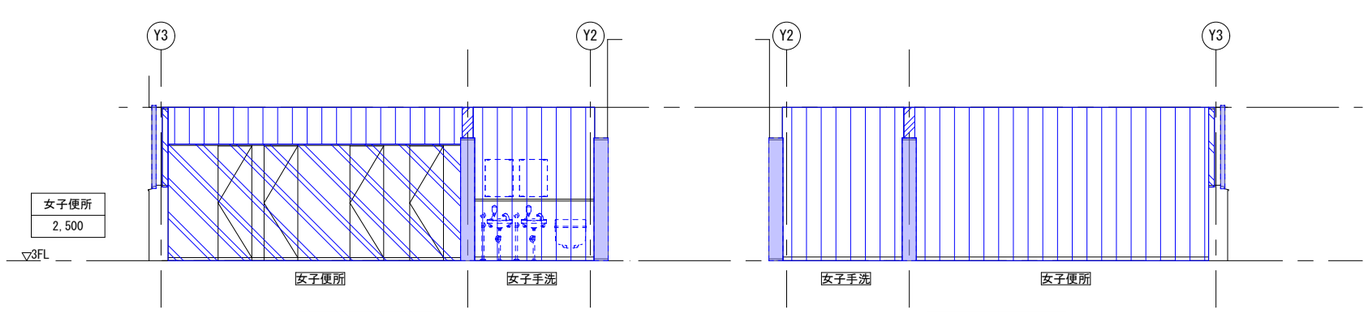


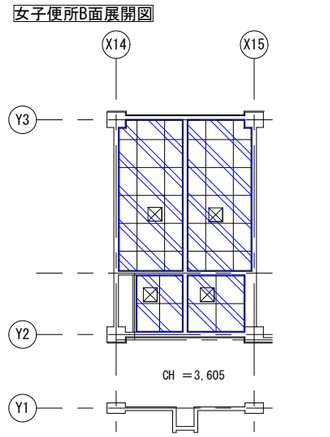
断面詳細図　1:50

展開図　1:50









☒: 天井点検口　アルミ製　450×450

天井伏図　1:100

仕上表

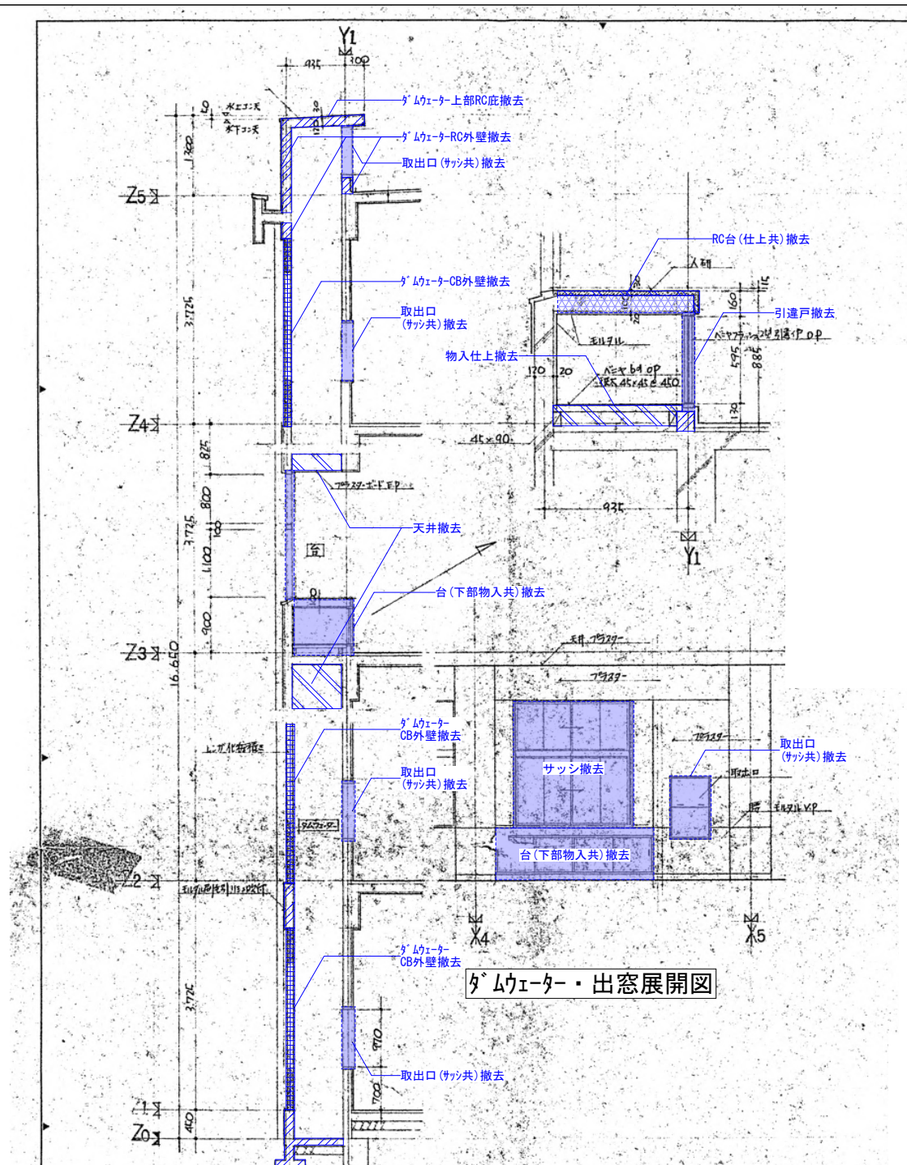
部位	記号	仕上
天井	Ⓐ	化粧石膏ボード　t=9.5張（LGS 下地共）
壁	Ⓑ	化粧ケイカル板　t=6（石膏ボード t=12.5捨張）…LGS65 下地
	Ⓒ	化粧ケイカル板　t=6（石膏ボード t=12.5捨張）…LGS65 下地（スタッド横使い）
巾木	Ⓓ	ビニル巾木　H=60
床	Ⓔ	長尺塩ビシート　t=2貼（シンダーコンクリート　t=100）
	Ⓕ	長尺塩ビシート　t=2貼（下地モルタル調整共）
汚垂石	Ⓖ	小便器下専用おだれ陶板
枠	Ⓗ	SUS 製三方枠
	Ⓘ	SUS 製見切
	Ⓙ	額縁：アルミ t2加工（四方枠）

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	038
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体展開図12	縮尺	-	
	月日		月日												

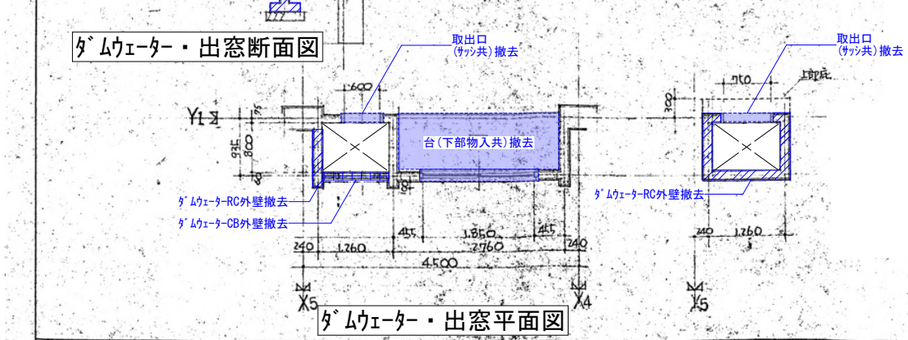
凡例

RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
その他撤去部分を示す

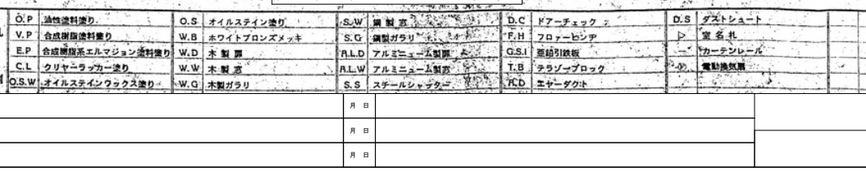
※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)



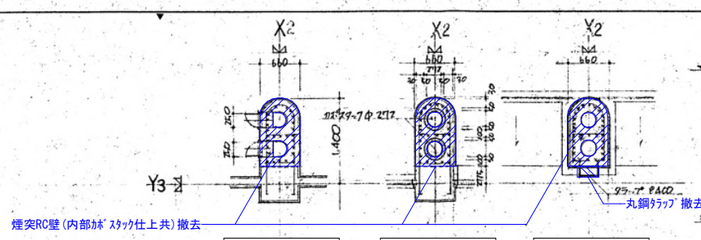
ダムウェーター・出窓展開図

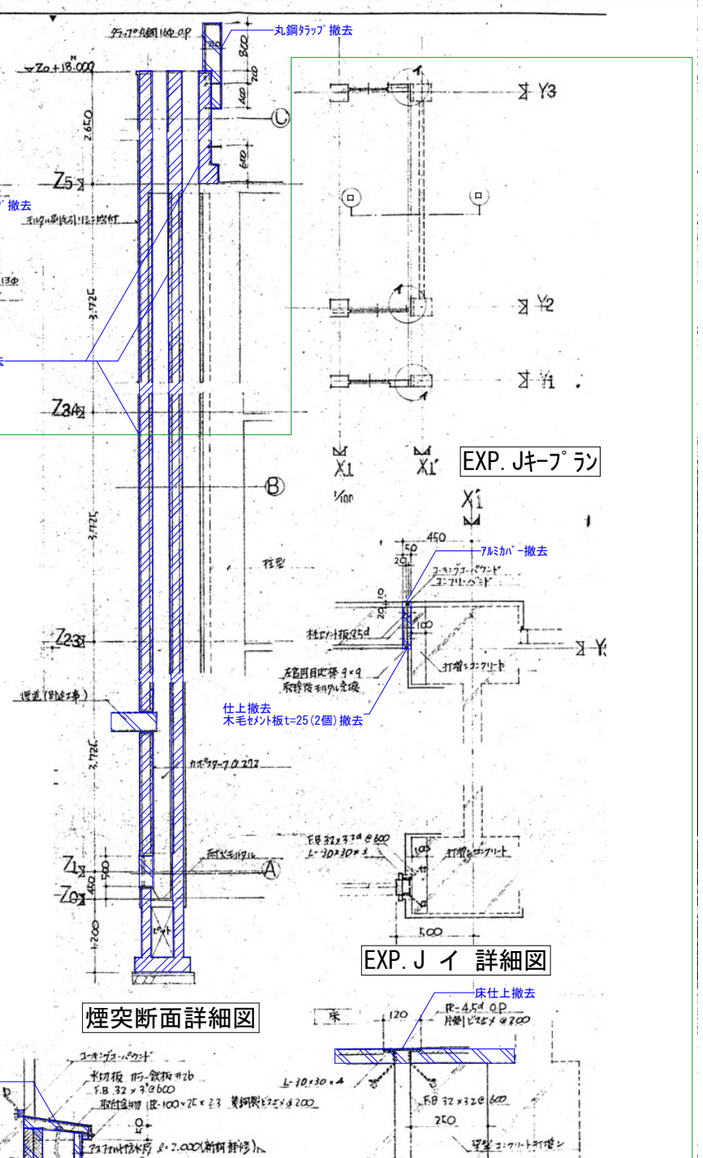


ダムウェーター・出窓断面図



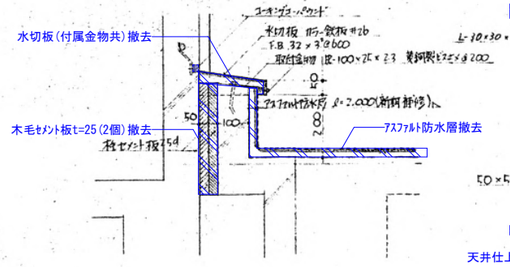
ダムウェーター・出窓平面図



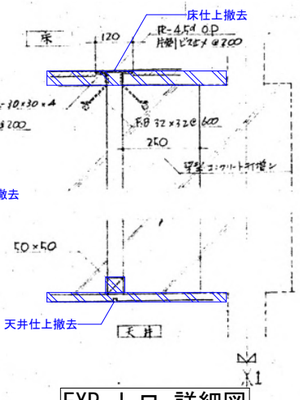


煙突断面詳細図

EXP.J イ 詳細図



EXP.J ロ 詳細図



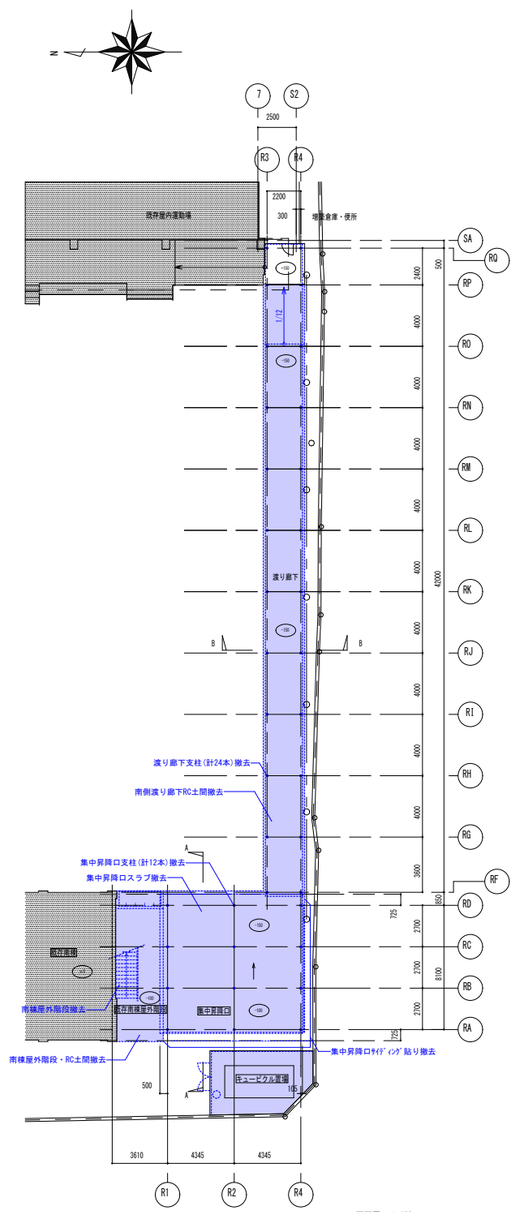
EXP.J ロ 詳細図

凡例

O.P	油性塗料塗り	O.S	オイルステイン塗り	S.W	鋼製窓	D.C	ドアーチェック
V.P	合成樹脂塗料塗り	W.B	ホワイトブロンズメッキ	S.G	鋼製ガラリ	F.H	フロアーヒンジ
E.P	合成樹脂系エルマジョン塗料塗り	W.D	木製扉	A.L.D	アルミニューム製扉	G.S.I	亜鉛引鉄板
C.L	クリヤーラッカー塗り	W.W	木製窓	A.L.W	アルミニューム製窓	T.B	テラゾーブロック
O.S.W	オイルステインウックス塗り	W.G	木製ガラリ	S.S	スチールシャッター	F.C.D	エキスパンドコンクリート
						D.S	ダストシュート
						P	宮名札
						C	カーテンレール
						分	電動換気扇

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	039
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体展開図13	縮尺	-	
	月日		月日											

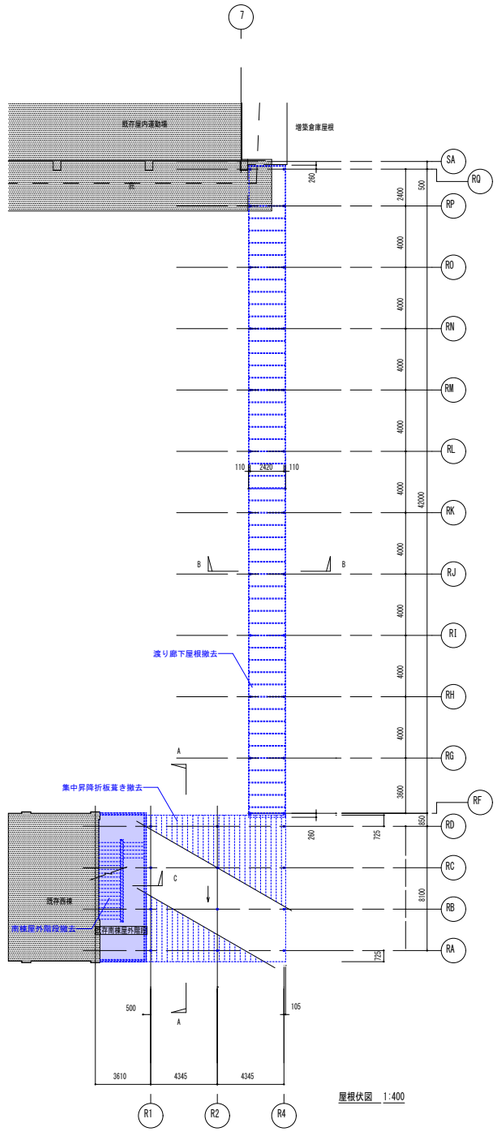
凡例　RC土間撤去　仕上げ、備品撤去　※解体箇所を青字・青色着色で示す。



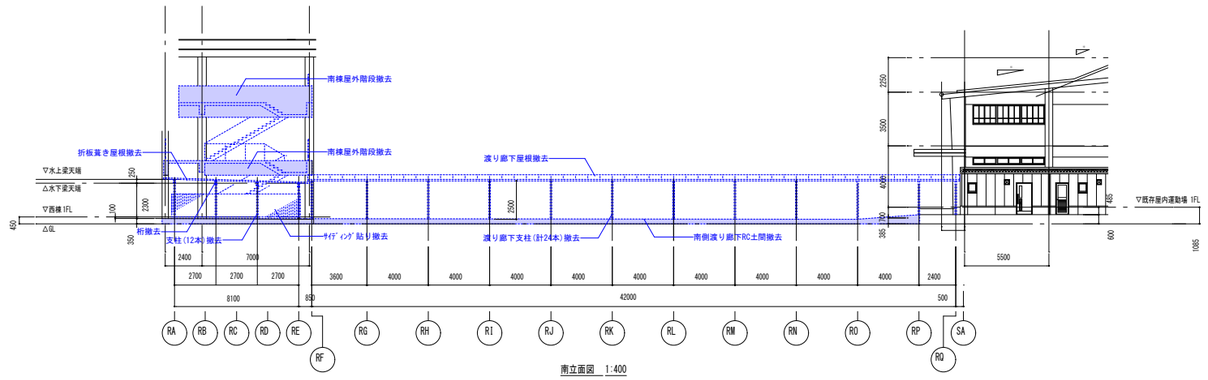
平面図　1:400

注記)　1. (-20)　は既存南棟ＩＦＬからの床仕上げレベルを示す。

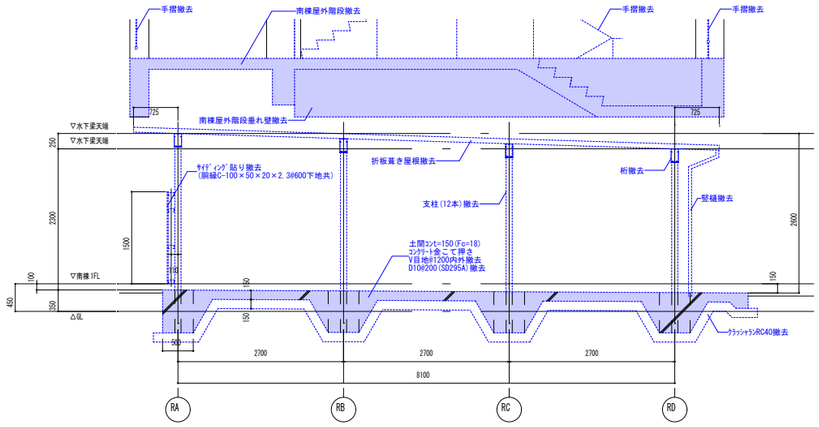
2.　は既存建物現況部分を示す。



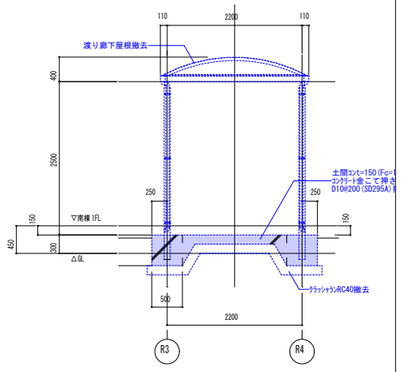
屋根伏図　1:400



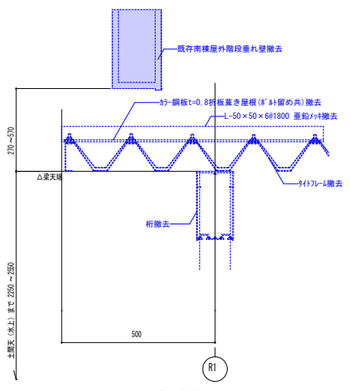
南立面図　1:400



A-A 断面図　1:100



B-B 断面図　1:100

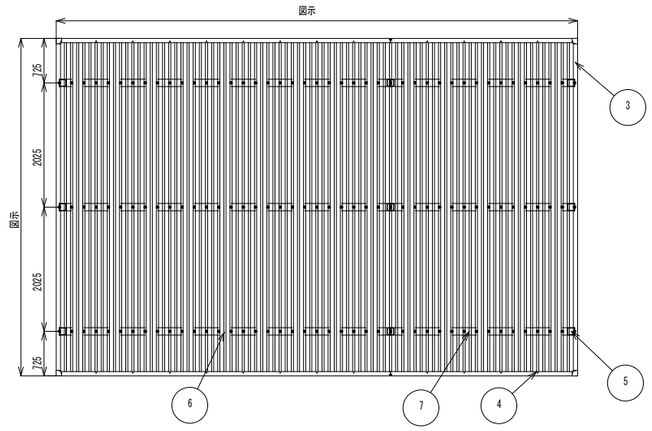


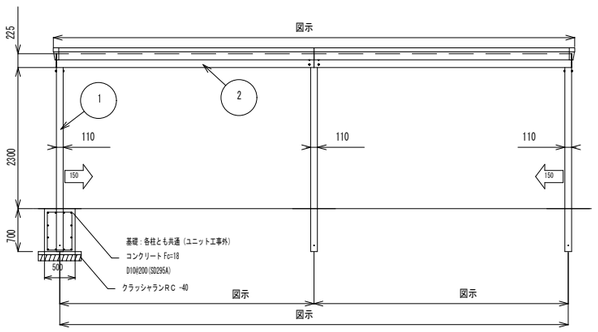
C部　詳細図　1:10

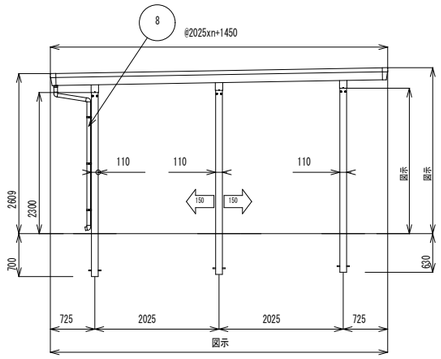
備考															
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	040
	月日		月日											
	月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体渡り廊下図1	縮尺	–	

※集中昇降口及び屋外渡り廊下の構成部材は全て撤去とする。

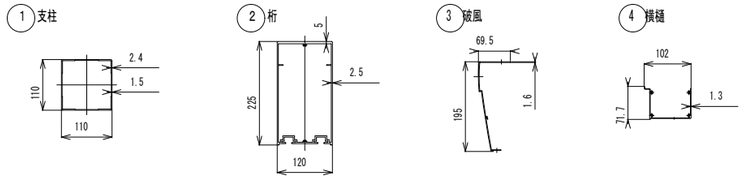
渡り廊下構成部材







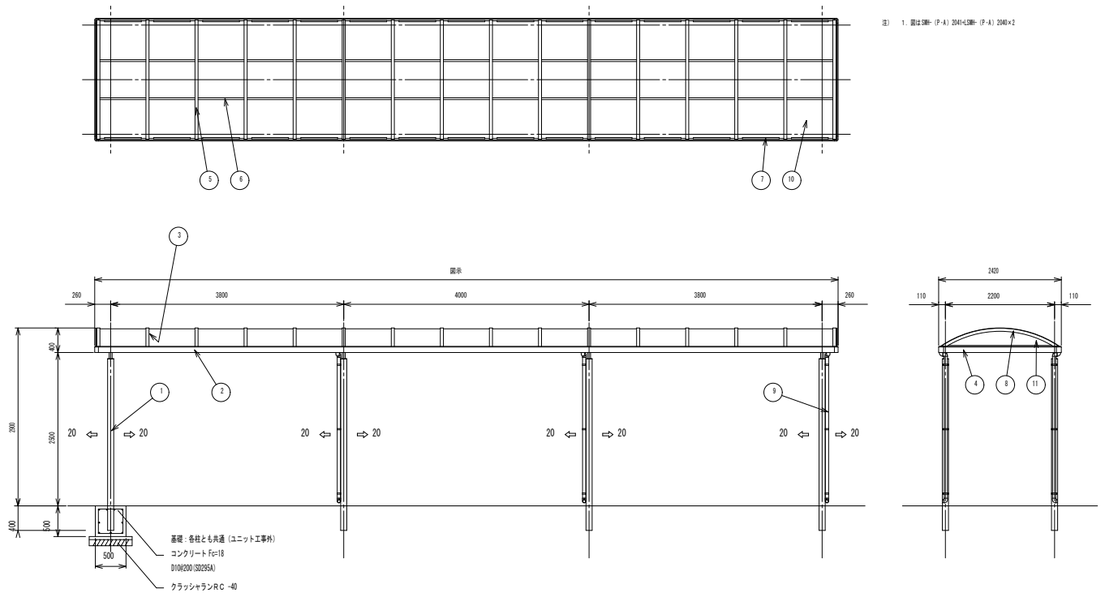
主要部材断面図 (S=1/10)



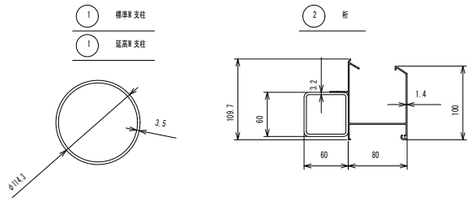
ボルト類	ステンレス
屋根材	88折板
⑧ 縦　　縞	ASA
⑦ ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑ 中間用 3山	ZAM
⑥ ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑ 中間用 2山	ZAM
⑤ ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑ 端部用 0.5山	ZAM
④ 横縞	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
③ 破風	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
② 桁	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
① 支柱	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
主 要 部 材	仕　　様（材 質 ・ 塗 装）

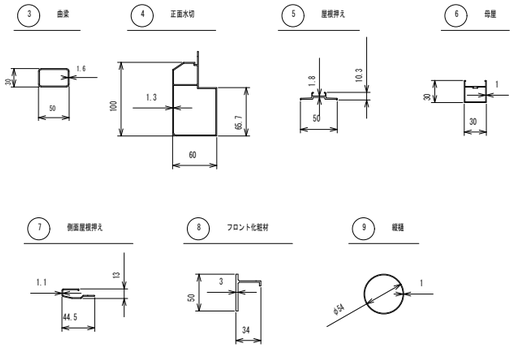
南側渡り廊下（1）ユニット詳細図　1:50

渡り廊下構成部材



主要部材断面図 (S=1/5)



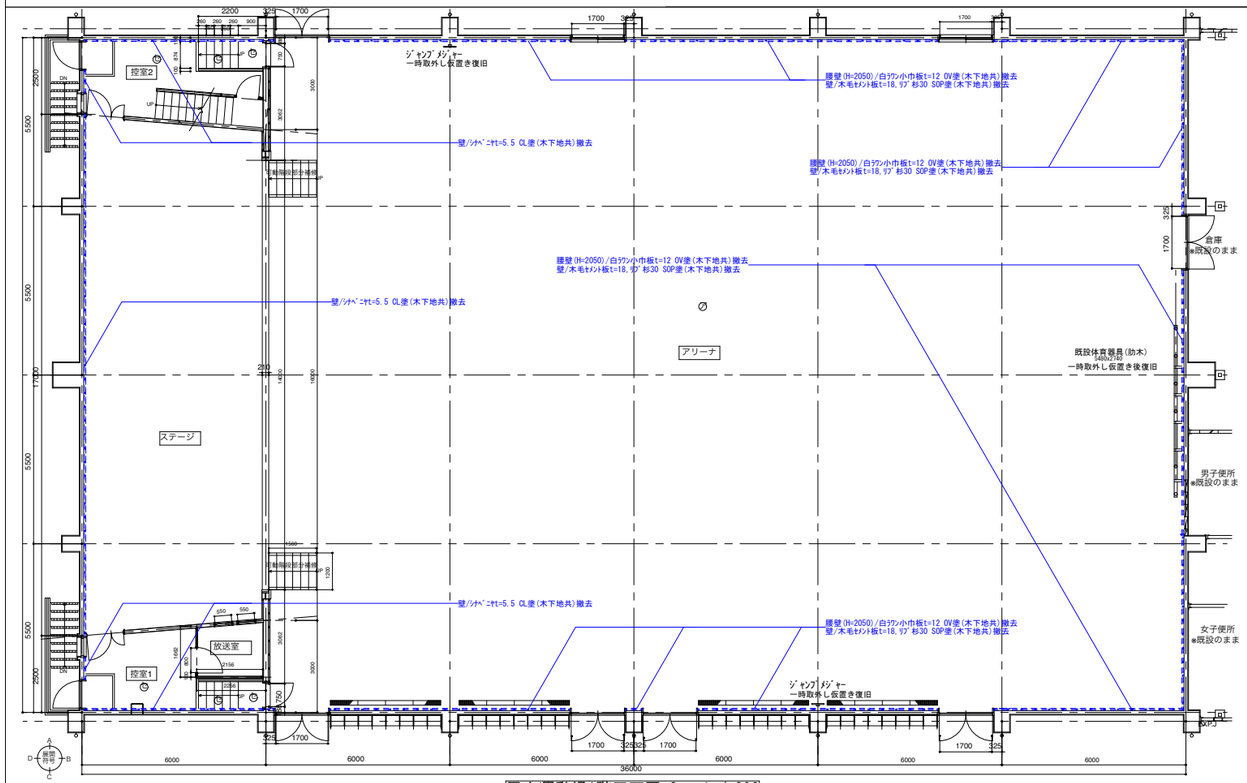


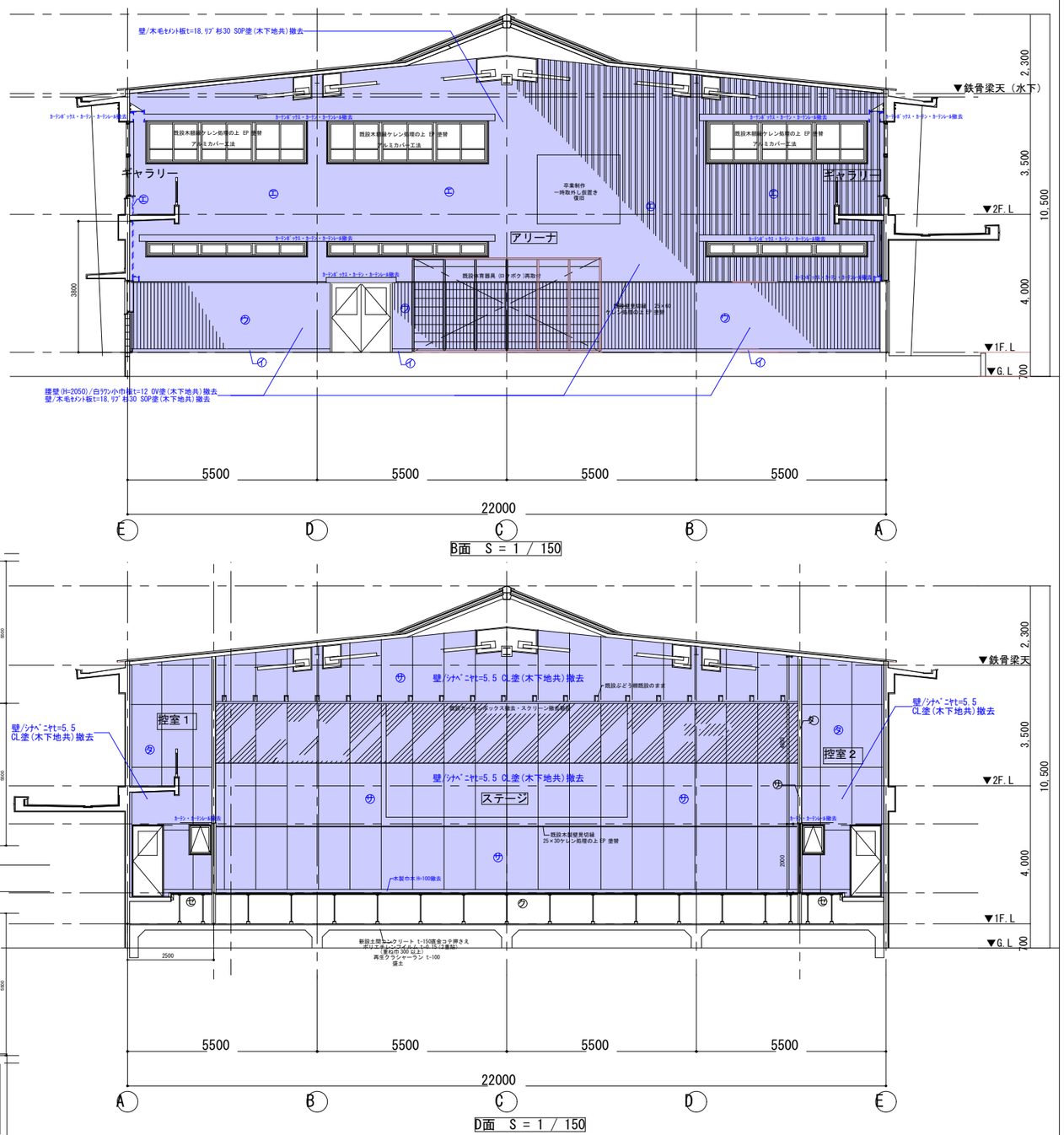
ボルト類	ステンレス (SUS304)
⑪ フロントパネル	熱線遮断ポリカーボネート板
⑩ 屋根材	熱線遮断ポリカーボネート板
⑨ 縦縞	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
※ ⑧ フロント化粧材	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑦ 側面屋根押え	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
※ ⑥ 母屋	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
※ ⑤ 屋根押え	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ 正面水切	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 中間曲梁 端部曲梁	一般構造用角形鋼管 ポリエステル粉体塗装
② 桁	一般構造用角形鋼管（溶融亜鉛メッキ） ポリエステル粉体塗装 アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
① 標準H 支柱 延高H 支柱	一般構造用改良鋼管 ポリエステル粉体塗装
主 要 部 材	仕　　様（材 質 ・ 塗 装）
型 式 コ ー ド	
商　品　名	

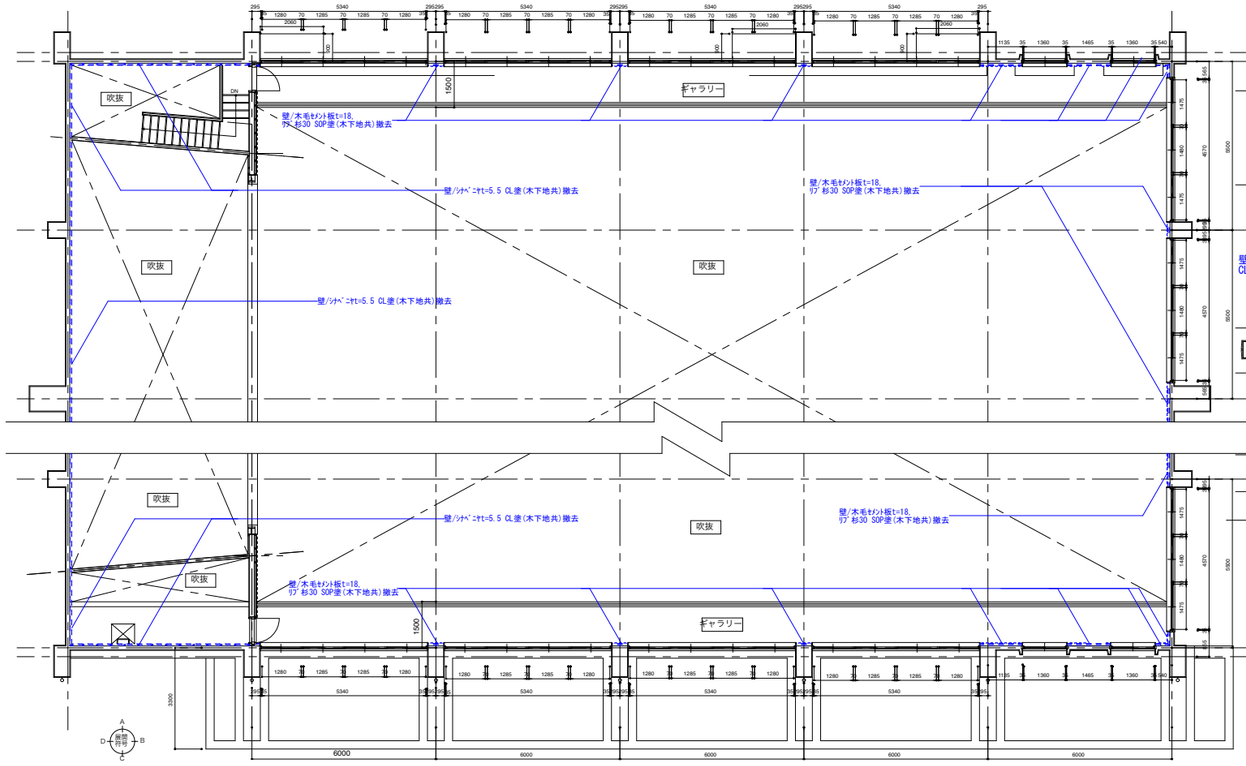
南側渡り廊下（2）ユニット詳細図　1:50

備考																
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	041
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体渡り廊下図2	縮尺	－	
	月 日		月 日											

※図面内記号は既存仕上表による。　　※解体箇所を青字・青色着色で示す。





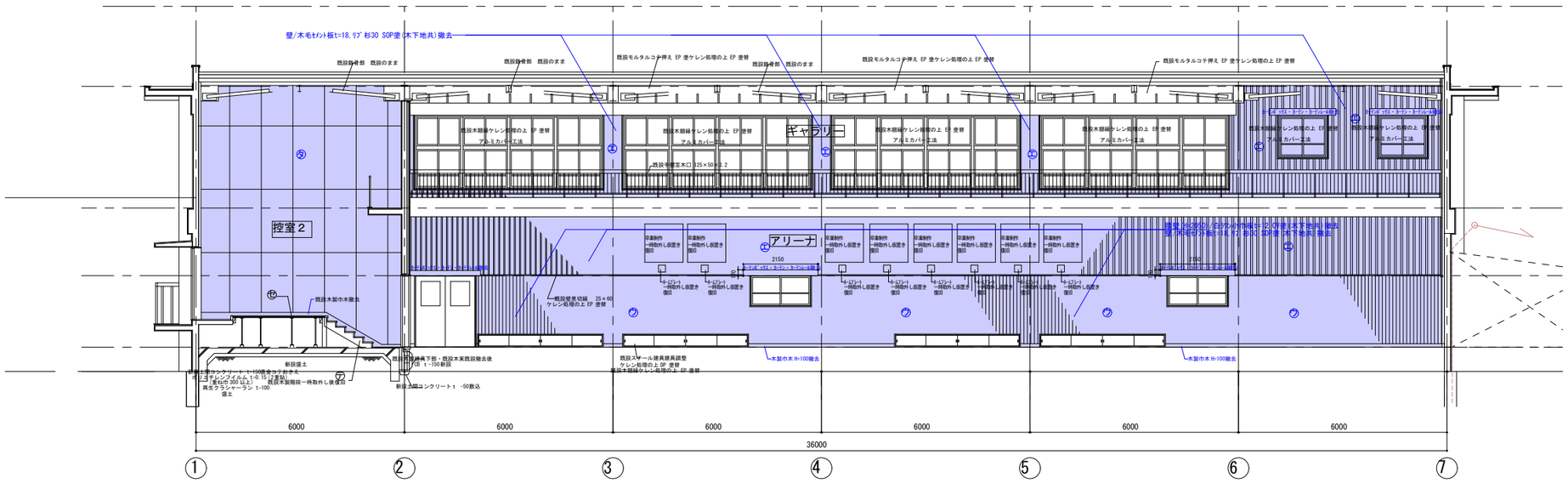


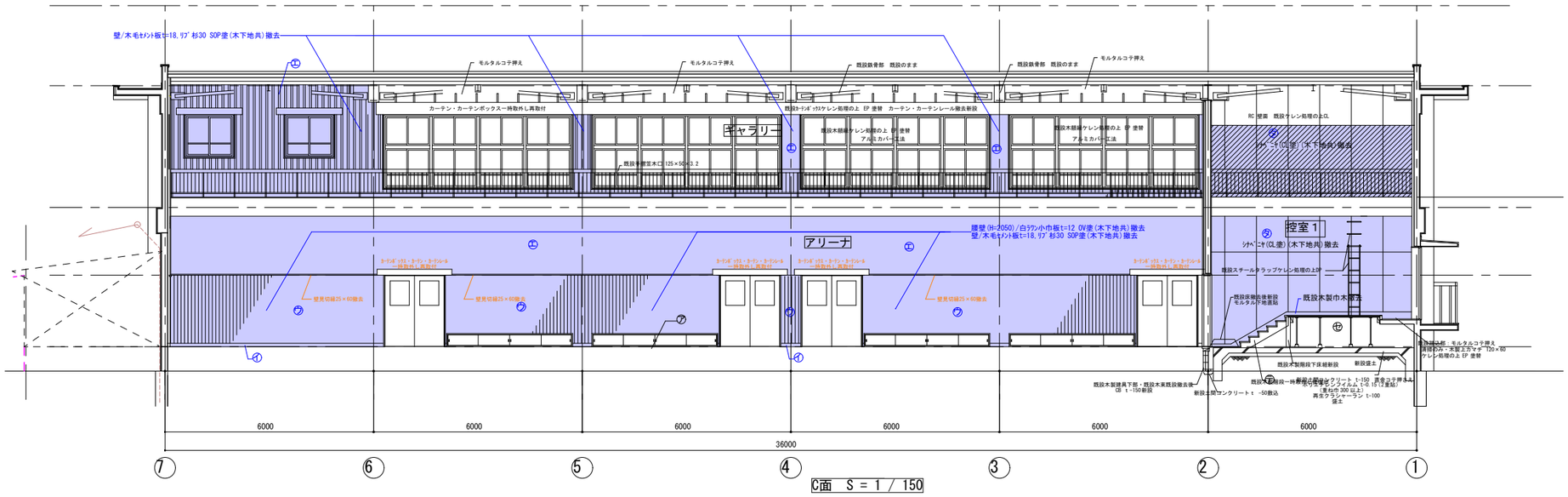
方位

東　北　南　西

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	042
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	屋内運動場解体図1	縮尺	-	
	月日		月日												

※図面内記号は既存仕上表による。　　※解体箇所を青字・青色着色で示す。

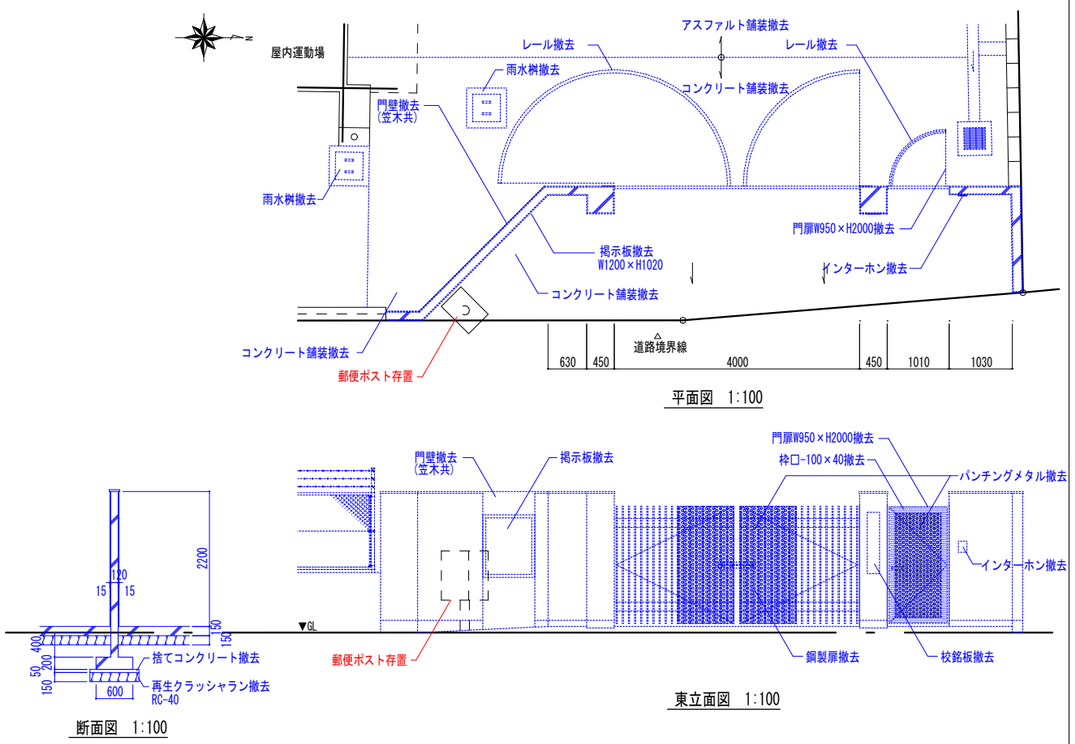




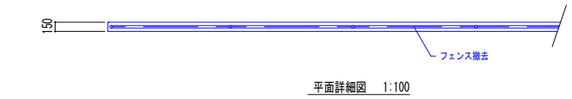
備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	043
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	屋内運動場解体図2	縮尺	－	
	月日		月日												

※解体箇所を青字・青色着色で示す。

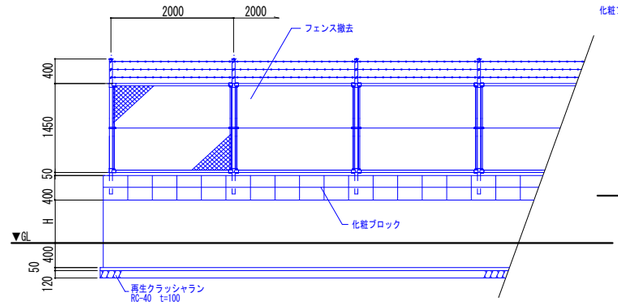
東門 撤去図　（撤去）　1:100



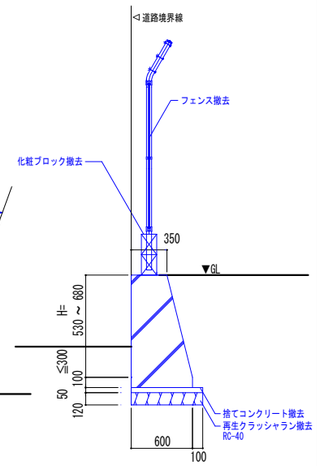
フェンス(1)　（撤去）　1:60 , 1:100



平面詳細図　1:100

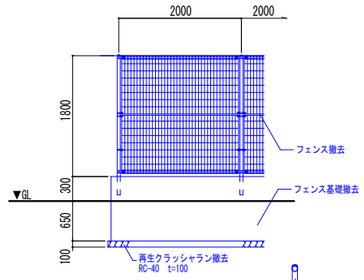


立面図　1:100

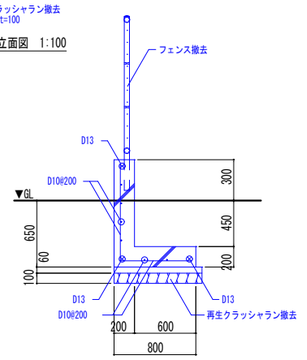


断面詳細図　1:60

フェンス(2)　（撤去）　1:60 , 1:100



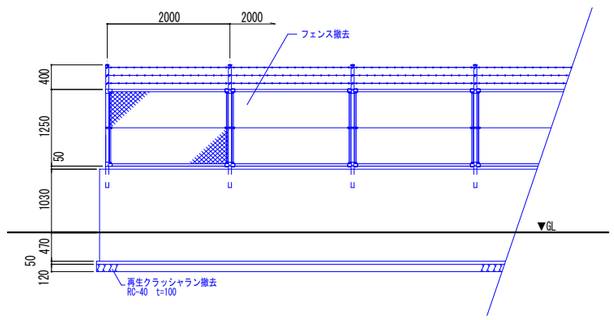
立面図　1:100



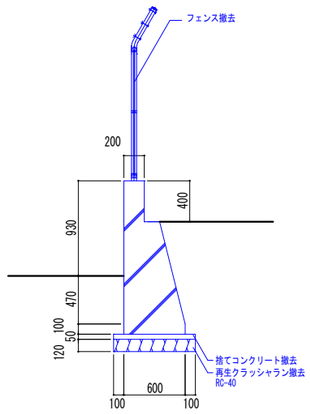
断面詳細図　1:60

フェンス(3)　（撤去）　1:60 1:100

平面詳細図　1:100



立面図　1:100

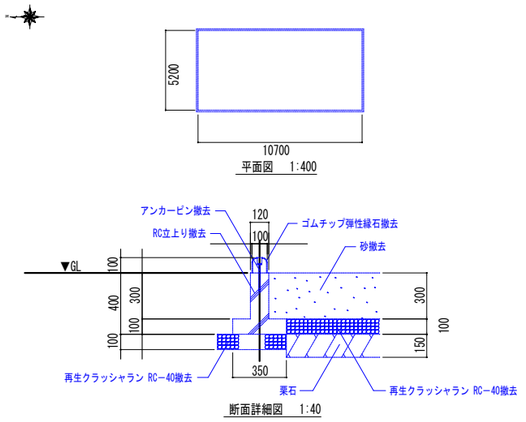


断面詳細図　1:60

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	044
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体部分詳細図1	縮尺	－	
	月日		月日												

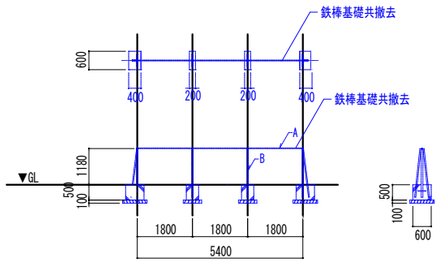
※解体箇所を青字・青色着色で示す。

砂場　（撤去） 1:40 , 1:400

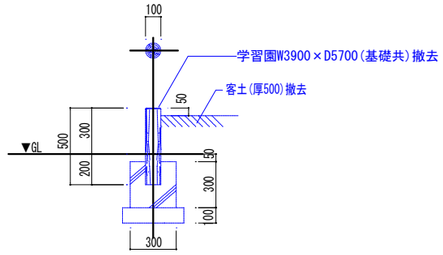


低鉄棒　（撤去） 1:200

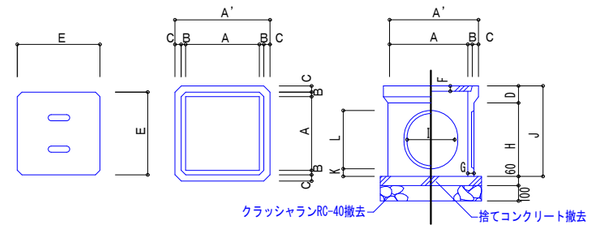
部材リスト	
A	○-240
B	L-40x40x5



学習園　（撤去） 1:40



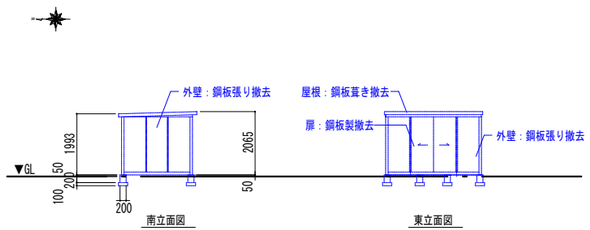
既製品会所(1),(2),(3)　（撤去） 1:40

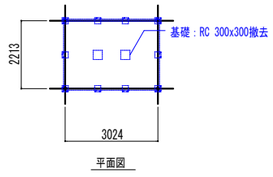


	呼び方	寸法(m/m) 会所桝 A	A'	B	C	D	フタ E	F	G	H	I	J	K	L
(1)	400	400	560	40	40	100	470	50	40	490	350	590	55	380
(2)	450	450	620	45	40	120	530	60	45	560	380	680	90	380
(3)	500	500	700	55	45	160	600	70	55	610	440	770	115	380

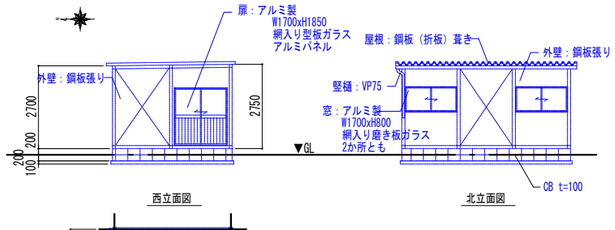
特記仕様：高さは標準を示すもので、現況により多少の深浅がある。

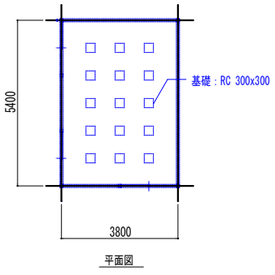
倉庫1　（撤去） 1:200



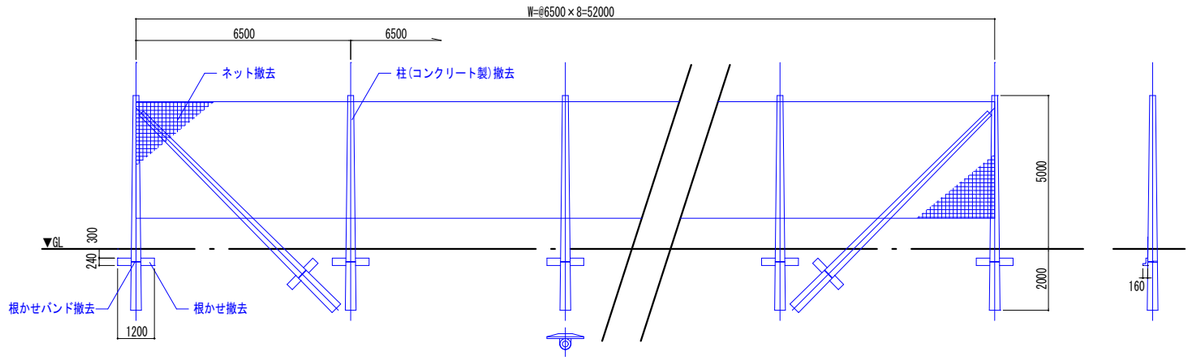


倉庫2　（撤去） 1:200





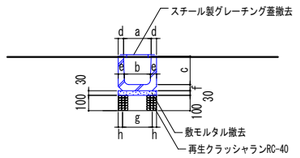
防球ネット　（撤去） 1:200



備考														
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	045
	月 日		月 日											
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体部分詳細図2	縮尺	–	

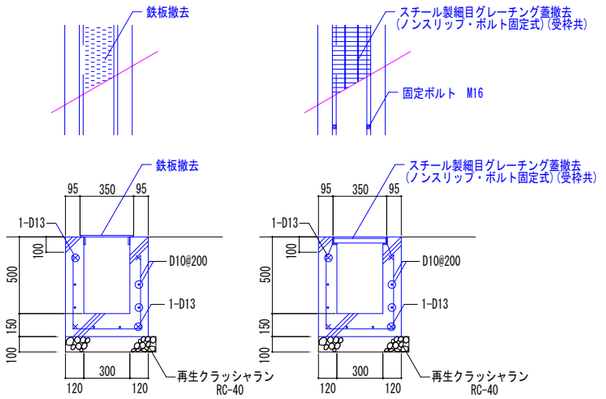
※解体箇所を青字・青色着色で示す。

U字型側溝　（撤去）　1:40

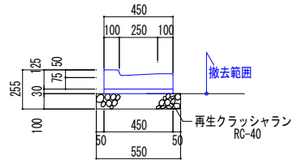


	a	b	c	d	e	f	g	h	r
U18	180	170	180	35	40	40	250	50	50
U24	240	220	240	45	50	50	330	50	50

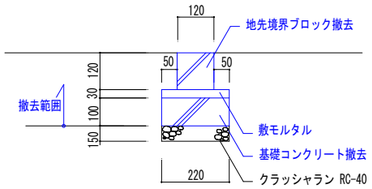
道路側側溝　（撤去）1:40



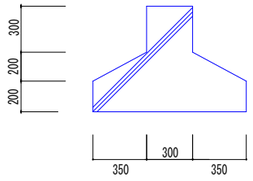
L字型側溝　（撤去）　1:40



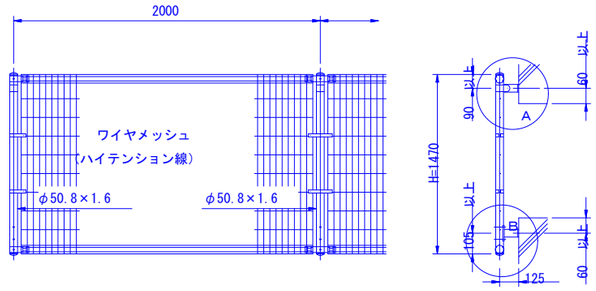
縁石　（撤去）　1:20



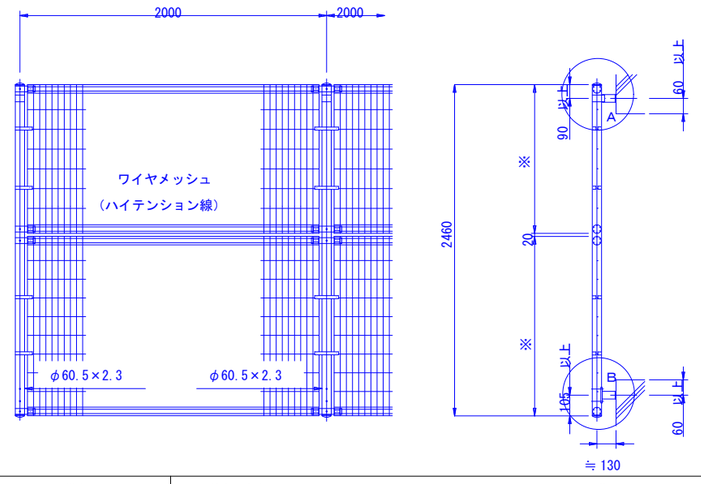
既存木造校舎布基礎　（撤去）　1:40



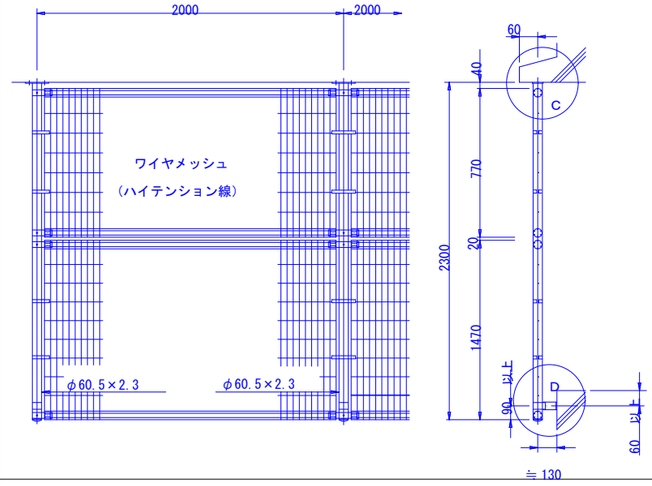
防球フェンス(1)詳細図　（撤去）　S=1:40



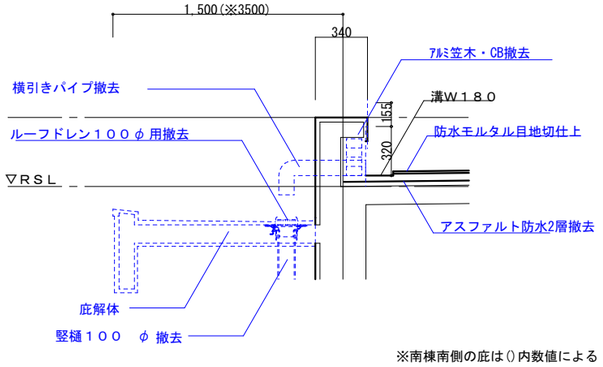
防球フェンス(2)詳細図　（撤去）　S=1:40



防球フェンス(3)詳細図　（撤去）　S=1:40

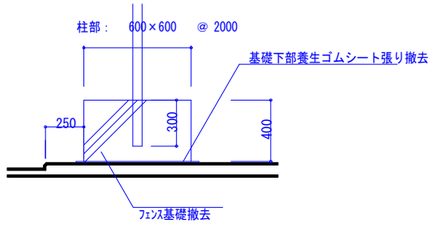


本館南棟ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・庇部分詳細図　（撤去）　S=1:40

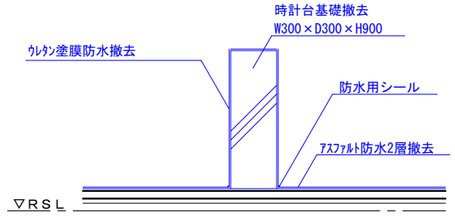


※南棟南側の庇は()内数値による

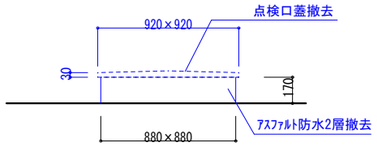
屋上ﾌｪﾝｽ基礎　（撤去）　S=1:40



屋上精密日時計台　（撤去）　S=1:40



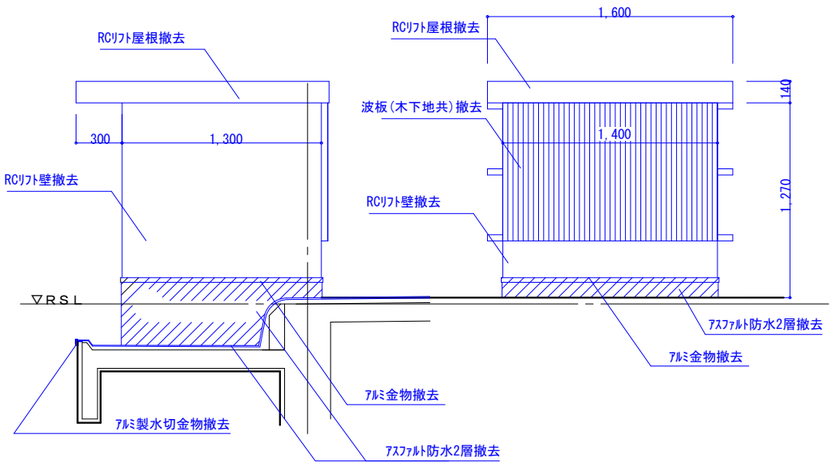
北棟屋上点検口　（撤去）　S=1:40



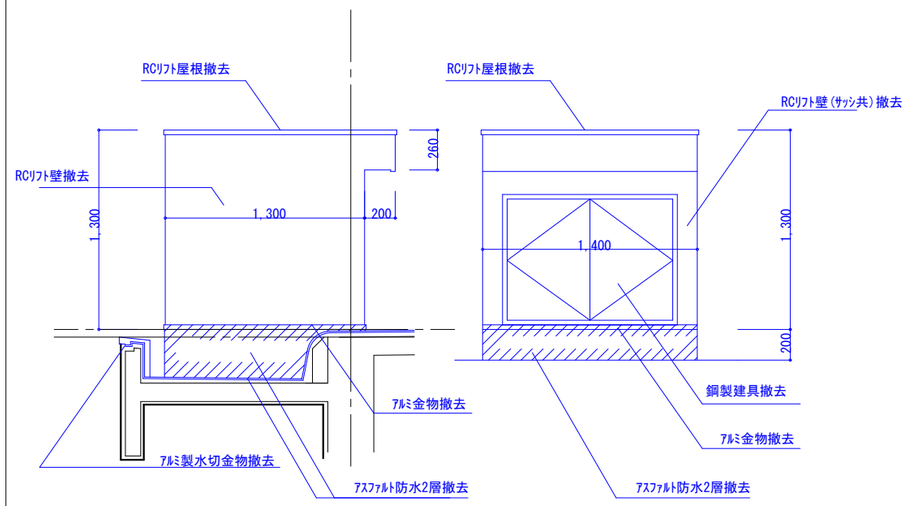
備考																
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	046
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体部分詳細図3	縮尺	-	
	月日		月日													

※解体箇所を青字・青色着色で示す。

南棟ﾘﾌﾄ屋上部分　（撤去）　1:40

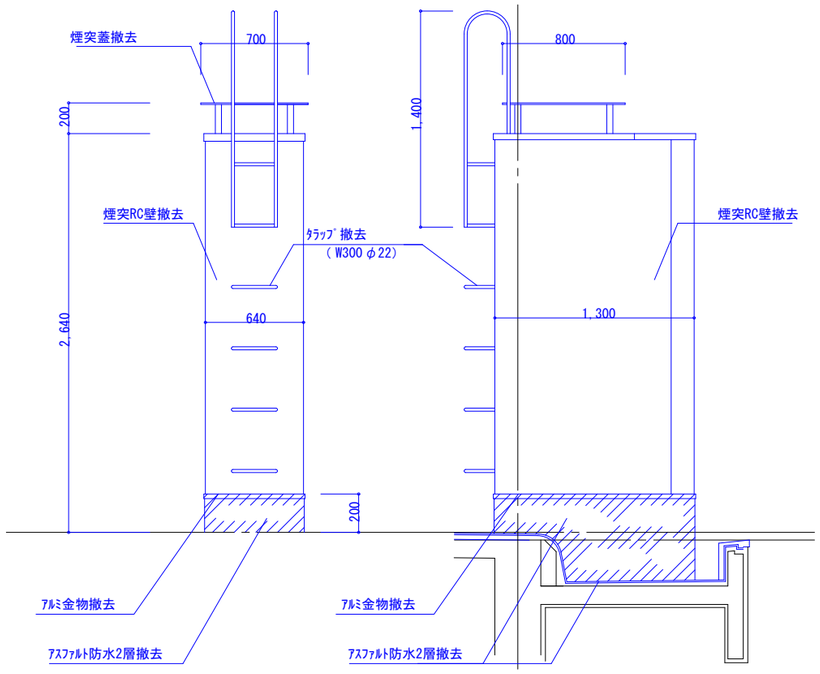


北棟ﾘﾌﾄ屋上部分　（撤去）　1:40



北棟煙突屋上部分　（撤去）　1:40

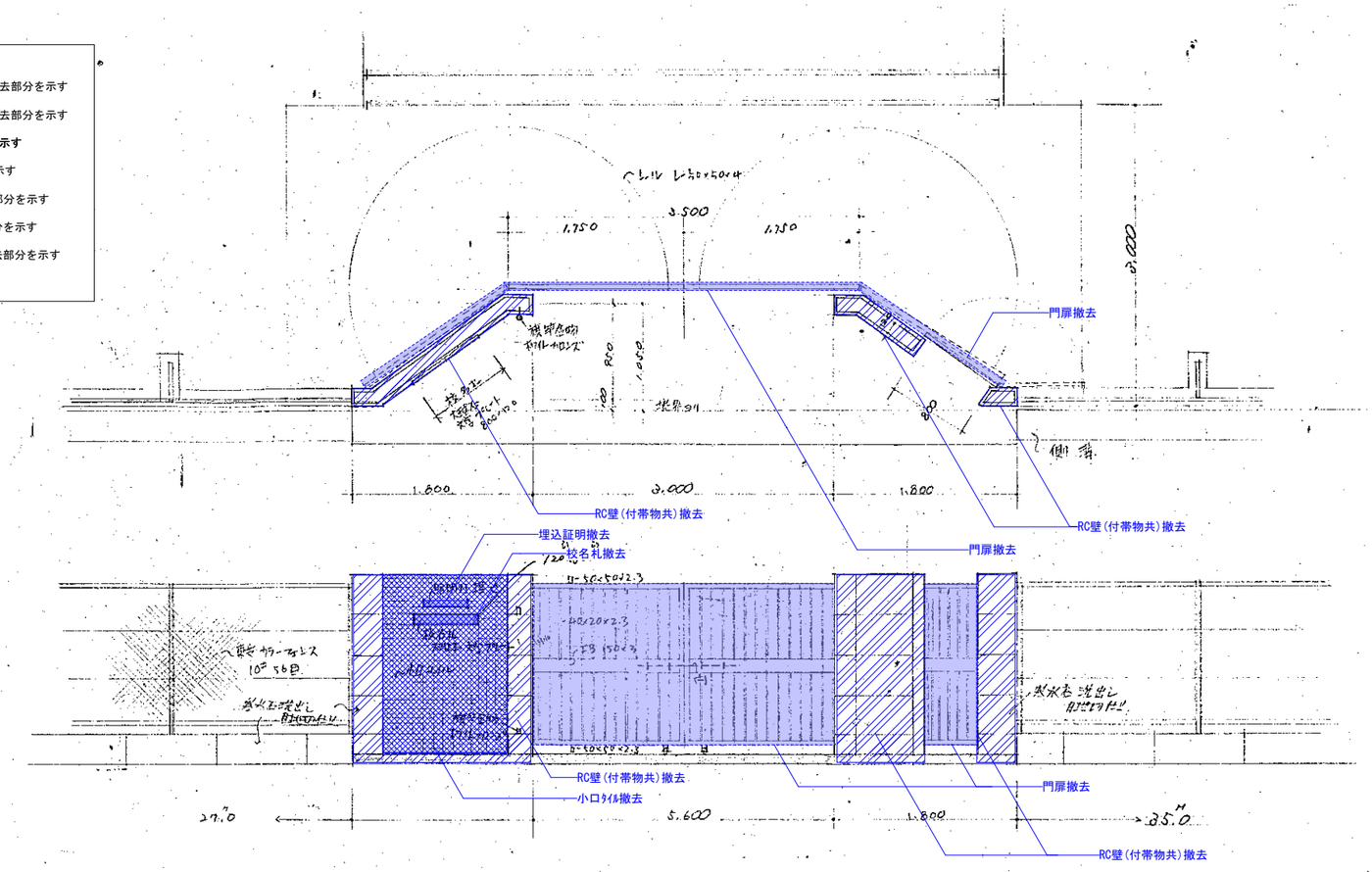
S＝1：20

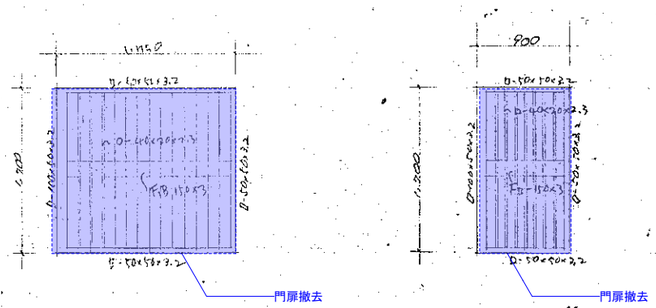


備考														
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K　047
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体部分詳細図4	縮尺	－
	月日		月日											

※解体箇所を青字・青色着色で示す。

RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
タイル部分の撤去を示す
ALC壁の撤去部分を示す
仕上げ・下地撤去部分を示す
間仕切り壁撤去部分を示す
サッシ及び備品撤去部分を示す

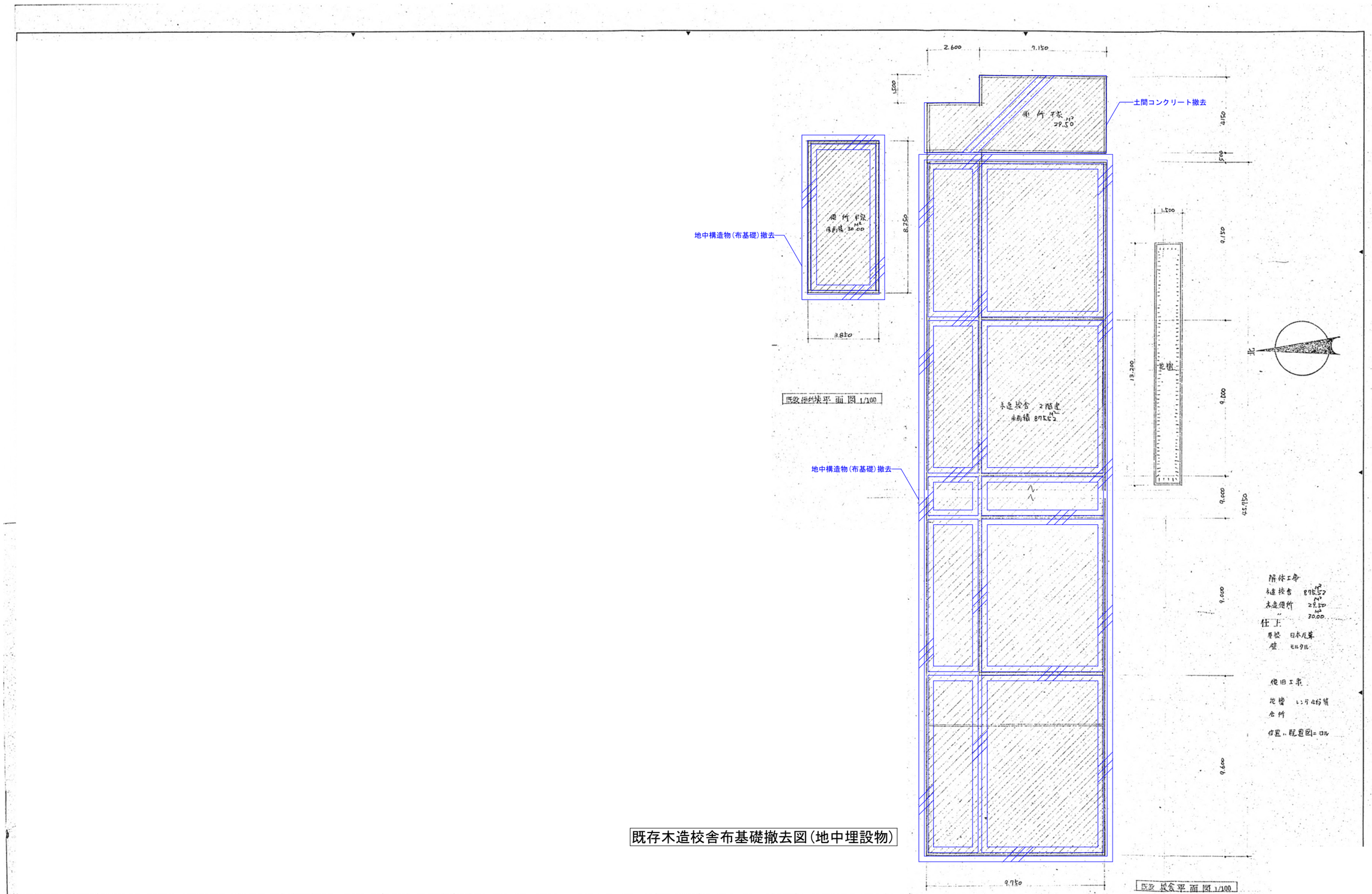




西門　撤去図

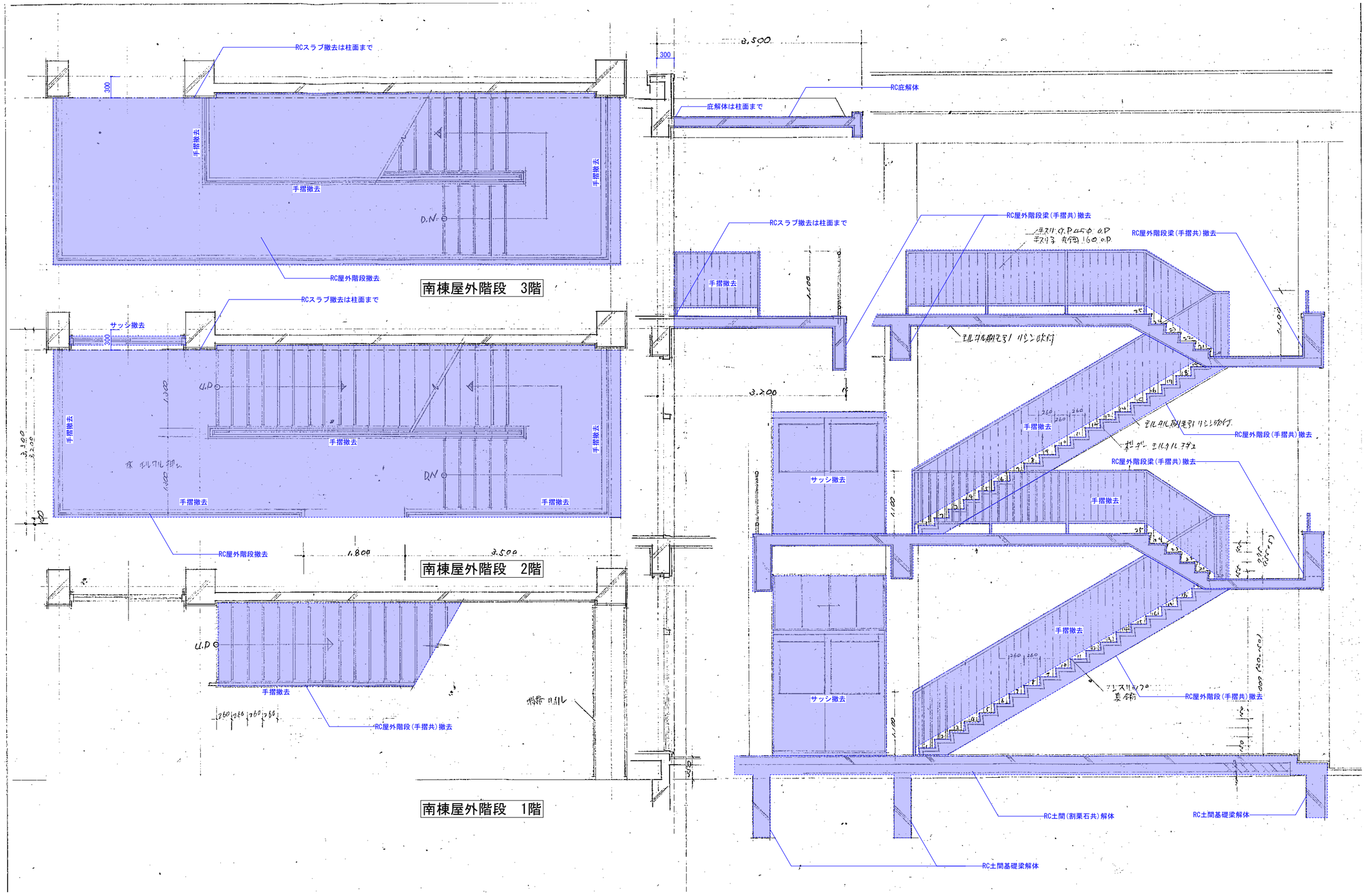
備考															
月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	048
月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体部分詳細図5	縮尺	–	
月日		月日											

※解体箇所を青字・青色着色で示す。



既存木造校舎布基礎撤去図(地中埋設物)

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤 高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	049
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	設計	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	種別	解体部分詳細図6	縮尺	-	
	月日		月日												



備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	050
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	解体部分詳細図7	縮尺	–	
	月日		月日												

アスベスト調査表

レベル１；無

レベル２；無

レベル３；無

石綿含有仕上塗材：無

不明建材については以下の通りです

【不明建材】

本館北棟　屋上アスファルト防水、シート防水

天井プラスターボードEP　普通教室(2-2)、多目的室(清掃倉庫)、図書室(学校図書室)、図書室(第2図書室)
コンピューター室（パソコン室）、図工室（多目的室）

天井フレキシブルボード　倉庫、下処理室、給食調理室、給食室横階段前手洗

塩ビ巾木　コンピューター室（パソコン室）

壁プラスターボード　図工室（多目的室）

カポスタック　煙突　（保護モルタルがあり採取不可でした）

本館南棟①　屋上アスファルト防水、シート防水

床長尺塩ビシート(クリーム)　会議室

床長尺塩ビシート(緑)　保健室

天井プラスターボードEP　会議室、保健室、普通教室（2-1）、普通教室(1-2)、多目的室（更衣室）、普通教室（4-2）、3階廊下

本館南棟②　屋上アスファルト防水、シート防水

天井プラスターボードEP　普通教室（1-1）、普通教室（4-1)、3階廊下

本館南棟③　屋上アスファルト防水、シート防水

床長尺塩ビシート(ピンク)　職員室

床長尺塩ビシート(緑)　更衣室、職員室、

床長尺塩ビシート(ベージュ柄)　校長室

目視確認できなかったエリア、隠蔽部(建材裏面の印字・刻印・素材等の確認ができなかったものを含む)

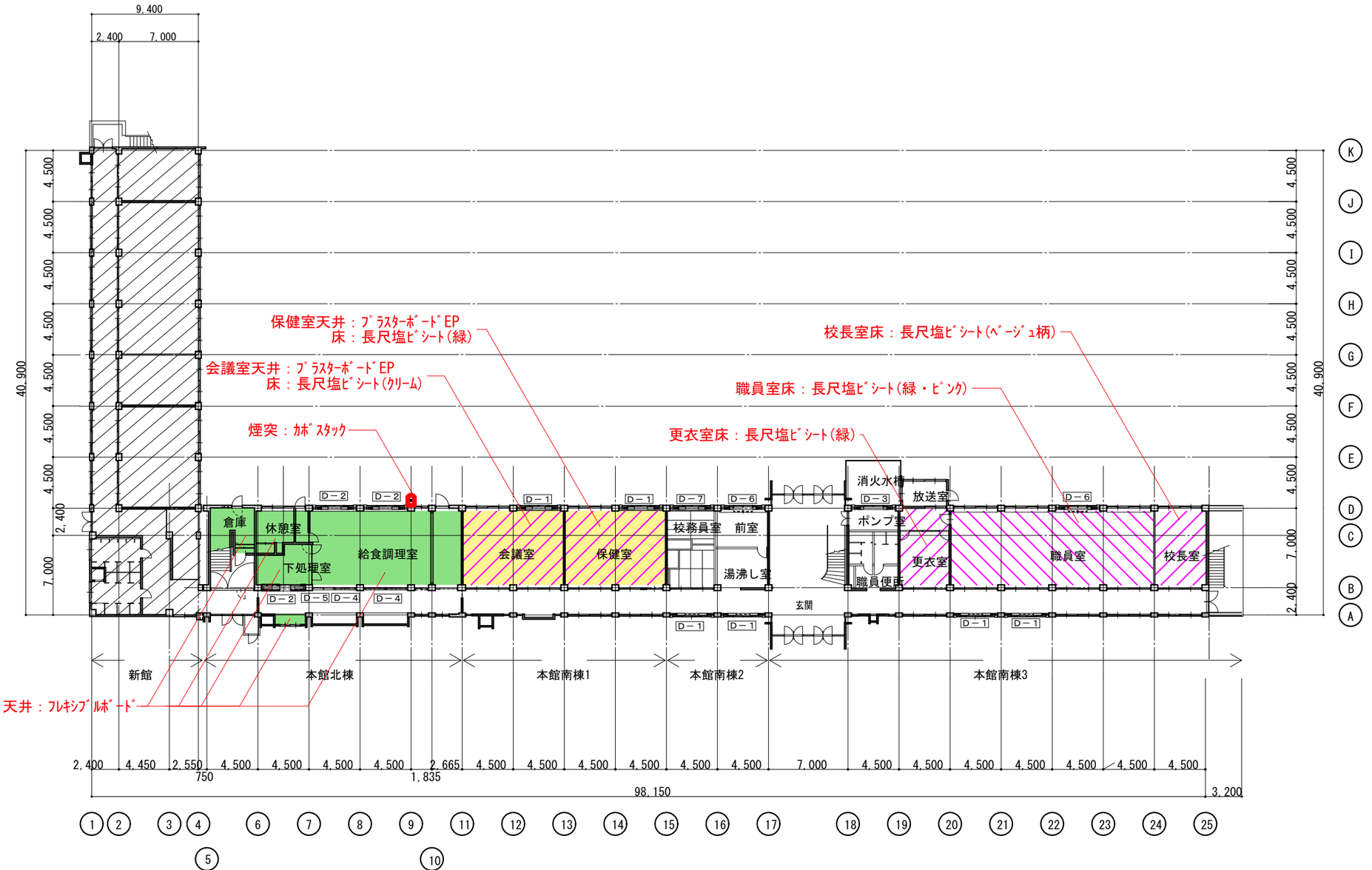
煙突内部、壁・天井内部

※新館は調査対象外

備考															
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	051
	月日		月日											
	月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	アスベスト調査表	縮尺	(A1) 1:0.66(A3)	

アスベスト調査 みなし建材平面図

※図示された建材について、不明建材のため全てみなしとする。
※配管保温材については全てみなしとする。



1階平面図　　S＝1/400

凡例

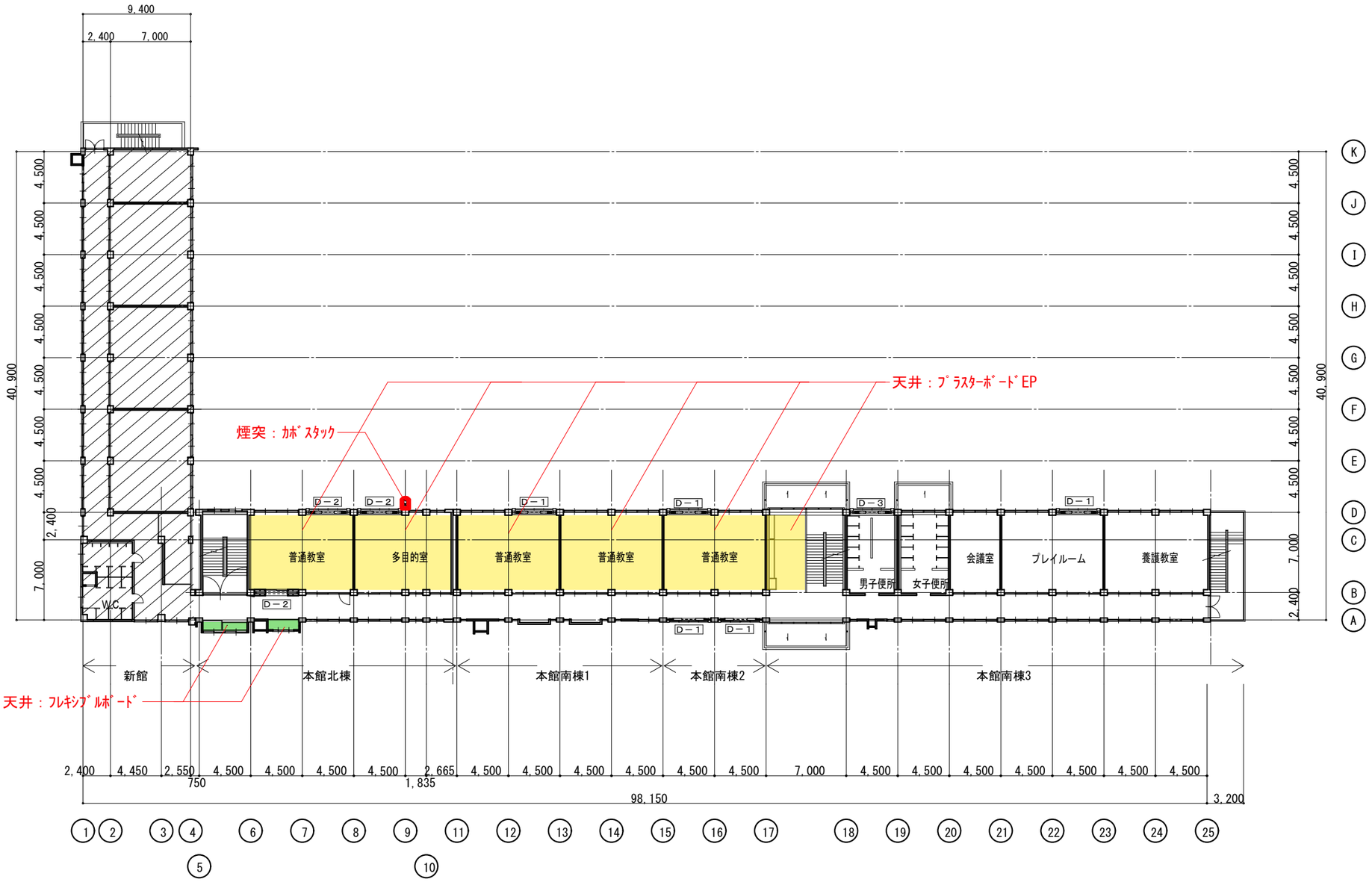
D－＊　：耐震補強部詳細図に示す。

※新館は調査対象外

備考																	
	月 日		月 日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	052
	月 日		月 日														
	月 日		月 日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	アスベスト範囲表1	縮尺	－	

アスベスト調査 みなし建材平面図

※図示された建材について、不明建材のため全てみなしとする。
※配管保温材については全てみなしとする。



凡例

D－＊ ：耐震補強部詳細図に示す。

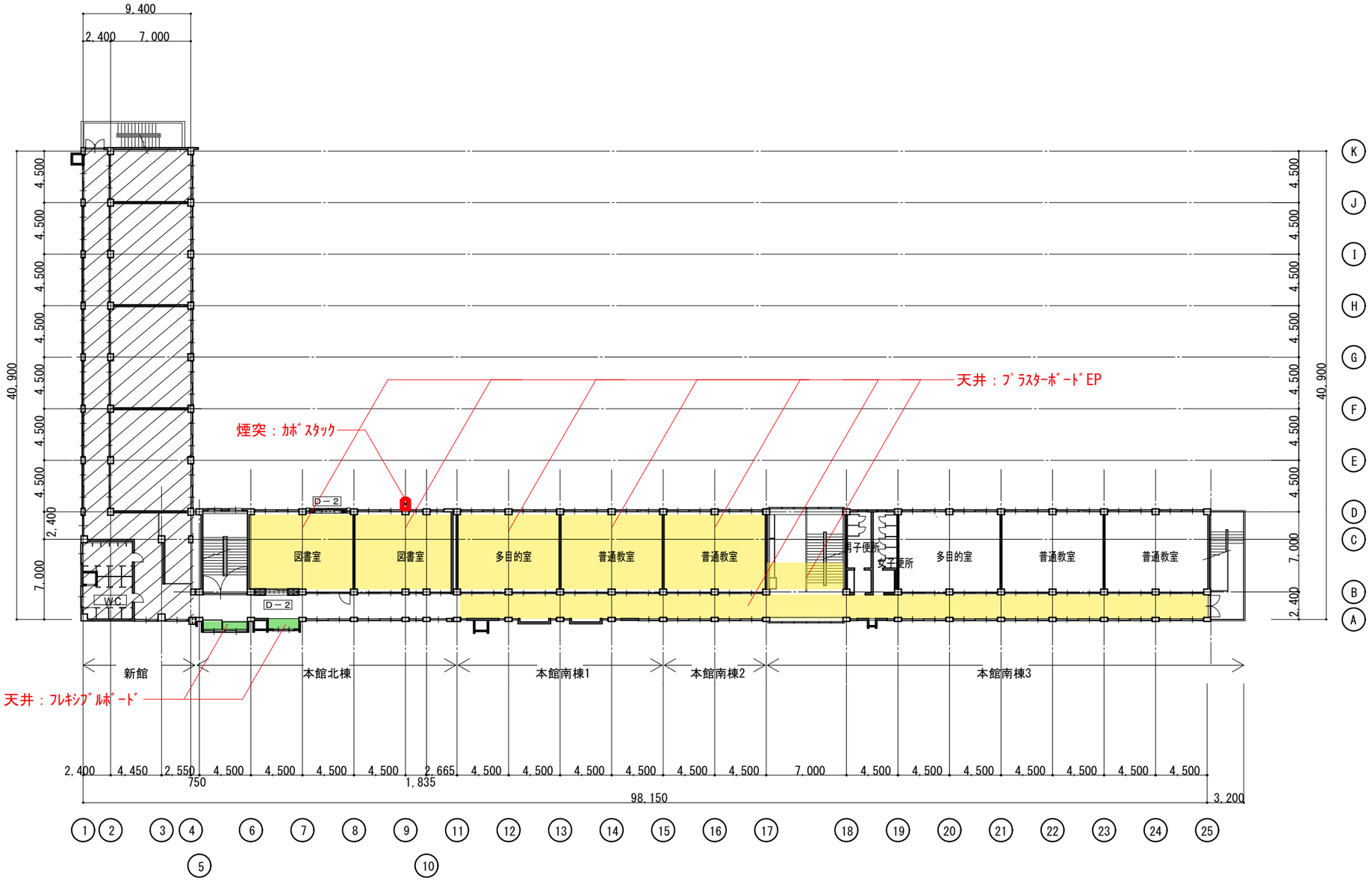
２階平面図　　S＝1/400

※新館は調査対象外

備考																			
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	053
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	アスベスト範囲表2	縮尺	－	
	月日		月日												

アスベスト調査 みなし建材平面図

※図示された建材について、不明建材のため全てみなしとする。
※配管保温材については全てみなしとする。



凡例

D－＊ ：耐震補強部詳細図に示す。

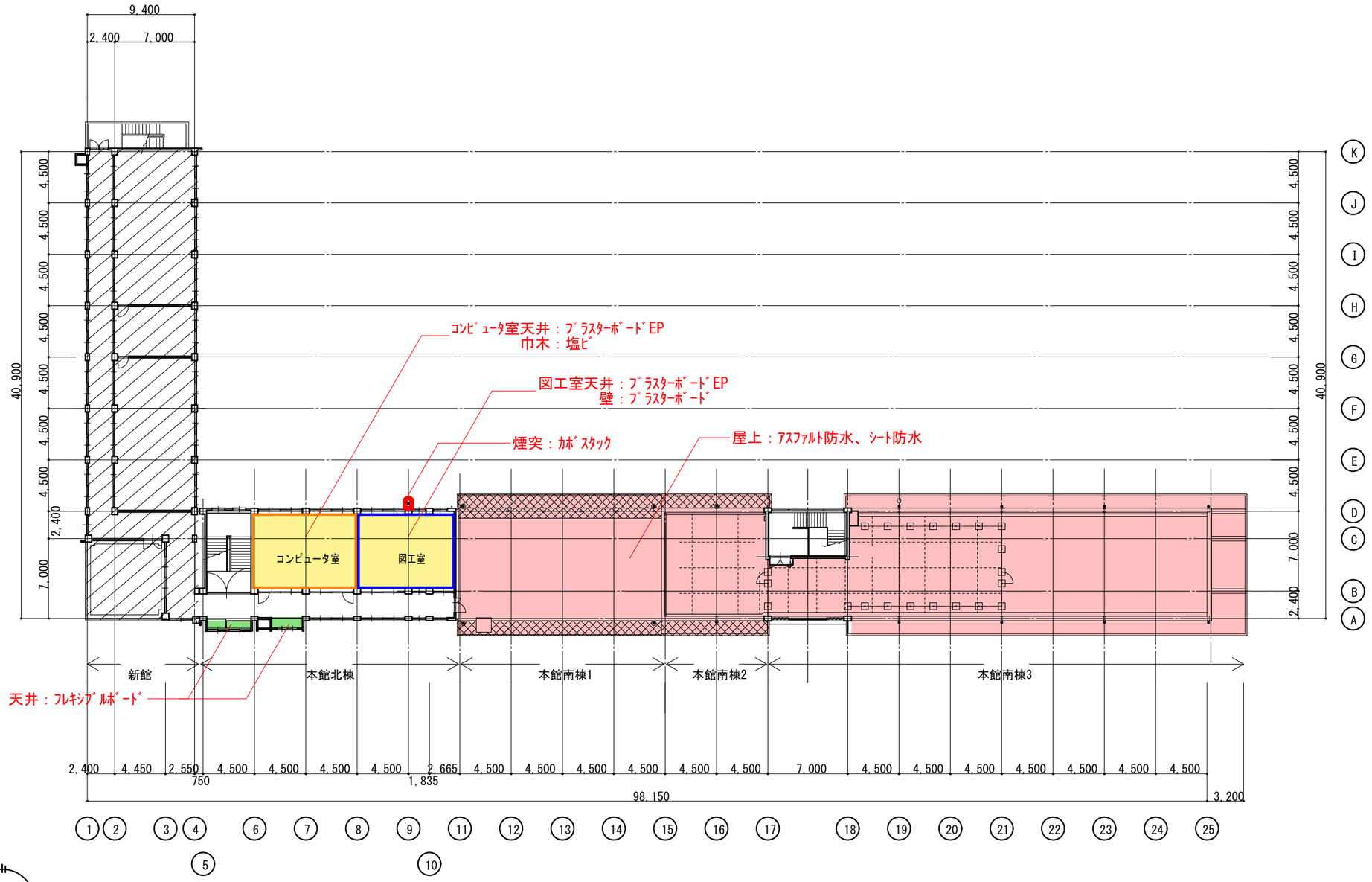
3階平面図　　S＝1/400

※新館は調査対象外

| | | |

アスベスト調査 みなし建材平面図

※図示された建材について、不明建材のため全てみなしとする。
※配管保温材については全てみなしとする。



凡例

D－＊ ：耐震補強部詳細図に示す。

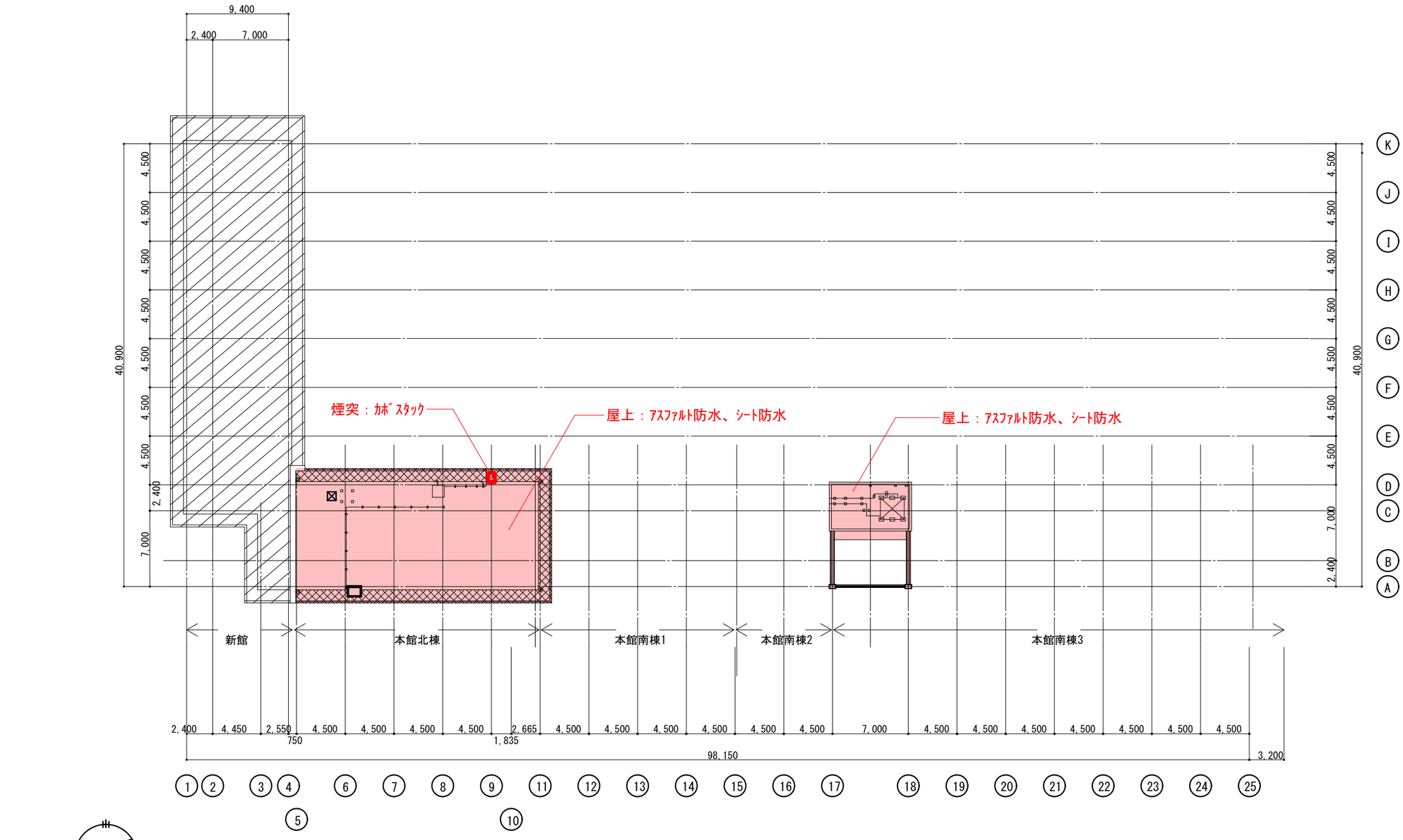
4階平面図　　S＝1/400

※新館は調査対象外

| | | |

アスベスト調査 みなし建材平面図

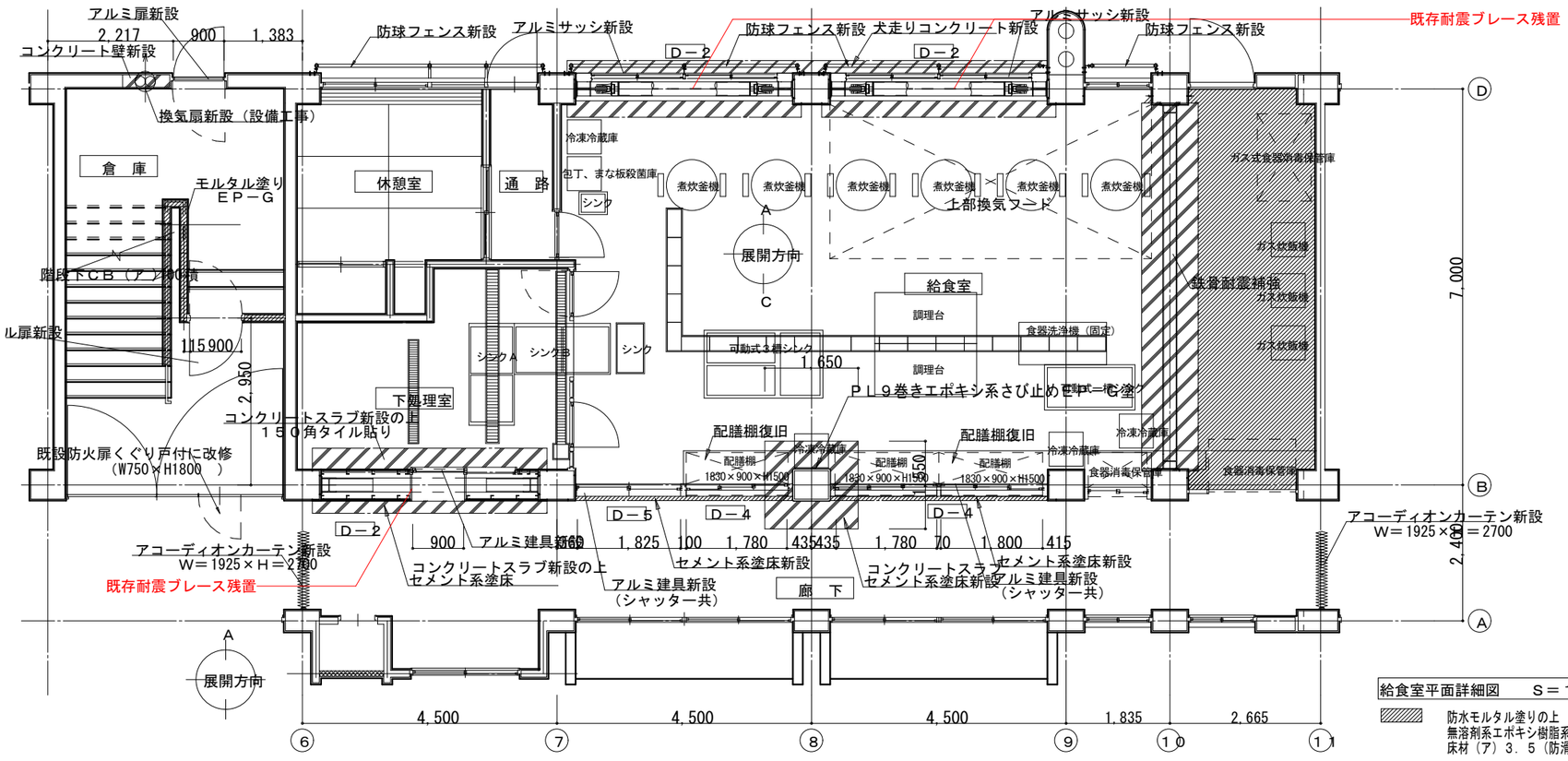
※図示された建材について、不明建材のため全てみなしとする。
※配管保温材については全てみなしとする。



R階平面図　　S＝1/400

※新館は調査対象外

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	056
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	アスベスト範囲表5	縮尺	－	
	月日		月日												



給食室平面詳細図　　Ｓ＝１：５０

防水モルタル塗りの上
無溶剤系エポキシ樹脂系塗
床材（ア）３．５（防滑工法）を示す

既存厨房機器一覧表

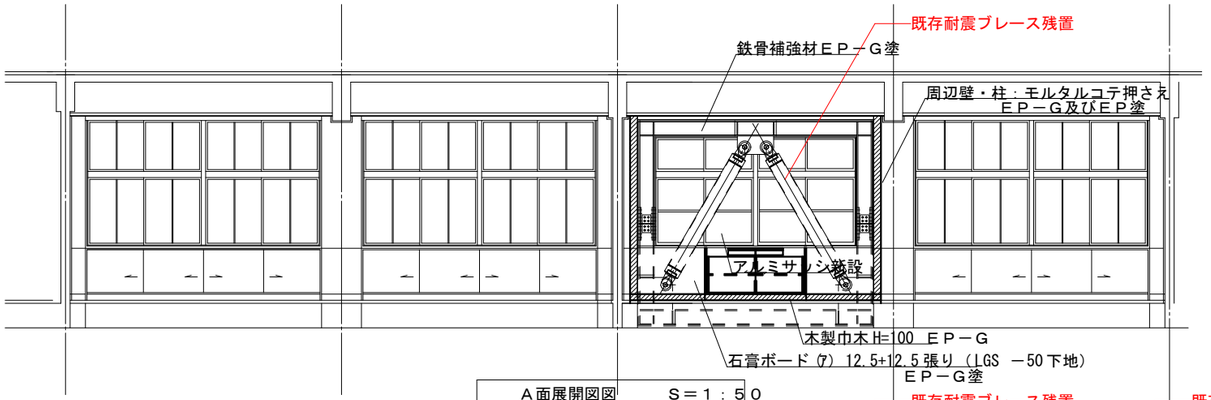
ID	品名	メーカ	機種（型式）	機番
020101	冷凍冷蔵庫	サンヨー	SRR-KT1	800727
020102	冷凍冷蔵庫	福島工業	EXD-42PM7	
020201	冷凍庫	ホシザキ	HF-63P	F12933
020301	冷蔵庫			
020302	冷蔵庫	フクシマ	EXD-250F	1H-00079
020401	牛乳保冷庫	ダイワ	72M3	E7117792
020501	食器消毒保管機	アイホー	GW-1501S	98.8.0128
020502	食器消毒保管機	アイホー	GW-1500	T4 0302
020503	食器消毒保管機	アイホー	EW-1003	
020601	包丁俎板保管庫	ナカニシ	NK-205	
020701	食器洗浄機	アイホー	AEN2-3N	特
020801	回転釜	服部工業		
020802	回転釜	服部工業		
020803	回転釜	服部工業		
020804	回転釜	服部工業		
020805	回転釜	服部工業		
020806	回転釜	服部工業		
020807	回転釜	服部工業	GHT-32	
020901	立体炊飯器	服部工業	LG-505-150	
020902	立体炊飯器	服部工業	LG-505-150	
020903	立体炊飯器	服部工業	LG-505-150	
021001	シンク	三和厨房		
021002	シンク	アイホー	S1-88M	
021101	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021102	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021103	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021104	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021105	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021106	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021107	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021108	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021109	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021110	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021111	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021112	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021113	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021114	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021115	配膳台	王子テック	王子式総合配膳台OTW型	
021201	移動台	中西製作所		
021301	上皿自動はかり	フジ		
021401	台車	三和厨房		
021601	非接触温度計	テルモ	TELMO-H	OPTEXPT-7LD
021602	非接触温度計	テルモ	TELMO-H	OPTEXPT-7LD
021901	ビッグターナー	オオイ金属	BTN-003	
021902	ビッグターナー	オオイ金属	BTN-003	
022001	野菜裁断機			
022101	球根皮むき機			

※既存厨房機器、排水設備は牛乳保冷庫以外全て撤去とする

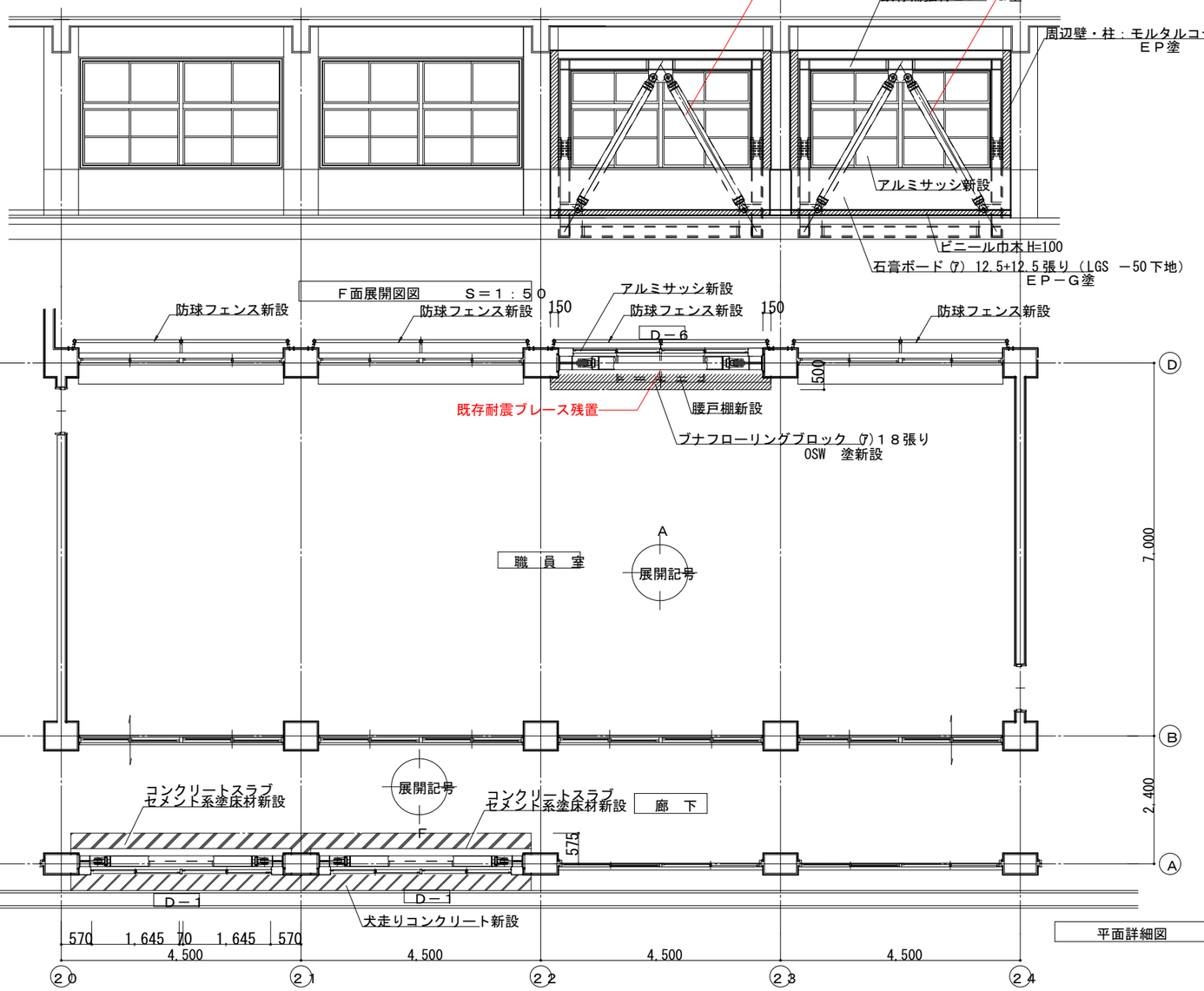
備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	057
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	厨房機器撤去図	縮尺	(A1) 1:100(A3)	
	月日		月日												

凡例　　解体する内部仕上を示す。

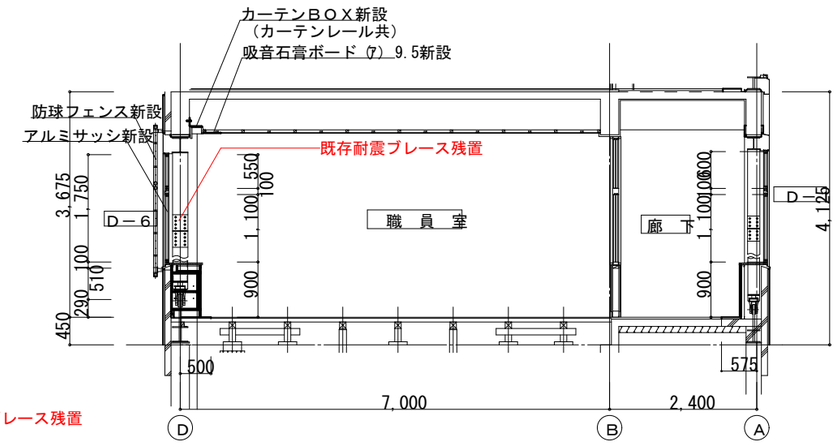
※特記なき部分については解体展開図による。　※建具は解体建具表による。　※既存耐震ブレースは残置とする。



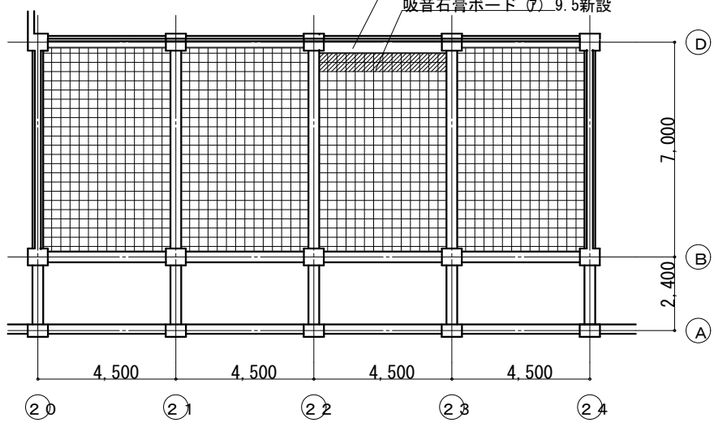
Ａ面展開図図　　Ｓ＝１：５０



平面詳細図　　Ｓ＝１：５０



断面詳細図　　Ｓ＝１：５０



天井伏図　　Ｓ＝１：１００

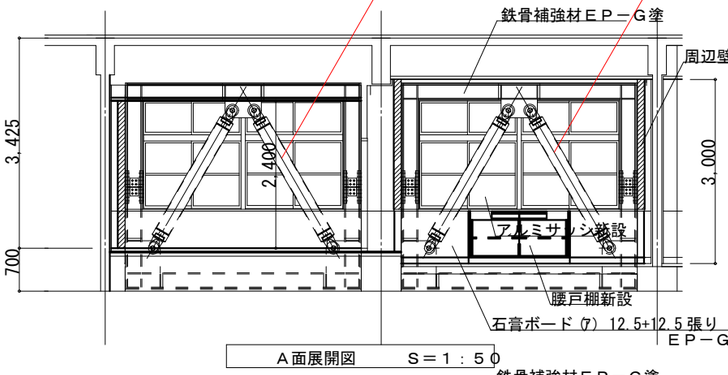
場所	位置	改修概要	仕上
職員室	床	フローリングブロック張　(ｱ)18 新設	OSW
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材 E 内部：ＥＰ、FL+885迄でEP-G
		木製巾木　H=100　新設	EP-G
		内部腰壁：石膏ボードｱ 12.5 二重張（軽鉄下地共）	EP-G　D-1 による
		窓面台：ナラ集成材　t=30	UC　D-1 による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネルｱ3）	D-1 による
	天井	吸音石膏ボード　(ｱ) 9.5 新設（木下地一部新設）	
		カーテンボックス新設（アルミ製カーテンレールS共）	EP-G　D-1 による
廊下	床	セメント系塗床仕上材新設	
	壁	補強鉄骨ブレース新設　＊	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材 E 内部：ＥＰ
		ビニル巾木　H=100　新設	
		内部腰壁：石膏ボード(ｱ)12.5 二重張(軽鉄下地共)	EP-G　D-1 による
		窓面台：ナラ集成材　t=30	UC　D-1 による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル(ｱ)3）	D-1 による

*特記事項
・廊下床仕上：セメント系塗床仕上材は　㈱ABC 商会「カラクリート」又は同等品以上とする。
・内装仕上材 EP 及びEP-G は、VOC 対策品とする。
・塗装色は既存色に合わせることとする。

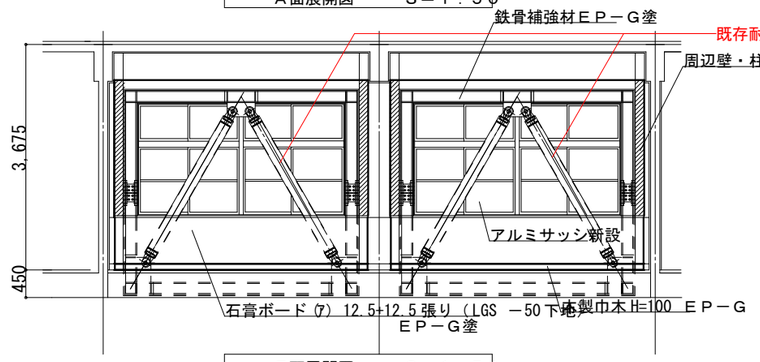
備考															
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	058
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図1	縮尺	－	
	月日		月日												

凡例　解体する内部仕上を示す。

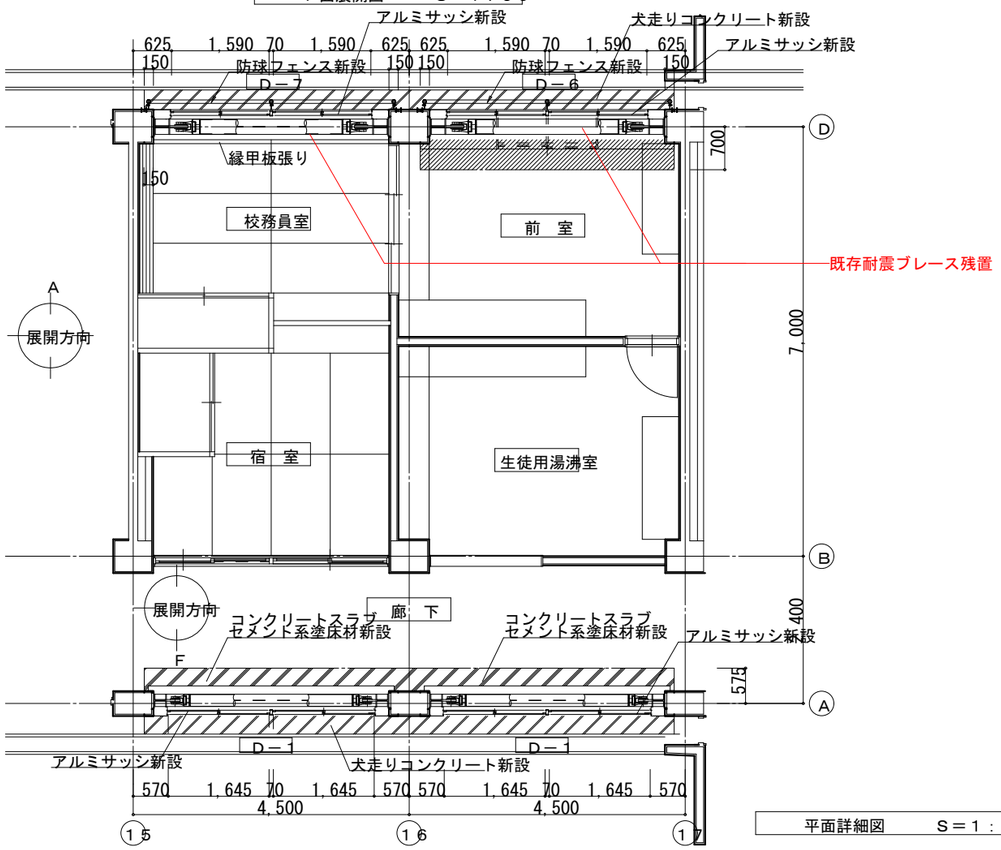
※特記なき部分については解体展開図による。　※建具は解体建具表による。　※既存耐震ブレースは残置とする。



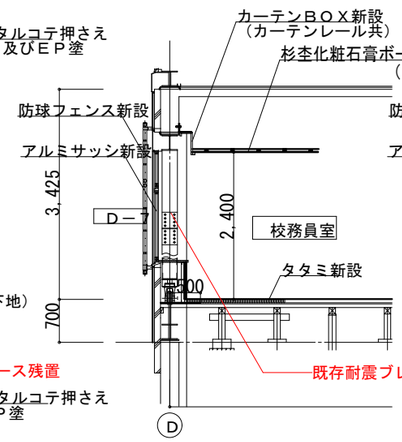
Ａ面展開図　　Ｓ＝１：５０



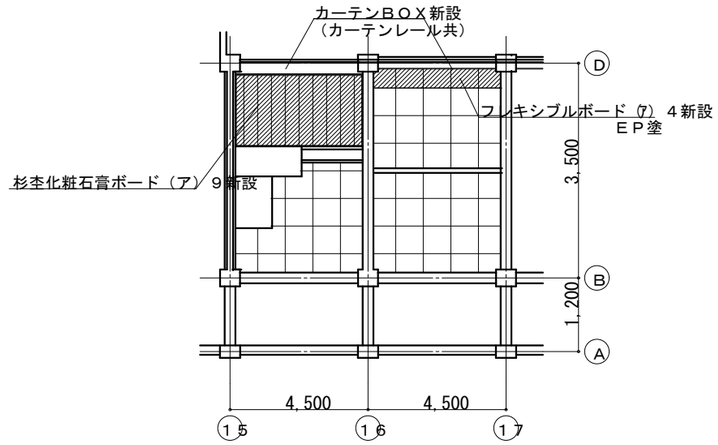
Ｆ面展開図　　Ｓ＝１：５０



平面詳細図　　Ｓ＝１：５０



断面詳細図　　Ｓ＝１：５０



天井伏図　　Ｓ＝１：５０

場所	位置	改修概要	仕上
校務員室	床	コンクリートスラブ新設 たたみ（６帖）新設（一部床組み共）	
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材Ｅ 内部：ＥＰ、FL+885までEP-G
		木製巾木　H=100　新設	EP-G
		内部腰壁：石膏ボード(ｱ)12.5 二重張(軽鉄下地共)	EP-G Ｄ－７ による
		窓面台：ナラ集成材　t=30	UC Ｄ－７ による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル	(ｱ)３ Ｄ－７ による
	天井	杉杢化粧石膏ボード　(ｱ)9新設	
		カーテンボックス新設(アルミ製カーテンレールS共)	EP-G
廊下	床	セメント系塗床仕上材新設	
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材Ｅ 内部：ＥＰ
		ビニル巾木　H=100　新設	
		内部腰壁：石膏ボード(ｱ)12.5 二重張(軽鉄下地共)	EP-G Ｄ－１ による
		窓面台：ナラ集成材　t=30	UC Ｄ－１ による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル(ｱ)３）	Ｄ－１ による

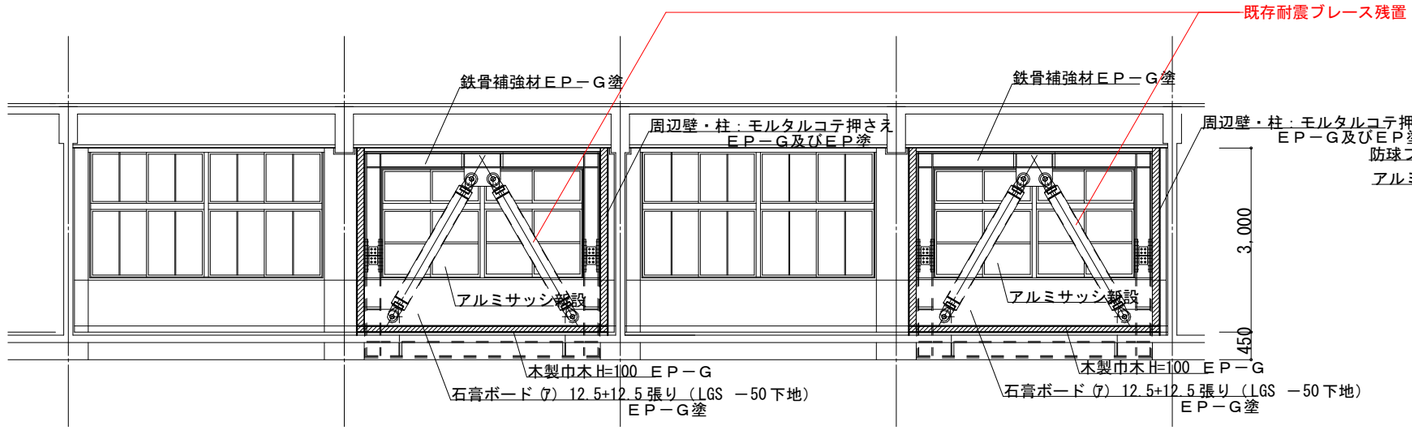
場所	位置	改修概要	仕上
校務員室 前　室	床	コンクリートスラブ新設 防水モルタル塗り新設	
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材Ｅ 内部：ＥＰ、FL+885までEP-G
		木製巾木　H=100　新設	EP-G
		内部腰壁：モルタルコテ押さえ　(軽鉄下地共)	EP-G Ｄ－６ による
		窓面台：ナラ集成材　t=30	UC Ｄ－６ による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル７）	
	天井	フレキシブルボード　(ｱ) 4新設（木下地一部新設）	EP
		カーテンボックス新設(アルミ製カーテンレールS共)	EP-G

*特記事項
- 廊下床仕上：セメント系塗床仕上材は　㈱ABC 商会「カラクリート」又は同等品以上とする。
- 内装仕上材 EP 及びEP-G は、VOC 対策品とする。
- 塗装色は既存色に合わせることとする。

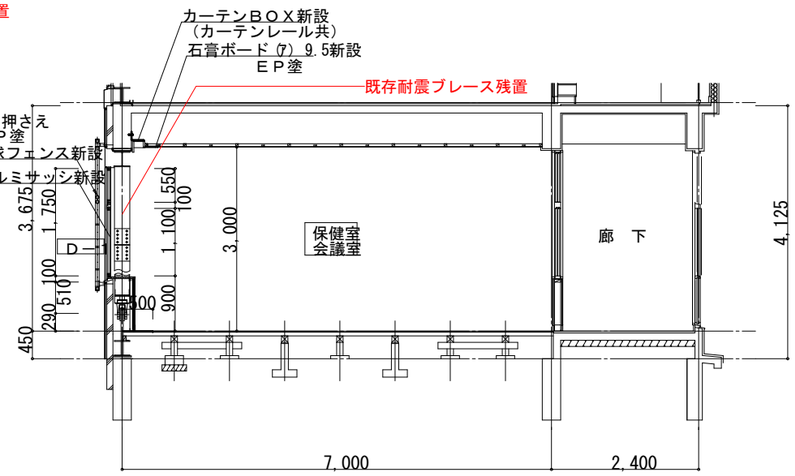
備考																
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	059
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図2	縮尺	-	
	月日		月日													

凡例　解体する内部仕上を示す。

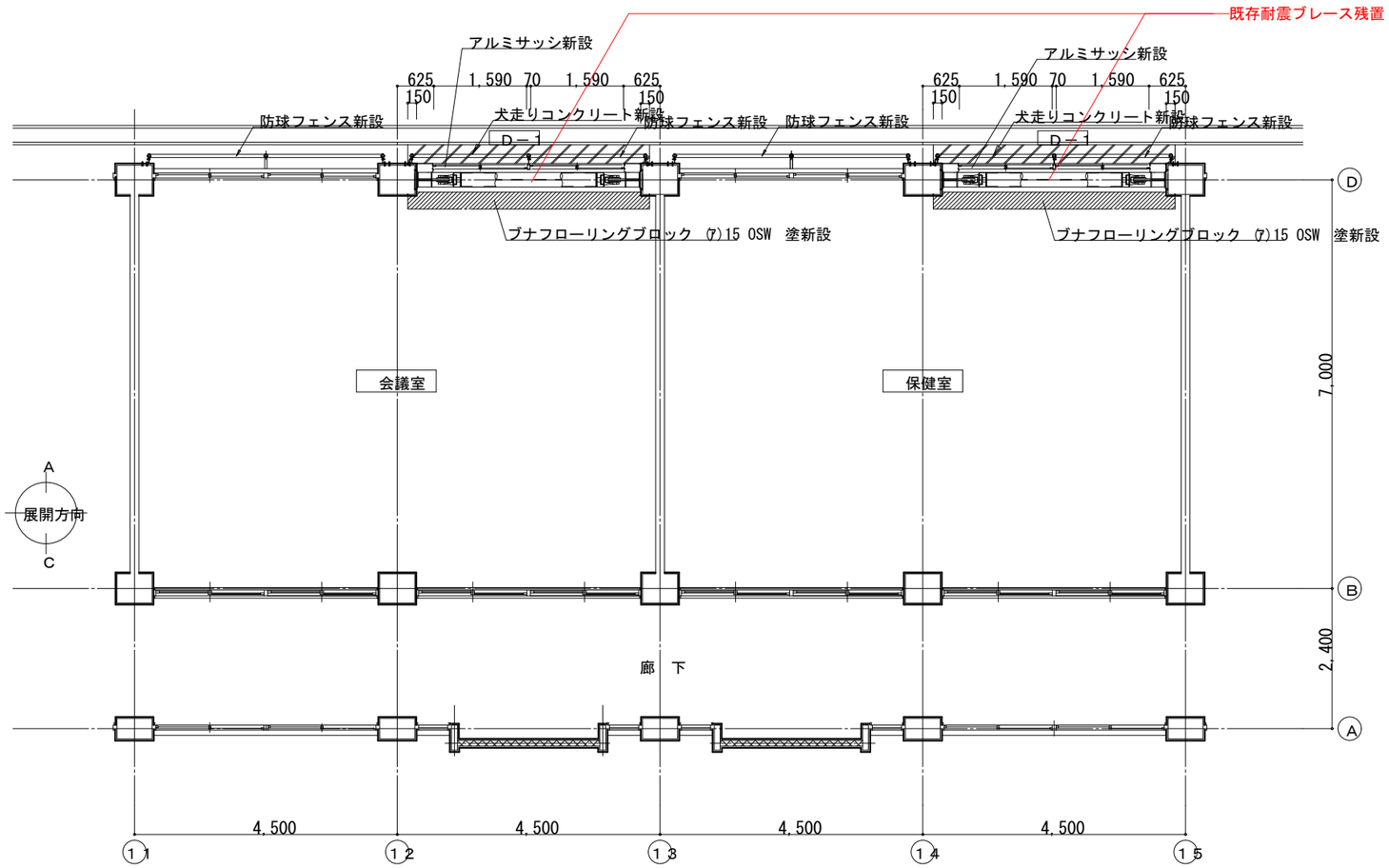
※特記なき部分については解体展開図による。　※建具は解体建具表による。　※既存耐震ブレースは残置とする。



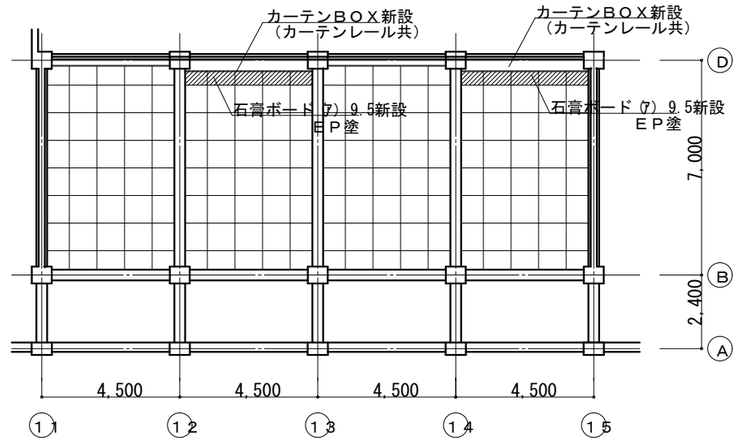
Ａ面展開図　　Ｓ＝１：５０



断面詳細図　　Ｓ＝１：５０



平面詳細図　　Ｓ＝１：５０



天井伏図　　Ｓ＝１：１００

場所	位置	改修概要	仕上
教室	床	フローリングブロック張　(ｱ)15 新設	OSW
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材Ｅ 内部：ＥＰ、FL+885までEP-G
		木製巾木　H=100　新設	EP-G
		内部腰壁：石膏ボード(ｱ)12.5 二重張（軽鉄下地共）	EP-G　D-1　による
		窓面台：ナラ集成材　t=30	UC　D-1　による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル(ｱ)3）	D-1　による
	天井	石膏ボード　(ｱ)　9.5 新設（木下地一部新設）	EP
		カーテンボックス新設（アルミ製カーテンレールS未）	EP-G　D-1　による

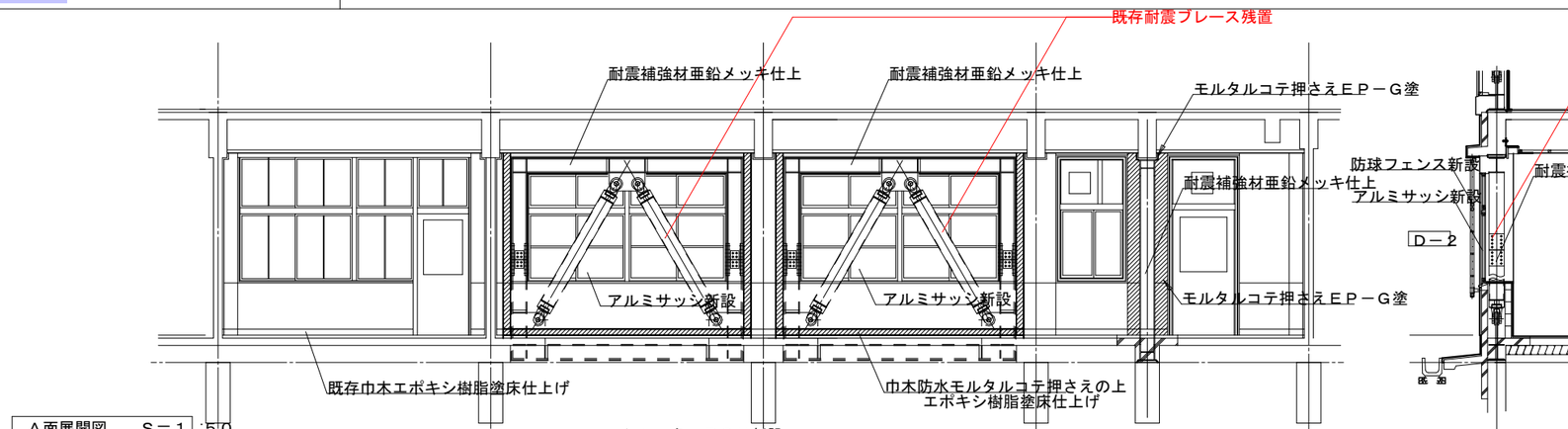
*特記事項
・廊下床仕上：セメント系塗床仕上材は　㈱ABC 商会「カラクリート」又は同等品以上とする。
・内装仕上材 EP 及びEP-G は、VOC 対策品とする。
・塗装色は既存色に合わせることとする。

備考																	
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	060
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図3	縮尺	－	
	月日		月日														

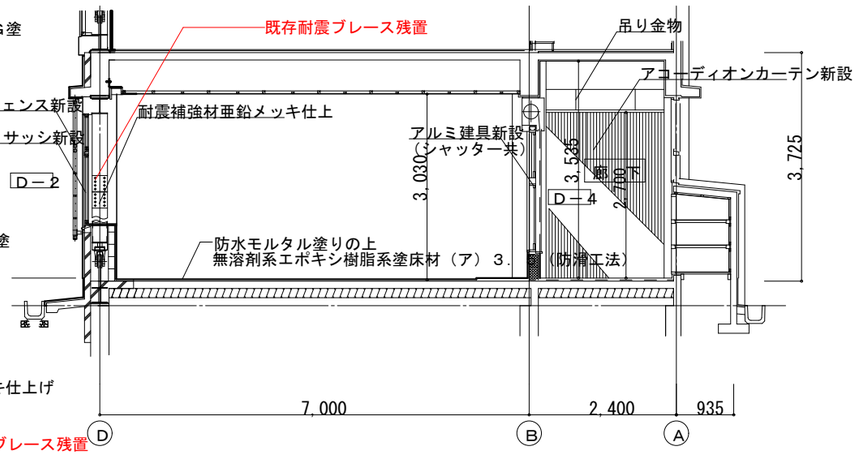
凡例　解体する内部仕上を示す。

※特記なき部分については解体展開図による。　※建具は解体建具表による。　※既存耐震ブレースは残置とする。

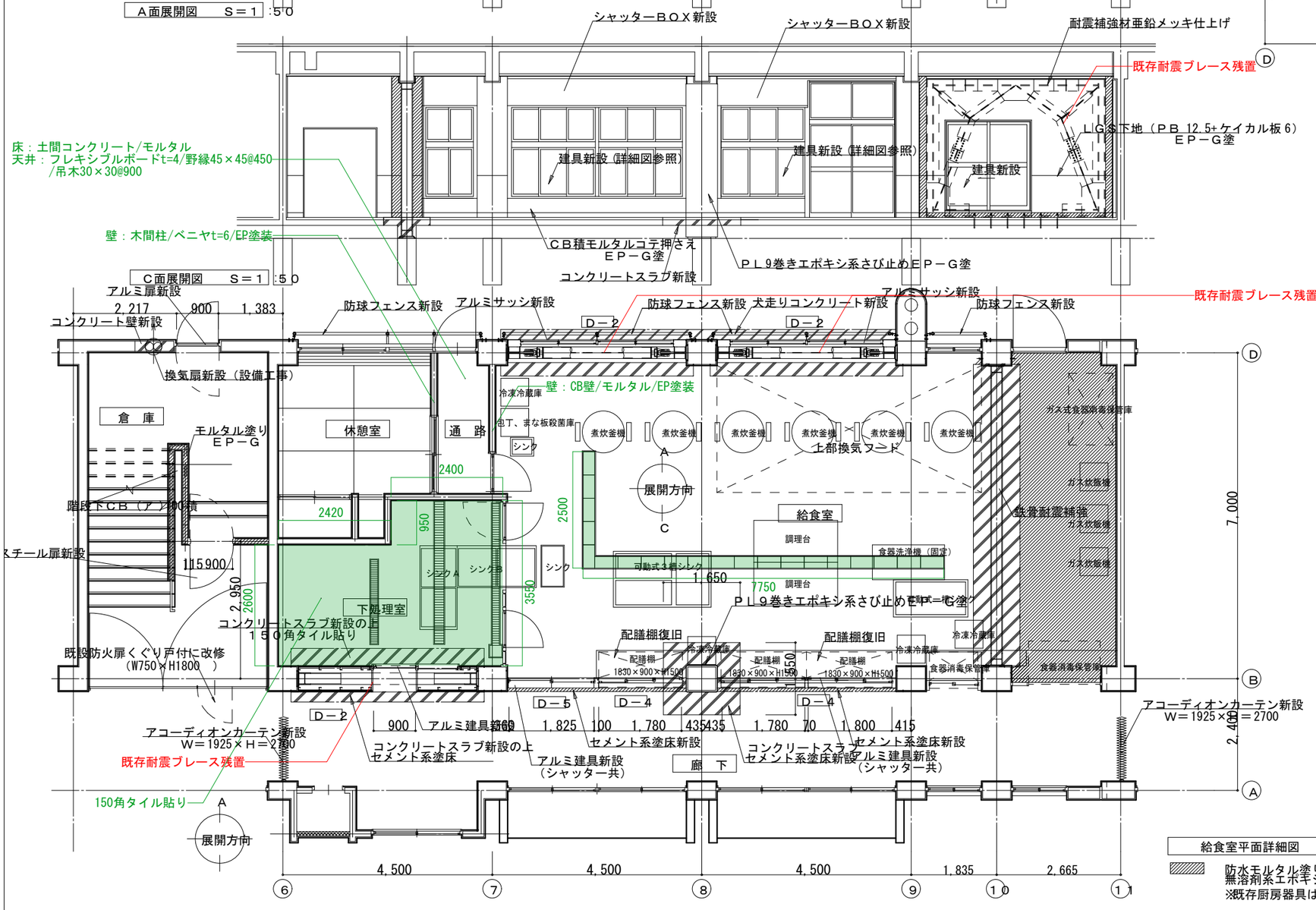
※厨房機器は全て撤去とする。



Ａ面展開図　Ｓ＝１：５０



給食室　断面詳細図　Ｓ＝１：５０



給食室平面詳細図　Ｓ＝１：５０

防水モルタル塗りの上
無溶剤系エポキシ樹脂系塗床材（ア）３．５（防滑工法）を示す
※既存厨房器具はすべて再取付とする

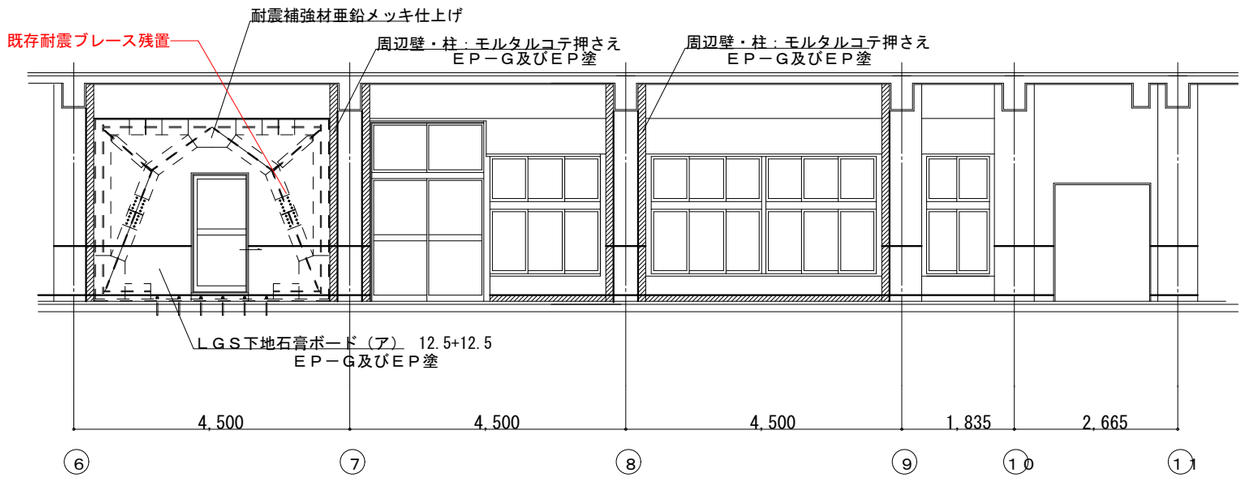
再取付器具リスト（図示なき物も含む）

器具名	寸　法	個　数
調理台	Ｗ１５００ ×Ｄ９００	2
調理台	Ｗ５００ ×Ｄ９００	5
調理台	Ｗ１０００ ×Ｄ６５０	2
調理台	Ｗ４００ ×Ｄ６００	2
調理台	Ｗ９００ ×Ｄ４００	3
調理台	Ｗ６００ ×Ｄ４００	4
三段棚	Ｗ１０５０ ×Ｄ９００	1
ガス式食器消毒保管庫	Ｗ１５４０ ×Ｄ９５０ ×Ｈ１８００	1
ガス炊飯機	Ｗ５８０ ×Ｄ５８０ ×Ｈ１３００	3
煮炊釜機（固定）	９００φ×Ｈ８５０	6
食器消毒保管庫	Ｗ１４７０ ×Ｄ８６５ ×Ｈ１８５０	2
配膳棚	Ｗ１８３０ ×Ｄ９００ ×Ｈ１５００	3
冷凍冷蔵庫	Ｗ７５０ ×Ｄ７５０ ×Ｈ２０００	4
３槽シンク	Ｗ２０００ ×Ｄ１０００ ×Ｈ８５０	1
２槽シンク	Ｗ１８００ ×Ｄ９００ ×Ｈ８５０	2
２槽シンク	Ｗ１５００ ×Ｄ７００ ×Ｈ８５０	1
包丁、まな板殺菌庫	Ｗ６００ ×Ｄ５００ ×Ｈ１１００	1
１層シンク	Ｗ９００ ×Ｄ６００ ×Ｈ８００	2
食器洗浄機（固定）	Ｗ１５５０ ×Ｄ７５０ ×Ｈ１２５０	1

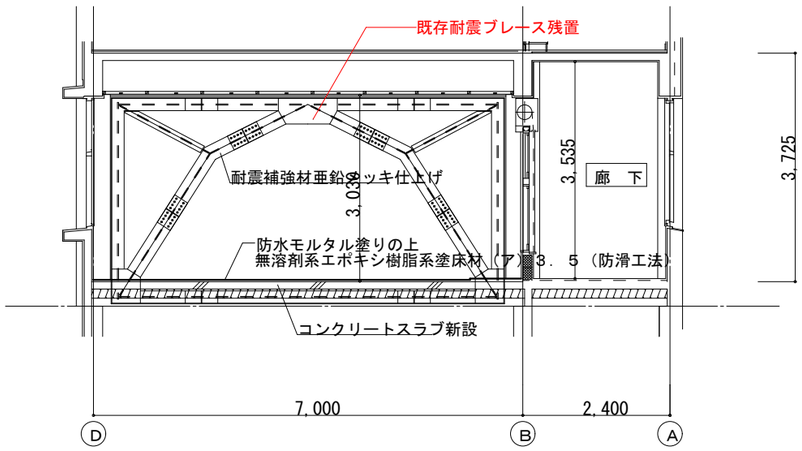
備考													
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K　061
	月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図4	縮尺	－
	月日		月日										

凡例　解体する内部仕上を示す。

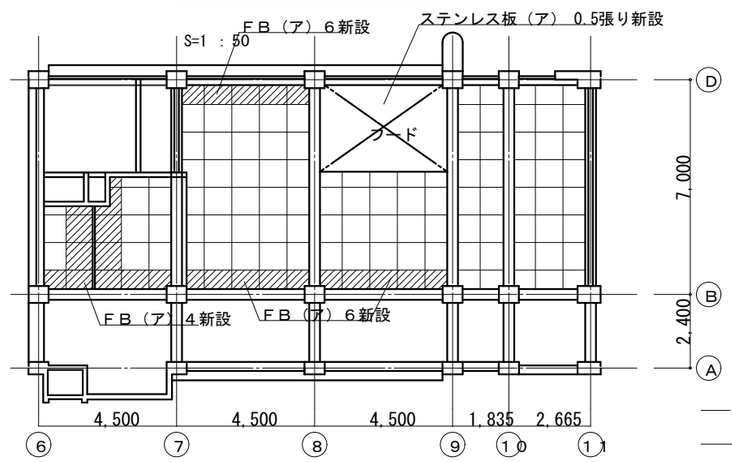
※特記なき部分については解体展開図による。　※建具は解体建具表による。　※既存耐震ブレースは残置とする。



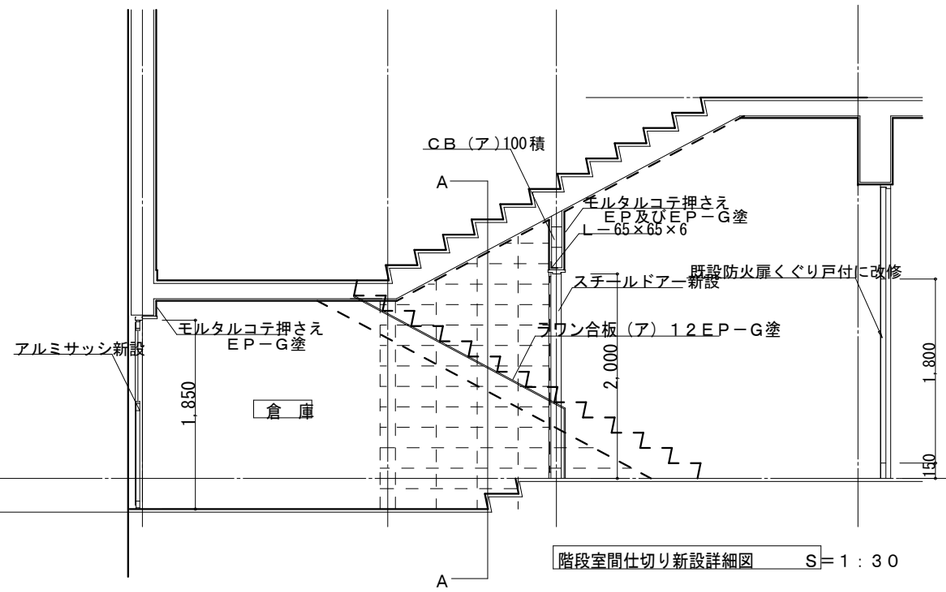
廊下側Ａ面展開図　Ｓ＝１:５０



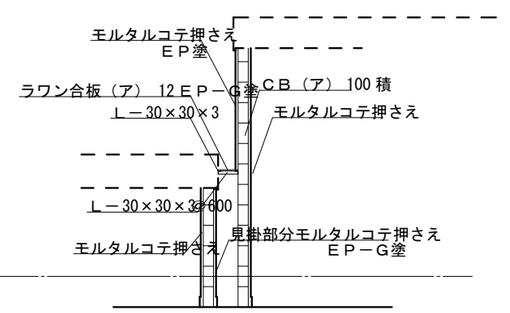
給食室９通断面詳細図　Ｓ＝１：５０



給食室天井伏図　Ｓ＝１：１００



階段室間仕切り新設詳細図　Ｓ＝１：３０



階段室間仕切りＡ－Ａ断面詳細図　Ｓ＝１：３０

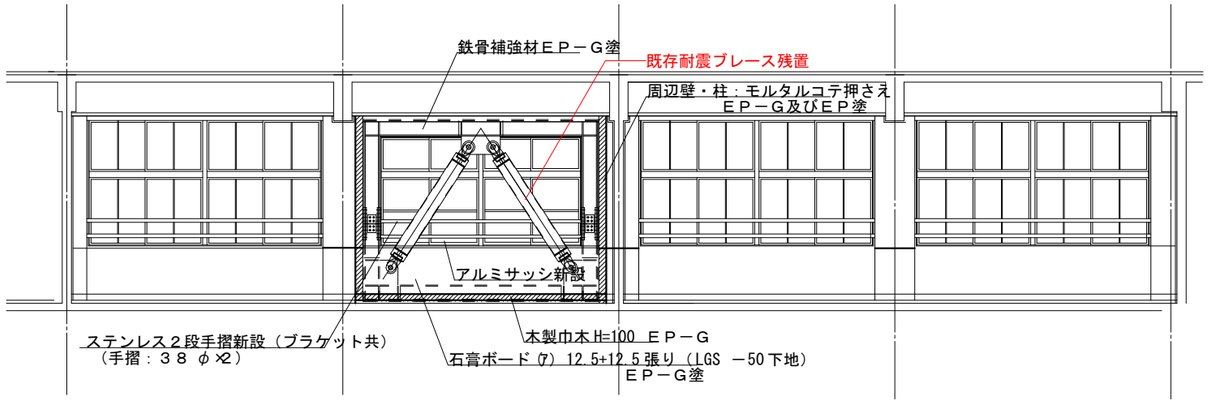
場所	位置	改修概要	仕上
給食調理室	床	コンクリートスラブ新設	
		防水モルタル仕上げの上 無溶剤系エポキシ樹脂系塗床材（ア）3.5（防滑工法）	
	壁	補強鉄骨ブレース新設	亜鉛メッキ
		周辺モルタル新設	外部：防水型複層塗材Ｅ 内部：ＥＰ－Ｇ
		防水モルタル巾木　H=100　新設 既存巾木共無溶剤系エポキシ樹脂系塗床材立上げ	外部：防水型複層塗材Ｅ 内部：ＥＰ－Ｇ
		内部腰壁：モルタルコテ押さえ　（ＣＢ下地共）	EP-G　D-2　による
		窓面台：ナラ集成材　t=30	UC　D-2　による
		アルミ製建具新設	D-2　による
	廊下側壁	アルミ製建具新設・軽量シャッター新設	D-4，9による
	天井	フレキシブルボード（ア）6新設（一部木下地共）	EP-G
		フードステンレス板　(ア)0.5張り(一部木下地共)	
下処理室	床	コンクリートスラブ新設	D-2　による
		磁器質　150　角タイル張り新設	D-2　による
		モルタルコテ押さえ新設	D-2　による
	壁	ＲＣ腰壁　t=120　（内外モルタル塗）新設	EP-G　D-2　による
		壁・柱周辺モルタル新設	EP-G
		モルタル巾木　H=100　新設	D-2　による
		アルミ建具・石膏ボード12.5+ケイカル板76 新設	EP-G　D-2　による
	天井	フレキシブル板（ア）4新設　（一部木下地共）	D-2　による
廊下	床	コンクリートスラブ新設	
		セメント系塗床仕上材新設	
	壁	ＬＧＳ下地石膏ボード（ア）12.5 二重張り新設	EP　・FL+885　まで EP-G
		壁・柱周辺モルタル撤去	
		モルタル巾木　H=100　新設	
倉庫	床	既存仕上げのまま	
	壁	既存モルタル塗りの上ＥＰ－Ｇ塗り	
		一部モルタル塗り新設の上ＥＰ－Ｇ塗り	

*特記事項
・廊下床仕上：セメント系塗床仕上材は　㈱ABC 商会「カラクリート」又は同等品以上とする。
・内装仕上材 EP 及びEP-G は、VOC 対策品とする。
・塗装色は既存色に合わせることとする。

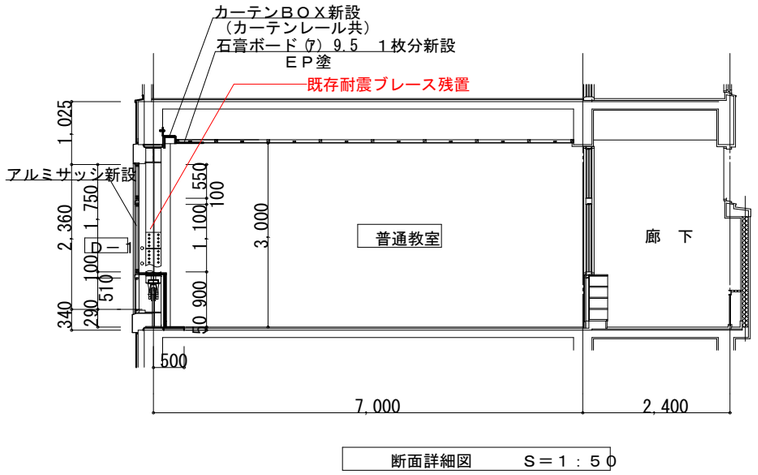
備考															
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	062
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図5	縮尺	-	
	月日		月日												

凡例　解体する内部仕上を示す。

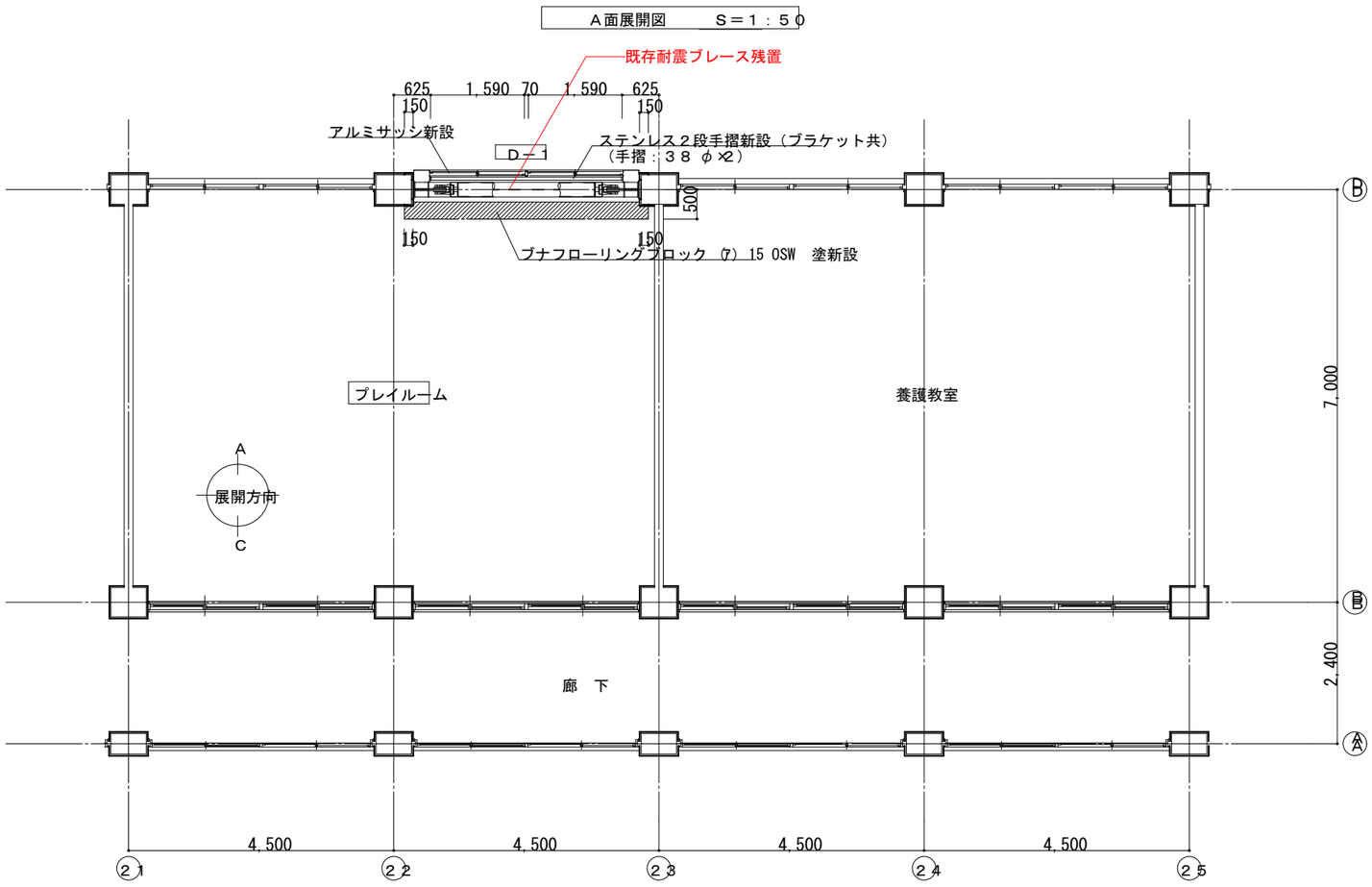
※特記なき部分については解体展開図による。　※建具は解体建具表による。　※既存耐震ブレースは残置とする。



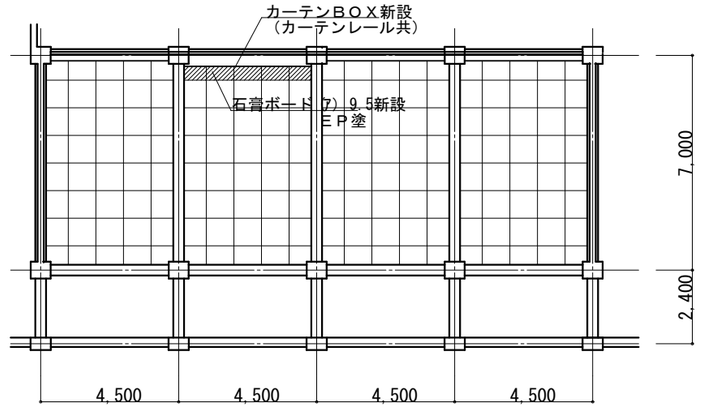
Ａ面展開図　　Ｓ＝１：５０



断面詳細図　　Ｓ＝１：５０



平面詳細図　　Ｓ＝１：５０



天井伏図　　Ｓ＝１：１００

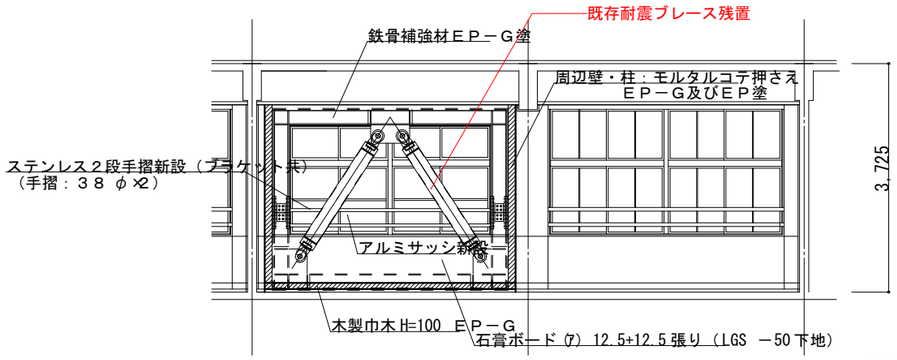
場所	位置	改修概要	仕上
教室	床	フローリングブロック張 (ｱ)15新設	OSW
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材E 内部：ＥＰ、FL+585までEP-G
		木製巾木 H=100 新設	EP-G
		内部腰壁：石膏ボード (ｱ)12.5二重張（軽鉄下地共）	EP-G D-1 による
		窓面台：ナラ集成材 t=30	UC D-1 による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル(ｱ)3）	D-1 による
	天井	石膏ボード (ｱ) 9.5新設（木下地一部新設）	EP
		カーテンボックス新設（アルミ製カーテンレールS共）	EP-G D-1 による

*特記事項
・廊下床仕上：セメント系塗床仕上材は　㈱ABC 商会「カラクリート」又は同等品以上とする。
・内装仕上材 EP 及びEP-G は、VOC 対策品とする。
・塗装色は既存色に合わせることとする。

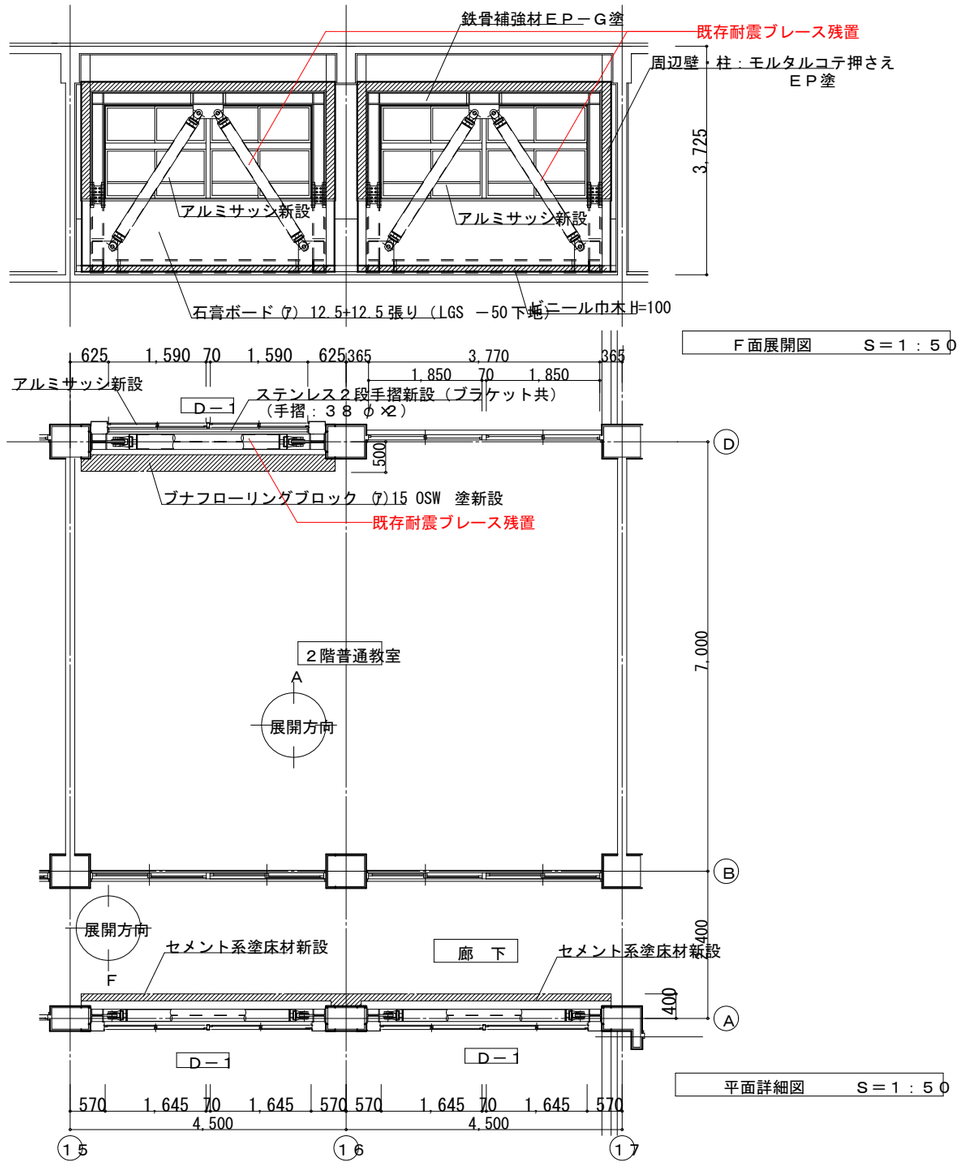
備考																	
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	063
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図6	縮尺	－	
	月日		月日														

凡例　解体する内部仕上を示す。

※特記なき部分については解体展開図による。　※建具は解体建具表による。　※既存耐震ブレースは残置とする。

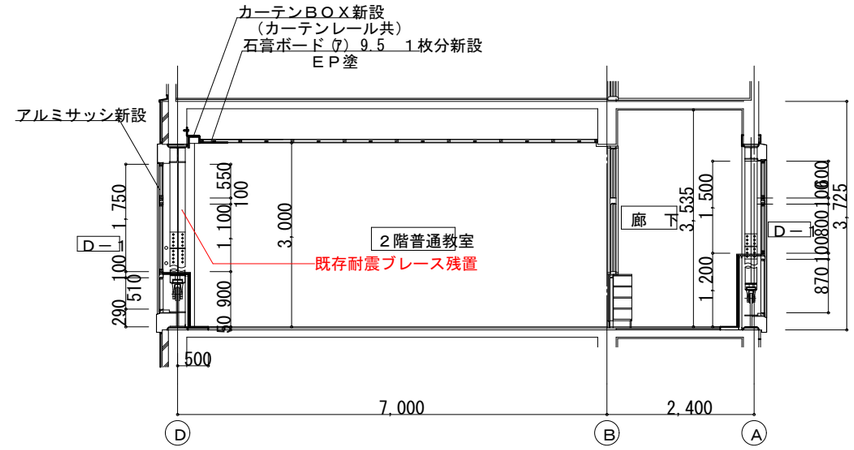


Ａ面展開図　　Ｓ＝１：５０

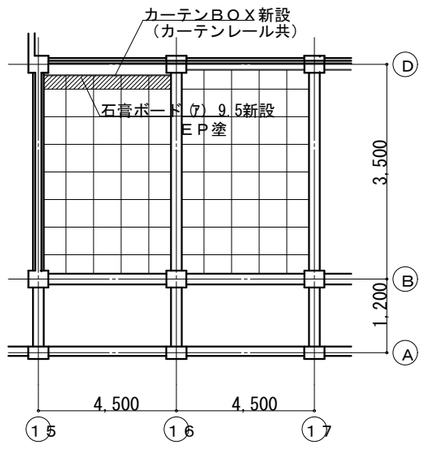


Ｆ面展開図　　Ｓ＝１：５０

平面詳細図　　Ｓ＝１：５０



断面詳細図　　Ｓ＝１：５０



天井伏図　　Ｓ＝１：１００

場所	位置	改修概要	仕上
教室	床	フローリングブロック張 (ｱ)15	OSW
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材Ｅ 内部：ＥＰ、FL+900までEP-G
		木製巾木 H=100 新設	EP-G
		内部腰壁：石膏ボード (ｱ)12.5二重張（軽鉄下地共）	EP-G　Ｄ－１　による
		窓面台：ナラ集成材 t=30	UC　Ｄ－１　による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル(ｱ)3）	Ｄ－１　による
	天井	石膏ボード(ｱ)9.5新設（木下地一部新設）	EP
		カーテンボックス新設（アルミ製カーテンレールＳ共）	EP-G　Ｄ－１　による
廊下	床	セメント系塗床仕上材新設	
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材Ｅ 内部：ＥＰ
		ビニル巾木 H=100 新設	
		内部腰壁：石膏ボード7 12.5二重張（軽鉄下地共）	EP-G　Ｄ－１　による
		窓面台：ナラ集成材 t=30	UC　Ｄ－１　による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル(ｱ)3）	Ｄ－１　による

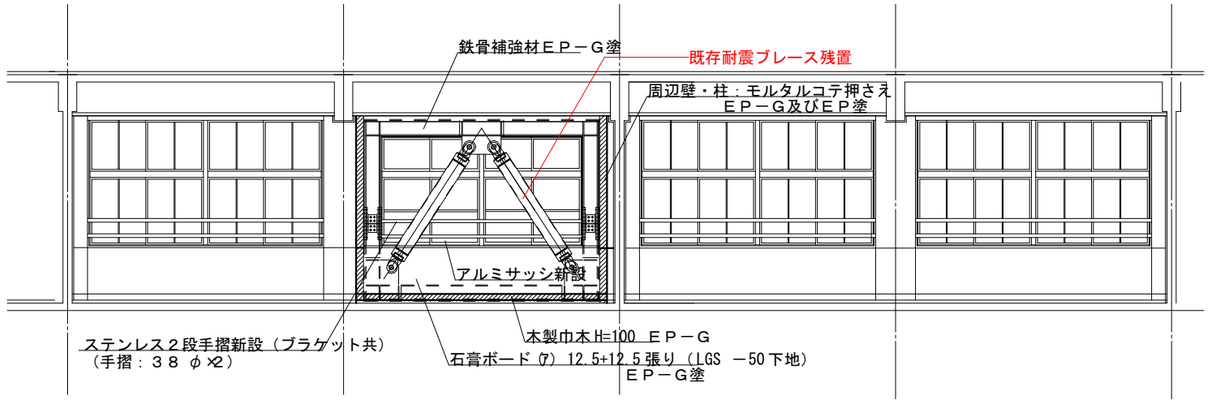
*特記事項

・廊下床仕上：セメント系塗床仕上材は　㈱ABC 商会「カラクリート」又は同等品以上とする。
・内装仕上材 EP 及びEP-G は、VOC 対策品とする。
・塗装色は既存色に合わせることとする。

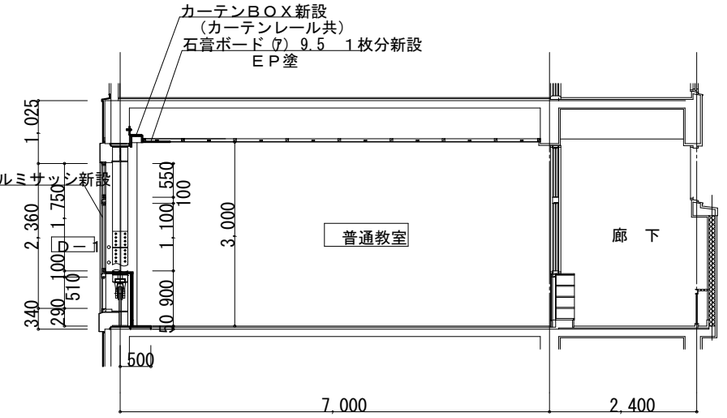
備考															
	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	064
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図7	縮尺	－	
	月日		月日												

凡例　　解体する内部仕上を示す。

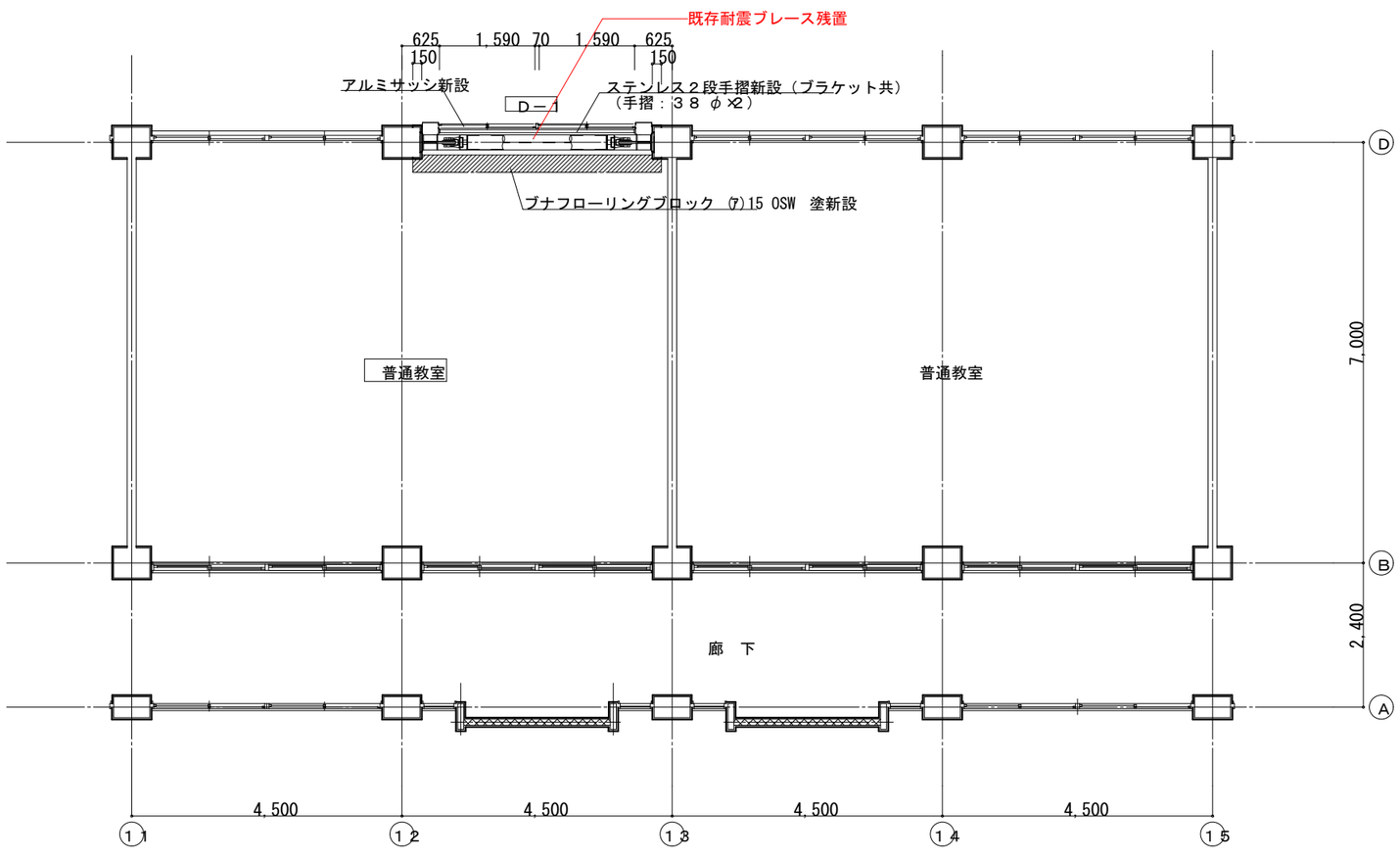
※特記なき部分については解体展開図による。　※建具は解体建具表による。　※既存耐震ブレースは残置とする。



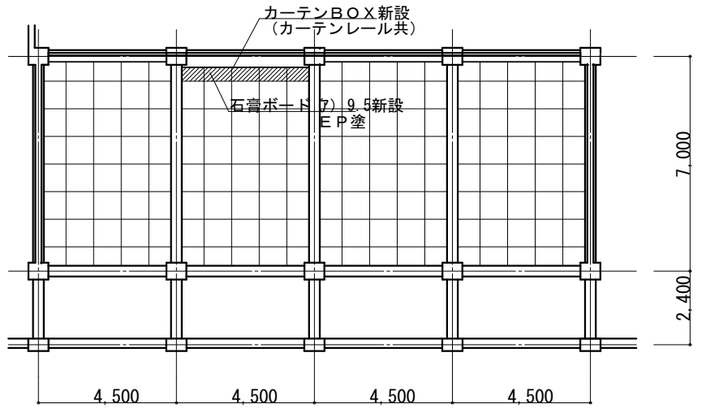
Ａ面展開図　　Ｓ＝１：５０



断面詳細図　　Ｓ＝１：５０



平面詳細図　　Ｓ＝１：５０



天井伏図　　Ｓ＝１：１００

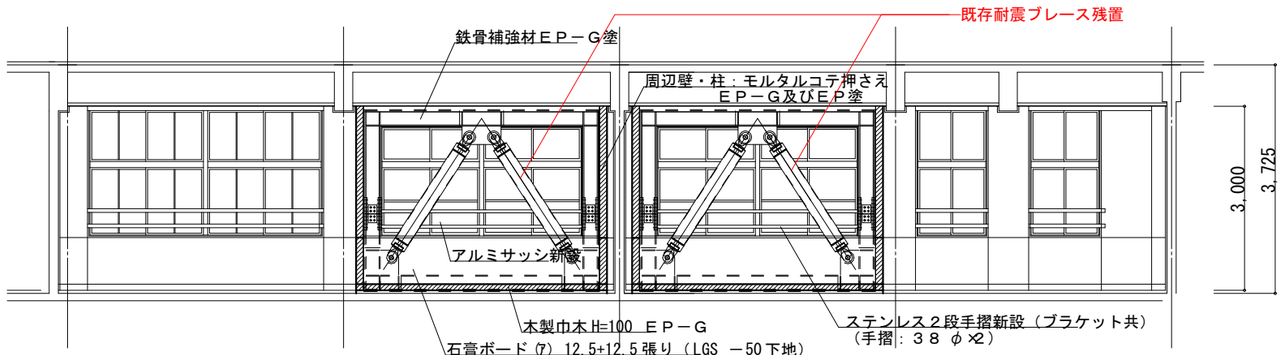
場所	位置	改修概要	仕上
教室	床	フローリングブロック張 (ｱ)15	OSW
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材 E 内部：ＥＰ、FL+385までEP-G
		木製巾木 H=100 新設	EP-G
		内部腰壁：石膏ボード (ｱ)12.5二重張（軽鉄下地共）	EP-G Ｄ－1 による
		窓面台：ナラ集成材 t=30	UC Ｄ－1 による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル (ｱ)3）	Ｄ－1 による
	天井	石膏ボード (ｱ) 9.5新設（木下地一部新設）	EP
		カーテンボックス新設（アルミ製カーテンレールＳ共）	EP-G Ｄ－1 による

*特記事項
・廊下床仕上：セメント系塗床仕上材は　㈱ABC 商会「カラクリート」又は同等品以上とする。
・内装仕上材 EP 及びEP-G は、VOC 対策品とする。
・塗装色は既存色に合わせることとする。

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	065
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図8	縮尺	－	
	月日		月日												

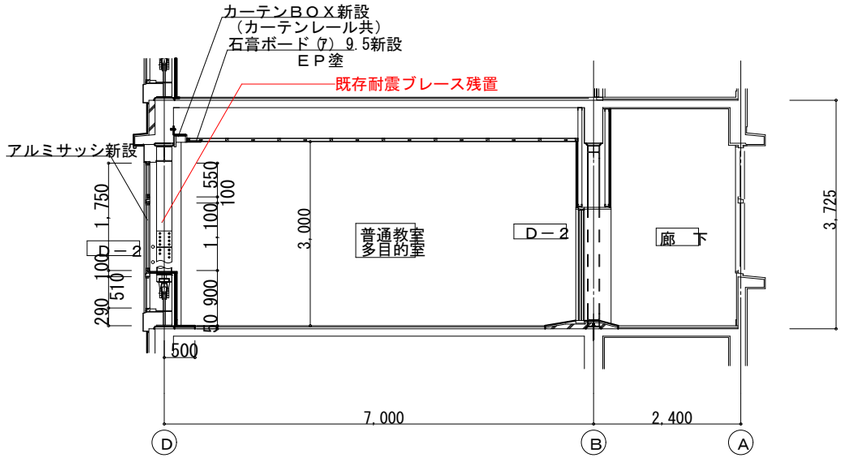
凡例　解体する内部仕上を示す。

※特記なき部分については解体展開図による。　※建具は解体建具表による。　※既存耐震ブレースは残置とする。

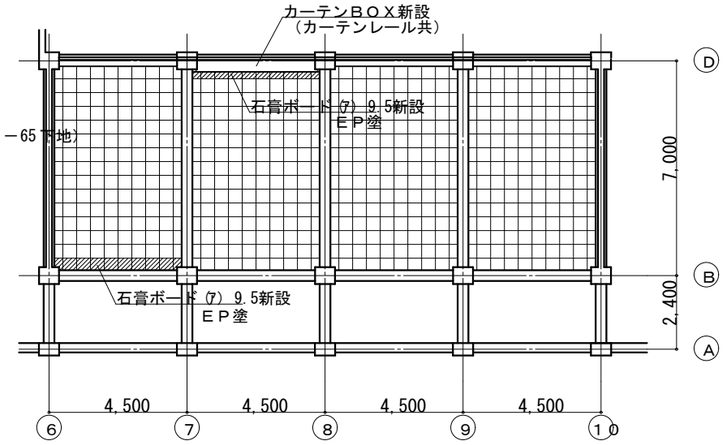


Ａ面展開図　　Ｓ＝１：５０

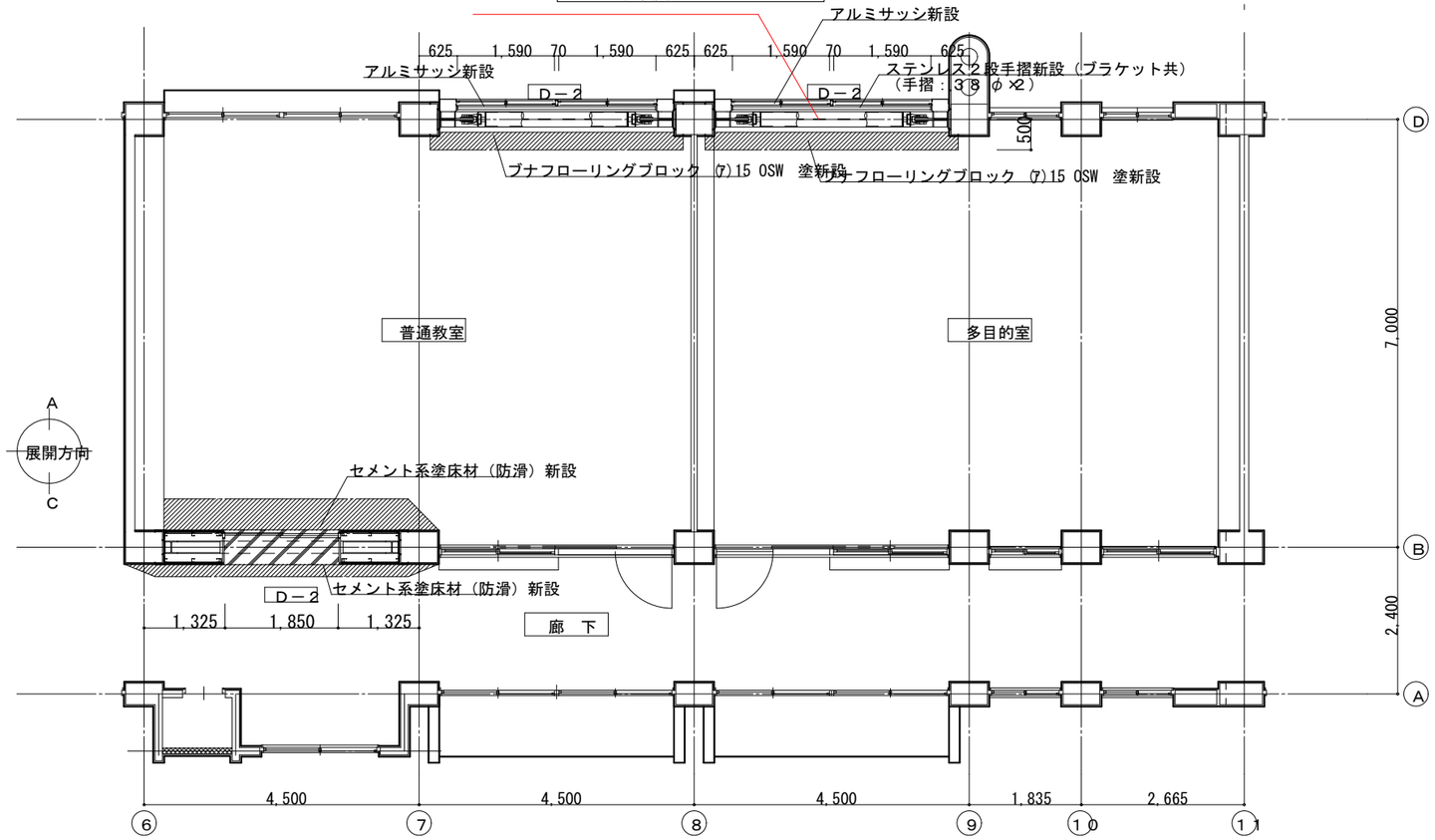
Ｃ面展開図　　Ｓ＝１：５０



断面詳細図　　Ｓ＝１：５０



天井伏図　　Ｓ＝１：５０



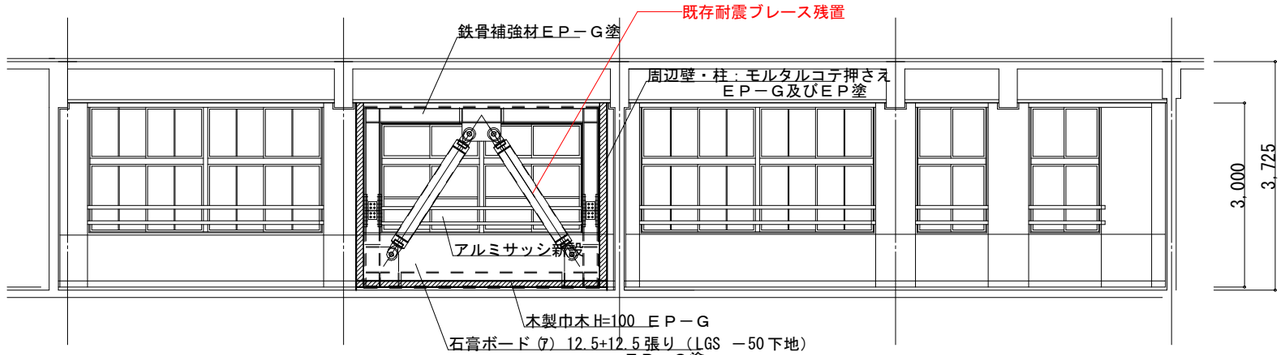
場所	位置	改修概要	仕上
教室	床	モルタルコテ押さえ	OSW
		セメント系塗床（防滑）仕上新設	
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材Ｅ 内部：ＥＰ、Ｈ=385まで EP-G
		木製巾木 H=100 新設	EP-G
		内部腰壁：石膏ボード(7)12.5二重張（軽鉄下地共）	EP-G　D-2　による
		窓面台：ナラ集成材 t=30	UC　D-2　による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル(7.3)	D-2　による
	天井	石膏ボード (7)9.5新設（木下地一部新設）	EP
		カーテンボックス新設（アルミ製カーテンレールＳ共）	EP-G　D-2　による
廊下	床	モルタルコテ押さえ	
		セメント系塗床（防滑）仕上新設	
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材Ｅ 内部：ＥＰ
		ビニル巾木 H=100 新設	
		内部腰壁：石膏ボード 12.5二重張（軽鉄下地共）	EP-G　D-2　による
		窓面台：ナラ集成材 t=30	UC　D-2　による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル(7.3)	D-2　による

*特記事項
・廊下床仕上：セメント系塗床仕上材は　㈱ABC 商会「カラクリート」又は同等品以上とする。
・内装仕上材 EP 及びEP-G は、VOC 対策品とする。
・塗装色は既存色に合わせることとする。

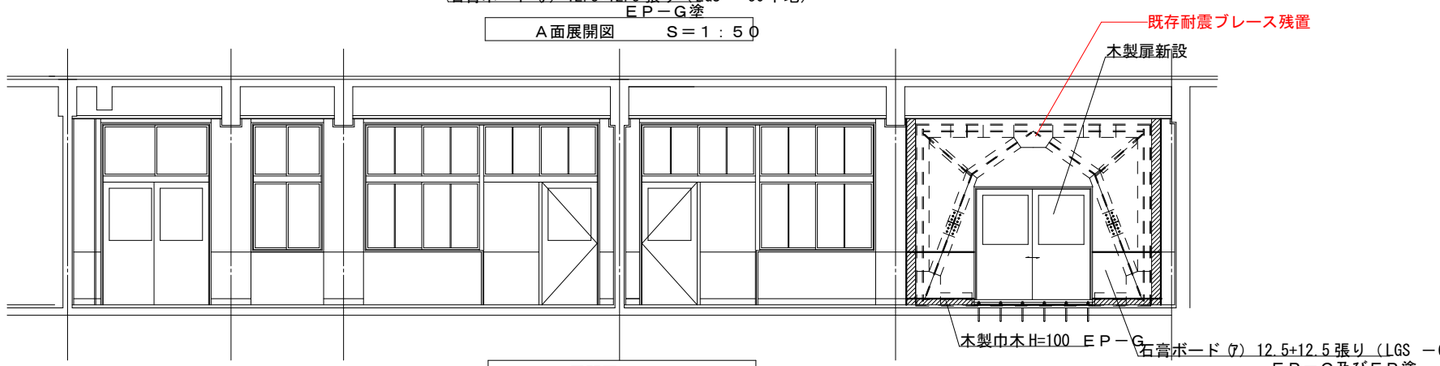
備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	066
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図9	縮尺	-	
	月日		月日												

凡例　解体する内部仕上を示す。

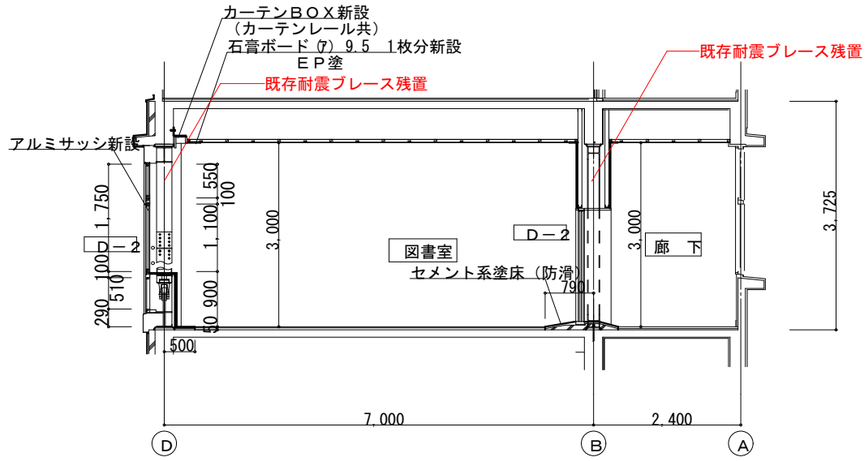
※特記なき部分については解体展開図による。　※建具は解体建具表による。　※既存耐震ブレースは残置とする。



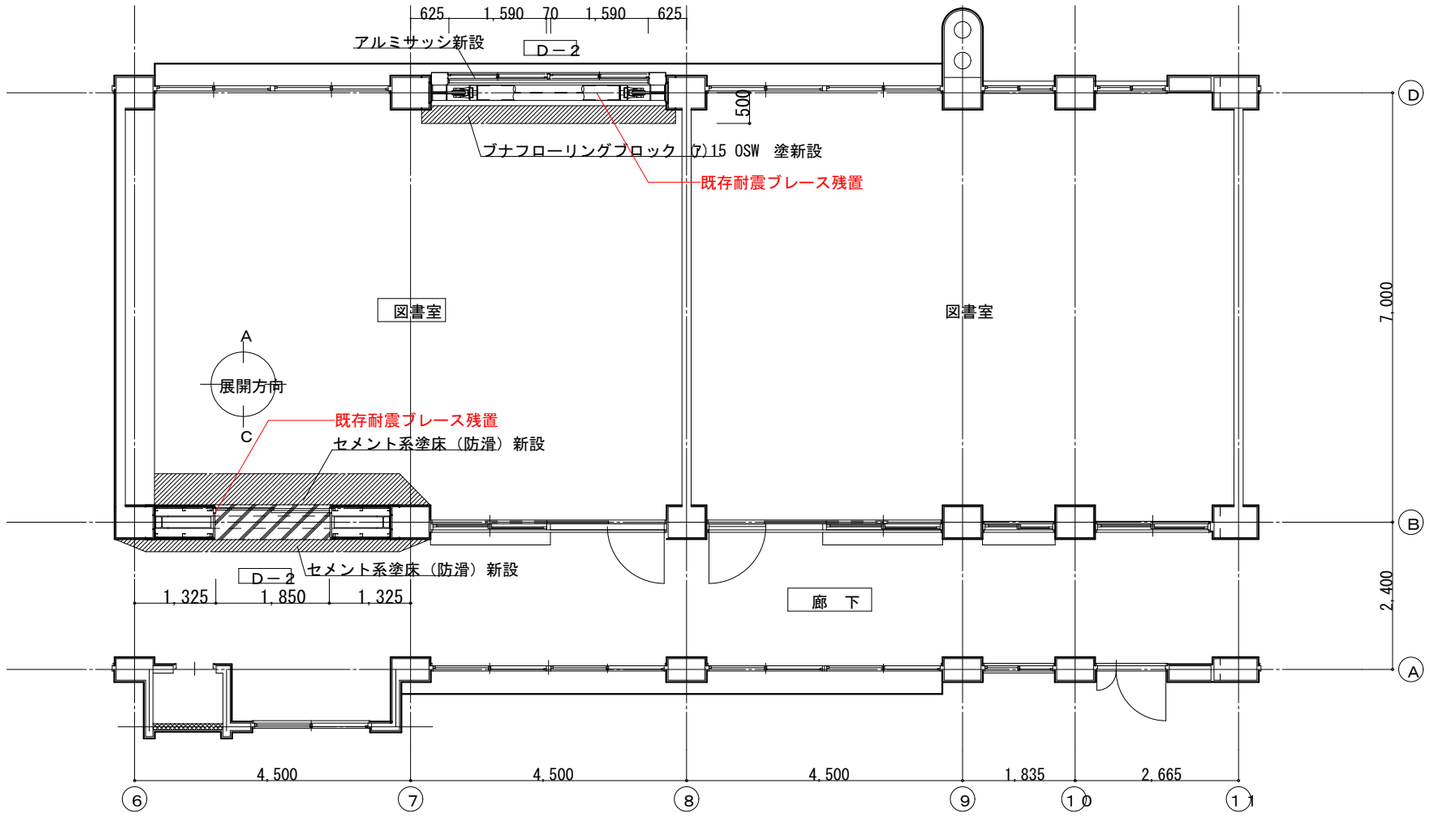
Ａ面展開図　　Ｓ＝１：５０

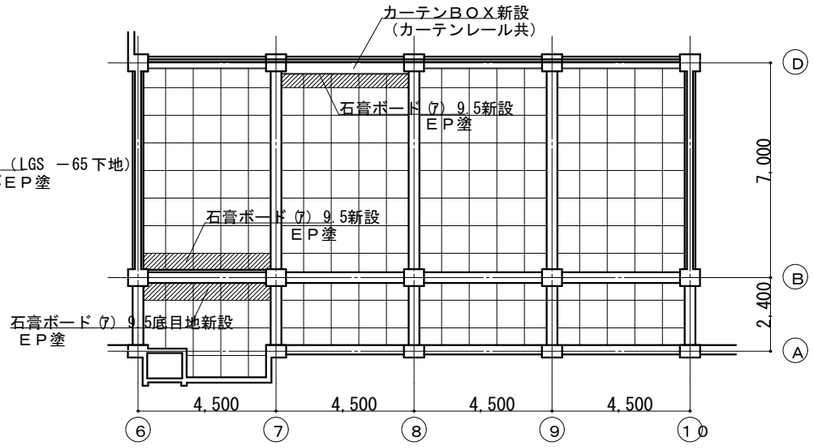


Ｃ面展開図　　Ｓ＝１：５０



断面詳細図　　Ｓ＝１：５０





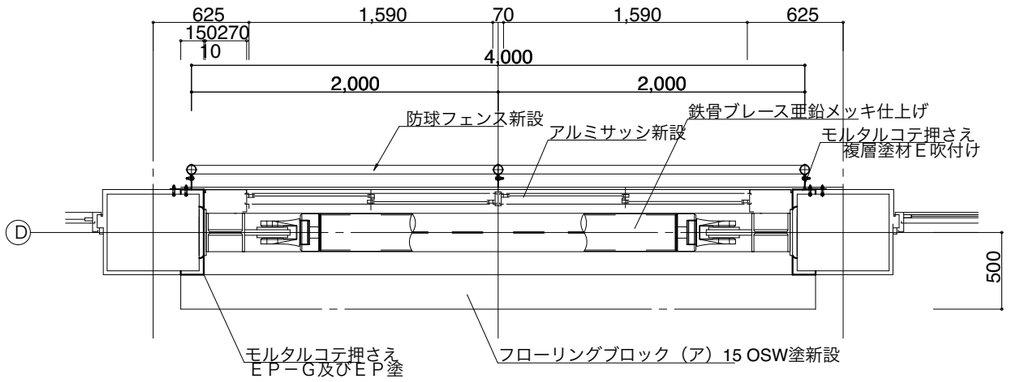
天井伏図　　Ｓ＝１：１００

場所	位置	改修概要	仕上
教室	床	モルタルコテ押さえ	OSW
		セメント系塗床（防滑）仕上材新設	
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材Ｅ 内部：ＥＰ、FL+885までEP-G
		木製巾木 H=100 新設	EP-G
		内部腰壁：石膏ボード (7)12.5二重張（軽鉄下地共）	EP-G Ｄ－２ による
		窓面台：ナラ集成材 t=30	UC Ｄ－２ による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル(7)3）	Ｄ－２ による
	天井	石膏ボード(7)9.5新設（木下地一部新設）	EP
		カーテンボックス新設（アルミ製カーテンレールＳ共）	EP-G Ｄ－２ による
廊下	床	モルタルコテ押さえ	
		セメント系塗床（防滑）仕上材新設	
	壁	補強鉄骨ブレース新設	EP-G
		周辺モルタル新設	外部：複層仕上塗材Ｅ 内部：ＥＰ
		ビニル巾木 H=100 新設	
		内部腰壁：石膏ボード (7)12.5二重張（軽鉄下地共）	EP-G Ｄ－２ による
		窓面台：ナラ集成材 t=30	UC Ｄ－２ による
		アルミ製建具新設（腰壁部：アルミパネル(7)3）	Ｄ－２ による
	天井	石膏ボード(7)9.5底目地新設（木下地一部新設） EP	

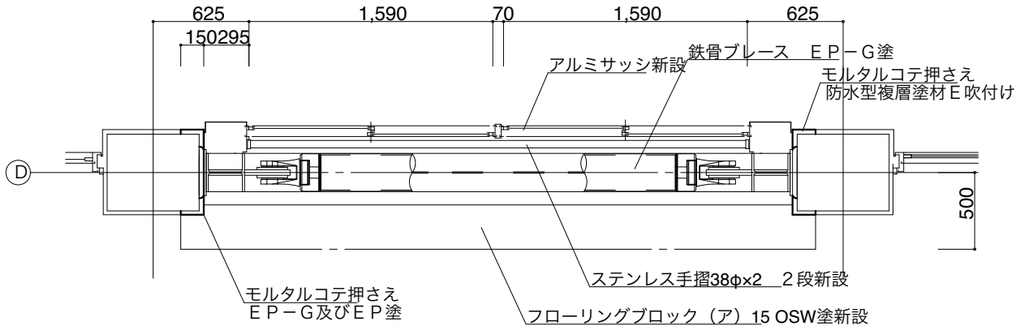
*特記事項

・廊下床仕上：セメント系塗床仕上材は　㈱ABC 商会「カラクリート」又は同等品以上とする。
・内装仕上材 EP 及びEP-G は、VOC 対策品とする。
・塗装色は既存色に合わせることとする。

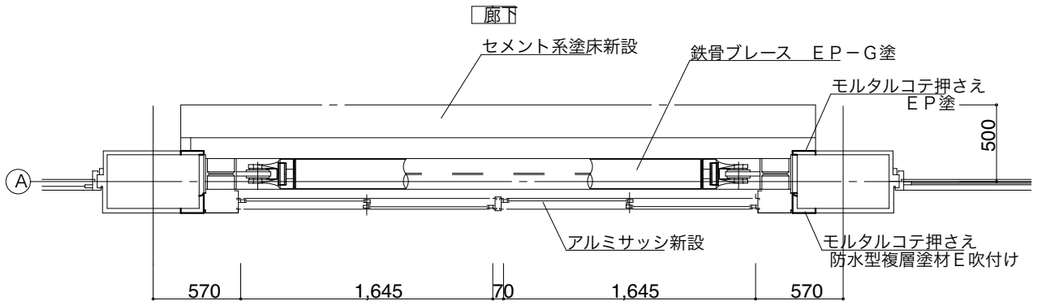
備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	067
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図10	縮尺	-	
	月日		月日												



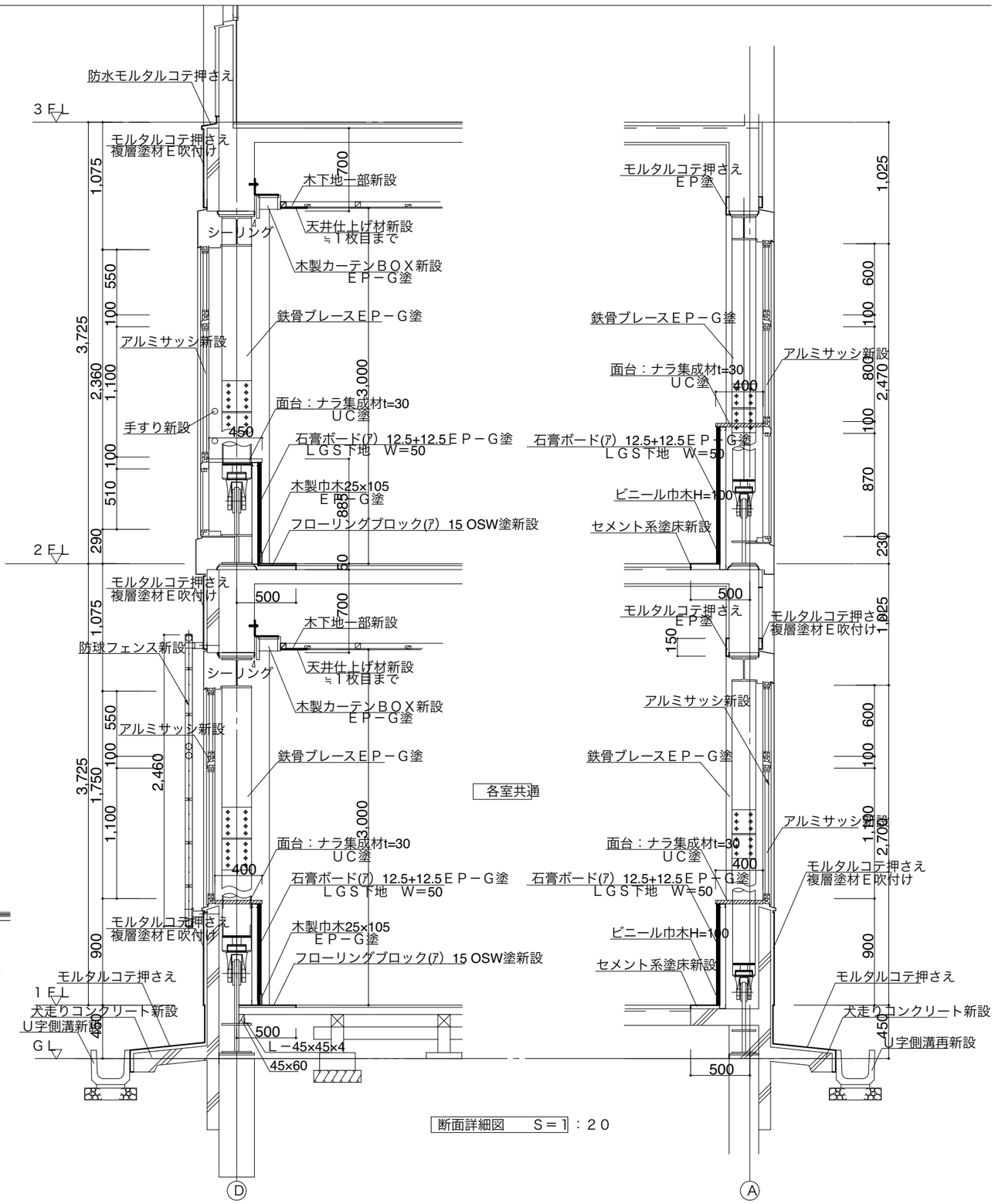
1階各室共通



2･3階各室共通



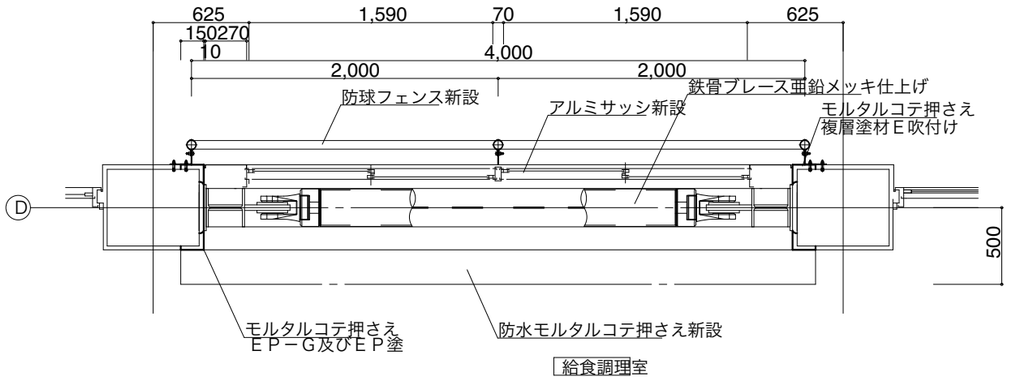
平面詳細図　　S＝1：20

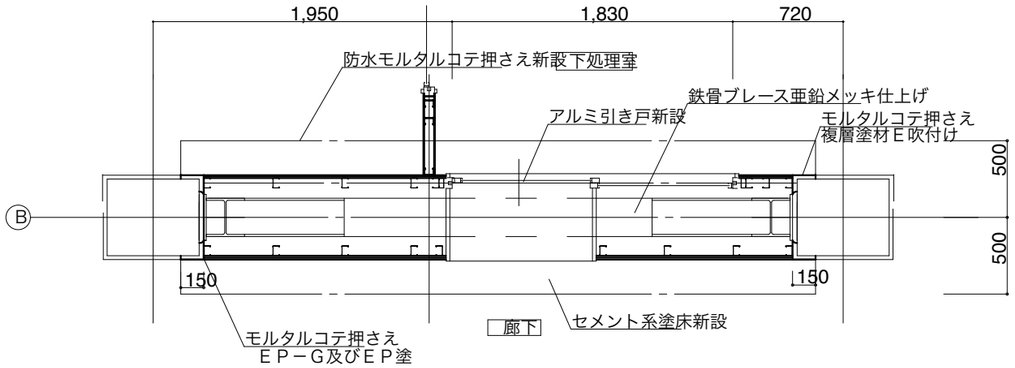


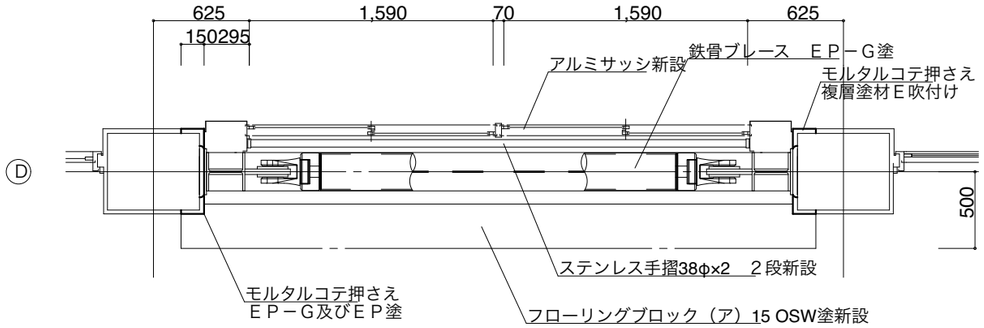
断面詳細図　　S＝1：20

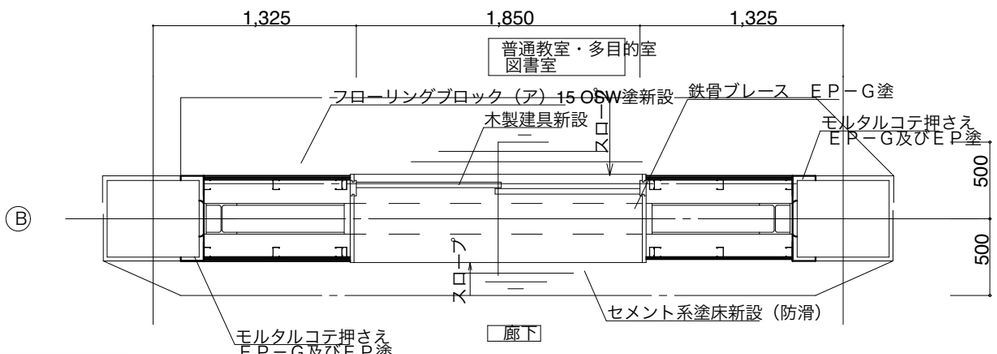
備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）
	月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図11（耐震補強部1）
	月日		月日								

図番	K	068
縮尺	－	

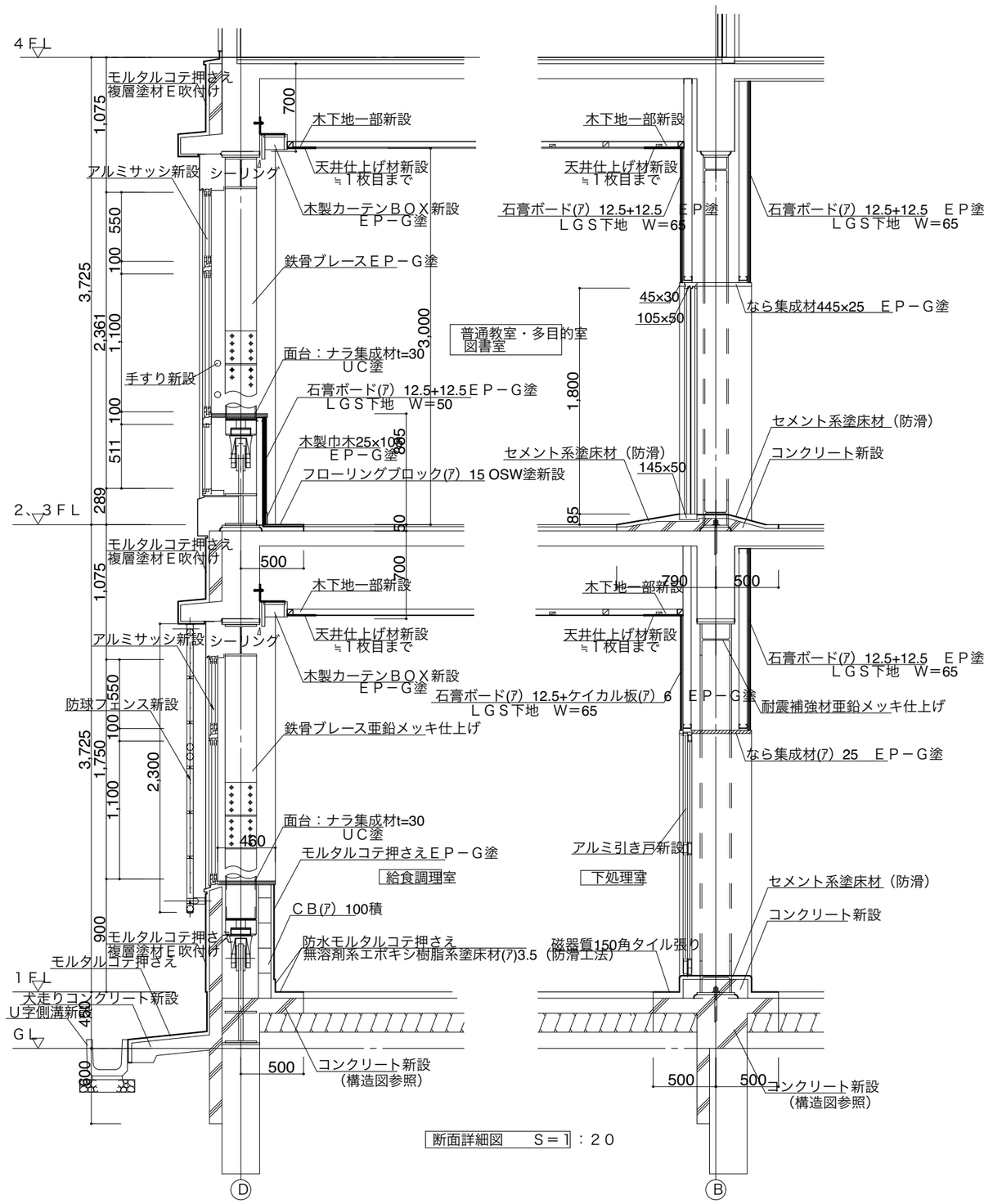








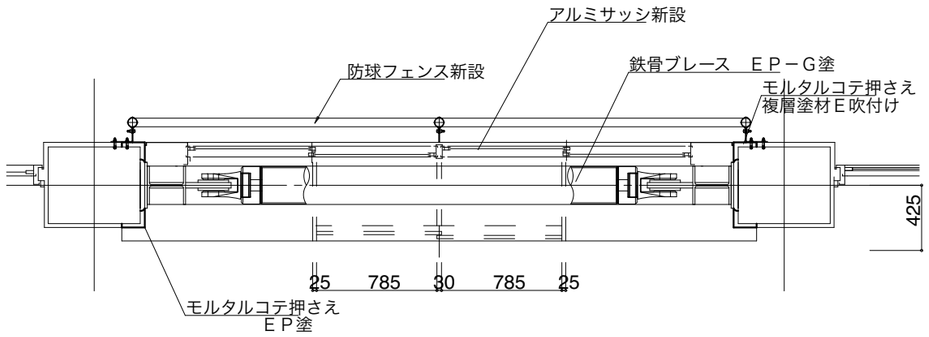
平面詳細図　S＝1：20



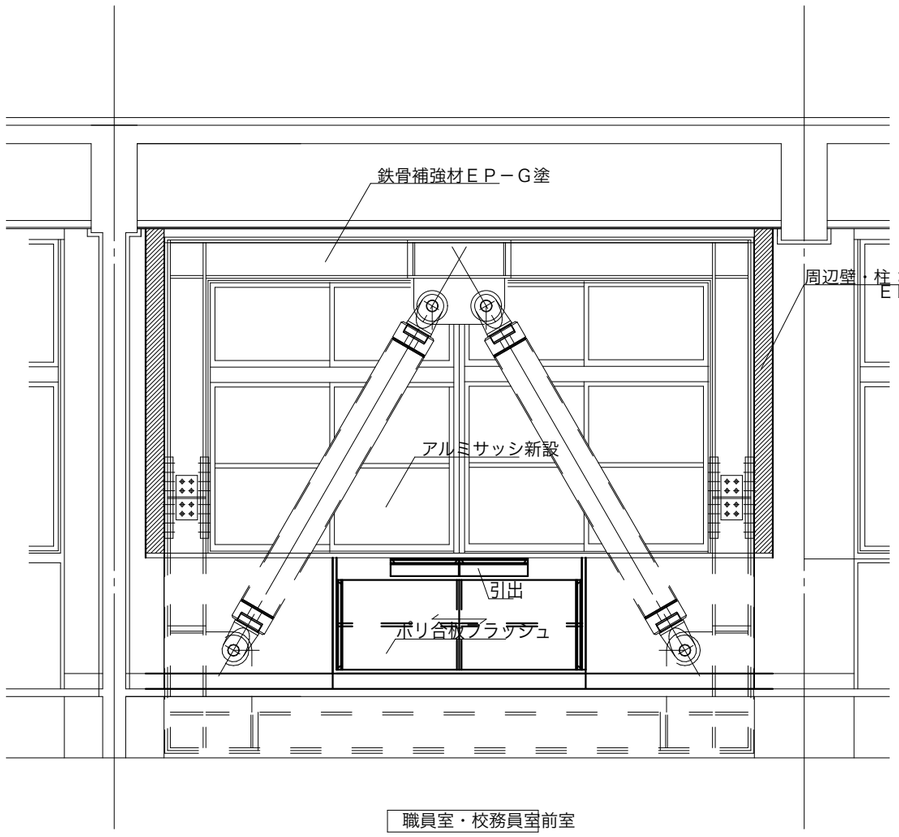
断面詳細図　S＝1：20

備考															
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	K	069
	月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図12（耐震補強部2）	縮尺	－	
	月日		月日											

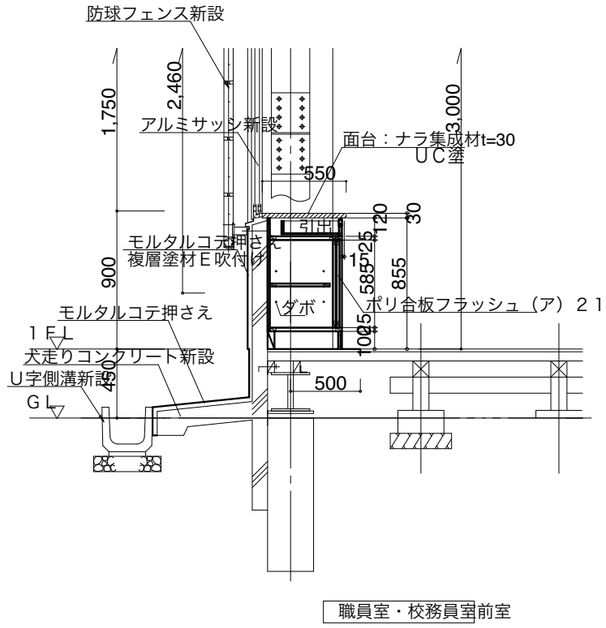
D－6　耐震補強部平面・断面詳細図　S＝1／20



職員室・校務員室前室

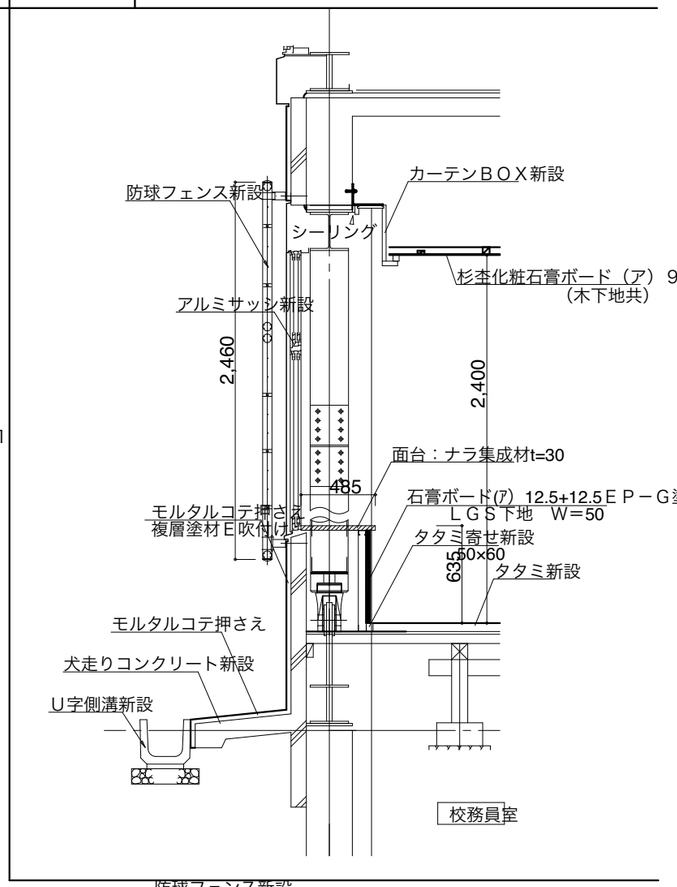


職員室・校務員室前室

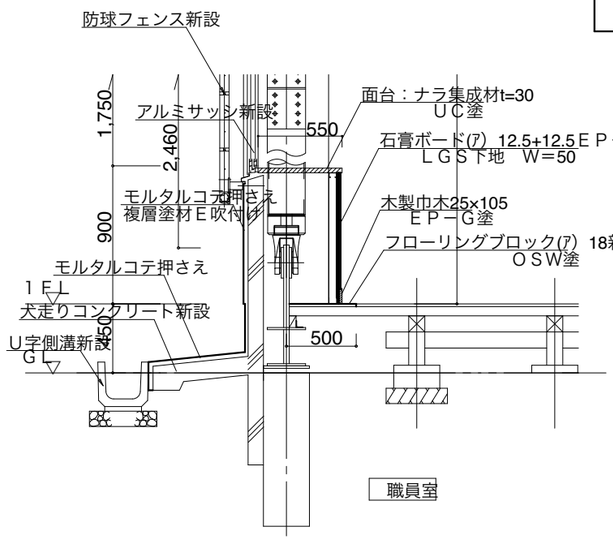


職員室・校務員室前室

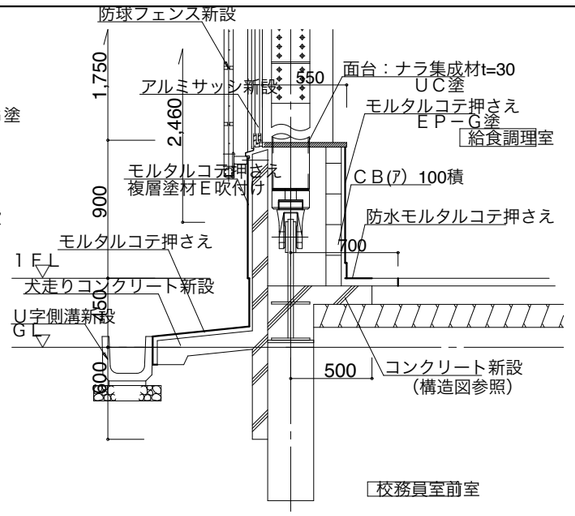
D－7　耐震補強部平面・断面詳細図　S＝1／20



校務員室



職員室



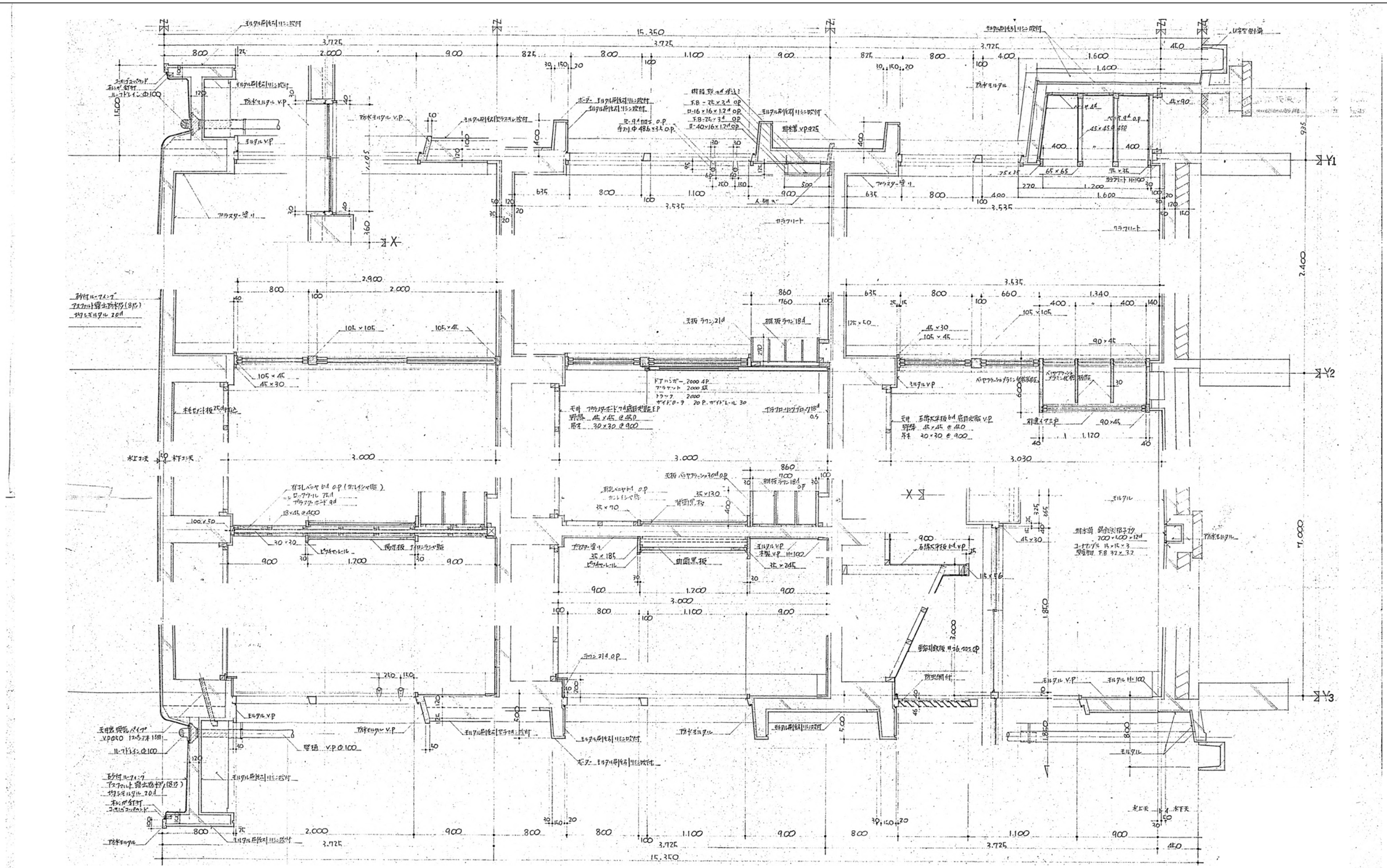
校務員室前室

備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	070
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図13(耐震補強部3)	縮尺	－	
	月日		月日												

凡例

- RC壁及び仕上げの撤去部分を示す
- CB壁及び仕上げの撤去部分を示す
- タイル部分の撤去を示す
- ALC壁及び仕上げの撤去部分を示す
- 仕上げ・下地撤去部分を示す
- 間仕切り壁及び仕上げ撤去部分を示す
- サッシ及び備品・固定家具撤去部分を示す
- その他撤去部分を示す

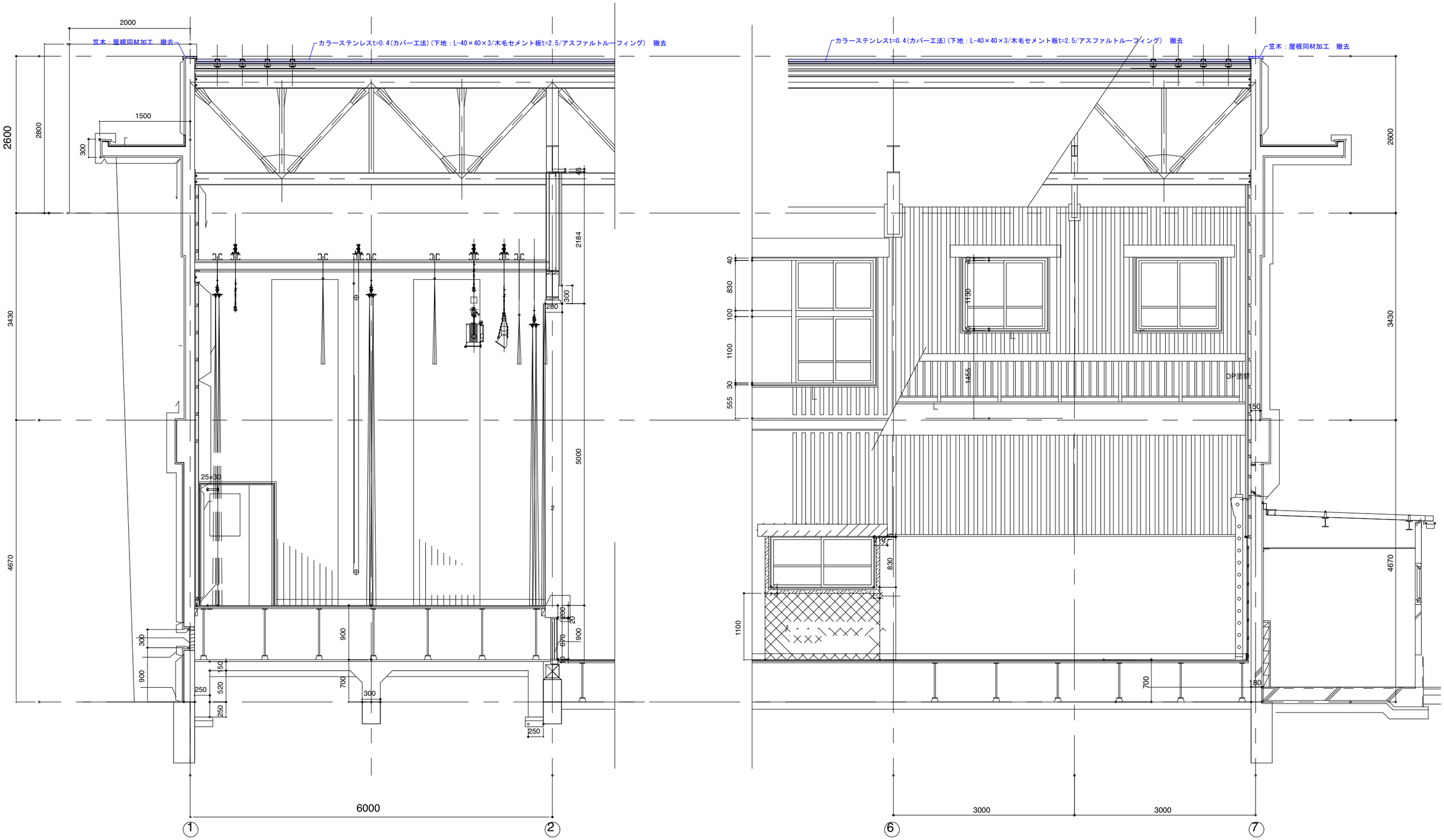
※特記なき場合、モルタル仕上げは存置すること。
※特記なき場合、躯体及びモルタル面塗装は存置(ケレンしない)



本館北棟　断面図

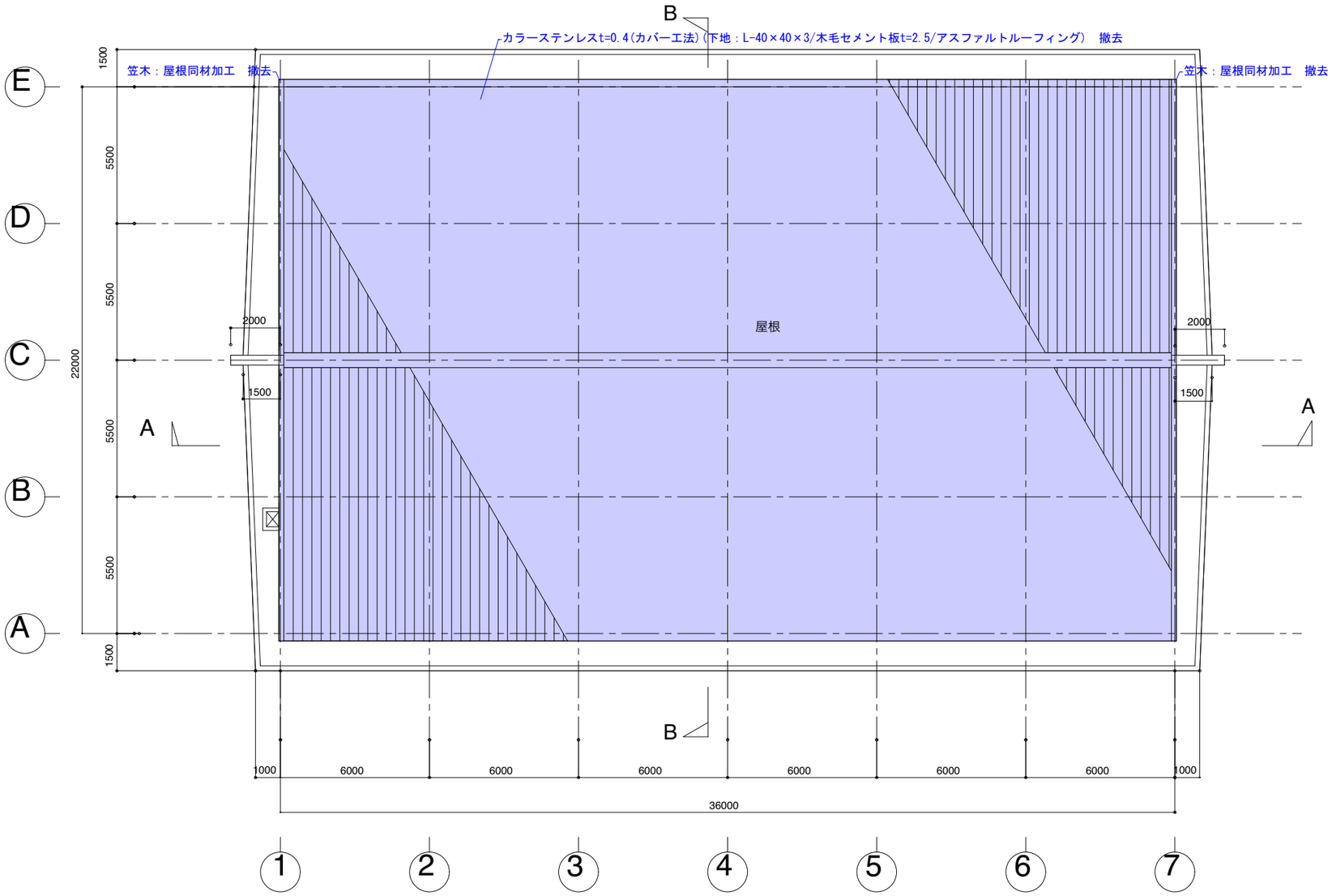
備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 K 071
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	参考既存図14(本館北棟厨房部分仕様)	縮尺 -
	月日		月日										

※解体箇所を青字・青色着色で示す。



備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	72
	月日		月日												
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	屋内運動場屋根解体図1	縮尺	–	

※解体箇所を青字・青色着色で示す。



備考	月日		月日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/12/23	担当	伊藤　高基	名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	K	73
	月日		月日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	設計	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	種別	屋内運動場屋根解体図2	縮尺	–	
	月日		月日												